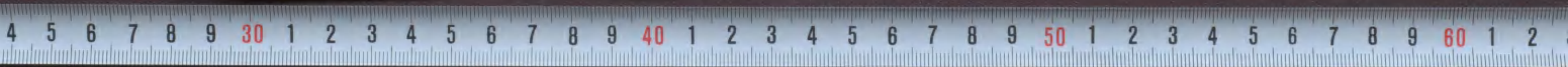


東京 笹川書店發行

漢譯  
日本口語文法教科書

松本龜次郎著

卷末之索引得  
代用於文法辭典





1054
日本語教 育振興會

1024



東京外国語大学  
図書館蔵書

673674

平成 23 年度

漢譯  
日本口語文法教科書

松本龜次郎著

日本語教  
育振興會  
藏書之印

及普  
增訂版

卷末之索引得  
代用於文法辭典

東京 笹川書店發行

6



### 増訂版發行ニ就イテ

一、本書ハ大正八年ニ初版ヲ出シテカラ、幸ニ大雅ノ愛讀ヲ得、今日迄ニ十數版ヲ重ネタガ、時勢ノ變化ト、教授上ノ實驗トニ照シテ、改訂ノ必要アルヲ認メタノデ、昨年七月カラ十二月迄、半歲ノ日子ヲ費シ、遂ニ此ノ増訂版ヲ發行スルニ至ツタノデアアル。

二、本書ノ舊版ハ、音韻及ビ文字概説・品詞概説・品詞詳説ノ三篇ニ分ツテアツタガ、増訂版ハ、新ニ文章概説・文章詳説・及ビ解剖ノ三篇ヲ附ケ加ヘタノデ、都合六篇カラ成立スルコトニ成ツタ。随ツテ、舊版ハ總頁數三百八十四頁ニ過ギナカッタガ、増訂版ハ總頁數四百五十六頁ノ大冊ト成ル

### 増訂版發行宗旨

一、本書自大正八年發行第一版以來、及今幸得大雅愛讀、既重十數版。然照時勢之變化與教授上之實驗、認有改訂之必要、自昨年七月至十二月、費半歲日子、遂至于發行此増訂之版。

二、本書舊版、分音韻及文字概説・品詞概説・品詞詳説三篇。増訂版、因新加文章概説・文章詳説・及解剖三篇。共爲六篇。故舊版總頁數、僅二百八十四頁者、今増訂版乃成總頁數四百五十六頁之鉅冊焉。



ニ至ツタノデアアル。

三、増訂版ハ、愛讀者ノ忠告ニ據リ、假名ト漢字ノ兩索引ヲ附スルコトニシタ。想フニ、文法ハ讀本・會話・作文等ヲ學ブ際ニ於テモ、常ニ參攷ノ必要ガ有ル爲デアアル。

四、増訂版ノ華譯ハ、悉ク錢稻孫先生ノ閱正ヲ經タモノデアアル。先生ハ、幼時嚴君湖北省留日學生監督錢恂先生ニ隨ツテ、我が邦ニ留學シ、慶應義塾附屬小學校・成城學校等ヲ經テ、高等師範學校ニ入學セラレ、其ノ後、嚴君ガ欽差大臣トシテ西歐ニ赴任セラレルニ及ンデ、英獨佛等ニ遊學セラレ、歸國ノ後ハ、職ヲ教育部ニ奉ジ、兼ネテ北京大學及ビ清華大學等ノ教授ニ任ジ、日本語文ノ講座ヲ擔當セラレ、最近ハ我が國文學研究ノ爲、再

三、増訂版、據愛讀者忠告、添附假名與漢字兩索引。蓋以文法於學習讀本・會話・作文等之際、常有參攷之必要故也。

四、増訂版華譯、悉經錢稻孫先生閱正。先生幼時隨嚴君湖北省留日學生監督錢恂先生、留學于我邦、經慶應義塾小學校・成城學校等、而入學於高等師範學校。及嚴君以欽差大臣赴任西歐、遂亦遊學于英德法諸國。歸國之後、奉職教育部、兼任北京大學及清華大學等教授、擔當日本語文講座。最近爲研究我國文學、重來我邦、目下正就我大學・圖書館及該學界碩學之士、專心研鑽中。本

ビ本邦ニ來ラレ、目下我が大學・圖書館共ノ他斯界ノ權威者ニ就キテ、專心研鑽中デアアル。偶本書増訂ノ時ニ方リ、斯クノ如キ篤學者ノ來京セラレ

タノハ、渡リニ舟ヲ得タト同ジデ、寔ニ本書ノ好運ト謂フ可キデアアル。由來本書ノ譯文ハ、讀者ノ比較研究ニ便ズル爲、務メテ原文ト語々相對スルコトヲ期シタノデ、往々措辭ノ妥當ヲ缺ク者ノ有ルヲ免レナカツタガ、今幸ニシテ、先生ノ親切丁寧ナ削正ヲ經タノデ、完全ニ此ノ缺點ヲ除去シ、本書ノ聲價ヲ一層ニ高メ得タ次第デアアル。是レ讀者ノ衷心ヨリ感激ニ勝ヘズ、特ニ數言ヲ記シテ、敬謝ノ忱ヲ表スル所以デアアル。

五、本書ヲ讀マシテ諸君ハ、是非、著者ノ別著對照漢譯日本文典、及ビ解日語肯綮大全ヲ參閱セラレタ

書増訂之時、適逢如此之篤學者來京、宛如渡頭得舟、寔可謂多幸也。

原來本書譯文、爲便讀者之比較研究計、以務期與原文語々相對、往々未免措辭有缺妥當者。今得先生丁寧糾正、缺點爲之一除、本書聲價倍加矣。衷心感激、特記數言、以表謝忱。

五、讀本書者、最好參閱著者之別著對照漢譯日本文典、及解日語肯綮大全。何則因無論



イ。何トナレバ、新聞雜誌ヲ首メ、法律文デモ教科書デモ、口語文法ヲ學ンダ丈デ、文語文法ヲ知ラナケレバ、到底完全ナ解釋ハ出來ナイ。其ノ意味ニ於テ、口語ト文語トヲ、仔細ニ對照シテ編述シタ對照漢譯日本文典ヲ、御勸メシマス。

又日語肯綮大全ハ、有ラユル場合ノ適例ヲ漏レ無ク列舉シテ、歸納的ニ、口語ノ法則ヲ曉得セシメルコトヲ目的トシタモノデアルカラ、諸君ガ若シ本書ト並行シテ讀マレタナラ、兩々相輔ケ、理論ト實際ト、渾然融和シ、其ノ結果、流暢ニシテ且ツ文法上誤リノ無イ完全ナ日本語ヲ容易ニ操リ得ルデアラウコトヲ確信スルモノデアアル。

昭和十一年二月十七日 鶴峯松本龜次郎誌ス

新聞雜誌以至法律文・教科書等、僅學口語文法、未學文語文法、到底不能夠完全的了解。所以予勸告讀者參閱口語與文語一々對照而編述之對照漢譯日本文典也。

又日語肯綮大全一書、細大不漏、列舉所有用法之適例、以使讀者歸納的曉得口語法則、爲宗旨。故諸君若與本書併讀、則兩者相輔、理論與實際、渾然融和、其結果必當容易說得流暢而且文法上無誤之完全之日本語。是著者所確信者也。

### 緒言

語學ヲ教授スルノ法、大要二有リ。其ノ一チ自然的語學教授法ト爲ス。猶嬰兒ノ父母ノ懷裡ニ在リ、始メテ近易ノ單語ヲ學ブガ如ク、反復練習スルヲ以テ唯一ノ教授方法ト爲シ、無意識ニ記憶セシメント欲スル者即是レナリ。其ノ二チ理論的語學教授法ト爲ス。教授ノ基礎ヲ文法ニ置キ、組織的ニ言語ノ意義性質效用變化等ヲ解説シ、然後反復練習ノ功ヲ積マシメント欲スル者、即是レナリ。予中華民國留學生ニ對シ、此ノ二種ノ教授法ヲ試ムルニ、十五歲以下ノ幼童、若クハ教育ノ程度尙ホ淺キ婦人ニ對シテハ、自然的語學教授法ヲ採用スルノ尙ホ可ナルヲ認メ、十五歲以上既ニ教育ノ素養有ル者ニ對シテハ、男女學生ニ論無ク理論的語學教授法ヲ採用スルノ宜シキニ適ヘルヲ悟レリ。然ルニ一部ノ教育者尙未ダ之ヲ察セズ、文字語言ノ全ク相異ナル西洋人ト同文同種ノ中華民國學生トヲ同一視シ、壓迫的ニ自然的語

教授語學之法、大要有二。其一爲自然的語學教授法。猶嬰兒在父母懷裡、始學近易之單語、以反復練習、爲唯一教授方法、欲使學者於不知不覺之間、記憶於腦裡者、即是。

其二爲理論的語學教授法。置教授基礎於文法上、用組織的解說法、欲使學者理解言語之意義性質效用變化、然後積以反復練習之功者、即是。

予對於中華民國留學生、試施此二種之教授法、對於十五歲以下幼童及教育程度尙淺之婦女、則認爲尙可採用自然的語學教授法。對於十五歲以上既有教育之素養者、則以爲無論男女學生、必採用理論的語學教授法乃尤宜。

然教育者中、尙有未之察者、以同文同種之中華民國留學生、與夫文字語言全然相異之西洋人、爲一樣之



學教授法ヲ強行セント欲スル者有リ。恰モ專制政治ノ遺法ヲ語學教授界ニ施行セント欲スルガ如シ。誠ニ被教育者ノ心理作用ヲ、藐視スルノ甚シキ者ト謂フ可シ。夫レ中華民國留學生ノ文法ヲ重要視スルヤ、實ニ意表ニ出デ、動詞形容詞助動詞ノ語尾變化及ビ法ノ如キ、助詞副詞接尾語等ノ複雜ナル意義用法ノ如キ、一々之ヲ記憶シテ譯ラザルヲ期ス。是ヲ以テ其ノ讀本或ハ日用會話等ノ專ラ應用ニ屬スル科目ヲ授クル場合ト雖、單ニ大意ヲ講說スルノミニテハ、決シテ彼等ノ求學心ヲ満足セシムルコト能ハズ。必ズ文法ノ規則ニ照シ剖析分解シテ、之ヲ教ヘ、然ル後全體ノ意義ヲ詳說セザル可カラザルナリ。予此ノ經驗ニ基キ、會テ對照漢譯日本文典及ビ日本語教科書(語法用例ノ部)日本語會話教科書(此書專主應用)等ヲ編述セシモ、獨リ口語文法ノ一書ニ至リテハ、劇務ニ執掌シ、未ダ世ニ公ニスル遠アラズ。久シク斯界教育家及ビ學生諸君ノ要求ニ遭フト雖、而モ未ダ其ノ志ヲ果サズ、深ク以テ憾ミトセリ、今幸ニ小閑ヲ得タル

觀、往々欲壓迫而施行自然的語學教授法。恰如欲施行專制政治之遺法於語學教授界。誠可謂藐視被教育者心理作用之尤甚者。夫中華民國留學生之重視文法也、實出於意表。例如動詞形容詞助動詞之語尾變化及法、或如助詞副詞接尾語等繁雜複雜之意義用法、一々記憶之、而期不謬。是以雖其教授讀本或日用會話等之專屬於應用科目之時、而僅止於講說大意、則決不能鑿彼等求學心。必須照文法之規則、剖析分解教之、然後詳說全體之意義也。予本此經驗、曾編述對照漢譯日本文典、日本語教科書(語法用例之部)日本語會話教科書(此書專主應用)等、獨至於口語文法一書、執筆劇務、未遑公世、久遭斯界教育家及學生諸君要求、而未果其志、深以為憾。

今以幸得小閑、改訂多年所實地教授稿本、請文法專

ヲ以テ、多年實地ニ教授セル所ノ稿本ヲ改訂シ、文法專門家三矢重松山根藤七兩君其ノ他我ガ東亞高等豫備學校諸講師ノ批正ヲ請ヒ、其ノ譯文ハ中華民國留學生徐箴苑乃安兩君ノ改訂ヲ經、遂ニ脫稿スルニ至レリ。

本書ハ斯クノ如クニシテ而シテ後梓ニ付セリ。故ニ未ダ完璧ト謂フヲ得ズト雖、讀者若シ此ノ書ニ依ツテ、口語文法ノ要領ヲ曉得シ、之ヲ會話講讀作文等ノ諸科ニ應用セバ、庶幾クハ流ニ溯ツテ源ニ會ヒ、萬變ニ應ジテ一正ニ歸スルヲ得ン乎。

若シ夫レ本書ノ體例ニ至ツテハ、大要左記ノ趣旨ニ本ヅケリ。讀者幸ニ一閱ヲ垂レヨ。

- 一、解説ハ、平易簡明ヲ主トシ、其ノ漢譯ハ、務メテ原文ト一致並行セシメントテ期セリ。
- 二、舉例ハ、一々剴切ノ漢字ヲ充當シ、翻譯ハ主トシテ北京官話ヲ用ヒ、其ノ適譯ヲ發見セザル者ハ已ムヲ得ズシテ文語ヲ混用セリ。

家三矢重松山根藤七兩君及其他我東亞高等豫備學校諸講師之批正、其譯文則經中華民國留學生徐箴苑乃安兩君改訂、遂至於脫稿焉。

本書蓋如斯而後始付梓。故雖未得謂完璧、而讀者若依此書、曉得口語文法要領、應用之於會話講讀作文等諸科、則庶幾溯流會源、應萬變而歸一正乎。

若夫本書體例、大要據左記趣旨。讀者幸垂一閱焉。

- 一、解説以平易簡明爲主。其漢譯務期與原文一致並行。
- 二、舉例一々充當剴切之漢字。其翻譯主用北京官話。其未發見適譯者、不得已而混用文語。



三、振假名ハ、純粹ノ日本語ニノミ歴史の假名遣ヒヲ用ヒ、漢字音ニハ發音的假名遣ヒヲ用ヒタリ。

四、動詞形容詞助動詞等ノ語尾變化及ビ法有ル者ハ文語ト同ジク六段ニ排列シ、他日學文語文法ヲ學ブ時、讀者ヲシテ彼此對照シ、自ラ其ノ淵源ヲ悟ルニ便セシム。

五、編次ハ、總說、音韻竝ニ文字、品詞概說、品詞詳說ノ順序ト爲シ、文章編ハ之ヲ文語文典及ビ他日本書增訂ノ時ニ讓リ暫ク省略ニ從ヘリ。故ニ本書ヲ讀ム者ハ、切ニ予ガ前者對照漢譯日本文典ヲ閱セラレシコトヲ望ム。

六、口語文法ハ、之ヲ文語ニ比較スレバ、變化更ニ甚シク、詞數モ亦彌多キヲ加フ。殊ニ助動詞接頭語接尾語等ノ補助詞ニ至ツテ、一層其ノ複雜ヲ極ム。本書ハ是等ノ諸詞ニ對シテ、務メテ井然タル統一法ヲ施シ、最モ解說ニ意ヲ用ヒ、一々適切ノ譯字ヲ充當シ、以テ隔靴搔痒ノ憾ナキヲ期セリ。

七、文典ヲ編述スル者ノ、最モ苦心ヲ要スル者ハ、詞辭ノ

三、旁訓者惟於純粹之日本語、用歷史的假名用法。於漢字音、則採用發音的假名用法。

四、動詞形容詞助動詞等之有語尾變化及法者、同於文語、排列爲六段。他日學文語文法之時、使讀者彼此對照、便於自悟其淵源。

五、編次爲總說・音韻竝文字・品詞概說・品詞詳說之順序。文章編者、讓之於文語文典及他日增訂本書時、暫從省略、故切望讀本書者、必須閱予舊著之對照漢譯日本文典。

六、口語文法比較之於文語、變化更甚、詞數亦彌加多。特至於助動詞接頭語接尾語等之補助詞、更極其複雜。本書對于是等諸詞、務施井然統一之法、最用意於解說、一々充當適切之譯字、以期無隔靴搔痒之憾。

七、編述文典者、最要苦心、在正詞辭之所屬。例如

所屬ヲ正スニ在リ。例ヘバ本書中ニ舉グル所ノ補助動詞形容動詞或ハ接尾語中ノ或者ノ如キ其ノ所屬ニ關シ、文法學上ヨリ之ヲ看レバ、尙討究ヲ要スル者無キニ非ズ。然リト雖本書ノ主トスル所ハ教授ノ實際ニ裨益スルニ在リ、必ズシモ文法上ノ形式論ニ拘泥スルヲ要セズ。故ニ其ノ意義用法ノ相近似セル者ハ、便宜ニ隨ヒ、類ヲ以テ其ノ處ニ附說セリ。

九、文法上ノ術語ハ、一二特別ノ者ヲ除ク外、務メテ一般文法家ノ慣用ニ違ヒ、敢テ妄ニ一家ノ私言ヲ立テズ、是レ他日讀者ヲシテ他ノ文法ヲ學ブ時、扞格ノ虞レ無カラシメンコトヲ想フガ爲ナリ。

十、本書ノ題簽ハ、畏友井上翠君ノ揮毫ニ係レリ。本書ノ光彩ヲ添フルコト少カラズ。茲ニ附記シテ敬謝ノ意ヲ表ス。

大正八年八月

本書中所舉補助動詞形容動詞或一部之接尾語等、關於其所屬、由文法學上見地考之、則非無尙須討究者。雖然、本書所主者、在裨益于實際教授。不必拘泥於文法上之形式論。故其意義用法之相近似者、隨便宜、以類附說於其處。

九、文法上之術語、除一二特別者外、務選一般文法家慣用、不敢妄立一家私言。欲使讀者他日學他文法之時、無扞格之虞故也。

十、本書題簽、係畏友井上翠君所揮毫。爲本書添光彩甚不尠。附記於茲。以表敬謝之意。

著者識



再 版 緒 言

一、本書ノ再版ニ際シ、長友山根藤七、岡部健介兩君ノ批  
正ヲ蒙リ、學術上竝ニ教授上、裨益スル所甚多シ。謹ン  
デ茲ニ謝意ヲ表ス。

一、本書ヲ用ヒテ、教科書ト爲シ、音韻文字篇以下品詞各  
論ニ涉リ、懇切丁寧ニ講說シ、學者ヲシテ應用自在ヲ得  
シメンニハ、教授時數大約一百時（一週六時四個月）ヲ用  
フルヲ要ス。

但シ教授ノ都合ニ因リ、五六十時乃至七八十時ヲ以テ、  
本書ヲ講了セント欲セバ、須ク左記ノ各項ニ於テ、適宜  
ノ省略ヲ行フベシ。

第一頁至五十頁 總說、音韻、文字  
品詞概說、及品詞詳說之内名詞代名詞、  
第九十頁至一百九頁 敬語動詞、及補助動詞、  
第二百六十九頁至二百七十八頁 接續詞及感歎詞、

一、本書再版之際、蒙長友山根藤七岡部健介兩君施  
以訂正加除。於學術教授上、多有裨益。于茲特表  
謝意。

一、本書爲教科書、于音韻文字篇以下各品詞、懇懇講  
述、欲使學者得應用自如、則教授時間須一百小時。  
（每星期六小時四個月）。

但因教授方便、欲用五六十時乃至七八十小時、將  
此書講完、則須於左列各項擇宜省略。



一、動詞形容詞、形容動詞、助動詞及助詞ハ、文法上最も重要ノ部分トス。日本語ニ於テ、若シ此等品詞ノ規則及ビ用法ヲ曉得セズンバ、簡單ナル叙述ヲモ爲スコト能ハズ。況ンヤ他人ノ談話及ビ文章ヲ理解スルニ於テチヤ。故ニ教師學生共ニ、須ク主力ヲ茲ニ傾注セラルベシ。

一、右記諸品詞ニ次ギテ、必要ナルハ、接頭語、接尾語及ビ副詞トス。凡ソ日本語ニ妙味ヲ添ヘ、或ハ單調ヲ化シテ、複雜ナラシムル者ハ、概ネ此ノ三語ニ在リ、從來中華學生諸君ノ奇字或ハ奇語ト稱シ、學習上ニ多大ノ興味ヲ惹起シ、或ハ難解ノ感ヲ懷カシメシ語類ハ、多ク此ノ三語中ニ含マル。日華兩國語言ノ比較研究上ニ於テ、誠ニ忽諸ニ附ス可カラザル者ナリ。故ニ成ル可ク省略セザルヲ可トス。

但シ萬已ムヲ得ザル時ハ、比較的必要ノ少キ者ヲ擇ビ、便宜省略セラルベシ。

一、日本口語文法ハ、未ダ標準の良書ノ世ニ出ヅル者アラ

一、動詞形容詞助動詞及助詞、爲文法中最重要之部分。若不曉此等品詞之規則用法、則不能爲簡單之叙述。況能解他人之談話及文章乎。故教師學生宜傾注主力於茲。

一、次於右列諸品詞之必要者、爲接頭語、接尾語、及副詞。凡欲於日本語中添加妙味。或化單調爲複雜者、蓋不外此三語。從來中華學生諸君、所稱爲奇字奇語。于學習上、或惹起特深之興味、或懷難解之感者、多含於此三詞之中。於日華兩國語言之參照研究上、誠不可忽者也。故務以不省略爲佳。

但不得已時、則宜擇其比較的不必要者、而省略之可也。

一、日本口語文法、現未有標準之良書。偶有之、多

ズ。偶之レ有ルモ、多クハ文法論ニ拘泥シ之ヲ實際ノ教授ニ適用ス可キ者、極メテ罕ナリ。殊ニ日華兩國ノ口語文法ヲ比較研究セシ者ニ至ツテハ、猶晨星ノ寥々タルガ如シ。將來篤志ノ碩學者ノ努力ニ因ツテ、大成セラレンコトヲ望ム。

一、予曩ニ此ノ書ヲ講述セシ時、中華學生何弘遠君熱心ニ聽講シ、細大漏サズ之ヲ抄本ニ筆記セリ。這次再版ニ際シ、何君ノ筆記ヲ參照シ、補正上ニ益スル所尠カラズ。特ニ茲ニ附記シテ、同君研學ノ功ヲ表彰ス。

大正十五年二月

拘泥於文法論、可實際適用於教授者極罕。尤於日華兩國之口語文法、特加參照研究者、晨星寥寥。務望將來篤志碩學者、努力大成之。

一、予曩日講述此書之時、中華學生何弘遠君熱心聽講、細大不漏。記之於抄本。此次再版之際、參照何君之筆記、所得補正利益不尠。特附記之、以表彰何君研學之功。

著 者 再 識



漢譯 日本口語文法教科書

目次

總說	一	假名 漢字 倭字	一九
口語ト文語 口語文法ト文語文法	一	文字ノ書體	一九
文法ノ必要	二	片假名 平假名 楷書 行書 草書	二〇
第一篇 音韻及ビ文字概説	二	漢字ノ讀ミ方	二〇
音韻ノ種類	二	音訓 漢音 吳音 唐音	二一
五十音 濁音 半濁音 拗音 長音 拗長音	三	漢字ノ部首	二一
促音 撥音 カ行鼻濁音	三	偏傍 冠 構等	二二
音韻ノ變化	三	詞又單語	二三
轉呼音 音便 連濁 通音 延音 約音 略	四	單語ノ分類 九品詞 名詞 代名詞	二三
音 添音	四	動詞 自動 形容詞 助動詞 助詞 副詞	二四
文字ノ種類	四	接續詞 感歎詞 附 接頭語 接尾語	二五
	五	第二篇 品詞概説	二五
	五	詞又單語	二五
	五	單語ノ分類 九品詞 名詞 代名詞	二五
	五	動詞 自動 形容詞 助動詞 助詞 副詞	二六
	五	接續詞 感歎詞 附 接頭語 接尾語	二六
	五	第二篇 文章概説	二六
	五	文又文章	二六

目次

一







シク活用	三二	何レノ詞ニモ似ナイ助動詞	一五
ク活用シク活用ノ差異	三二	使役助動詞 <sup>セル</sup> <sup>サセル</sup>	一五
ク活用シク活用法ノ對照圖	三二	被役助動詞 <sup>レル</sup> <sup>ラレル</sup> 自動詞ノ被役	一六
ク活用シク活用ノ類語	三三	可能助動詞 <sup>レル</sup> <sup>ラレル</sup>	一六
ク活用シク活用法	三三	四段ト可能助動詞トノ約音 自然動	一六
ク活用シク活用ノ轉成名詞	三三	敬語助動詞 敬語補助詞	一六
形容動詞ノ分類	三三	第一、尊他敬語助動詞ト尊他敬語補助	一六
カリ活用	三四	詞 <sup>レル</sup> <sup>ラレル</sup> <sup>成サル</sup> <sup>進バス</sup>	一六
ナリ活用	三四	第二、自卑敬語補助助動詞 <sup>申ス</sup> <sup>上ゲル</sup>	一六
ダ活用	三四	第三、對話敬語助動詞ト對話敬語補助助動詞	一六
デス活用 附 <sup>デゴザイマス。</sup> <sup>デアル。</sup>	三四	マス 致ス 仕ル 御座ル	一六
ナリ活用、ダ活用、デス活用ノ類語	三四	指定助動詞	一六
第五章 助動詞	三四	一、平常語指定助動詞(ナリ)	一六
動詞ノ活用ニ似タ助動詞	三四	ナリノ並列	一六
形容詞ノ活用ニ似タ助動詞	三四	デノ中止法	一六
		デノ副詞法 <sup>原因</sup> <sup>場所</sup> 用法	一六

ダナダラダツノ用法	一八	過去 現在 未來 不定時	三〇
ダラウトノダラウノ區別	一九	過去助動詞 タ	三一
二、敬語ノ指定助動詞	一九	タリノ並列	三一
デス デゴザイマス	一九	タラノニツノ用法	三一
指定助動詞ト形容動詞トノ區別	一九	完了態 タ	三一
デストマスノ區別	一九	ナラトタラノ區別	三一
否定助動詞	一九	未來 確定的未來ト推測的未來	三一
ナイ ナカツ	一九	未來助動詞 ウ ヨウ	三一
ン	一九	繼續態ト存在態 <sup>テ居ル</sup> <sup>テ在ル</sup>	三一
推量助動詞	一九	テアルハ他動詞ニバカリ添フ	三一
ウ ヨウ用法三、想像	一九	過去ノ繼續態ト存在態 <sup>テキタ</sup> <sup>テ居ッタ</sup>	三一
ラシイ	一九	未來ノ繼續態ト存在態 <sup>テキョウ</sup> <sup>テ居フウ</sup>	三一
否定推量助動詞	一九	敬語ノ繼續態ト存在態 <sup>テ入ラフシヤル</sup> <sup>テ御出デル</sup>	三一
マイ用法三、否定想像、 否定決心、否定商量	一九	第六章 助詞	三一
希望助動詞 タイ	一九	第一類 名詞代名詞附屬ノ助詞	三一
動詞ノ時	一九		三一



ガノ(一)	二四	第三類 活用言附屬ノ助詞	二五
ノ(一)	二五	バ用法二	二五
ラ用法二	二六	トウト ヨウト	二六
ニ用法十	二六	マイト ナカラウト	二六
ヘ用法二	二六	トモ	二六
ト用法四	二七	テ用法三	二六
ヨリ用法二	二七	テハ(デハ) テモ(デモ)	二七
カラ用法三	二七	ツテモ ツテ タツテ	二七
マデ用法二	二八	カラ ノデ(ンデ) モノ	二八
ヤノ ダノ カ	二八	ガ用法三 (ウガ ヨウガ マイガ) ゲレドモ	二八
第二類 諸種ノ詞附屬ノ助詞	二九	モノノ ツツ	二九
ハ用法三 附   ハトガノ區別	二九	シナ	二九
コソ	二九	第四類 感歎助詞	二九
モ用法二 デモ用法二	三〇	ナア モ ハ ワイ ヨナ	三〇
サヘ用法三 バカリ	三〇	ネノ サゾゼエ	三〇
カ用法四 ヤラ用法二	三〇		三〇
		第七章 副詞	三〇

構成上ノ分類	二五	一、喜ビヲ表ハス者	二六
本然副詞 轉成副詞	二五	アア マア ヤレ	二六
意味上ノ分類	二五	二、哀ミヲ表ハス者	二六
第一、時ヲ表ハス者	二六	アア オウ サテ ハチ マア	二六
第二、場所ヲ表ハス者	二六	ヤレヤレ イヤハヤ	二六
第三、程度分量ヲ表ハス者	二六	三、驚キヲ表ハス者	二六
第四、状態ヲ表ハス者	二六	アア オヤ オット ヤイ エイ	二六
第五、其ノ他、種々ノ意義ヲ表ハス者	二六	アレ アラ サア マア	二六
第八章 接續詞	二六	四、怖レヲ表ハス者	二六
接續詞ノ分類	二六	オオ アア	二六
第一 並列 第二 添加 第三 選擇	二六	五、疑ヒヲ表ハス者	二六
第四 順接 第五 逆接	二六	ハテ ハチナ サテ	二六
第九章 感歎詞	二六	六、發語ノ感歎詞	二六
感歎詞ノ分類	二六	エイ アノ	二六
		七、商量ノ感歎詞	二六
		ネイ ナア ナント	二六







ヅク(付) キル(切) キレル(切) イル(入)	三四
コム(込)	三四
c、動作ノ始メ終リヲ表ハス者	三四
カカル(懸) カケル(懸) ダス(出)	三四
アゲル(上) アガル(上)	三四
d、其ノ他種々ノ意ヲ表ハス者	三四
アフ(合) アハセル(合) ソコナフ(損)	三四
ソコネル(損)	三四
三、形容詞ヲ作ル者	三四
ヨイ、イイ(好) ニクイ(憎)	三四
ヅライ(辛) グルシイ(苦)	三四
ガヤシイ(少間敷) ボイ	三四
バイ クサイ(臭) ラシイ	三四
四、名詞又ハ形容詞ヲ作ル者	三四
ヤウ(様)用法四	三四
サウ(相)用法二	三四
トホリ(通)用法二	三四
ガチ(勝) ダラク	三四
ツモリ(積) 附ミコミ(見込)	三四
ハズ(管) 附ワケ(譯)	三四
五、副詞ヲ作ル者	三四
ナガラ(乍) 附ツツ用法三	三四
ガテラ カタカタ(旁) カタハラ(傍)	三四
ゴトニ(毎) ツキ(付) ツツ(宛)	三四
チユウ(中) デユウ(中)	三四
ヤマ(儘) ナリ シダイ(次第)用法四	三四
クセ(癖) セイ(所爲)	三四
六、名詞又ハ形容詞副詞等ヲ作ル者	三四
ホド(程)用法四	三四
クラ(半)位)用法四	三四
バカリ(計)用法三	三四
ダケ(丈)用法四	三四

七、其ノ他種々ノ意義ヲ添ヘル者	三五
メ(目) テ(手) カタ(方) ガタ(方)	三五
ホウ(方) サマ(様)	三五
第五篇 文章詳説	三五
文ノ分類 構成上・叙述上	三五
單文 複文 聯文(又重文)	三五
複文ト聯文ノ錯綜	三五
平叙文 疑問文 命令文 感歎文	三五
文體ノ變化	三五
第六篇 解剖	三四
品詞的解剖ト文章の解剖	三四
解剖 二十六例	三四
附 圖(一)	三四
活用言全圖附助詞	三四



漢譯 日本口語文法教科書

松本龜次郎講述

總說

【口語下文語】 日本語ニハ、二通り有リマス。第一一ヲ、口語ト謂ツテ、第二ヲ、文語ト謂ヒマス。口語ハ、不斷會話ノ場合ニ、用ヒル語デ、文語ハ、專ラ文章ヲ書ク場合ニ、用ヒル語デス。併シ近頃ハ、口語ガ發達シマシタカラ、口語デ書イタ文章ガ、非常ニ多ク成リマシタ。口語デ書イタ文章ヲ、口語體ト謂ヒマス。文語デ書イタ文章ヲ文語體ト謂ヒマス。

【口語與文語】 日本語有二種。第一曰口語、第二曰文語。口語平常用於說話之際、文語專用於記文章之時。但近來因口語發達故用口語所記文章、已甚多矣。用口語所作文章、謂之口語體、用文語所作文章、謂之文語體。



【口語文法ト、文語文法】 口語ニモ、文語ニモ、夫々、法則ガ有リマス。口語ノ法則ヲ、口語文法ト謂ヒ、文語ノ法則ヲ、文語文法ト謂ヒマス。此ノ本ハ、即口語文法ヲ講述シタ者デス。

【文法ノ必要】 文法ヲ知ラナケレバ、人ノ話ヤ文章ヲ、完全ニ理解シタリ、又自分ガ、正確ニ詞ヲ使ツタリ、文章ヲ作ツタリスルコトガ出来マセン。故ニ文法ヲ習フコトハ、最モ必要デス。殊ニ外國人ハ一層其ノ必要ガ有リマス。

第一篇 音韻及ビ文字概説

【音韻】 凡テ世界各國ノ言語ハ、各自固有ノ音韻カラ成リ立ツテ居ル者デ、日本語ニモ、矢張日本固有ノ音韻ガアリマス。其ノ重ナ者ハ、五十音・濁音・

【口語文法與文語文法】 口語及文語、各有法則。口語之法則、謂之口語文法。文語之法則、謂之文語文法。此書則講述口語文法者也。

【文法之必要】 不知文法、則不得完全理解他人之談話及文章。又自己不能用正確之言語、或作文章。故學文法、爲最必要之事。況在外國人、其必要更加甚也。

【音韻】 凡世界各國之語言、由各自固有之音韻、成立者也。即日本語亦有固有之音韻。其主要者、爲五十音・濁音・半濁音・拗音・長音・

半濁音・拗音・長音・促音・撥音ナドデス。

五 十 音

促音・撥音等。

マ	ハ	ナ	タ	サ	カ	ア	行
マ	ハ	ナ	タ	サ	カ	ア	行
Ma	Ha	Na	Ta	Sa	Ka	a	段
ミ	ヒ	ニ	チ	シ	キ	イ	行
ミ	ヒ	ニ	チ	シ	キ	イ	行
Mi	Hi	Ni	Chi	Shi	Ki	i	段
ム	フ	ヌ	ツ	ス	ク	ウ	行
ム	フ	ヌ	ツ	ス	ク	ウ	行
Mu	Fu	Nu	Tsu	Su	Ku	u	段
メ	ヘ	ネ	テ	セ	ケ	エ	行
メ	ヘ	ネ	テ	セ	ケ	エ	行
Me	He	Ne	Te	Se	Ke	e	段
モ	ホ	ノ	ト	ソ	コ	オ	行
モ	ホ	ノ	ト	ソ	コ	オ	行
Mo	Ho	No	To	So	Ko	o	段



ワ 行	ラ 行	ヤ 行
Wa	Ra	Ya
キ i (Wi) <sub>h</sub>	リ Ri	イ i (Yi) <sub>h</sub>
ウ u (Wu)	ル Ru	ユ Yu
エ e (We)	レ Re	エ e (Ye)
ヲ o (Wo)	ロ Ro	ヨ Yo

五十音圖ノ縦ヲ、行ト謂ツテ、横ヲ段ト謂ヒマス。  
 サウシテア行ノ五音ヲ母韻ト謂ツテ、カ行以下九行ノ音ヲ合熟音ト謂ヒマス。(下ニ擧ゲテアル濁音・半濁音・拗音等モ皆合熟音デス。)又母韻ノ前ニ配シテ合熟音ヲ生ズル音ヲ子音ト謂ヒマス。子音ヲ表ハス文字ハ、有リマセンカラ、暫ク羅馬字ノ大字ヲ借リテ之ヲ表ハシマシタ。  
 ア行ノイエト、ヤ行ノイエ、及ビア行ノウト、ワ行ノウトハ、古代ハ區別シタ者デスガ、今ハ區別シマ

五十音圖之縦列、謂之行、横列、謂之段。ア行之五音、謂之母韻。カ行以下九行之音、謂之合熟音。(以下所擧之濁音・半濁音・拗音等亦皆爲合熟音。)配於母韻之前而生合熟音者、謂之子音。子音、無可表白之文字。故暫借羅馬字之大字表白之。

ア行之イエ、與ヤ行之イエ、及ア行之ウ、與ワ行之ウ、古代皆分別其發音、今則無區別。

セン。又ワ行ノキエヲモ、九州四國地方ノ一部デハ今モ古代ノ通りニ、發音シマスガ、東京語デハ、ア行ノイエト區別シマセン。

【備考】五十音ノ中デ、初メテ日本語ヲ學ブ者ノ一般ニ發音ニ苦ム者ハ、カ行ノキト、ナ行ノ五音ナドデ、福建兩廣方面ノ人ノ中ニハ、ツヲチュト發音シ、四川方面ノ人ハ、往々マ行ヲ、バ行ニ發音シ、滿洲方面ノ人ハ、タ行ノ五音ヲ、濁ル傾キガアリマスカラ、注意ヲ要シマス。

又ワ行之キエヲ、在九州四國地方之一部、今尙如古代發音、而於東京語、則與ア行之イエオ相同。

【備考】在五十音中、初學日本語者、一般苦於發音者、爲カ行之キ與ナ行之五音。福建兩廣地方人、往々讀ツ爲チ、四川地方人、有時讀マ行爲バ行、滿洲地方人、有讀タ行之五音、爲濁音之傾向。須要注意。

【濁音】

ガ 行	ガ Ga	ギ Gi	グ Gu
ザ 行	ザ Za	ジ Ji (Zi) <sub>h</sub>	ズ Zu
		ゼ Ze	ゾ Zo
		ゲ Ge	ゴ Go



ダ行	ダ
Da	
ヂ行	ヂ
(Dzi) <sup>チ</sup>	
ヅ行	ヅ
Zu	
(Dzu) <sup>チ</sup>	
デ	
De	
ド	
Do	

濁音ハ重ク鈍イ音デス。濁音ニ對シテ、輕ク鋭イ音ヲ清音ト云ヒマス。

右ノ内デ、ザ行ノジズト、ダ行ノヂヅハ、四國九州地方ノ外、今ハ區別シマセン。

【備考】留學生ノ中ニハ、此處ノバ行ト、次ノバ行トヲ、混同スル者ガアリマス。ヅノ發音ニ關シテモ、清音ノツト、同様ノ注意ヲ要シマス。

濁音者鈍重音也。對於濁音、而於音之輕銳者、謂之清音。

右表中、ザ行之ジズ、與ダ行之ヂヅ、除四國・九州地方之外、今不分別。

【備考】留學生之中、往々混同此バ行、與次節之バ行。關於ヅ之發音、亦須要與清音之ツ有同様之注意。

バ行	バ
Pa	
ピ	
Pi	
ブ	
Pu	
ペ	
Pe	
ポ	
Po	

【半濁音】「又次清音」

半濁音ハ、原來清音デス。唯此ノ音ト、ハ行バ行ト區別スル爲、古來半濁音又ハ次清音ト謂ヒマス。

半濁音者、原來清音也。但爲區別此音與ハ行バ行之音、古來謂之半濁音或次清音。

キヤ	キ	キ	キ	キ	キ
Kya					
シヤ	シ	シ	シ	シ	シ
SHa					
チャ	チ	チ	チ	チ	チ
CHa					
ニヤ	ニ	ニ	ニ	ニ	ニ
Nya					
ヒヤ	ヒ	ヒ	ヒ	ヒ	ヒ
Hya					
ミヤ	ミ	ミ	ミ	ミ	ミ
Mya					
ギヤ	ギ	ギ	ギ	ギ	ギ
Gya					
ジャ	ジ	ジ	ジ	ジ	ジ
Ja					
ヂヤ	ヂ	ヂ	ヂ	ヂ	ヂ
Ja					
ビヤ	ビ	ビ	ビ	ビ	ビ
Bya					
フヤ	フ	フ	フ	フ	フ
Fya					
ギユ	ギ	ギ	ギ	ギ	ギ
Gyu					
ジュ	ジ	ジ	ジ	ジ	ジ
Ju					
ヂユ	ヂ	ヂ	ヂ	ヂ	ヂ
Ju					
ビユ	ビ	ビ	ビ	ビ	ビ
Byu					
ピユ	ピ	ピ	ピ	ピ	ピ
Pyu					
ギョ	ギ	ギ	ギ	ギ	ギ
Gyo					
ジョ	ジ	ジ	ジ	ジ	ジ
Jo					
ヂョ	ヂ	ヂ	ヂ	ヂ	ヂ
Jo					
ビョ	ビ	ビ	ビ	ビ	ビ
Byo					
ピョ	ピ	ピ	ピ	ピ	ピ
Pyo					



リヤ Rya  
 リュ Ryu  
 リョ Ryo  
 クワ Kwā  
 グワ Gwā

拗音ハ、半母韻ノヤエヨトワヲ、母韻トシタ者  
 デ、口舌ノ機關ヲ屈折シテ、發スル音デス。之ニ對  
 シテ、アイウエオノ五音ヲ、母韻トシタ音ヲ、直音  
 ト謂ヒマス。

【備考】拗音ハ、直音ヨリ、發音ガ非常ニムヅカ  
 シイカラ、最モ努力シテ習ハナケレバナリマセン。  
 其ノ中、キヤキユキヨ、ギャギョギョ、ニヤニ  
 ヌニヨナドハ殊ニムヅカシクアリマス。

【長音】

ア行	アア	ā
イ行	イイ	ī
ウ行	ウウ	ū
エ行	エイ	ē
オ行	オウ	ō

【備考】拗音比較直音、發音甚難。學者最  
 要努力。其中如キヤキユキヨ、ギャギョギョ、ニヤニ  
 ヌニヨ等、實爲至難。

カ行	カア	kā
キ行	キイ	kī
ク行	クウ	kū
ケ行	ケイ	kē
コ行	コウ	kō

(タ行以下略之)

長音ハ母韻ヲ長ク引ク音デス。長音ヲ表ハスニハ、  
 通例右ノ様ニ、アイウノ三母韻ヲ用ヒ、アラテア  
 段ノ長音ヲ寫シ、イヲ以テイエニ段ノ長音ヲ寫シ、  
 ウヲ以テウエニ段ノ長音ヲ寫シマスガ、外來語ニハ  
 多ク長音符(ー)ヲ用ヒマス。例ヘバ左ノ通りデス。

長音者、長引母韻而發之音也。表示長音之法、  
 通例用アイウ三個母韻、用ア寫ア段之長音、  
 用イ寫イエニ段之長音、用ウ寫ウエニ段之長  
 音。但在外國傳來之言語、則常用長音符(ー)  
 例如左表。

ア行	ア	ā
イ行	イ	ī
ウ行	ウ	ū
エ行	エ	ē
オ行	オ	ō



(タ行以下略之)

【備考】長音ヲ發音スルノハ、別ニムヅカシクナ  
イノデスガ、外國人ガ、日本語デ、會話ヲ爲ル場合  
ニハ、往々短音ニ言フ癖ガ有リマス。例ヘバ、洋服  
ヲヨフク、帽子ヲボシト言フ類デス。注意シナケレ  
バナリマセン。

【拗長音】

キヤア	キユウ	キヨウ	ギヤア	ギユウ	ギヨウ
シヤア	シユウ	シヨウ	ジャア	ジュウ	ジヨウ
チャア	チュウ	チュウ	ヂヤア	ヂユウ	ヂヨウ
ニヤア	ニユウ	ニヨウ			
ヒヤア	ヒユウ	ヒヨウ	ビヤア	ビユウ	ビヨウ

【備考】發長音、固無特別之困難。但外國  
人、用日本語交談之時、往々有忘長音而爲短  
音之習。例如以洋服爲ヨフク、以帽子爲ボシ  
之類、須要留神。

ミヤア	ミユウ	ミヨウ
リヤア	リュウ	リヨウ
クヤア		グヤア

拗長音ハ拗音ノ半母韻ヲ長ク引ク音デス。

【備考】拗長音ノ中デ、兩廣方面ノ人ハ、往々キヨ  
ウシヨウチュウナドヲ、キユウシユウチュウニ、發音シ  
マスカラ、注意ヲ要シマス。

【促音】

グツ	キン	(月琴) Gokin	ゴ
キ	ツ	テ (切手) Kite	コ
ニ	チ	ボン (日本) Nippon	イ
ザ	ツ	シ (雜誌) Zasshi	シ

促音ハ、口腔内ニ迫促スル氣息ノ、急激ニ發出スル

拗長音者、長引拗音之半母韻而發者也。  
【備考】拗長音之中、兩廣地方人、往々讀  
キユウシヨウチュウ等、爲キユウシユウチュウ、  
須要注意。

ク	キ	(樂器) Gakki	ク
	ト	ウ (骨董) Koto	ト
	ブ	ン (一分) Ippun	ブ
	サ	ン (出產) Shusan	サ

促音者、口腔内所迫促之氣息、急激發出時所



場合ニ、出來ル聲音デス。

促音ハ單獨ニ發音スルコトハ出來マセン。唯或種ノ音ガ、カ行(K)タ行(T)バ行(P)サ行(S)ノ音ニ接觸スル場合ニ起ル者デス。

【備考】 促音ハ甚ダ微妙ノ音デスカラ、初學者ノ中ニハ、往々之ヲ脱ス者ガアリマス。例ヘバ學校ヲガコウ、玻璃盃ヲコプト言フ類デス。注意シナケレバナリマセン。

【撥音或ハ鼻音】

コ ン ニ チ (今日) セ ン セ イ (先生) キ ン ギ ン (金銀)  
デ ン ワ (電話) デ ン ボ ウ (電報) ユ ウ ビ ン (郵便)  
撥音ハ、氣息ヲ鼻孔ニ通ジ、強ク反撥シテ、發スル聲音デス。撥音モ單獨ニ發スルコトハ出來マセン。

起之聲音也。

促音不能獨自發音、唯是或種之音、接觸于カ行(K)タ行(T)バ行(P)サ行(S)時、所發生之聲音也。

【備考】 促音以甚微妙故、初學者往々脱漏之、例如以學校爲ガコウ、以玻璃盃爲コブ之類。須要注意。

撥音者、通氣息於鼻孔、強力反撥而發之聲音也。撥音亦不能獨自發出、唯附他語之下發出

唯他語ノ下ニ附イテ發スルバカリデス。

【カ行ノ鼻濁音】

ガ Nga キ Ngi グ Ngu ゲ Nge ヒ Nso  
オン ガク (音樂) ズ ガ (圖畫)  
キ ギ レ (木片) ジ ヨ ウ ギ (定規)  
カイ グン (海軍) ド ウ グ (道具)  
キ グ ン (期限) ト グ (刺)  
オウ ゴ ン (黃金) カ ゴ (籠)

耳。

此ノ音ハ、カ行ノ濁音ヲ、鼻カラ發スル場合ニ、出來ル音デス。但シ此ノ音ハ、言語ノ中間或ハ末尾ニ發スルバカリデ、語頭ニハ發シマセン。

【備考】 外國人ハ、此ノ音ヲナ行ア行ノ發音ト、往々混同シマスカラ、注意ヲ要シマス。

此音、以カ行之濁音、發於鼻孔而成者也。但此音獨發於言語之中間或末尾、決不發於語頭。

【備考】 外國人、以此音、往々混同於ナ行ア行之發音、須要注意。



【音韻ノ變化】音韻ノ種類ハ大體上ニ舉ゲタ通り  
 デスガ、此等ノ音韻ガ、互ニ結合スル場合ニハ、種  
 々ノ變化ガ起リマス。之ヲ音韻ノ變化ト謂ヒマス。  
 音韻ノ變化ニハ次ノ様ナ者ガ有リマス。

【轉呼音】轉呼音トハ、假名ヲ發音スルノニ、其  
 ノ原來ノ音ニ隨ハナイデ、他ノ音ニ轉呼スル者ヲ謂  
 ヒマス。例ヘバハ行ノ五音ガ、言語ノ中間或ハ末  
 尾ニ在ル時、之ヲワイウエオノ五音ニ轉呼スル様ナ  
 ノハ、其ノ重ナ者デス。例ヘバ左ノ通りデス。

- ニハトリ(雞) カヒコ(蠶) ユフダチ(夕立) カヘデ(楓)
- コホリ(氷) カハ(皮) ヤマヒ(病) アサユフ(朝夕)
- カナヘ(鼎) シホ(鹽)

此外、轉呼音ニハ、今日(キヨウ)・蝶(チヨウ)・

【音韻之變化】音韻之種類、大略如以上所  
 舉。而此等音韻、相互結合之時、起種々之變  
 化、謂之音韻之變化。音韻之變化、有如以下  
 所舉者。

【轉呼音】轉呼音者、口唱假名、不隨其原  
 來之音、而轉呼他音者、即是。例如ハ行之五  
 音、在言語中間或末尾之時、轉呼之於ワイウ  
 エオ之五音。是其主要之例也。例如左。

此外、轉呼音之中、有如今日(キヨウ)・蝶(チ

言フ(ユウ)・申ス(モウス)・首(コウベ)・符(コウ  
 ガイ)・【以上國語】太陽(タイヨウ)・校長(コウチヨ  
 ウ)・入學(ニユウガク)・料理(リヨウリ)【以上漢語】  
 ナドノ様ナ者モ有リマス。

又延引(エンニン)・因縁(インネン)・云云(ウンヌ  
 ン)・三位(サンミ)・觀音(カンノン)ナドモ、上下ノ  
 二音ヲ連ネル時ニ發スル、一種ノ轉呼音デスガ、カ  
 ウ云フノヲ、特別ニ連聲トモ謂ヒマス。

【音便】音便トハ、發音ノ便ニ隨ツテ、原ノ音ヲ  
 他ノ音ニ轉訛シ、且ツ其レト同時ニ、假名ヲ、其ノ  
 轉訛シタ音ニ、書キ換ヘル者ヲ謂ヒマス。音便ニハ  
 促音便撥音便イ音便ウ音便ナドガ有リマス。

【促音便(又ツ音便)ノ例】

ヨウ)・言フ(ユウ)・申ス(モウス)・首(コウ  
 ベ)・符(コウガイ)・【以上國語】太陽(タイヨ  
 ウ)・校長(コウチヨウ)・入學(ニユウガク)・  
 料理(リヨウリ)・【以上漢語】等類。

又如延引(エンニン)・因縁(インネン)・云々  
 (ウンヌン)・三位(サンミ)・觀音(カンノン)  
 等者、亦連接上下二音之時、所發一種之轉呼  
 音也。但如此之類、特別謂之連聲。

【音便】音便者、隨發音之便、轉訛原音於  
 他音、且寫其假名之時、改爲所轉訛之音者、  
 即是。音便之中、有促音便撥音便イ音便ウ音  
 便等。



行キタ (行ッタ) 勝チタ (勝ッタ) 買ヒタ (買ッタ)  
 取リタ (取ッタ) 引キ張ル (引ッ張ル) 一錢 (イチセン)  
 追ヒ手 (オッテ) 把手 (把手) 雜誌 (ザシ)

【撥音便(又ン音便)ノ例】

死ニタ (シンド) 濟ミタ (スンド) 遊ビタ (遊ンド)  
 其レナラ (ソナラ) 盛リ (サカン) 知ラス (シラン)  
 商人 (アキンド) 手ニ手ニ (テンデニ)

【イ音便ノ例】

書キタ (カイタ) 繼ギタ (繼イダ) 衝立 (ツイタテ)  
 朔 (ツイタチ) 埼玉 (サイタマ) (地名)

【ウ音便ノ例】

問ヒテ (トウテ) 思ヒテ (思ウテ) 河野 (カウノ)

神戶 (カウベ) 小路 (コウヂ) 手水鉢 (テウヅバチ)  
 素人 (シロウト) 黒人 (クロウト) 商人 (アキウト)  
 寒ク (サムウ) 宜シク (宜シウ)

【連濁】

連濁トハ、原來清音デアルベキ語ガ、上ノ語ノ音ニ  
 導カレテ、濁音ニ成ル者ヲ謂ヒマス。例ヘバ、左ノ  
 通りデス。  
 連濁者、原應清音者、爲上部之他語音所引導  
 轉爲濁音者、卽是。例如左。

松葉 (マツバ) 杉林 (スギバヤシ) 三本 (サンボン)  
 信スル (信ズル) 氣附ク (氣ヅク) 日々 (ヒビ)  
 時々 (トキドキ) 金箱 (キンバク) 日本 (ニッポン)  
 三分 (サンブン)

【通音】

通音トハ、同ジ語ノ音ガ、五十音ノ同行或ハ同段  
 通音者、同一語之音、變化于五十音之同行或



ノ音ニ、變化スル者ヲ謂ヒマス。

同行ノ音ニ變化スル例

酒 屋(サカヤ) 白 紙(シラカミ)

聲 色(コワイロ) 木ノ葉(コノハ)

風 車(カザグルマ)

同段ノ音ニ變化スル例

烟(ケムリ) 弔(トムラヒ)

侍(サムラヒ) 荒ム(スサブ)

走ル(ワシル) 私(アタイ)

此ノ外、音韻ノ變化ニハ、延音(例ヘバ、住ムガ住マフト成リ、願グガ願フト成ル類)約音(例ヘバ食ハレルガ食ヘル、善クアラウガ善カラウト成ル類)略音(例ヘバ妹ガイモト、私ガワタシ、河原ガカハ

同段音者也。

變化於同行音之例。

船 歌(フナウタ)

金 物(カナモノ)

變化於同段音之例。

冠(カムリ)

氣味(キビ)

彼(アレ)

此外、音韻之變化、有延音(例如住ム成爲住マフ、願グ成爲ネガフ之類)約音(例如食ハレル成爲食ヘル、善クアラウ成爲善カラウ之類)略音(例如妹成爲イモト、私成爲ワタシ

ラト成ル類)添音(例ヘバ真中、矢張、夫婦ナドガ真中、矢張、夫婦ト成ル類)ナドノ事ガ有リマスガ茲ニハ詳説シマセン。

【文字。假名ト漢字及ビ倭字】

言語及ビ音韻ヲ寫スノニハ、文字ガ必要デス。日本デハ、漢字ト假名ヲ併セテ用ヒマス。漢字ハ、元ト中華カラ、傳ハツタ者デ、假名ハ、日本デ發明シタ者デス。此ノ外倭字ト云フ者ガ少シ有リマス。込込辻神崎驒糺糺

糺 島ナドノ類デス。

【漢字ト假名ノ書體】

漢字ノ書體ハ、楷書 行書 草書ノ三體ガ、普通ニ用ヒラレテ、假名ハ、片假名 平假名ノ二體ガ、最モ廣ク世間ニ用ヒラレマス。片假名ノ書體ハ、前ニ舉ゲタ五十音圖其ノ他ノ通り

河原成爲カハラ之類)添音(例如真中 矢張 夫婦等成爲真中 矢張 夫婦之類)等事。茲不詳説。

【文字。假名與漢字及倭字】

寫言語及音韻以文字爲必要、即在日本併用漢字與假名。漢字原從中華傳來者、假名即日本自所發明者也。其外有少許之倭字者。込込辻神崎驒糺糺 島等類即是。

【漢字與假名之書體】

漢字之書體、普通用楷書行書草書之三體。假名則有片假名、平假名之二體、最廣用於世。片假名之書體、如前舉五十音圖及其他之例。



平假名ノ書體ハ、左ノ通りデス。

あ い う え お か き く  
さ し す せ そ た ち つ と  
な に ぬ ね の は ひ ふ へ ほ  
ま み む め も や い ゆ え よ  
ら り る れ ろ わ ゐ ろ う ゑ を

平假名之書體、如左。

【漢字ノ讀ミ方】漢字ノ讀ミ方ニハ、音訓ノ區別ガ有リマス、音ハ元來支那ノ發音ヲ用ヒテ、漢字ヲ讀ム者デ、訓ハ日本ノ國語ニ譯シテ、漢字ヲ讀ム者デス。例ヘバ

山川草木花鳥風月  
ナドノ様ナ漢字ヲ、山川草木花鳥風月ト讀ムノ

【漢字之讀法】漢字之讀法有音讀訓讀之區別、音讀者原來用中華之發音、以讀漢字者是、訓讀者用日本之國語、譯讀漢字者是也。例如

山川草木花鳥風月  
等漢字、讀之爲山川草木花鳥風月者、即

ハ、即音デス。又之ヲ山川草木花鳥風月ト讀ムノハ訓デス。

【備攷】倭字ニハ訓バカリデ、音ハ有リマセン。

【吳音漢音唐音ノ區別】漢字ノ音ニハ、吳音漢音唐音ノ區別ガ有リマス。吳音ハ元支那ノ南方ノ音デ、一番舊ク傳ハツタ者デス。佛語ヤ俗語ニハ、吳音ヲ用ヒル者ガ多ウゴザイマス。漢音ハ支那ノ北方ノ音デ、吳音ノ次ニ傳ハツタ者デス。漢籍其ノ他一般ノ學問上ニハ、重ニ漢音ヲ用ヒマス、唐音ハ支那ノ宋朝以後、段々ニ傳ハツタ音デス。併シ唐音ヲ用ヒル語ハ、至ツテ少ナウゴザイマス。

今行京明ノ三字ニ就イテ、三種ノ漢字音ヲ、比較シテ見レバ、即左ノ通りデス。

音讀也。又讀之爲山川草木花鳥風月者、即訓讀也。

【備攷】倭字則但有訓讀而無音讀。

【吳音漢音唐音之區別】漢字音讀有吳音漢音唐音之區別。吳音本來屬中華南方音、其傳舊。佛語及俗語、用吳音者甚多。漢音屬中華北方音、次吳音傳來。在漢籍及其他一般學術上則專用漢音。唐音、中華宋朝以後漸次傳來者也。但用唐音之語、至少。

今試就行京明三字、比較三種之漢字音、則如左。



吳音 行狀 東京 明日  
漢音 品行 京師 明白  
唐音 行宮 北京 明朝

【漢字ノ部首】 漢字ノ部首ハ偏傍冠構等ノ名ガ有リマス。例ヘバ、人偏(イ)三水(ミ)木偏(木)手偏(手)土偏(土)金偏(金)獸偏(豸)言偏(言)等ハ偏デス。

立刀(リ)ル又(父)コ又(彡)等ハ傍デス。

國構(口)門構(門)等ハ構デス。

ワ冠(一)ウ冠(宀)穴冠(宀)竹冠(竹)草冠(艸)等ハ、冠デス。

此ノ外、雁垂(厂)麻垂(广)之繞(辵)走繞(走)連火(灬)等モ部首デス。

【漢字之部首】 漢字之部首、有偏傍冠構等

之名。例如人偏(イ)三水(ミ)木偏(木)手偏(手)土偏(土)金偏(金)獸偏(豸)言偏(言)等即偏也。

立刀(リ)ル又(父)コ又(彡)等即傍也。

國構(口)門構(門)等即構也。

ワ冠(一)ウ冠(宀)穴冠(宀)竹冠(竹)草冠(艸)等、即冠也。

此外、雁垂(厂)麻垂(广)之繞(辵)走繞(走)連火(灬)等、亦部首也。

第二篇 品詞概説

【詞又單語】 我々ノ聲音ニハ、意義ノ有ル者ト、無イ者ガ有リマス。其ノ意義ノ有ル者ハ、詞トモ謂ヒ、又單語トモ謂ヒマス。

【單語ノ分類】 單語ヲ分ケテ、九通リトシマス。

名詞代名詞動詞形容詞助動詞助詞副詞接續詞感歎詞デス。此ノ九通リノ單語ノ類別ヲ、九品詞ト謂ヒマス。

【名詞】 名詞ハ、事物ノ名ヲ表ハス詞デス。例ヘバ左ノ通リデス。

- |     |     |    |    |    |    |   |   |    |    |
|-----|-----|----|----|----|----|---|---|----|----|
| 鳥   | 獸   | 魚  | 蟲  | 火  | 水  | 土 | 金 | 孔子 | 釋迦 |
| 拿破崙 | 俾斯麥 | 政治 | 法律 | 智識 | 道德 | 心 | 慾 | 昔  | 色  |
| 魂   | 戰   | 商  | 嘘  | 眞  | 春  | 夏 | 今 | 昔  | 色  |

【詞又單語】 吾人音聲、有有意義者。有無意義者。其有意義者謂之詞。又謂之單語。

【單語之分類】 單語分爲九種。名詞、代名詞、動詞、形容詞、助動詞、助詞、副詞、接續詞、感歎詞、是也。以上九種之單語類別、謂之九品詞。

【名詞】 名詞、表白事物之名者也。例如左。



【代名詞】 代名詞ハ、名詞ノ代リニ、用ヒル詞デス。例ヘバ、左ノ様ナ類デス。

- 第一 私 アナタ ドナタ 君 僕
- 第二 コレ ソレ アレ ドレ 何
- 第三 此處 其處 彼處 何處
- 第四 コチラ ソチラ アチラ ドチラ
- コッチ ソッチ アッチ ドッチ

【代名詞】 代名詞、代用于名詞之詞也。例如左之類即是。

右ノ例ノ第一ハ、人ノ名ノ代リニ用ヒル詞デス。之ヲ人代名詞ト謂ヒマス。第二第三第四ハ、事物ノ地位ヤ方向ナドノ名詞ノ代リニ、用ヒル詞デス。之ヲ指示代名詞ト謂ヒマス。

【動詞】 動詞ハ、事物ノ動作ヲ、表ハス詞デス。例ヘバ、左ノ様ナ類ノ詞デス。

右例第一、代用于人名之詞也。謂之人代名詞。第二第三第四代用于事物地位方向等名詞者也。謂之指示代名詞。

【動詞】 動詞表白事物動作之詞也。例如左之詞類是。

第一 犬ガ吠エル。

雀ガ鳴ル。

草ガ生エル。

木ガ枯レル。

學生ガ本ヲ讀ム。

兵隊ガ鐵砲ヲ持ツ。

子供ガ紙鳶ヲ揚ゲル。

車夫ガ車ヲ曳ク。

犬吠。

雀鳴。

草長。

樹枯。

學生念書。

兵隊拿槍。

小孩兒放風箏。

車夫拉車。

【動詞ノ區別】 動詞ニハ、自動詞ト他動詞ノ、區別ガ有リマス。右ノ例ノ第一ハ自動詞デ、第二ハ他動詞デス。

自動詞ハ、動詞ノ動作ノ、他ノ事物ヲ處置シナイ者ヲ謂ヒマス。他動詞ハ動詞ノ動作ノ他ノ事物ヲ處置

【動詞之區別】 動詞有自動詞與他動詞之區別。右例第一即自動詞也。第二即他動詞也。

自動詞者、動詞之動作、不處置他事物者、是也。他動詞者、動詞之動作、處置他事物者是也。



スル者ヲ謂ヒマス。他動詞ノ上ニハ、常ニ助詞ノヲヲ帶ビル者デス。

【形容詞】 形容詞ハ、事物ノ狀態ヤ、性質ナドヲ表ハス詞デス。例ヘバ左ノ様ナ詞デス。

地球ハ圓イ。

世界ハ廣イ。

議論ハヤサシイ。

實行ハムヅカシイ。

低イ家。

淋シイ村落。

【助動詞】 助動詞ハ、重ニ動詞ノ下ニ添ツテ、色々ナ意味ヲ、附ケ加ヘル詞デス。又名詞・形容詞・或ハ他ノ助動詞ニ添フ者モ有リマス。例ヘバ左ノ通り

也。又他動詞之上頭、常帶有助詞之ヲ者也。

【形容詞】 形容詞者、表白事物之狀態性質之詞也。例如左之詞類是。

地球圓。

世界廣。

議論易。

實行難。

矮房子。

冷々清々の村莊。

【助動詞】 助動詞者、主添于動詞之下、附加諸種之意義之詞也。又有添于名詞・形容詞・或他助動詞者。例如左。

デス。

國ガ、富マウ。

家ガ、榮エヨウ。

人ニ、褒メラレル。

子供ニ、學問ヲ習ハセル。

此處ハ、教場デス。

彼處ハ、應接所ダ。

冬ハ、熱クナイ。

私ハ、知リマセン。

アナタハ、何時歸ラレマシタ。

此ノ水ハ、飲マレマスマイ。

右ノウヨウラレルセルデスダナインマス(マセ)マイ

レレナドハ、皆助動詞デス。

國將富。

家將榮。

被人贊賞。

使小孩子肄學業。

此處是講堂。

彼處是客廳。

冬天不熱。

我不知道。

你幾時回來丁。

這個水怕是不能喝。

右之ウヨウラレルセルデスダナインマス(マセ)マイレレ等、均爲助動詞。



【助詞】 助詞ハ、重ニ語ト語ノ關係ヲ表ハス者デス。又疑問ヤ感歎ナドノ意味ヲ、表ハス者モアリマス。

犬ガ、鹿ヲ逐フ。 犬ガ鹿ヲ逐フ

本ハ、机ノ上ニ在ル。 本ハ机ノ上ニ在ル

太郎モ、次郎ト、紙鳶ヲ揚ゲテ遊ブ。

學校ヘ行ケバ、色々ナ事ヲ覺エル。

某サンノ郷里カラ歸ル日ハ、何時デスカ。

此ノ繪ハ、奇麗ダナア。

サヨウデスネイ。

以上ノガラハノニモトテヘバノカラナドハ、語ト語ノ關係ヲ表ハシ、カハ疑問、ナアネイハ感歎ヲ表ハシテ居リマス。カウ云フノヲ、總ベテ助詞ト云ヒマス。

【副詞】 副詞ハ、動詞・形容詞・及ビ他ノ副詞等ノ

【助詞】 助詞者、主在表白此語與彼語之關係者也。又有表白疑問或感歎等意者。

狗逐鹿。

書在卓子上。

太郎也與次郎放風箏遊玩。

若上學堂去、就記得各樣的事。

某君、從故鄉回來的日子、是幾時呢。

這個畫、好看哪。

是啊。

以上所舉之ガラハノニモトテヘバノカラ等、表白此語與彼語之關係、カ者、表白疑問、ナアネイ者、表白感歎。如此之詞、總稱之爲助詞。

【副詞】 副詞者、添于動詞形容詞及他副詞

上ニ添ツテ、其等ノ詞ノ意義ヲ、限定スル詞デス。

例ヘバ、左ノ通りデス。

埃ガ、ヒドク立チマス。

風ガ、大變吹キマス。

時勢ガ、段々進歩シマス。

私ハ、決シテ嘘ヲ言ヒマセン。

此ノ問題ハ、大變ムズカシウゴザイマス。

オイエ。極優シウゴザイマス。

彼ノ人ハ、餘程剛情ナ人デス。

是カラハ、氣候ガ段々寒クナリマス。

丁度今、授業ノ始マル鐘ガ、鳴リマシタ。

私ノ希望ハ、唯一ツ有リマス。

學問ノ研究ハ、彌精密ニ成リマス。

等之上頭、而限定此等諸詞之意義者也。例如

左。

塵埃大起。

颶大風。

時勢漸々進歩。

我決不撒謊。

這個問題很難。

不是，很容易。

他很是剛愎的人。

從此以後、氣候漸々の冷了。

現在正是打了上堂鐘了。

我的希望、只有一個。

學問的研究、越發的精密了。



【接續詞】 接續詞ハ、甲乙ノ語句ヤ文章ヲ、接續スル詞デス。

水又ハ空氣ハ、動物ノ生存上ニ、最モ必要ナ者デス。新シイ智識ヲ、得ヨウトスルニハ、新聞或ハ雜誌ヲ讀ムノガ必要デス。

右ノ例ハ、接續詞ガ、甲乙ノ單語ヲ、接續シタ者デス。午前ハ復習ヲシテ、ソレカラ、午後ノ散步ニ行キマセウ。

アノ方ハ、學問モ有リ、又智慧モ有ル方デス。右ノ例ハ、接續詞ガ、甲乙ノ句ヲ接續シタ者デス。私ハ賛成シマセウ。併シ、皆サンノ意見ハ分リマセン。

夏ハ熱ウゴザイマス。ケレドモ冬ハ寒ウゴザイマセン。

【接續詞】 接續詞者、接續甲乙之語句或文章之詞也。

水與空氣、于動物生存上、是最要緊的。若要得新智識、就念新聞、或是念雜誌、那是要緊的。

右例接續詞、接續甲乙之單語者也。午前溫習、然後午後散步去。

他是有學問、而且有智慧的人。右例接續詞、接續甲乙之句者也。我要贊成、但是諸君的意見、我還不明白。

夏天熱、可是冬天冷。

ス。

右ハ、接續詞ガ、甲乙ノ獨立シタ文章ヲ、接續シタ例デス。

【感歎詞】 感歎詞ハ、我々ガ、喜ンダリ、怒ツタリ、哀シンダリ、懼レタリ、驚イタリスル場合ニ、自然ニ、口外ニ出ル聲音デス。

- アア愉快ダ。
- エイ忌々シイ。
- アア残念ダ。
- アライヤダ。
- オウ怕イ。
- オヤ、驚イタネイ。

【接頭語及ヒ接尾語】 以上ノ九品詞ノ外ニ、接頭

右例接續詞、接續甲乙之獨立文章者也。

【感歎詞】 感歎詞者。在吾人之喜怒哀懼驚異等之際、自然發于口外之聲音也。

- 啊、痛快。
- 嘿、可厭忌。
- 啊、痛恨。
- 噯、可厭。
- 噯喲、害怕。
- 噯、嚇了一跳。

【接頭語及接尾語】 以上九品詞之外、有接



語及ビ接尾語ガアリマス。併シ此ノ二語ハ、獨立ノ  
效用ガ無クツテ、唯他語ノ頭尾ニ添ツテ、熟語様ノ  
品詞ヲ作ルバカリデス。サウシテ、其ノ添加シテ、  
出來タ所ノ語ハ、必ズ九品詞中ノ、ドレカ一ツノ、  
詞ニ屬スル者デスカラ、之ヲ一個ノ獨立品詞ト認メ  
ナイノデス。

御老人

御茶

素肌(赤裸々)

真心(赤心)

タ易イ(容易)

差シ上ゲル(奉上)

右ノ例ノ御御素眞タ差シ等ハ、即接頭語デス。ナゼ  
ナラバ、其ノ語自身ハ、獨立ノ效用ヲ爲ルコトガ無  
クツテ、唯他語ノ頭ニ添ツテ、熟語ノ名詞動詞形容  
詞等ヲ、作ルカラデス。

私(等)我(們)

御前達(你們)

アナタ方(您們諸位)

頭語及接尾語。但此二語未有獨立之功用、僅  
添加于他語之頭部及末尾、而作成熟語様之品  
詞耳。且添加而所作成之語、必隸屬於九品詞  
之某詞。故不認之爲一個獨立品詞也。

右例之御御素眞タ差シ等即接頭語也。何則、  
以其語自身不爲獨立效用、唯添于他語上頭而  
作成熟語之名詞動詞形容詞等故也。

天子様(皇上)

皆サン(諸君)

深(サ)深度

才子ブル(裝才子的様子)

古ビル(成了舊様子)

忘レツボイ(易忘)

右ノ例ノ等達方様サンサブルビルポイ等ハ接尾  
語デス。何トナレバ、是等ノ語ハ、獨立シテハ、何  
等ノ意味モ效用モ有リマセン。唯他語ノ尾ニ添ツ  
テ、熟語ノ名詞代名詞動詞形容詞ナドヲ、作ルバカ  
リダカラデス。

第三篇 文章概説

【文又文章】 二個以上ノ單語ヲ結合セテ、一個ノ  
完全ナ思想ヲ表ハシタ者ヲ、文又ハ文章ト云ヒマス。

【文ノ主成分】 文ノ構成ニハ、左圖ノ様ナ要素ガ  
要リマス。之ヲ文ノ主成分ト云ヒマス。

第一 主語 説明語

右例之等達方様サンサブルビルポイ等者  
接尾語也。何則、此等詞、獨立則竝無何等意  
義效用、唯添于他語末尾、以作成熟語之名詞  
代名詞動詞形容詞等故也。

【文或文章】 結合二個以上之單語、表明一  
個完全思想者、謂之文或文章。

【文之主成分】 文之構成、須要如左圖之要  
素。謂之文之主成分。

第一、由二要素成立



第二	主語	補足語	說明語
第三	主語	客語	說明語
第四	主語	客語	補足語
		補足語	說明語

第一 例

自動車ガ	走ル。
飛行機ガ	飛ブ。
智慧ガ	有ル。
徳ガ	高イ。
コレハ	旨イ。
ソレモ	オイシイ。
逢フハ	嬉シイ。
別レルハ	ツライ。
僕ハ	學生ダ。
アナタハ	商人デス。

第二	由三要素成立
第三	由三要素成立
第四	由四要素成立

第一 例

汽車走。
飛機飛。
有智。
徳高。
這個好吃。
那個也好吃。
相遇可喜。
別離可悲。
我是學生。
您是買賣人。

右ノ文ハ、主語(一)ト說明語(一)カラ出來テ居マ  
ス。主語ハ文ノ主題ト成ル者デ、文ノ上位ニ在リマ  
ス。說明語(又述語)ハ、主語ノ動作・存在・性質・狀  
態ナドヲ表ハス者デ、文ノ下位ニ在リマス。主語ハ  
名詞・又ハ名詞ト同資格語(即チ名詞性ノ語)カラ成  
リ立チマス。說明語ハ動詞・形容詞或ハ名詞ノダデ  
スヲ帶ビタ者カラ成リ立チマス。

第一 例

影ガ	水ニ	映ル。
犬ガ	馬ト	競走スル。
君ハ	故郷ヘ	歸ル。
恩知ラズハ	犬ヨリ	劣ル。
泉ハ	地カラ	湧ク。
恩ハ	骨マデ	沁ミル。

右文是由主語(一)與說明語(一)成立。主語乃  
爲文之主題者、而在文之上位。說明語(又稱  
述語)乃表示主語之動作・存在・性質・狀態等  
者、而在文之下位。主語由名詞或與名詞同資  
格語(即名詞性語)成立。說明語由動詞・形容  
詞・或名詞之帶有ダデス者而成立。

第二 例

影映於水。
狗與馬競走。
你回故郷去。
忘恩者劣於狗。
泉從地下湧出。
恩深徹骨。



例 AハBニ等シイ。  
ソレハコレト同ジダ。

右ノ文ハ、主語ト説明語トノ中間ニ、補足語(一)ヲ挿入者デス。補足語ハ動詞・形容詞ガ説明語ト成ツテ、其ノ意義ノマダ完全シナイ場合ニ、之ヲ補足スル者デス。試ミニ右ノ文カラ、補足語(一)ヲ除ケバ、意義ノ不完全デアルコトガ分リマセウ。補足語ハ名詞又ハ名詞ト同資格語(即名詞性語)カラ成リ立チマス。補足語ニハニトヘヨリカラマデナドノ助詞ヲ添ヘマス。

第 三 軍隊ガ 國ヲ 護ル。  
國民ガ 愛國稅ヲ 負擔スル。  
三ハ子ガ 親ヲ 養フ。

例 A等於B。  
那個是和這個一樣的。

右之文章、是於主語與說明語之中間、挿入補足語(一)者也。補足語乃動詞・形容詞、爲說明語、而意義未得完全時、補足之者也。試從右文、除去補足語、則可知意義之不完全也。補足語者、由名詞或與名詞同資格語(即名詞性語)而成立。補足語添加ニトヘヨリカラマデ等之助詞。

第 三 軍隊護國  
國民負擔愛國稅。  
三ハ子養父母。

例 ノ 親ガ 子ヲ 養ケル。  
酒ハ 憂ヒヲ 忘レル。  
醉ヒハ 苦シミヲ 増ス。

右ノ例ノ様ニ、説明語ガ他動詞カラ成リ立ツ時ハ、他動詞ノ目的語即チ客語(一)ヲ要シマス。客語モ名詞又ハ名詞ト同資格語(即名詞性ノ語)カラ成リ立チマス。客語ニハ助詞ノヲヲ添ヘマス。

第 四 父ガ 息子ニ 財産ヲ 譲ル。  
息子ガ 父カラ 財産ヲ 貰フ。  
國家ガ 功勞者ニ 勳章ヲ 授ケル。  
預金者ガ 金ヲ 銀行ヘ 預ケル。  
銀行ガ 金ヲ 預金者カラ 預カル。  
傳令使ガ 命令ヲ 司令官カラ 隊長ヘ 傳

之 父母教育子女。  
酒忘憂。  
喝醉增苦。

如右例、説明語由他動詞成立時、須要他動詞之目的語即客語(一)。客語亦由名詞或與名詞同資格語(即名詞性語)而成。客語添加助詞ヲ。

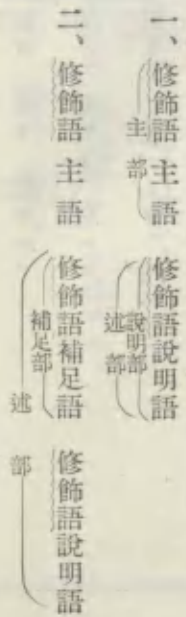
父傳財產於子。  
子受財產於父。  
國家授勳章於功勞者。  
存款人、把錢寄存銀行。  
銀行、由存款人、把錢收存。  
傳令使、由司令官、傳命令於隊長。



例

へル。  
野蠻人ガ 玉ヲ 烟草ト 換へル。  
國士ガ 節義ヲ 生命ヨリ 重ンズル。  
右ノ文ハ、説明語ガ或種ノ他動詞カラ成ル者デス。  
或種ノ他動詞ハ、客語(一)ノ外、更ニ補足語(一)ヲ  
要シマス。客語ト補足語ノ位置ハ、互ニ上下ニ成ツ  
テモ、差支ヘアリマセン。

【修飾語】 文ノ主成分ハ、各自修飾語ヲ添ヘテ、  
ソノ組織ヲ複雑ニスルコトガ出来マス。即チ左圖ノ  
通りデス。



例

野蠻人、把寶玉換烟。  
國士重節義、勝於生命。(士捨生取義)。  
右之文章、是説明語、由或種之他動詞、成立  
者也。或種之他動詞、是客語以外、更要補足  
語(一)者也。客語與補足語之位置、雖相互上  
下可也。

【修飾語】 文之主成分者、得各添加修飾語、  
而複雜其組織、即如左圖。

一ノ例	流線型ノ自動車ガ 飛ブ様ニ駛ル。	主語	客語	說明語
二ノ例	北極ノ冬ハ 大變寒イ。	主語	說明語	
三ノ例	松ノ影ガ 池ノ水ニ 倒ニ映ル。	主語	補足語	說明語
四ノ例	銃後ノ國民ガ 第一線ニ立ツ軍隊ヲ 熱心ニ激勵スル。	主語	客語	說明語
五ノ例	年取ツタ父ガ 若イ息子ニ 數萬ノ財産ヲ 殘ラズ讓ル。	主語	補足語	客語

【形容詞性修飾語ト、副詞性修飾語】 名詞ニ繋ル

流線型的汽車、如飛快走。  
北極の冬天很冷。  
松影倒映於池水。  
在銃後之國民、熱心激勵前線之軍隊。  
老年的父親、把鉅萬的財產、全部傳與年輕的兒子。

【形容詞性修飾語、與副詞性修飾語】 繫於



修飾語ハ、形容詞的效用ヲ爲ル者デスカラ、形容詞性修飾語ト謂ヒマス。動詞形容詞ニ繋ル修飾語ハ、副詞的效用ヲ爲ル者デスカラ、副詞性修飾語ト謂ヒマス。前例ノ流線型ノ松ノ等ハ、被修飾語ガ名詞デスカラ、形容詞性修飾語デス。飛ブ様ニ大變ナドハ、被修飾語ガ動詞・形容詞デスカラ、副詞性修飾語デス。其ノ他ハ推シテ知リナサイ。

【主部ト述部】主語ト其ノ修飾語ヲ合セタ者ヲ、主部ト謂ヒマス。客語・補足語・説明語ト、各語ノ修飾語ヲ合セタ者ヲ、述部ト謂ヒマス。前圖ノ通りデス。

【備攷】文章ヲ見ルニハ、第一ニ先ヅ全文ノ主語ヲ發見シ、第二ニ説明語ヲ發見スルノガ、一番肝要

名詞之修飾語、乃與形容詞作一樣之效用者也。故謂之形容詞性修飾語。繫於動詞・形容詞之修飾語、乃與副詞作一樣之效用者也。故謂之副詞性修飾語。如前例之流線型ノ松ノ等、因被修飾語爲名詞故、乃爲形容詞性修飾語。如飛ブ様ニ大變等、因被修飾語爲動詞形容詞故、乃爲形容詞性修飾語。其他類推可也。

【主部與述部】併合主語與其修飾語、謂之主部。併合客語・補足語・説明語・與各語之修飾語、謂之述部。乃如前圖。

【備攷】看破文章之法、第一先發見全文之主語、第二發見其説明語。最爲切要。其他都

デス。其ノ他ハ、總ベテ主語ト説明語トノ附屬物デス。

【獨立部】文ノ成分ト關係ノナイ部ヲ、獨立部ト謂ヒマス。

太郎ヤ 御前ハ 御飯ヲ食ベマシタカ。

イイエ 僕ハ御飯ヲマダ食ベマセン。

ハイ 私ハモウ御飯ヲ戴キマシタ。

オヤ 又雨が降り出シタ。

コレコレ 貴様ハ何デソナ惡戯ヲ爲ルノカ。

學校ハ卒業シタ。ケレドモ 就職ハ困難デス。

日曜日ハ休暇デス。但シ 特別班ハ例外デス。

右ノ様ニ呼懸ケ(太郎ヤ) 應答(ハイ、イイエ) 感歎

(オヤ、コレコレ) 接續(ケレドモ、但シ) ナドヲ表ハ

是主語與説明語之附屬物。

【獨立部】與文之成分不相關係之部、謂之獨立部。

太郎！。你吃飯了麼。

不。我還沒吃飯。

是。我已經吃飯了。

哎呀。又下起雨來了。

嘿。你爲甚麼那麽樣作耗呀。

學校呢、畢業了。可是。就職是難。

禮拜日放假。但是。特別班爲例外。

如右表示喚呼・應答・感歎・接續等者、與文之各部不相關係、如此之語、謂之獨立部。



部ト謂フノデス。ス語ハ、文ノ各成分ト關係ガ有リマセンカラ、獨立

【成分ノ倒置】文ハ主語・客語・補足語・説明語ノ順序ニ排列スルノガ、正式デスガ、語勢ヲ強メ、調子ヲ整ヘル爲ニ、此ノ順位ヲ顛倒スルコトガアリマス。之ヲ文ノ倒置法(又倒叙法)ト云ヒマス。

客ガ、裏門カラ、ハヒツテ來タ(正叙)  
主語 補足語 說明語  
裏門カラ、客ガ、ハヒツテ來タ。

ハヒツテ來タ。客ガ、裏門カラ、(倒叙)  
ハヒツテ來タ。裏門カラ、客ガ、

月ガ、出タ、出タ。(正叙)  
主語 說明語 說明語  
出タ、出タ。月ガ、(倒叙)

君ハ、一體、ドウシタシダ。(正叙)  
主語 修飾語 說明語

【成分之倒置】文之排列、照主語・客語・補足語・説明語之序次排列者、爲正式。雖然、爲加強語勢・整齊調子、有時顛倒此順位。謂之文之倒置法・或倒叙法。

客人從後門、進來了。(正叙)  
從後門、客人進家裡來了。

客人進來了、從後門。  
從後門、進來了客人。

月亮出來了。(正叙)  
出來了月亮。(倒叙)

你到底是怎麼了呢。

ドウシタシダ。一體、君ハ、(倒叙)

【成分ノ省略】文ノ成分ハ、省イテモ、意味ガ明瞭ナ時、又ハ繁雜ヲ避ケル爲ニ、之ヲ省略スルコトガアリマス。

梅子ヤ(オ前) オサラヒヲシナサイ。  
主語ノ省略 波ヒ

(アナタハ)ドウカ(私ヲ)御許シ下サイ。  
主語ノ省略 客語ノ省略

(先生ハ)ドウゾ此方へ(御通り下サイ)。  
主語ノ省略 說明語ノ省略

一寸ノ蟲ニモ五分ノ魂(ガ) 有ル。(諺)  
主語ノ省略 主語ノ助詞 說明語ノ省略

蓼(ヲ)食フ蟲モ好キ好キ(ダ)。(諺)  
客語ノ助詞省略 語尾ノ省略

天ニモ地ニモ我獨リ(尊イ)  
說明語ノ省略

下種ノ智慧ハ後カラ(出ル)。(諺)  
說明語ノ省略

怎麼了、您到底。

【成分之省略】文之成分、意思明白之時、或爲避繁雜、有時從省略 謂之成分之省略。

阿梅呀。(你)溫習々々罷。

請(您)寬恕(我)。

(先生)請(進)這兒。

一寸的小蟲還有五分的膽力。

吃蓼的蟲子、也各從所好。

天上天下唯我獨尊。

下愚事後纔知(過後聰明)。



【句】(Clause) 文ノ成分ヲ具備シナガラ、獨立シナイデ、或文ノ一部ト成ツテ居ル者ヲ、句ト謂ヒマス。句ハ其ノ效用ニ因ツテ、形容詞句・副詞句・名詞句・叙述句ナドノ名ガ有リマス。

雨ガ降ル(文) 雨ノ降ル 夜ハ 寒イ。  
主語 說明語 文ノ主語 文ノ說明語

天氣ガ好イ(文) 天氣ノ好イ 日ハ 暖イ。  
主語 說明語 文ノ主語 文ノ說明語

誰モ人ヲ愛スル(文) 誰モ 心掛ケノ好イ 人  
主語 客語 說明語 文ノ主語 主語 說明語 文

ヲ 愛スル。  
ノ客語 文ノ說明語

右ノ句ハ、名詞ニ聯ツテ、形容詞ノ效用ヲシテ居マスカラ、形容詞句ト謂ヒマス。

風ガ吹ク(文) 風ガ吹ケバ 花ガ 散ル  
主語 說明語 文ノ主語 文ノ說明語

【句】(Clause) 雖具備文之主成分、而不獨立、唯爲或文之一部者、謂之句。句、因其效用、有形容詞句・副詞句・名詞句・叙述句等之名稱。

下雨。 下雨的夜裡冷。

天氣好。 天氣好的日子暖和。

誰也愛人。 誰也愛意思好的人。

右句、是聯接于名詞、而爲形容詞性之效用。故謂之形容詞句。

颶風。 若是颶風、花兒就落。

節ガ面白イ(文)

主語 說明語

島ノ 娘ガ 節 面白ク 民謡ヲ 唱フ  
修 文ノ主語 主 說 文ノ客語 文ノ說明語

春ガ來タ(文) 春ガ來タカラ 日ガ 長イ。  
主語 說明語 文ノ主語 文ノ說明語

右ノ句ハ、動詞・形容詞ニ繫ツテ、副詞ノ效用ヲシテ居マスカラ、副詞句ト謂ヒマス。

月日ガ立ツ(文)

主語 說明語

月日ノ立ツハ 流レル水ヨリ 速イ。  
主語 說明語 修飾語 文ノ說明語

禮儀ハ人ヲ 神聖ニスル者ダ(文)

主語 客語 補足語 說明語

シエイクスピアハ 禮儀ハ人ヲ 神聖ニスル者ダ  
文ノ主語 主語 客語 補足語 說明語

ト言ツタ。  
文ノ說明語

腔調有趣。

海島の姑娘、腔調很有趣的唱民謠。

春天到了。 春天到了。所以白天長。

右句乃聯接于動詞形容詞、爲副詞之效用者、故謂之副詞句。

光陰逝。

光陰之逝、速於流水。

禮儀使人如神聖。

シエイクスピア說過、禮儀使人如神聖。



船乗リガ船ト一緒ニ殉死スル(文)。

兵士ガ戰場デ討死スル(文)。

船乗リガ船ト一緒ニ殉死スルハ、兵士ガ戰場デ討死スルト同ジダ。

腹ガ減ル(文)

僕ハ小説ヲ讀ムト、腹ノ減ル(ヲ)モ忘レル。

右ノ句ハ、名詞ト同ジ様ニ、主語ヤ客語ヤ補足語ノ效用ヲシテ居マスカラ、名詞句ト謂ヒマス。

見識ガ有ル(文) 彼ハ見識ガ有ル。

眼ガ碧イ(文) 白色人種ハ眼ガ碧イ。

船員與船殉死。

兵士戰歿於戰場。

船員之與船殉死、猶兵士之陣歿於戰場。

肚子餓了。

我一讀小說、就忘了肚子餓。

右句是與名詞同爲主語客語補足語之效用者也。故謂之名詞句。

有識見。 他有識見。

眼睛綠。 白色人種、眼睛綠。

右ノ句ハ、説明語ニ代用セラレテ、總主語ノ動作狀態等ヲ説述シテ居マスカラ、叙述句ト謂フノデス。

【小句又不完全句】(phrase)二個以上ノ單語ガ連結シテ、一團ヲ爲シテ居ルガ、句ノ様ニ文ノ成分ヲ完備シテ居ナイ者ヲ、小句又ハ不完全句ト謂ヒマス。小句モ效用ニ因ツテ、名詞小句・形容詞小句・副詞小句・叙述小句ナドノ名ガ有リマス。

知ツテ言ハナイハ不忠ダ。

徳ヲ積ムハ 實ヲ積ムニ 優ル。

鹿ヲ逐フ者ハ山ヲ見ナイ。

ラデオヲ聴ケバ、日々ノ出來事ガ、何デモ分

右句代用於説明語、説述總主語之動作狀態等者也。故謂之叙述句。

【小句或不完全句】(phrase)雖二個以上之單語、連結而爲一團、而完備文之成分、不如句者、謂之小句或不完全句。小句亦因其效用、有名詞小句・形容詞小句・副詞小句・叙述小句等之名稱。

知而不言、不忠也。

積德優於積實。

逐鹿者不見山。

若是聽ラデオ、每天發生的事情、無論甚麼、都明白。



子供ハドウカスルト、名言ヲ吐ク。  
主語 副詞小句 客語 説明語

アレノ法螺吹キハ、玉ニ疵ダ。  
名詞小句(主語) 叙述小句

農村ノ青年ガ、銀ヲ持ツヨリモ、ペンヲ持ツ  
主語 副詞小句 形容小句 方

ヲ、好ム 様ニ 成ツダ。  
補尾語 説明語

### 第四篇 品詞詳説

#### 第一章 名詞

【固有名词ト普通名词】 名词ニハ二色有リマス。一ツヲ固有名词ト謂ツテ、一ツヲ普通名词ト謂ヒマ

ス。固有名词トハ、特別ノ或一ツノ物事ニ限ツテ、用ヒル名词デス。例ヘバ左ノ通りデス。

【固有名词ト普通名词】 名词有二種。第一謂之固有名词、第二謂之普通名词。固有名词云者、局限特別之一事物、而用之名词也。例如左。

英吉利 佛蘭西 富士山 楊子江 豐臣秀吉 ワシントン(華盛頓) 論語  
バイブル(基督教) 日露戦争 海牙會議 本願寺 東京帝國大學 日本銀行

普通名词トハ、同ジ種類ノ物事ニ通ジテ、一般ニ用ヒル名词デス。例ヘバ左ノ通りデス。  
國 山 川 人 書物 戦争 會議 寺 學校 銀行 風俗  
習慣 ヲシヘ(教) イマシメ(戒) クルシミ(苦) タノシミ(樂)  
ツトメ(務) オコナヒ(行)

【數詞】 數詞ハ、名词ノ一種デス。數詞ニハ、固有ノ日本語數詞ト、漢字音數詞ガアリマス。  
有之日本語數詞與漢字音數詞。

固有ノ日本語數詞。ひとつ ふたつ みっつ よっつ ひとつ ひとつ ひとつ  
ななつ やっつ このつ とど 漢字音數詞。 一 二 三 十 百 千 萬 億

【數量數詞ト序次數詞】 數詞ハ、其ノ效用ニ因ツ  
【數量數詞與序次數詞】 數詞因其效用、分







第二章 代名詞

代名詞ヲ分ケテ、指示代名詞ト、人代名詞ノ、ニツ  
ニ爲ルコトハ、既ニ第二篇デ講設シマシタガ、今此  
ノ處デハ、此ノニツノ代名詞ヲ、一層細カク分類シ  
テ、説明シマセウ。

〔指示代名詞ノ細別〕 事物・地位・方向ノ指示代名  
詞ハ、近稱 中稱 遠稱 疑問稱 不定稱ノ五ツニ分ケ  
ルコトガ出來マス。之ヲ一ツノ表ニ書キ列ネレバ、  
左ノ通りデス。

地位代名詞	ココ	近稱
事物代名詞	ソソ	中稱
	アア	遠稱
	ドコ	疑問稱
	ドコカ	不定稱

代名詞、二分爲指示代名詞及人代名詞、既講  
説於第二篇矣、今在此處更細分此二種代名詞  
講明之。

〔指示代名詞之細別〕 事物地位方向之指示  
代名詞、五分爲近稱中稱遠稱疑問稱不定稱  
列舉之於一表、即如左。

方向代名詞

ココ	ソソ	アア	ドコ	ドコカ
チツ	チツ	チツ	チツ	チツ
ラチ	ラチ	ラチ	ラチ	ラチ

近稱ハ、自分ノ近周リノ物事ヤ場所ヤ方向ヲ、指シ  
示ス詞デス。

是ハ、本デス。

此處ハ、教壇デス。

鞭ハ此處ニ在リマス。

アナタ、此方ヘ入ラツシヤイマシ。

君コツチヘ來給ヘ。

中稱ハ、自分ト向ヒ合ツテ、話ヲシテ居ル人ノ附近  
ノ物事ヤ、地位ヤ、方向ヲ、指示スル詞デス。又自  
分ト對者トノ中間ニ在ツテ稍離レタ物事ヤ地位ヲ指  
示スル場合モ有リマス。

近稱者、指示我附近之事物地位方向之詞也。

這個是書。

這兒是講臺。

鞭子在這兒。

您請這兒來。

你這兒來。

中稱者、指示與我對話者之附近事物地位方向  
等之詞也。又有時指示事物地位之在與彼之  
中間而稍遠離者。



ソレハ、アナタノ本デスカ。

ハイ、ソレハ私ノ本デス。

アナタノ席ハ、其處ニ在リマス。

教員室ハ、ソナラニゴザイマス。

僕モソツチヘ行キマス。

遠稱ハ、自分カラモ、相對シテ話ヲシテ居ル人カラ

モ、共ニ遠ク離レテ居ル事物ヤ場所ヤ方角ヲ指シ示

ス詞デス。

アレハ、役所デスカ。

アスコハ、公園デスカ。

新聞縦覽室ハ、アチラデス。

僕等ノ寄宿舎ハ、アツチニ在リマス。

疑問稱ハ、疑問ノ事物ヤ地位ヤ方向ヲ表ハスニ用ヒ

那個是您的書麼。

是，那個是我的書。

您的座位在那兒。

教習室在那邊兒。

我也上那邊去。

遠稱者、指示事物地位方向之離自己及對話者

俱相遠之詞也。

那個是衙門麼。

那兒是公園麼。

閱報室在那邊。

我們寄宿舍在那邊。

疑問稱者、用於表示疑問之事物地位方向之詞

ル詞デス。

ドレガ、アナタノ帽子デスカ。

アナタハ、近頃何ヲナスツテ、入ラツシヤイマス

カ。

此ノ本ハ、何處デ御求メナサイマシタカ。

校長室ハ、ドチラデスカ。

馬ハ、ドツチヘ逃ゲテ行キマシタカ。

不定稱ハ、指ス所ノ漠然トシテ、不定ナ場合ニ、用

ヒル詞デス。不定稱ハ疑問稱ニ助詞ノカヲ添ヘテ拵

ヘマス。

此ノ中デ、ドレカーツ、アナタノ御好キナ物ヲ、

御持チナサイ。

星ノ世界ニモ、何カ有リマス。

也。

那一個是您的帽子呀。

您近來做甚麼公幹呢。

這本書，在那兒買的呀。

校長室在那邊呢。

馬跑到那邊去了呢。

不定稱者、用於所指漠然不定時之詞也、不定

稱者、添助詞之カ於疑問稱而作之。

這裡頭、您隨便拿一個去罷。

星々の世界裡、也有些東西。



何處カ、アナタノ御氣ニ入リノ料理屋へ、參リマセウ。

事物代名詞ノコソアドハ、助詞ノヲ添ヘテ、名詞ノ修飾語ニ用ヒルバカリデス。

此ノ帽子ハ、アナタノ學校ノ制帽デスカ。

其ノ服モ、矢張制服デスカ。

アノ山ガ、筑波山デスカ。

ドノ塔ガ、淺草寺デスカ。

【人代名詞ノ細別】 人代名詞モ、亦自稱(一人稱)對稱(二人稱)他稱(三人稱)疑問稱・不定稱ノ五ツニ細別シマス。圖ヲ以テ之ヲ示セバ、左ノ通りデス。

無論那一處、上您意中的飯館子去吃飯罷。

事物代名詞コソアド者、添加助詞之、而但用於名詞之修飾語也。

這個帽子、是您的學校制帽麼。

那衣裳、也是制服麼。

那山是筑波山麼。

那一個塔是淺草寺呢。

【人代名詞之細別】 人代名詞、亦細分爲五。自稱(一人稱)對稱(二人稱)他稱(三人稱)疑問稱・不定稱即是。以圖示之、則如左。

自稱	對稱	他稱	疑問稱	不定稱
----	----	----	-----	-----

自稱ハ、自分ノ名ニ代ヘテ、用ヒル詞デス。又一人稱トモ云ヒマス。

私ハ、伊藤ト申ス者デゴザイマス。

對稱ハ、自分ト相對シテ、話ヲシテ居ル人ノ名ニ代ヘテ用ヒル詞デス。又二人稱トモ謂ヒマス。

同輩以上 (尊稱)	同輩 (等稱)	同輩以下 (卑稱)	學生 親友
ワタクシ	ワタシ	ワシ	僕
アナタ様	アナタ	御貴様	君
アソコノ方(近稱)	アソコノ方(中稱)	アソコノ方(遠稱)	アソコ
ドナタ様 ドノ方	ドナタ ドノ人	ドナ ドノ人	レレレ 女男
ドナタ様カ ドノ方カ	ドナタカ ドノ人カ	ドナカ ドノ人カ	ダ レ
			ダ レ カ

自稱者、代用於自己名字之詞、又謂之一人稱。

賤姓是叫伊藤的。

對稱者、代用於與我相對所交談者名字之詞也又謂之二人稱。



アナタノ御姓名ハ、何トオツシヤイマスカ。

他稱ハ、二人相對シテ話ヲ爲ル場合ニ、話頭ニ上ル

人ノ名ニ換ヘテ、用ヒル詞デス。他稱ハ又三人稱ト

モ謂ヒマス。サウシテ、他稱ニハ、位置ノ遠近ニ因

ツテ、近稱中稱遠稱ノ區別ガアリマス。

此ノ方ハ、私ノ先生デス。

其ノ方ハ、アナタノ御友達デスカ。

アナタハ、アノ方ヲ、御存知デ入ラツシヤイマス

カ。

疑問稱ハ、疑問又ハ未知ノ人ノ名ニ代用スル詞デス。

アナタハ、ドナタデゴザイマスカ。

今日、誰ガ來マシタ。

ドイツガ、コンナ惡サヲシタ。

貴姓大名叫甚麼呢。

他稱者、代用於二人對話之際所言及之人名之

詞也。他稱、又謂之三人稱、且他稱者、因位

置之遠近、有近稱中稱遠稱之區別。

這位是我的老師。

那位是您的令友麼。

您認識那位麼。

疑問稱者、代用於疑問或未知之人名之詞也。

您是那一位。

今天誰來了。

甚麼東西做這麼樣的惡戲呢。

不定稱ハ、不定ナ人ノ名ニ、代用スル詞デス。

立關ニ、ドナタカ、御出デニ成リマシタ。

誰カ、此處へ來テ下サイ。

イクラ人材缺乏デモ、誰カ必ズ總理大臣ニ、任ゼ

ラレナケレバナリマセン。

【人代名詞ノ尊稱・等稱・卑稱】 人代名詞ハ、相手

ノ身分ノ、貴イト、賤シイトニ因ツテ、之ヲ區別シ

ナケレバナリマセン。即等輩ニ對スル場合ト等輩以

上或ハ等輩以下ニ對スル場合トハ、其ノ用語ニ、

差別ヲ附ケルノガ必要デス。之ヲ人代名詞ノ尊稱等

稱卑稱ト云ヒマス。大體前ノ表ニ舉ゲタ通りデス。

【名詞代名詞ノ格】

名詞代名詞ガ、文章ノ中ニ在ル時ハ、其ノ位置ニ據

不定稱者、代用於不定之人名之詞也。

門口有人來了。(可是未知那一位。)

無論誰、請一位這兒來。

人材雖然怎麼少、總得有個人任總理大臣。

【人代名詞之尊稱・等稱・卑稱】 人代名詞因

對話者之貴賤尊卑、不能無區別。即對於等輩

時、與對於等輩以上或等輩以下之時、在其用

語之上、須有差別。謂之人代名詞之尊稱等稱

卑稱。大略如前表。

【名詞代名詞之格】

名詞代名詞、在文章中之時、因其位置、變異



ツテ、資格職掌が違ヒマス。之ヲ名詞代名詞ノ格ト謂ヒマス。

- 一、太郎ガ、犬ヲカハユガル。
- 二、犬ガ、太郎ニ、カハユガラレル。
- 三、太郎ノ帽子ハ、新型ダ。
- 四、太郎ヤ、此方へ御出デ。

右ノ様ニ、同ジク太郎ト云フ名詞デスガ、第一デハ文ノ主位ニ立チ、第二デハ賓位ニ立チ、第三デハ物ノ持手ヲ表ハシ、第四デハ呼懸ケニ用ヒラレテ居リマス。此ウ云フ様ニ、名詞代名詞ガ、文章中ニ在ル位置ノ差ニ據ツテ、其ノ資格ノ、種々ニ成ルノヲ、名詞代名詞ノ格ト謂ヒマス。格ニハ、主格賓格(處置格)定限格呼格ナドノ別ガ有リマス。

資格職任、謂之名詞代名詞之格。

- 一、太郎愛狗。
- 二、狗被太郎愛。
- 三、太郎の帽子、是時興的樣子。
- 四、太郎、這兒來。

如右例、同是一個名詞太郎也、而在第一、則立於文之主位、在第二、則立於賓位、在第三、則表白物件之領有者、在第四、則用於喚呼。如此、名詞代名詞、在文章中之位置相異、則其資格亦隨而變化。謂之名詞代名詞之格。格有主格賓格(處置格)定限格呼格等之區別。

【主格】 トハ、文ノ主位ニ在ツテ、動作狀態ノ主體ヲ表ハス格ヲ謂ヒマス。主格ノ動作狀態ヲ表ハス語ヲ、説明語ト云ヒマス。

- 次郎ガ 來タ。
- 天氣ガ、佳イ。
- 次郎ノ 行ク學校ハ、遠イ。
- 天氣ノ 好イ日ハ、愉快ダ。

右ノ様ニ、主格ニハ、助詞ノガノヲ附ケマス。但シハ口語デハ句(二三四頁)ノ主語ニ添フバカリデス。主格ニ專屬スル助詞ハ、ガノダケデスガ、時トシテハ、ハモデモサヘバカリ等ノ助詞ヲ、添ヘルコトガ有リマス。例ヘバ左ノ通りデス。

次郎ハ、賢イ。

【主格】 云者、在文之主位、表白動作狀態之主體者也。表白主格之動作狀態之語、謂之説明語。

- 次郎 來了。
- 天氣 好。
- 次郎 去的學校遠。
- 天氣 好的日子爽快。

主格帶有助詞之ガノ如右。但ノ在口語、則但添子句(二三四頁)之主語耳。專屬主格之助詞、唯有ガノ而已。而有時添ハモデモサヘバカリ等之助詞。例如左。

次郎聰明。



太郎モ、利口ダ。

アナタデモ、宜シイ。

三ツ子デサヘ、知ツテ居ル。

僕バカリ、苦勞スル。

【備攷】 原來ガノハ、意味ガ甚ダ輕クテ殆ト無意義モ同様デスガ、ハモ等ノ助詞ニハ、各特別ノ意味ガ有リマスカラ、其ノ意味ヲ表ハス必要ノ有ル時デナケレバ、之ヲ添ヘテハイケマセン。但シ其ノ意義ハ助詞ノ部(二四二頁)デ、詳説シマスカラ、茲デハ省略シマス。

【賓格】 トハ、主格ト説明語トノ中間ニ立ツテ、動作狀態ノ客體ヲ表ハス格ヲ謂ヒマス。賓格ニハ、ヲニヘトヨリカラマデ等ノ、助詞ヲ添ヘマス。

太郎也聰明。

您也可以。

三歲的小孩子都知道。

只是我一個人很辛勞。

【備攷】 原來ガノ意味甚輕、殆同於無意義。反之ハモ等之助詞、各有特別之意義。故非欲表白其意義之時、不可添加。但其意義詳説於助詞(二四二頁)之部、故今從省略。

【賓格】 立於主格與説明語之中間、表白動作狀態之客體者也。賓格、添ヲニヘトヨリカラマデ等之助詞。

一、太郎ガ、文章ヲ作ル。

二、次郎ガ手紙ヲ書ク。

三、お花ガ鏡ニ向フ。

四、電車ガ右ヘ曲ル。

五、甲某會社ガ、乙某會社ト競争スル。

六、銀ハ、金ヨリ劣ル。

七、會費ハ、會員カラ釀出スル。

八、寒サガ、骨マデ浸ミル。

九、地球ハ、太陽ヨリ小サイ。

十、A角ハ、B角ニ(B角ト)等シイ。

右ノ例ノ、雙線ヲ附ケタ者ハ、皆賓格デス。其ノ中第一第二ノ例ノ様ニ、説明語ガ他動詞(二五頁)カラ出來テ居ル者ニハ賓格ニヲ添ヘ、第三以下第八迄

一、太郎作文章。

二、次郎寫信。

三、阿花對鏡。

四、電車往右邊拐灣。

五、甲某公司、與乙某公司競爭。

六、銀劣於金。

七、會費由會員捐納。

八、寒冷侵到骨頭。

九、地球比太陽尤小。

十、A角等於B角。(A角與B角相等。)

右例之附雙線者、皆爲賓格。其中、如第一第二之例、説明語由他動詞成者、以ヲ添于賓格。如第三以下至第八、説明語由自動詞成者、以



ノ様ニ、説明語ガ、自動詞(二五頁)カラ出来テ居ル者ニハ、資格ニニヘトヨリカラマデヲ添ヘ、第九第十ノ様ニ、説明語ガ、形容詞カラ出来テ居ル者ニハ、ヨリニトナドヲ添ヘマス。

又説明語ガ他動詞カラ出来テ居ル者ハ、二ツ以上ノ資格ヲ取ル者ガ有リマス。

- 一、會社ガ、利益ヲ、株主ニ、分配スル。
- 二、銀行ガ、金ヲ、會社ヘ、貸附ケル。
- 三、學校ガ、大工ニ物理ノ教場ヲ、博物ノ教場ニ作り換ヘサセル。
- 四、國家ガ、租稅ヲ、國民カラ、徵收スル。
- 五、主人ガ番頭ニ貨物ヲ本店カラ支店ヘ廻送サセル。

ニヘトヨリカラマデ添テ資格。如第九第十、説明語由形容詞成者、以ヨリニト等添テ資格。

又説明語由他動詞成者、有時取二個以上之資格。

- 一、公司配分利益於股東。
- 二、銀行貸付錢於公司。
- 三、學校使木匠改造物理的講堂、爲博物的講堂。
- 四、國家徵收租稅於國民。
- 五、主人使掌櫃的由本店送貨物於支店。

六、私ハ、友達ヲ、横濱マデ見送ル。

右ノ様ニ、二ツ以上ノ資格ヲ取ル時ニハ、ヲヲ帶ビタ者ヲ、第一資格又ハ處置格ト謂ヒ、ニトヘヨリカラマデヲ帶ビタ者ヲ第二資格又ハ補格ト謂ヒマス。

【定限格】トハ、下ノ名詞ノ意義ヲ限定スル格デ領有 限定 形容ナドノ意義ヲ含ミマス。

- 一、コレハ、私ノ店デス。
- 二、アレハ檀那ノ別莊デス。
- 三、東京ハ、日本ノ首府デス。
- 四、時計ハ二階ノ机ノ抽斗ノ中ニ、在リマス。
- 五、男子ハ鐵石ノ精神ヲ、鍛ヘナケレバナリマセシ。
- 六、花ノ顔ハ衰ヘ易ク、松ノ操ハ永ク榮エマス。

六、我送朋友、到横濱。

如右探二個以上之資格之時、帶ヲ者、謂之第一資格、或處置格。帶ニトヘヨリカラマデ者、謂之第二資格、或補格。

【定限格】 限定下位名詞之意義者也。含有 領有 限定 形容等之意義。

- 一、這是我的舖子。
- 二、那是財東的別墅。
- 三、東京是日本首府。
- 四、錶擱在樓上棹子的抽斗裡頭。
- 五、男子不可不鍛鍊鐵石精神。
- 六、花顏易衰、松節長榮。



右ノ例ノ様ニ、一二ハ領有ノ意義ヲ表ハシ、三四ハ限定ノ意義ヲ表ハシ、五六ハ形容ノ意義ヲ表ハシマ  
スガ、總ベテ之ヲ定限格トシマス。定限格ニハ助詞  
ノヲ添ヘマス。

【呼格】 トハ、呼懸ケニ用ヒル格ヲ謂ヒマス。  
君、此處へ來給へ。

アナタ、御勉強ナサイ。

先生、コレハ何デスカ。

御母サン、唯今歸リマシタ。

坊ヤ、御菓子ヲ上ゲマセウ。

太郎ヤ、御本ヲ御讀ミ。

呼格ニハ、通例助詞ヲ添ヘマセン。但シ親愛ノ意  
ヲ表ハス時ニハ、感歎助詞ノヤヲ添ヘマス。

如右例、一二表白領有之意義、三四表白限定  
之意義、五六表白形容之意義。皆爲定限格。  
定限格添助詞之ノ。

【呼格】 用於喚呼之格也。

你這兒來。

您務須用功。

先生、這是甚麼呢。

母親、我現在回來了。

哥兒呀、給你點心罷。

太郎啊、念書罷。

呼格、通例不要添助詞。但表白親愛意之時、  
添感歎助詞之ヤ。

第三章 動詞

【動詞ノ活用】 動詞ハ、其ノ動作ノ行ハレル時ノ  
區別、及ビ其ノ他種々ノ意義ヲ表ハシ、或ハ他語ニ  
接續スル爲ニ、其ノ語ノ形ヲ變化シマス。

此ノ次ノ日曜日ニハ、飛鳥山へ、遊ビニ行カウ。

此ノ間、私ハ友達ト一緒ニ、箱根へ保養ニ行キタ。

今日ハ學校へ行ク。

右ノ例ハ、行クト云フ動詞ガ、過去現在未來ノ時ノ  
區別ヲ表ハス爲ニ、其ノ語形ヲ變化スル者デス。

今日、私ハ、學校へ行カナイ。

私モ、是非アナタト一緒ニ、東京へ行キタイ。

アノ人ハ、何時亞米利加へ行クダラウ。

御前ハ、早ク、アツチへ行ケ。

第三章 動詞

【動詞之活用】 動詞、因表明其動作發動時  
之區別、及其他諸種之意義、或爲接續他語、  
而變化其語形。

下禮拜、上飛鳥山遊玩去罷。

前幾天我和朋友、一同上箱根遊息去了。

今天上學校去。

右例動詞行ク、因表白過去現在未來時之區  
別、而變化其語形者也。

今天我不上學校去。

我很盼望、和您一同到東京去。

他幾時要到美國去。

你快到那邊去罷。



右ノ例ハ、行クト云フ動詞ガ、否定希望推量命令等ノ種々ノ意義ヲ、表ハス爲ニ、其ノ語ノ形ヲ、變化シタ者デス。

學校へ行カ  
ナイ。  
ウ。  
マ。ス。  
タイ。  
遅レル。  
始メル。  
易イ。  
時。  
人。

右例動詞行ク、因表白否定希望推量命令等之諸種意義、而變化其語形者也。

不上學校。  
同前。  
要上學校。  
上學校去。  
我願意上學校去。  
上學校去的晚。  
開始上學去。  
容易上學校去。  
上學校去的時候。  
上學校去的人。

學校へ行ケバ、色々ノ學問ヤ、技藝等ヲ覺エル。

右ノ例ハ、行クト云フ動詞ガ、動詞・形容詞・助動詞・助詞・名詞等ノ色々ノ語ニ、接續スル爲ニ、其ノ語形ヲ、變化スル者デス。

【動詞ノ語根ト語尾】 動詞ハ、一ツノ詞ノ中ニ、變化スル部分ト、變化シナイ部分ガ、有リマス。其ノ上部ノ變化シナイ部分ヲ語根ト謂ツテ、其ノ下部ノ變化スル部分ヲ語尾ト謂ヒマス。例ヘバ、右ノ例ノ行クト云フ動詞ニ就イテ、語根ト語尾ヲ區別スレバ、行ハ上部ノ變化シナイ部分デスカラ語根デス。又カキクケハ、下部ノ變化スル部分デスカラ、語尾デス。

若是上學校去、就可以曉得許多的學科和技藝等。

右例、動詞行ク、因接續于動詞・形容詞・助動詞・助詞・名詞等之諸種詞、而變化其語形者也。

【動詞之語根與語尾】 動詞、在一語之中有變化之部分與不變化之部分。在其上部而不變化之部分、謂之語根。在其下部而變化之部分、謂之語尾。例如就右例之動詞行ク而區別其語根與語尾、則行者在上部且不變化之部分也。故爲語根。又カキクケ者、在其下部、且變化之部分也。故爲語尾。



尙モウ一ツノ例ヲ舉ゲテ、語根 語尾ノ區別ヲ、明瞭ニシマセウ。

今日ハ、空ガ晴レタ。

雪ノ降ツタ朝ハ、空ガ、大變綺麗ニ晴レル。

此ノ雪ガ晴レレバ、天氣ガ、暖カニナリマセウ。

右ノ例ノ晴レルニ就イテ、語根ト語尾ヲ區別スレバ

晴ハ即語根デ、レルレルハ即語尾デス。

斯様ニ動詞ノ語尾ヲ變化スル作用ヲ、動詞ノ活用ト謂ヒマス。

【動詞ノ活用上ノ分類】 動詞ハ、其ノ活用ノ異同

ニ由ツテ分類スレバ、正格活用ト、變格活用ノ二通

リニ成リマス。サウシテ正格活用ノ中ニハ、四段活

用ト、上一段活用ト、下一段活用ガ、有リマス。又

更別舉一例、俾明瞭語根與語尾之區別。

今天天晴了。

下雪的早晨，天空很晴朗。

若是這次雪後，天晴了，就可以暖和。

就右例之晴レル、而區別其語根與語尾、則晴

是語根、レルレル是語尾。

動詞如此變化其語尾之作用、謂之動詞之活用。

【動詞活用之分類】 類分動詞、隨其活用之

異同、則成爲正格活用與變格活用之二種。

正格活用之中、有四段活用・上一段活用及下

一段活用。變格活用之中、有カ行變格・サ行

變格活用ノ中ニハ、カ行變格活用トサ行變格活用ノ二通ガ有リマス。

【四段活用】

四段活用トハ動詞ノ語尾ガ、五十音圖ノアイウエ

ノ四段ニ活用スル者ヲ謂ヒマス。

此ノ丁稚ハ、餘リ働カナイ。

御宅ノ女中ハ大變働キマス。

牛ヤ馬ハ、人間ノ爲ニ、働ク。

モット、精出シテ働ケ。

右ノ働クト云フ動詞ハ、其ノ語尾ガ、カキクケノ四

段ニ、活用シマス。故ニ之ヲカ行四段ト謂ヒマス。

借リタ物ハ、返サナケレバナラン。

昨日借リタ本ヲ返シテ、今日ハ、別ノ本ヲ借リテ

變格之二種。

【四段活用】

四段活用者、動詞語尾、活用於五十音圖アイ

ウニ四段者、即是。

這個小孩子、不很勤謹。(太不勤謹)

府上の婢女很勤謹。

牛和馬、是爲人力役的。

還湏用力幹。

右例之動詞働ク、其語尾活用于カキクケ之

四段。故謂之カ行四段活用。

借來的東西、總得還。

把昨天借來的書還了。今天再借別的書來。



來マス。

拾ヒ物ヲ、落シ主ニ、返ス。

入ラナケレバ、僕ニ返セ。

右ノ例ノ返スト云フ動詞ハ、其ノ語尾ガ、サシスセノ四段ニ活用シマス。之ヲサ行四段活用ト云ヒマス。

把檢到的東西還失主。

若是不需要、就還給我。

右例之動詞返ス、其語尾活用于サシスセ之四段、謂之サ行四段活用。

【屬於四段活用之動詞】 其數極多。五十音

圖之中、活用於カサタナハマラ七行。

其圖即如左。

サ	カ	行	語尾
行	行	行	語根
殺	聽	殺	語尾
サ	カ	ア	段
シ	キ	イ	段
		ウ	段
ス	ク	エ	段
セ	ケ		段

【四段活用ニ屬スル動詞】 ハ、其ノ數ガ非常ニ多クツテ、五十音圖中ノ、カサタナハマラノ七行ニ活用シテ居マス。其ノ圖ハ、即左ノ通りデス。

ラ	マ	ハ	ナ	タ
行	行	行	行	行
吸	飲	言	死	立
ラ	マ	ハ	ナ	タ
リ	ミ	ヒ	ニ	チ
		フ	ヌ	ツ
ル	ム	ヘ	ネ	テ

【四段活用ノ類語】

カ行四段ノ類語。

歩ク 蹶ク 動ク 鳴ク 置ク 突ク 焼ク

裂ク 抜ク 貫ク (以上カ行清音)

嗅グ 泳グ 漕グ 凌グ 騒グ (以上カ行濁音)

サ行四段ノ類語。



押ス 倒ス 記ス 渡ス 崩ス 亂ス 盡ス  
匿ス 話ス 示ス 志ス

タ行四段ノ類語。

打ツ 待ツ 勝ツ 持ツ 絶ツ 裁ツ

ナ行四段ノ類語。

死ヌ 去ヌ (關西語)

ハ行四段ノ類語。

洗フ 養フ 思フ 敬フ 笑フ 争フ 救フ

歌フ 舞フ 從フ (以上ハ行清音)

遊ブ 呼ブ 運ブ 結ブ 顛ブ (以上ハ行濁音)

マ行四段ノ類語。

憎ム 好ム 羨ム 疊ム 包ム 含ム 産ム

休ム 樂ム 悲ム

ラ行四段ノ類語。

乘ル 登ル 上ガル 下ガル 集ル 散ル

當ル 知ル 悟ル 移ル

【上一段活用】

上一段活用トハ、動詞ノ語尾ガ、五十音圖ノイ段ト

イ段ニルレロ(ヨ)ヲ帶ビタ者ニ、活用スル者ヲ云

ヒマス。

(東京語)  
私ハ、是カラ毎朝、早く起キヨウ。

私ノ内デハ、毎朝祖父ガ一番早く起キル。

朝早く起キレバ、學校へ出懸ケル前ニ、復習スル

時間ガ、多ク有ル。

學校へ行クノガ、後レルカラ、早く起キロ(ヨ)。

右ノ例ノ起キルト云フ動詞ハ、其ノ語尾ガキキルキ

【上一段活用】

上一段活用者、動詞語尾、活用於五十音圖之

イ段、與イ段帶有ルレロ(ヨ)者、即是。

(東京語)

我從此以後、毎朝早々起來罷。

我們家裡、毎日早晨、我祖父起來最早。

早晨若早々の起來 上學校之先、很有溫習

的工夫。

上學校去的時候晚了、快々の起來罷。

右例之動詞起キル、其語尾活用于キキルキレ







【上一段活用ノ類語】

ワ	ラ	ヤ	マ	ハ	ナ	タ
行	行	行	行	行	行	行
居	懲	射	試	強	似	落
キ	リ	イ	ミ	ヒ	ニ	チ
ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル
レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ
キ(キ)	リ(リ)	イ(イ)	ミ(ミ)	ヒ(ヒ)	ニ(ニ)	チ(チ)
ロ(ロ)	ロ(ロ)	ロ(ロ)	ロ(ロ)	ロ(ロ)	ロ(ロ)	ロ(ロ)

起キル 竭キル 活キル 過ギル ○著ル。

ナ行上一段

察シル 封ジル 焙ジル 煎ジル

タ行上一段

落チル 満チル 恥ヂル 閉ヂル 扭ヂル

ナ行上一段

○似ル ○煮ル

ハ行上一段

用ヒル 強ヒル 延ビル 亡ビル 鋪ビル

○干ル 萎ビル

マ行上一段

○見ル 試ミル 顧ミル

ヤ行上一段

○射ル ○鑄ル ○炒ル 悔イル 報イル



ラ行上一段

下リル 懲リル 借リル

ワ行上一段

○居ル 率キル

【下一段活用】

下一段活用トハ、動詞ノ語尾ガ、五十音圖ノエ段トエ段ニルレロ(ヨ)ヲ帶ビタ者ニ活用スル者ヲ謂ヒマス。

久シク駈ケタ事ガナイカラ、トテモ子供等ト競走ハ出來ナイ。

駈ケルト草臥レルカラ、モット緩クリ歩キナサイ。足ノ達者ナ者ガ、一生懸命ニ成ツテ駈ケレバ、三時間足ラズデ、横濱へ行カレルデセウ。

【下一段活用】

下一段活用者、動詞之語尾、活用於五十音圖之エ段與エ段帶有ルレロ(ヨ)者、即是。

許久沒跑了。所以總不能和小孩子競走。

因爲一跑、就疲勞、請再慢點走罷。

脚快的人、若是捨命的一跑、不到三點鐘、可以到橫濱罷。

後ノ組ガ追附クカラ、モット早く駈ケロ。

右ノ例ノ駈ケルト云フ動詞ハ、其ノ語尾ガケルケレケロ(ケヨ)ト活用シテ居マス即エ段トエ段ニルレロ(ヨ)ヲ帶ビタ者デス。此ウ云フノヲ、下一段活用ト云ヒマス。其ノ下ト云フ譯ハ、ウ段ヲ中央トシタノデス。

下一段活用ノ動詞ノ中ニモ、語根語尾ノ區別ガナクツテ、其ノ語形ノ全體ヲ變化スル者ガアリマス。下ノ類語中ニ〇符ヲ附ケテアル者ハ、皆其ノ例デス。

【下一段活用ニ屬スル動詞】

ハ、五十音圖ノ十行中、ドノ行ニモ、皆有リマス(但シア行下一段トヤ行下一段ハ、其ノ語尾變化ガ、同ジ様デスガ、文語文法ニ於テ、區別ガ有リマスカラ、口語文法デモ、

後班的人、要趕上來了、再快著一點跑罷。

右例動詞駈ケル、其語尾活用于ケケルケレケロ(ケヨ)。即エ段與エ段帶有ルレロ(ヨ)者也。如此者謂之下一段活用。其所以稱下者、以ウ段爲中央故也。

在下一段活用之動詞中、亦有無語根與語尾之區別、而變化其語形之全體者。在下文類語中附〇符者、皆其例也。

【屬于下一段活用之動詞】

五十音圖之十行中、每行皆有此活用。(但ア行下一段與ヤ行下一段其語尾變化相同。雖然、在文語文法、兩者有區別、故在口語、亦姑存此區別。各揭別



姑ク之ヲ別行ニ掲ゲテ置キマス。又其ノ所屬動詞ノ多イ事モ、四段活用ノ次デス。其ノ圖ハ、左ノ通りデス。

【下一段活用ノ圖】

ナ	タ	サ	カ	ア	行
行	行	行	行	行	行
寝	建	瘠	受	得	根
ネ	テ	セ	ケ	エ	段
ネ	テ	セ	ケ	エ	エ
ル	ル	ル	ル	ル	段トル
ネ	テ	セ	ケ	エ	エ
レ	レ	レ	レ	レ	段トレ
ネ(ネ)	テ(テ)	セ(セ)	ケ(ケ)	エ(エ)	エ
ロ(ロ)	ロ(ロ)	ロ(ロ)	ロ(ロ)	ロ(ロ)	段トロ

行) 又其所屬動詞之多、次于四段活用。其圖即如左。

【下一段活用ノ類語】

ワ	ラ	ヤ	マ	ハ
行	行	行	行	行
植	枯	消	衰	教
エ	レ	エ	メ	ヘ
エ	レ	エ	メ	ヘ
ル	ル	ル	ル	ル
エ	レ	エ	メ	ヘ
レ	レ	レ	レ	レ
エ(エ)	レ(レ)	エ(エ)	メ(メ)	ヘ(ヘ)
ロ(ロ)	ロ(ロ)	ロ(ロ)	ロ(ロ)	ロ(ロ)

ア行下一段  
 ○得ル 心得ル  
 カ行下一段  
 ○識ル 明ケル 碎ケル 裂ケル 焦ゲル  
 脱ゲル 通ゲル 剝ゲル



ナ行下一段	合セル	贖セル	伏セル	咽セル	委セル
タ行下一段	失セル	爆セル			
ナ行下一段	隔テ	企テ	育テ	捨テ	建テ
ナ行下一段	燥テ	撫テ	○出		
ナ行下一段	兼ネ	跳ネ	尋ネ	拗ネ	捏ネ
ナ行下一段	東ネ	○寢	○練		
ナ行下一段	○經	○滅	詭	抑	拵
ナ行下一段	竝	食	調		
ナ行下一段				考	比

改メ	沈メ	始メ	極メ	箝メ
染メ	責メ	咎メ		
消エ	燃エ	生エ	殖エ	冷エ
凍エ	見エ	聞エ		
生レ	後レ	割レ	破レ	倒レ
知レ	慣レ	別レ		
植エ	据エ	饑エ		

【カ行變格活用】

近頃アノ人ハ、一向私ノ處ヘ來ナイ。

今日ハ、珍ラシイ人ガ來タ。

【カ行變格活用】

近來他總不到我處來。

今天稀珍的客人來了。



南京ニ居ルト、時々思ヒ懸ケナイ人ガ、尋ネテ來ル。  
 客ガ來レバ、子供等ガ大騒ギシテ歡ブ。  
 貴様、此處へ來イ。

右ノ來ルト云フ動詞ハ、語根語尾ノ區別ガ無クツテ  
 コキクルクレコイト活用シマス。今之ヲ正格活用  
 ノ四段ヤ上下一段活用ニ比較スレバ、其ノ語尾變化  
 ノ狀態ガ、非常ニ變ツテ居マスカラ之ヲカ行變格ト  
 云フノデス。カ行變格活用ニ屬スル動詞ハ、唯來ル  
 ト云フ動詞ガ、一ツアル丈デス。

【カ行變格活用ノ圖】

カ	行	語根	段	オ	段	イ	段	ウ	段	トル	ウ	段	トレ	オ	段	トイ
來				コ		キ		クル		クレ		コ		コ		イ

住在南京、時時有意外の人來訪。  
 有客人來的時候、小孩子們很喜歡。  
 汝此處來。  
 右例動詞來ル者、無語根語尾之區別、而活用  
 於コキクルクレコイ。今比較之於正格活用  
 之四段及上下一段活用、則其語尾變化之狀態  
 甚相異、故謂之カ行變格。屬カ行變格活用之  
 動詞、唯有一個來ル而已。

【サ行變格活用】

人ノ嫌フ事ハ、センガイイ。  
 僕ハ、決シテ、人ニ對シテ、話サレナイ様ナ事ハ  
 シナイ。(東京語)

僕ハ善イ事ヲシマス。  
 君ハ其處ニ居テ、何ヲ爲ルノカ。  
 善イ事ヲ爲レバ、善イ報イガ有リ、惡イ事ヲ爲レ  
 バ、惡イ報イガ來ル。

御前モ是カラ善イ人ノ眞似ヲシロ。  
 右ノスルト云フ動詞モ、語根語尾ノ區別ガナクツテ  
 セシスルスレシロ(セヨ)ト活用シマス。是モ亦正  
 格活用ノ四段及比上下一段ニ比較スレバ、其ノ語尾  
 變化ノ狀態ガ、非常ニ變ツテ居マスカラ、之ヲサ行

【サ行變格活用】

人家不喜歡的事情、不做纔好。  
 我決不做不可以對人說明的事。  
 我爲善事。  
 你在那裡做甚麼事呀。  
 做善事的、就得好報、做惡事的、就得惡果。

你從此以後、也須學善人。  
 右例動詞爲ル者、又無語根與語尾之區別、而  
 活用于セシスルスレシロ(セヨ)。此活用亦  
 比較之於正格活用之四段及上下一段、則其語  
 尾變化之狀態、甚相異。故謂之サ行變格。但







ニ注意シロ。(注意セヨ)

【漢語其ノ他サ行變格ニ活用スル類語】

一、漢語ノ例

忍耐スル 勉強スル 輕蔑スル 尊敬スル  
 奮發スル 奔走スル 安心スル 服従スル  
 關スル 達スル 祝スル 諸スル 激スル 議スル  
 二、純粹ノ漢語バカリデナク、漢語風ニ拵ヘタ動詞  
 即チ擬漢語動詞ヤ音訓交リノ動詞即チ音訓混淆動詞  
 モ、此ノ活用ニ屬スル者ガ、多クアリマス。

心配スル(費心) 立腹スル(忿怒) 案内スル(先導)  
 辛抱スル(忍耐) 御馳走スル(饗應) 出張スル(出差)  
 指圖スル(指揮) 合圖スル(信號)  
 三、動詞ヤ形容詞ノ、一度名詞性ニ成ツタ者ガ、再

【漢語其他諸詞之活用于サ行變格之類語】

一、漢語ノ例

偏スル 適スル  
 二、不但純粹之漢語、其他作為漢語樣式之動  
 詞即擬漢語動詞及音訓混淆之動詞、亦多有屬  
 于此活用者。

我慢スル(忍耐) 出立スル(起身)  
 三、有動詞及形容詞之既為名詞性者、再活用

ビサ行變格ニ活用シテ、動詞ニ成ル者ガ有リマス。

商ヒスル(買賣) 便スル(音信) 手習ヒスル(寫字)

安ミスル(安心) 重ミスル(重視)

四、漢語ノ韻ノ撥音(ン)及ビ長音(ウ、イ)ヲ含ム者ハ其ノ語尾ノ濁音ニ成ル者ガ少クアリマセン。

辯ズル 信ズル 論ズル 感ズル 通ズル

投ズル 應ズル 命ズル 映ズル

五、洋語カラ轉成シタ動詞モ、皆サ變ニ活用シマス。

サイン(sign)スル(署名)。リード(lead)スル(率先。指導)。

オミット(omit)スル(省略)。スケッチ(sketch)スル(略描)。

【動詞ノ法】

動詞ノ法トハ、動詞ノ語尾變化ニ因ツテ、其ノ態度上ニ種々ノ變化ヲ生ズルコトヲ謂ヒマス。

于サ行變格、而成為動詞者。

引越スル(搬家)

四、漢語之韻尾、含有撥音(ン)長音(ウ、イ)者、其語尾變為濁音甚多。

五、由洋語所轉成動詞、亦皆活用于サ變。

指導)。

略描)。

動詞之法云者、謂動詞因語尾之變化、而於態度上發生種種變化也。



用活段一上	用活段四
ラ ヤ マ ハ ナ タ サ カ 行 行 行 行 行 行 行	ラ マ ハ ナ タ サ カ 行 行 行 行 行 行 行
懲 <sup>コ</sup> 悔 <sup>レ</sup> 見 <sup>ル</sup> 強 <sup>ク</sup> 煮 <sup>ク</sup> 落 <sup>ク</sup> 封 <sup>ル</sup> 起 <sup>ル</sup>	吸 <sup>ク</sup> 飲 <sup>ム</sup> 救 <sup>フ</sup> 死 <sup>ス</sup> 打 <sup>ツ</sup> 寫 <sup>ス</sup> 書 <sup>ク</sup>
リ イ ミ ヒ ニ チ ジ キ	ラ マ ハ ナ タ サ カ
リ イ ミ ヒ ニ チ ジ キ	リ ミ ヒ ニ チ シ キ
リ イ ミ ヒ ニ チ ジ キ ル ル ル ル ル ル ル	ル ム フ ヌ ツ ス ク
リ イ ミ ヒ ニ チ ジ キ ル ル ル ル ル ル ル	ル ム フ ヌ ツ ス ク
リ イ ミ ヒ ニ チ ジ キ レ レ レ レ レ レ レ	レ メ ヘ ネ テ セ ケ
リ イ ミ ヒ ニ チ ジ キ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ (ヨ)	レ メ ヘ ネ テ セ ケ

**動詞ノ活用ト法ノ對照圖**

【備攷】 動詞ハ上ニ説明シタ通り、正格活用ハ其ノ語尾ガ、四様ニ變化シ、變格活用ハ、其ノ語尾ガ五様ニ變化シマスガ、動詞ト助動詞トノ接續上及ビ口語動詞ト文語動詞トノ對照上、有ラユル動詞ノ語尾ヲ、六段ニ列記スルノガ、最モ便利デス。

第一變化	前提法
第二變化	中止法、連用法、名詞法
第三變化	終止法
第四變化	連體法
第五變化	前提法
第六變化	命令法

動詞ノ法、與動詞ノ活用、有密接之關係。故今用圖以對照此二者。

【備攷】 動詞如上所說、正格活用者、其語尾有四様之變化。變格活用者、其語尾有五様之變化。雖然在動詞與助動詞之接續上、及口語動詞與文語動詞之對照上、所有動詞、均皆列記于六段、是爲最便。



用活格變	用 活 段 一 下	
サ カ 行 行	ワ ラ ヤ マ ハ ナ タ サ カ ア	ワ 行 行 行 行 行 行 行 行 行
爲 來	植 荒 越 集 數 尋 立 瘡 避 得	居
シセロ (東京語)	エ レ エ メ ヘ ネ テ セ ケ エ	キ
シキ	エ レ エ メ ヘ ネ テ セ ケ エ	キ
ス ク ル ル	エ レ エ メ ヘ ネ テ セ ケ エ	キ ル
ス ク ル ル	エ レ エ メ ヘ ネ テ セ ケ エ	キ ル
ス ク レ レ	エ レ エ メ ヘ ネ テ セ ケ エ	キ レ
シ(セヨ)ロイ	エ レ エ メ ヘ ネ テ セ ケ エ	キ ロ

一、【終止法(第三變化)】

終止法トハ、文章ノ意義ガ、完結終止シテ他ノ詞ニ續カナイ者ヲ云ヒマス。終止法ハ動詞ノ第三變化ヲ用ヒマス。終止法ハ動詞ノ本體デ、其ノ他ノ法ハ、特別ノ必要ニ因ツテ、其ノ形ヲ變化サセタ者デス。故ニ唯一ツノ動詞ヲ、書ク場合ニハ、常ニ終止法ヲ用ヒマス。

春ハ、色々ノ鳥ガ囀ヅル。

草木ガ、芽ヲ出ス。

世界ノ人口ハ、年々殖エル。

生存ニ不適當ナ動物ハ、段々亡ビル。

東ノ方カラ、汽車ガ來ル。

朝カラ晩マデ、精出シテ仕事ヲ爲ル。

終止法者、文章之意義完結終止、而不接續于他語者、即是。終止法、用動詞之第三變化。終止法者、動詞之本體也。而其他之法、皆因特別之必要、以變化其形者也。故唯寫一個動詞之際、常用終止法。

春天各樣的鳥叫喚。

草木發芽。

世界的人口、年々增殖。

不適當於生存的動物、漸々の滅亡。

從東方來火車。

從早起到晚上、盡着力量做活。



二、【連體法(第四變化)】

連體法トハ、動詞ガ體言ノ上ニ連ツテ、其ノ意義ヲ限定スル者ヲ云ヒマス。體言トハ、名詞代名詞ノ總稱デス。連體法ハ文章篇デハ、形容詞性ノ修飾語

(四〇頁)ト成リマス。

大禮服ヲ著ル大官モ、襤褸服ヲ纏フ勞働者モ、同

ジ様ニ、天カラ生命ヲ稟ケタ人間デス。

總ベテノ生物ハ、皆進化スル者デス。

農作物ヲ害スル蟲ヤ鳥ヲ、害蟲又ハ害鳥ト謂ヒマ

ス。

アレハ、餘程驅ケ引キノ有ル男デス。

私ハ種々ノ事情ニ絆サレテ、ドウシテモ自分ノ

志ヲ遂ゲル事ガ出来マセン。

連體法者、謂動詞連續于體言上、而限定其意義也。所謂體言、名詞代名詞之總稱也。連體法、於文章篇則成形容詞性之修飾語。

穿大禮服的大官、和纏襤褸服的苦力、都是

自天稟受生命的人。

大凡生物、都是有進化的。

害莊稼的蟲子和鳥兒、叫害蟲或害鳥。

他是很很有權變的人。

我被好些個事情絆住了、無奈總不能遂自己的志向。

實際ニ、天下公共ノ爲ニ、盡力スル人ハ、一身一家ノ利害ヲ、顧ミル違ガナイ。

野蠻人ノ中ニハ、往々人ヲ啖フ人種ガアリマス。

連體法ノ中ニハ、往々下ニ有ル可キ名詞ヲ省略シテ

連體法自身ガ、直接ニ名詞ノ代用ヲスル者ガ有リマ

ス。之ヲ連體名詞ト謂ヒマス。又口語デハ、此ノ場

合ニ多ク代名詞的ノ語、ノヲ添ヘマス。

見ルト爲ルトハ、雲泥ノ差ヒデス。

誰モ負ケルノ、好キナ人ハ無イ。

口デ言フハ易イガ、實際ニ行フハムズカシイ。

商人ガ懸値ヲ言フノハ、殆ト普通デス。

酒ヲ飲ムノハヨイガ、酔狂スルノハイケナイ。

三、【連用法(第二變化)】

實在爲天下公共盡力的人、不遑於顧一身一家之利害。

野蠻人裡頭、往々有吃人的人。

連體法之中、往々有省略下位當有之名詞、連體法自己、直接代辦名詞之效用者。謂之連體

名詞。又在口語、此際常添代名詞性之語ノ。

看事和作事。難易有雲泥之隔。

無論誰、不願意取敗。

口說容易、可是實行難。

買賣人說虛價、差不多是普通一般的。

喝酒可以、酗酒便不可。



連用法ハ、動詞ガ他ノ用言ノ上ニ連ツテ、熟語動詞及ビ熟語形容詞ヲ作ル法デス。用言トハ、動詞形容詞ノ總稱デス。

私ノ思フダケノ事ハ、十分ニ言ヒ盡シマシタ。

アレノ雄辯ニハ、大概ノ人ガ、説キ伏セラレマス。

答案ガ、餘リ穢イカラ、書キ直シマス。

著物ヲ著換ヘマスカラ、一寸御待チ下サイ。

此ノ筆ハ、書キ好イ。

志ハ成リ難イ。

兎角目的ハ、外レ易イ。

安物ハ壞レ易イ。

四、〔名詞法(第二變化)〕

名詞法ハ、動詞ノ第二變化ガ、轉ジテ名詞ト成ル者

連用法者、動詞連續於他用言之上、而作熟語動詞及熟語形容詞之法也。所謂用言、即動詞形容詞之總稱也。

我所想的事情、都說盡了。

他的雄辯、大概的人、都被他說伏。

試卷很不乾淨、所以改寫。

我改穿衣裳、請您等一會子。

這個筆好使。

志難成。

目的總容易齟齬。

價錢賤的東西、容易壞。

名詞法者、動詞之第二變化轉成名詞之法。其

デス。其ノ中、一ツノ動詞ガ、單獨ニ名詞ニ成ル者モ有レバ、他語ト結び付イテ、熟語ノ名詞ヲ作ル者モ有リマス。光震帶戰諫戒等ハ、第一ノ例デ往來讀書キ手始メ買手賣物早起キ晚詩キ織物縫箔等ハ、第二ノ例デス。今二三ノ例ヲ示シマセウ。此ノ二三日來ハ、メツキリ暖カニ成ツテ來マシタカラ、桃ノ花ノ蕾ガアンナニ膨ンデ來マシタ。何處カデ、紙ヲ燒ク香ヒガ、爲テ居マス。ドンナ智慧ノ深イ人デモ、往々考ヘ違ヘガ有リマス。アレノ精神ニハ、何モ惡イ處ハナイガ、言ヒ草ガ善クナイ。此處ハ通學生ノ控所デス。

中有動詞單獨成爲名詞者。又有結合他語作爲熟語名詞者。例如光震帶戰諫戒等類、即屬第一例。如往來讀書キ手初メ買手賣物早起キ晚詩キ織物縫箔等類、即屬第二例。今應示二三例。這兩三天以來、顯著暖和起來了。所以桃花那麼樣的、都放了固朶兒了。何處有燒紙的氣味。無論如何知慧深的人、往々有想錯的。他的心裡、沒有甚麼壞處。可是說的話不見佳。此處是通學生的休憩所。



チヨツトシタ手落ちノ爲ニ、非常ナ損害ヲ、受ケマシタ。

商工業者ノ融通ヲ、附ケテ遣ルノガ、銀行ノ重ナ仕事デス。

【備考】動詞ノ名詞法ニハ、送り假名ヲ附ケナイノガ、從來ノ規則デスガ、讀ミ方ノ色々有ツテ、紛ラハシイ者ニハ、附ケル方ガ、宜シイデス。上ゲ下ゲ・上リ下リ・上ガリ下リ等ノ類デス。

五、〔中止法或ハ並列法(第二變化)〕

中止法ハ、同ジ様ナ文句ヲ、數個並列スル場合ニ、上ノ文句ヲ、半途デ言ヒ止シテ、下ノ文句ヲ述べ、下ノ文句ノ動詞ヤ、形容詞、助動詞等ノ法ニ應ズル者デス。中止法ハ漢字ノ且又等ノ意義ヲ爲ス者デス

爲了一点兒的遺漏、受了非常的損害。

給工商業通融錢財、是銀行要緊的職務。

【備考】動詞之名詞法、從來以不附送り假名爲規則。但讀法有種々、義分於多岐者、以附送り假名爲可。例如上ゲ下ゲ・上リ下リ・上ガリ下リ等類。(以漢字爲讀假名時、以假名爲讀假名)

中止法者、並列數個同趣詞句之時、半途中止上文之陳述、而移于下文、以照應於下文之動詞形容詞助動詞等之法也。中止法、爲漢字之且又等之意義。中止法、爲同一法之並列、故

中止法ハ同ジ法ガ並列シマスカラ、或ハ之ヲ並列法ト謂ツテモ宜シイノデス。例ヘバ左ノ通りデス。

春ハ、花モ咲キ、鳥モ鳴ク。

アレハ、随分勉強モシ、運動モ爲ル男デス。

アレハ、一寸英語モ話シ、交際モ上手デスカラ、

商店ヤ會社向キニハ至極適當ナ人物デセウ。

智慧モ有リ、學問モ有レバ、人ニ敬ハレマス。

出世シテ親ニモ孝行シ、公共ノ爲ニモ盡力シロ。

中止法ニハ、種々ノ表ハシ方ガ有リマス。第四變化

ノ下ニ、シ或ハガヲ添ヘル者モ有レバ、第五變化ノ

下ニ、バヲ添ヘル者モ有リマス。又第二變化ノ下ニ

輕クテヲ添ヘル者モ有リマス。此ノテハ唯調子ヲ監ヘル爲

アノ人ハ財産モ有ルシ、徳望モ有リマス。

或謂之並列法、亦可也。例如左。

春日花開鳥鳴。

他也很用工、而且也運動的人。

他也會說一點英國話、交際上也是好手、若

用在舖子或公司方面、是最合式的人。

若有智慧、且有學問、就被入敬重。

你務須榮達、對父母孝養、爲公共盡力。

中止法、有諸種之表現法。或在第四變化之下

添加シ及ガ、或在第五變化之下、添加バ、又

有第二變化之下、輕添テ者。此テ唯爲調子而

他有財產、也有徳望。



アノ人ハ資産モ有ルガ、家柄モ好ウゴザイマス。  
アノ人ハ花モ有レバ、實モ有ル人デス。

智慧學問モ有ツテ、膽魂モ太ケレバ、政治家ニ成  
ル資格ハ十分デス。

私ノ宅デハ、父ハ毎日役所ヘ行ツテ、兄ハ會社ヘ  
出マス。

私ハ、毎日朝ハ冷水デ體ヲ拭イテ、晚ハ必ズ風呂  
ニ入りマス。

彼ノ市ハ、近頃水道モ敷設スレバ、下水ノ排泄モ  
善クスルシ、道路モ修築スレバ、並木モ植エ付

ケマシタカラ、衛生上完全ナ市街ニ成リマシタ。  
六、【命令法(第六變化)】

命令法ハ、他ニ對シテ或動作ヲ命令シ又ハ希望スル

他財產也有、門第也好。

他是個文質彬彬的人。

若是有智慧學問、而且有膽略。很當當政治

家的資格。

我家裡頭、家父每天上衙門去、家兄上公司

去。

我每天早起、用凉水擦身體、晚上必定上澡

堂裡去。

某市近來也敷設了自來水管、污水溝也通好

了。又修理街路、而且栽種了路傍樹木。

所以在衛生上、成了完々全々の市街了。

命令法者、對他而命令以某種動作、或表白希

ノ意ヲ表ハス者デス。

小隊前へ進メ、

人ノ振り見テ、我ガ振り直セ。

今ニ見ロ、アンナ不正ナ事ヲシテ居ルト、新聞ニ

敲カレルカラ。

來イト云フノニ、ナゼ早く來ナイノカ。

貴様バカリガ、不仕合ナノデハナイ。世間ニハ、

イクラモ有ル例ダカラ、マア當分辛抱シロ。

【備攷一】 敬語デ命令或ハ希望ノ意ヲ表ハスニ

ハ、第二變化ニナサイ下サイ或ハテ下サイヲ添ヘマ

ス。

又親友ニ對スル命令ニハ、第二變化ニ給ヘテ添ヘマ

ス。

望之意者也。

小隊前進。

看別人的行狀、可以改自己的行狀。

瞧着罷、他做那樣不正的事、眼看著被新聞

攻擊。

我叫你、你怎麼不快來呀。

不是你一個人沒造化的、這樣人、世上儘有

許多、你暫且忍耐些罷。

【備攷一】 以敬語表示命令或希望之法、在

第二變化之下、添加ナサイ下サイ或テ下サ

イ。

又對於「友之命令、在第二變化之下、添加給

ヘ。



今日ハ休日デ、暇デスカラ、緩ク御話シナサイ。

〔御話シ下サイ。〕

アナタ、コチラへ御出デ下サイ。(御出デナサイ。)

應接所デ、暫ク御待テ下サイ。(待ツテ居テ下サイ。)

イ。

課業ガ済ンダラ、一寸御話シシタイ事ガ有リマス

カラ、教員室迄來テ下サイ。

先生御暇ナ時、ドウゾ此ノ作文ヲ直シテ下サイ。

君、之ヲ見給へ。

君モ來給へ。

〔備攷二〕否定命令ノ意義ヲ表ハスニハ、第三變化ノ下ニ、助詞ノナヲ添ヘマス。

ソシテ、ソシテ切ツタ嘘ヲ言フナ。

今日は休息日、有工夫 請慢々の談一談。

請您這兒來。

請在客廳裡稍待。

我有一點事、要和您談一談、所以您完課了、請到教員室來。

先生有暇、請將此文斧正。

你把這個看看。

你也請過來。

〔備攷二〕又表白否定命令之法、在第三變化下、添加助詞之ナ。

不可撤這樣分明的謊。

人ノ言フ事ヲ、粗略ニ聽クナ。

油斷シテ、楷子段カラ落チルナ。

貴様見タ様ナ不都合者ハ、二度ト邸ヘ來ルナ。

貴様モ、是カラ餘リ不行跡ナ事ヲ爲ルナ。

〔備攷三〕敬語デ否定命令ノ意義ヲ表ハスニハ、第二變化ノ下ニ、ナサルナ、下サルナ、テ下サルナ、等ヲ添ヘテ、之ヲ表ハシマス。又親友ニハ給フナヲ用ヒマス。例ヘバ左ノ通りデス。

ソシテ、ソシテ切ツタ嘘ヲ言フナ。

ソシテ、ソシテ切ツタ嘘ヲ言フナ。

ソシテ、ソシテ切ツタ嘘ヲ言フナ。

ソシテ、ソシテ切ツタ嘘ヲ言フナ。

ソシテ、ソシテ切ツタ嘘ヲ言フナ。

ソシテ、ソシテ切ツタ嘘ヲ言フナ。

七、〔前提法〕

前提法ニハ、四ツ有リマス。順態確定前提法、逆態確定前提法、順態假定前提法、逆態假定前提法ノ四

不可粗慢聽著人家的說話。

不可放心從樓上落下。

像你這樣不德義的人、無庸再來我家。

你從此後不要做品行不好的事。

〔備攷三〕於敬語表示否定命令之意義之法、在第二變化之下、添加ナサルナ・下サルナ・テ下サルナ等、又對於親友則用給フナ。例如左。

不要(請別)說那麼樣的沒道理的話。

請您暫且別來我家裡。

前提法有四、順態確定前提法、逆態確定前提法、順態假定前提法、逆態假定前提法即是、







明日雨が降レバ、運動會ハ見合セマス。

旱ガ一月モ續クト、大抵ノ植物ハ、皆弱リマセウ。

ドンナ健康ナ人デモ、過度ニ飲食シテハ、體ヲ惡

クシマセウ。

右ノ例ハ、其ノ動作ガ、果シテ行ハレルカ、ドウカ、

豫斷サレマセンカラ、假定デス。サウシテ下ノ句ガ、

上ノ句ニ順應スルカラ、順態假定前提法ト謂フノデ

ス。此ノ場合ノバトテハハ漢字ノ若……則ノ意デス。

病氣ノ時ニハ、ドンナ好イ料理ヲ食ベテモ一向ニ

旨クナイ。

心配事ノ有ル時ニハ、何ヲ見テモ面白クナイ。

右ノ例モ實際ニ行ハレル動作ヲ表ハスモノデナイカ

ラ假定デス。サウシテ下ノ句ガ、上ノ句ニ逆應スル

明天若是下雨、展限運動會。

旱天連接一個月來著、大概的植物就衰敗罷。

雖然怎麼康健的人、若是飲食過度、身子就

壞了罷。

右例、其動作果然可行否、不可豫期、故屬假

定。而以下句順應于上句。故謂之順態假定前

提法。如此之バトテハ者漢字若……則之意

也。

有病之時、縱令吃怎麼好菜、總是不甘。

心有所憂之時、縱令觀何物而不愉快。

右例亦非表示實際所行之動作故爲假定。且以

下句逆應于上句、故謂之逆態假定前提法。テ

カラ、之ヲ逆態假定前提法ト謂フノデス。テモハ漢

字ノ縱令・假使等ニ該當シテ居マス。

又バトテハテモハ、右ノ様ニ假定ニ用ヒマスガ、

用法ニ因ツテ確定ニモ成リマス。此ノ場合ノバトテ

ハハ、漢字ノ則ノ意ニ當リマス。サウシテ順態確定

前提法ヲ表ハシマス。テモハ雖ノ意ニ當ツテ、逆態

確定前提法ヲ表ハシマス。

今某サンノ話ヲ聽ケバ、昨日ノ某新聞ノ記事ハ

全ク嘘ダ相デス。

アノ人ハ、昨午文官試驗ガ通過スルト、直グ高等

官ニ登庸サレマシタ。

貴君ノ様ニ、サウ勉強シテハ屹度體ヲ傷ヒマスヨ。

今年ハ、春分ガ過ギテモ、マダ暖カデアリマセン。

モ者該當於漢字縱令・假使等之意。

又バトテハテモ雖用於假定如右記、而因用

法、成爲確定、如此之時、バトテハ該當於

則字之義、表示順態確定前提法。テモ該當於

雖字之義、表示逆態確定前提法。

現在聽某君所說、則昨日某報所載之記事、

全然爲虛誕。

某君昨年一中了文官致試。就蒙登庸於高等

官矣。

您那麼樣過度的用功、一定弄壞了身子哪。

今年雖既過春分而尚未暖相。



【備攷一】 動詞ガ助動詞ヲ帶ビタ時ニハ、動詞自己ノ法ハ無クツテ、助動詞ノ法ニ隨フモノデス。

【備攷二】 雨ガ降ラウト、空ガ晴レヨウト、君ガ行クナラ、君ガ行ツタラ等モ、固リ前提法デスガ、ウ、ヨウナラ、タラガ、助動詞デスカラ、後デ其ノ法トシテ説キマス。

【動詞ノ音便】 四段活用ノ第二變化（サ行四段ヲ除ク）ハ、助動詞ノタ（テモ同様）ニ接續スル時、音便ニ成リマス。

カ行四段ハ、イ音便ニ成リマス。（但シ行クハ例外）  
手紙ヲ書キタ。舟ヲ漕ギタ。（上野ヘ行キタ）  
ナ行四段・バ行四段・マ行四段ハ、ン音便ニ成ル。

【備攷一】 動詞帶有助動詞之時、動詞自己不有其法而隨助動詞之法。

【備攷二】 如雨ガ降ラウト（縱令下雨）空ガ晴レヨウト（縱令天晴）君ガ行クナラ（若是您去就）君ガ行ツタラ（若是您去了就）等固亦前提法。但以ウヨウナラタラ屬于助動詞故、容於助動詞項下之法講說之。

【動詞之音便】 四段活用之第二變化（除サ行四段）接續于助動詞之タ（テ亦同）時、成音便。

カ行四段、爲イ音便。（但カ行爲例外）  
寫信了。搭船了。上上野去了。  
ナ行四段・バ行四段・マ行四段、爲ン音便。

人ガ死ニタ。本ヲ讀ミタ。父ガ喜ビタ。

タ行四段・ラ行四段・ハ行四段ハ、ツ音便ニ成ル。  
手ヲ拍チタ。枝ヲ折リタ。本ヲ買ヒタ。  
ハ行四段ハ、關西語デハ、ウ音便ト成ル。  
本ヲ買ヒタ。君ハ何ヲ言ヒタ。

【敬語動詞】 動詞ノ中ニハ、敬語動詞ト云フ者ガ有リマス。其ノ中ニ、他人ノ動作ヲ敬フ者ト、自分ノ動作ヲ卑下スル者ト、自他ニ關係ナク對話ヲ上品ニスル爲ニ用ヒル者トノ三通リ有リマス。第一ヲ尊他敬語又ハ行動者敬語ト謂ヒ、第二ヲ自卑敬語又ハ關係者敬語ト謂ヒ、第三ヲ對話敬語又ハ鄭重語ト謂ヒマス。例ヘバ左ノ通りデス。

君ハ何ヲ言フ。  
平常語

人死了。念書了。父親喜歡了。

タ行四段・ラ行四段・ハ行四段、爲ツ音便。  
拍手了。折枝了。買書了。  
ハ行四段、於關西語、則爲ウ音便。  
買書了。你說甚麼了。

【敬語動詞】 動詞之中、有所謂敬語動詞。分爲三種、第一敬他人之動作。第二卑下自己之動作。第三不問自他爲使對話有氣品使用者。第一謂尊他敬語或行動者敬語。第二謂自卑敬語或關係者敬語。第三謂對話敬語或鄭重語。例如左。

你說甚麼。



一  
あなたハ何ヲオツシヤル。  
行動者敬語(即尊他敬語)

一寸先生ニ申上ゲル。  
關係者敬語(即自卑敬語)

あなた、此處ハ何ト申ス町デスカ。  
對話敬語

御前何處へ行ク。  
平常語

二  
檀那ドチラへ入ラツシヤル。  
行動者敬語

私ハ唯今先生ノ御宅へ伺フ處デス。  
關係者敬語

叔父サン犬ガ附イテ參リマス。  
對者 對話敬語

例  
今主要ナ敬語動詞ヲ、左ニ概説シマセウ。  
オツシヤル(ラ四)言フノ敬語。  
あなたハ、何ヲオツシヤイマスカ。  
唯今オツシヤツタ事ハ、能ク了解イタシマシタ。

您說甚麼。

我告訴先生一點事情。

請問您哪、這兒叫甚麼街呀。

你上那兒。

先生上那邊去呀。

我現在正是要拜訪老師府上去的時候。

叔父！ 狗跟您來了呢。

今將主要之敬語動詞、概說於左。

您說甚麼。

現在您說的話都曉得了。

成サル(ラ四)爲ル之敬語(以下皆同)

あなた。何ヲ成サイマスカ。

あなた方ノ成サルコトダカラ、決シテ、間違ヒハ

アリマスマイ。

遊バス(サ四)爲ル

あなた大層御寢レナサイマシタガ、ドウカ遊バシ

マシタカ。

近頃ハ、何ヲ遊バシテ入ラツシヤイマスカ。

御出デル(タ下一)居ル 來ル 行ク

入ラツシヤル(ラ四)同前

ドチラへ御出デナサイマスカ。

ドチラへ入ラツシヤイマスカ。

ドチラカラ御出デニ成リマシタカ。

您做甚麼呢。

諸位辦的事、決沒有錯兒罷。

您太瘦了。怎麼欠安了嗎。

近來您做甚麼哪。

您上那兒去。

您上那兒去。

您從何處來。



ドチラカラ入ラツシヤイマシタカ。

ドチラニ御出デナサイマスカ。

ドチラニ入ラツシヤイマスカ。

コチラへ御出デナサイ。

コチラへ入ラツシヤイ。

召ス(サ四) 呼ブ 著ル 乗ル 穿ク 適フ 使フ 浴スル等ノ意

御嬢様、御父様ガ召シテ入ラツシヤイマス。

御車ニ召シテ入ラツシヤイマシタカ。

イイ御袴ヲ召シマシタネイ。

ソナナ處ニ入ラツシヤルト、御召物ガヨゴレマス。

御意ニ召シタラ、御買ヒナスツテ下サイ。

御風呂ニ御召シナサイマシ。

同前。

您住在何處。

同前。

請到這邊來。

同前。

姑娘您父親叫您哪。

您坐車來的呢。

您穿上好裙子了哪。

您在那麼樣的地方、衣裳就不乾淨了。

若合您的意、請您買。

請您洗澡。

思召ス(サ四) 思フ 考ヘル

アナタノ思召ハ、如何デスカ。

アナタハドウ思召シナサイマスカ。

上ガル(ラ四) 飲ム 食フ

召シ上ル(ラ四) 同前

モウ御飯ヲ御上リナサイマシタカ。

一寸宅へイラツシヤツテ、御茶デモ御上リナサイ

マシ。

ドウゾ澤山召シ上ツテ下サイマシ。

アナタ御酒ヲ召シ上リマスカ。

見エル(ヤ下一) 來ル

今朝ハ、モウ先生ガ見エマシタ。

此ノ頃ハ、一向御見エニ成リマセンデシタネイ。

您的意思怎麼樣哪。

同前。

您已經用過飯了麼。

暫且到我家裡、喝碗茶罷。

請多用點兒。

您用酒麼。

今天早晨、先生已經來了。

許久沒見您來了。



下サル(ラ四)吳レル

叔母サンガ、コンナ綺麗ナ物ヲ、私ニ下サイマシ

タ。

私ニ御茶ヲ一ツ下サイ。

御覽ジル(サ上一) 見ル 通常語尾ヲ省略スル

アナタ、之ヲ御覽(ジ)ナサイ。

御前ロク御覽(ジロ)。

アナタ、活動寫眞ヲ御覽ナサイマシタカ。

以上ハ尊他敬語 卽行動者敬語ノ例デス

申ス(サ四) 申上ゲル(カ下一) 言フ

私ハソソナ事ヲアナタニ申シタ覺エハアリマセ

ン。

此ノ間申上ゲタ事ハ、ドウナスツテ下サイマシ

叔母給我這麼樣好看的东西。

給我一點茶

您看這個。

您留神看々。

您看過電影戲麼。

以上尊他敬語卽行動者敬語之例也。

那麼樣的話、我沒記得對您說過。

前幾天我說的事、您怎麼辦了呢。

タカ。

私ハ決シテ嘘ハ申シ上ゲマセン。

承ル(ラ四) 聽ク

私ハマダ左様ナ御話ハ、ドナタカラモ承リマセ

ン。

承リマスレバ、今度先生ニハ、歐羅巴ノ方へ御出

デナサイマス相デス。

伺フ(ハ四) 聽ク 尋ネル 問フ

一寸伺ヒマス。此ノ邊ニ、山縣ト云フ方ハ、スラ

ツシヤイマセンカ。

私ハ、左様ナ御話ハ、ツイ伺ヒマセンデシタ。

近日御宅へ伺ヒマセウ。

上ガル(ラ四) 行ク 來ル

我決不說假話。

那樣的話誰說呀、我還沒聽過。

我聽見說、這回您上歐羅巴去。

請問您哪、這塊兒地方、姓山縣的人、有沒

有。

那樣的說話、我竟沒聽說。

過幾天上貴府去罷。



出ル (タ下一) 同前。

參ル (ラ四) 同前

明日御宅へ上ガリマス。

今度出マシタ時ニ、緩クリ御話申シ上ゲマス。

御宅へハ、初メテ參リマシタ。

願フ (ハ四) 頼ム

ドウゾ御願ヒ申シマス。

今日ハ、御願ヒガ有ツテ、參リマシタ。

致ス (サ四) 爲ル

仕ル (ラ四) 同前

御伴ヲイタシ (仕リ) マセウ。

承知致シ (仕リ) マシタ。

上ゲル (カ下一) 遣ル

明天上貴府去。

下次來的時候、多談一會子。

上貴府初次來了。

懇求您。

今天我來的、是有一件求您的事。

奉陪您去罷。

敬承了。

差上ゲル (カ下一) 同前

進上スル (サ變) 同前

粗末ナ菓子デスガ、坊チヤンニ上ゲテ下サイ。

是ハ、珍シクモナイ果物デスガ、郷里ノ兩親カラ、

送ツテ參リマシタノデ、少々差上ゲマス。

牡丹ガ、咲キ懸ケマシタカラ、一鉢御老人様へ進

上イタシマス。

戴ク (カ四) 貰フ

頂戴スル (サ變) 同前

御客様ニ御土産ヲ戴キマシタ。

御志ハ、有リ難ク頂戴イタシマス。

拜見スル (サ變) 見ル

一寸此ノ御本ヲ拜見イタシマス。

這是不很好的點心、請您給令郎吃罷。

這個菓子、是我的父母自老家送來的、所以

雖然不很希罕、請您用一點兒罷。

牡丹花要開了。所以奉給令尊老人一盆

罷。

我蒙客人給我土物。

拜領您的盛情。(心領々々)

把這本書我要暫且看看。



拜借スル (サ變) 借リル

少々 ナイフヲ 拜借シマス。

御用立テル (タ下一) 貸ス

先日御用立テテ置キマシタ書物ヲ、一寸御返シ下

サイ。

以上ハ、自卑敬語 卽關係者敬語ノ例デス。

申ス (サ四) 言フ

アレハ筑波ト申ス山デゴザイマス。

何ト申シマシテモ、子供ノ事デスカラ、行キ届カ

ナイ事バカリデス。

致ス (サ四) 爲ル

仕ル (ラ四) 同前

ドウ致シ (仕リ) マシテ。

把洋刀子借給我一會子。

前幾天借給您的那本書、請暫且還我罷。

以上自卑敬語、卽關係者敬語之例也。

那是叫筑波的山。

無論怎麼樣說、因為他是小孩子、諸事總不能周到。

不敢當。(那兒的話呢)

彼此致ス内ニ、時間ガ立チマシタ。

壽命ノ事ハ、ドウモ致シ方ガアリマセン。

何ヲ致スニモ、資本ガ本デス。

參ル (ラ四) 行ク 來ル

交通機關ガ完備シマシタカラ、ドチラヘ參ルニモ

便利デス。

電報ガ參リマシタ。

食ベル (ハ下一) 食フ

熱イ時ハ、何ヲ食ベテモ、旨クアリマセン。

存スル (サ變) 知ル 思フ

私ハ一向存ジマセン。

アナタモ御存ジナイデセウカ。

存ジ寄リノ方ハ、知ラセテ下サイ。

忙々碌々過了時候兒了。

天壽、怎麼沒法子。

辦甚麼、本錢是基礎。

因為是交通機關完備了。上那邊去、都是方

便的。

電報來了。

天氣熱的時候兒、吃甚麼都不香。

我總不知道。

您也不知道麼。

想到的人、請告訴我。



私ハ左様ニ存ジマス。

御座ル(ラ四)有ル 在ル

此ノ書物ハ、何處ノ本屋ニ御座イマスカ。

私ハ智慧モ學問モゴザイマセン。

以上ハ對話敬語動詞 即 鄭重語動詞ノ例デス。

【補助動詞】

補助動詞トハ、動詞ガ獨立ニ用ヒラレナイデ、他ノ動詞・形容詞・或ハ名詞、代名詞ナドノ下ニ添ツテ殆ド助動詞ト同様ナ效用ヲ、爲ル者ヲ謂ヒマス。但シ其ノ違フ點ハ、助動詞ハ全ク獨立ニ用ヒラレマセンガ、補助動詞ハ此等ノ詞ト引離シテ用ヒレバ 就レモ皆一個ノ獨立動詞デス。例ヘバ左ノ通りデス。

我那麼想著。  
這本書、在那兒的書舖賣呢。  
智慧和學識、我都沒有。  
以上對話敬語動詞即鄭重語動詞之例也。

一、他有財產。

二、此處ニ綺麗ナ人形ガ有リマス。

三、アレハ、財産家デアリマス。

四、此ノ人形ハ、綺麗デアリマス。

五、ソレガ宜シクアリマス。

右ノ例ノ一、二ノ有ルハ、獨立動詞デ、有ル無シノ有ルノ意デス。三、四、五ノアルハ補助動詞デ、三ハ指定助動詞ノデヲ帶ビタ名詞ニ添ヒ、四ハ形容詞ノ第二變化ニ、五ハ形容詞ノ第二變化ニ添ツテ、其ノ意義ヲ助ケテ居マス。

- 一、車夫ニ、車賃ヲ遺ル。
- 二、子供ニ、菓子ヲ遺ル。
- 三、主人ガ番頭ノ過失ヲ宥シテ遺ル。
- 四、旅人ニ、道ヲ教ヘテ遺ル。

二、此處有好看的泥塑人。

三、他是個有錢的。

四、這個泥塑人是好看。

五、那是好。

右例第一第二之有ル、是獨立動詞、且有無之有字意。第三第四第五之有ル、補助動詞也。然而三者添于帶有指定助動詞之名詞、第四者添于形容詞之第二變化、第五者添于形容詞之第二變化、而幫助其意義。

- 一、給車夫車錢。
- 二、給小孩子點心。
- 三、主人垂憐寬恕掌櫃的過失。
- 四、教旅人道兒。



右ノ例ノ一、二ノ遣ルハ、獨立動詞デ、物品ヲ他ニ給與スル意。三、四ノ遣ルハ補助動詞デ、勞力ヲ他ニ給與スル意デス。サウシテ助詞ノテヲ帶ビタ動詞ニ添ツテ、其ノ意義ヲ助ケテ居マス。以下ノ例モ、皆同ジデス。

- 一、オバアサンガ、僕ニ御足ヲ呉レル。
  - 二、檀那ガ、車曳ニ酒手ヲ呉レル。
  - 三、兄サンガ、私ニ英語ヲ教ヘテ呉レル。
  - 四、御カアサンガ、私ヲ愛シテ呉レル。
- 右ノ例ノ一、二ノ呉レルハ、獨立動詞デ、他ノ者ガ自分ニ物品ヲ給與スル意、三、四ノ呉レルハ補助動詞デ、他ノ者ガ、自分ニ勞力ヲ給與スル意デス。
- 一、店員ガ、主人カラ給金ヲ貰フ。

右例第一第二之遣ル、是獨立動詞、給與物件於他人之意也。第三第四之遣ル、補助動詞、給與勞力於他人之意也。必添于動詞之帶有動詞者、幫助其意義。以下之例。皆同。

- 一、祖母給我錢。
  - 二、主人給車夫酒錢。
  - 三、家兄教給我英國話。
  - 四、母親賜愛我。
- 右例第一第二之呉レル、是獨立動詞、他人給與物件於我之意也。第三第四之呉レル、補助動詞、他人給與勞力於我之意也。
- 一、店員領俸錢於主人。

二、私ガ、オカアサンカラ、小使ヲ貰フ、  
 三、病人ガ、醫者ニ病氣ヲ直シテ貰フ。  
 四、學生ガ、先生ニ作文ヲ添削シテ貰フ。

右ノ例ノ一、二ノ貰フハ、獨立動詞デ、自分ガ他ノ者カラ、物品ノ贈與ヲ受ケル意、三、四ノ貰フハ、補助動詞デ、自分ガ、他ノ者カラ、親切或ハ勞力ヲ受ケル意デス。

- 一、オヂイサンガ、新聞ヲ見ル。
  - 二、子供ガ、活動寫眞ヲ見ル。
  - 三、學生ガ、實地問題ヲ研究シテ見ル。
  - 四、此ノ菓子ハ、旨イカ、マヅイカ、食ツテ見レバ分ル。
- 右ノ例ノ一、二ノ見ルハ、獨立動詞デ、眼ヲ以テ物

二、我領零用的錢於母親。  
 三、病人請醫生治病。  
 四、學生們蒙教師刪改作文。

右例第一第二之貰フ、是獨立動詞、我受贈遺物件於他人之意也。第三第四之貰フ、補助動詞、我受他人之盛情或勞力之意也。

- 一、祖父閱報。
  - 二、小孩子們看電影戲。
  - 三、學生們、試研究實在的問題。
  - 四、這個點心、好吃不好吃、先試吃一吃、就明白。
- 右例第一第二之見ル、是獨立動詞、以視官觀



ヲ見ル意。三、四ノ見ルハ、補助動詞デ、試ミニ其ノ動作ヲ行フ意デス。

- 一、机ノ上ニ、本ヲ置ク。
  - 二、應接間ニ、テーブルヲ置ク。
  - 三、部屋ヲ取散シテ置ク。
  - 四、窓ヲ明ケ放シテ置ク。
  - 五、冬ガ來ルカラ、冬服ヲ捲ヘテ置ク。
  - 六、客ガ來ルカラ、料理ヲ誂ヘテ置ク。
- 右ノ例ノ一、二ノ置クハ、獨立動詞デ、物ヲ安置スル意。三、四、五、六ノ置クハ、補助動詞デ、放置又ハ豫備的措置ノ意ヲ示シマス。
- 一、稽古ハ、モウ仕舞ヒマシタ。
  - 二、學校ハ、三時ニ仕舞ヒマス。

事物之意也。第三第四之見ル、補助動詞、試行其事之意也。

- 一、卓子上、摺書。
  - 二、客廳裡、安置洋桌子。
  - 三、攤亂了屋子。
  - 四、開好窗戶。
  - 五、因為冬天來了、豫先做好冬衣。
  - 六、因為客人來、豫先定買下菜飯。
- 右例第一第二之置ク、是獨立動詞、安置物件之意也。第三第四第五第六之置ク、補助動詞、表白放置或豫備的措置之意。
- 一、功課是已經完了。
  - 二、學校三點鐘完課。

- 三、讀懸ケタ本ヲ、讀ンデ仕舞フ。
  - 四、仕懸ケタ仕事ヲ、爲テ仕舞フ。
  - 五、學科ガムヅカシクツテ、因ツテ仕舞フ。
  - 六、餘リ心配スルカラ、瘦セテ仕舞フ。
- 右ノ例ノ一、二ノ仕舞フハ、獨立動詞デ、其ノ事ノ終リヲ告ゲル意。三、四、五、六ノ仕舞フハ補助動詞デ、上ノ動詞ノ動作ガ、全ク完了スル意。又ハ其ノ動作ヲ強ク言フ意デス。
- 以上ノ外、補助動詞ニハ敬語ヤ時ヲ表ハスニ用ヒル者ガ有リマスガ、便宜ノ爲ニ、助動詞ノ敬語ヤ時ノ部デ、一絡ニ説キマスカラ、此處デハ省略シマス。
- 第四章 形容詞及ヒ形容動詞
- 【形容詞ノ分類】 形容詞ヲ分ケテ、二通リトシマ

- 三、把讀開了頭的書、讀完了。
  - 四、把已經開辦的事情、辦完了。
  - 五、學科難得沒法辦。
  - 六、因為很着急、身子都瘦了。
- 右例第一第二之仕舞フ、是獨立動詞、其事告終之意也。第三第四第五第六之仕舞フ、表示上位動詞之動作、全然完了之意、或強說其動作之意也。
- 以上之外、補助動詞、尙有用於表白敬語或時者。爲便宜計、在助動詞之敬語及時之部、一併說之、故今從省略。
- 【形容詞之分類】 形容詞分爲二種。第一謂







〔ク活用ノ類語〕

高イ	低イ	早イ	遅イ	重イ	軽イ	甘イ	辛イ	遠イ	近イ	痛イ
痒イ	憎イ	ツライ	(辛苦)	面白イ	善イ	悪イ	多イ	少イ	太イ	(粗)
細イ	(細)	細カイ	(微)							

〔シク活用ノ類語〕

樂シイ	苦シイ	悲シイ	喜バシイ	嬉シイ	(喜歡)	優シイ	(柔和)	大人シイ	(柔和)
親シイ	慕ハシイ	戀シイ	可笑シイ	恥カシイ	煩ハシイ	忙シイ			
騒ガシイ	八釜シイ	(喧囂)	見苦シイ	(不好看)	睦マジイ	凄マジイ			
如何ハシイ	(可疑)	疑ハシイ	(可疑)	思ハシイ	(如意)				

シク活用ニハ、種々ノ詞ノ疊語カラ、出來タ者ガ、  
多ウゴザイマス。例ヘバ左ノ様ナ類デス。

如左類。

騒々シイ(喧囂) 仰々シイ(誇張) 凜々シイ(凜然) 圖々シイ(視然)  
事々シイ(故意) 華々シイ(華麗) 壯烈) 馬鹿々々シイ(似愚) 毒々シイ(看著是含有毒氣的)

長々シイ(冗長) 重々シイ(莊重) 輕々シイ(輕卒) 弱々シイ(軟弱) クダクダシイ(繁縟)

〔ク活用シク活用ノ法〕

ク活用シク活用ノ法ハ、大體動詞ニ同ジデスガ、少シ違ヒマス。動詞ニハ連用法・名詞法・命令法ガ有リマスケレドモ、ク活用シク活用ニハ、此ノ三ツノ法ガ無クツテ、副詞法ガ有リマス。其ノ他終止・連體・中止・前提等ノ諸法ハ、スベテ動詞ト同ジデス。

第一〔終止法(第三變化)〕

アノ人ハ、見識ミシキヲ高タカイ。  
アノ人物ハ、器ウツガ大オホキイ。  
アノ女ハ、性質セイシヤウガ優ユウシイ。  
アノ軍人ハ、様子ヨウシガ勇ユウマシイ。

ク活用及シク活用之法、大概同于動詞。而稍異者。動詞有連用法・名詞法・命令法。ク活用シク活用、無此三種法而有副詞法。其他終止・連體・中止・前提等之諸法都同於動詞。

他見識高。  
那個人器量大。  
那個女子、性質柔和。  
那個軍人、様子雄壯。



第二「連體法(第四變化)」

面積ノ廣イ國。

人口ノ多イ都會。

歷史上ニ著シイ地名。

區劃ノ正シイ市街。

ク活用シク活用ノ連體法モ、當然其ノ下ニ有ル可キ名詞ヲ省略シテ、連體法自身ヲ以テ、直ニ名詞ニ代用シマス。又連體法ノ下ニ有ル可キ名詞ノ代リニ代名詞性ノ語ノヲ用ヒルコトモ、全ク動詞ニ同ジデス。

酒席ノ演說ハ、短イニ限ル。

直段ノ高イハイイガ、品ノ惡イガイケナイ。

説明ノクダクダシイノハ、了解ニ苦シム。

アノ男ノ厚カマシイノニハ、實ニ驚キマス。

面積(大)寬的國。

人口多的都會。

歷史上顯著的地名。

區劃端正的市街。

ク活用シク活用之連體法、亦省略其下當有之名詞、以連體法自己、直接代用于名詞。或除去連體法下當有之名詞、而用代名詞性之、全同於動詞。

酒席上的演說、以簡短為妙。

價錢貴還可以。可是東西不好可不行。

講得煩瑣的、難以了解。

他的厚臉皮、實在可驚。

若い者ノ餘リ小ザカシイノハ、身ヲ誤ル本デス。

【備攷】 外國人ガ日本語ヲ話ス際ニ、往々連體法ノ下ニ、助詞ノヲ添ヘル者ガアリマスケレドモ、是ハ最モ耳障リナ誤リデス。例ヘバ高イノ山、白イノ花、悲シイノ事ナドノ類デスガ、此ノ連體法ト、名詞ノ中間ニ在ルノハ、全ク無用ノ長物デス。

第三「中止法或並列法(第二變化)」

此ノ本ハ、内容モ善ク、文章モ面白イ。

度量モ廣ク、同情ニモ富ンダ人ハ、世間ノ人ニ心

服サレル。

學問モ深ク、人格モ高ケレバ、世間カラ重ンゼラ

レル。

右ハ第二變化ヲ以テ、中止法即並列法トシタ者デス

年輕的人、很有小智慧的、是誤身之本。

【備攷】 外國人用日本語說話之際、往々有添加助詞之ノ于連體法下者是甚不好聽之誤謬也。例如高イノ山、白イノ花、悲シイノ事等類、如此介在于連體法與名詞之中間之ノ、全然無用之長物也。

這個書、内容也好、文章也有意思。

度量寬洪、人情也富厚的人、被世人佩服。

學問也深、人格也高、就被世間貴重。

右例以第二變化、為中止法即並列法者。又有



ガ、文語ノ第三變化ト、同じ形ヲ以テ、中止法ニ用  
ヒルモノモ、稀ニ有リマス。例ヘバ左ノ通りデス。  
此ノ小説ハ、仕組モ面白シ、文章モ巧妙ダカラ、  
非常ニ賣レタ相デス。

僕ナゾハ、手邊ハ無シ、交際ハマツシスルカラ、  
トテモ昇進ノ見込ハアリマセン。

【備攷一】 形容詞モ、テ、シ、ガ、バ等ノ助詞ヲ  
添ヘテ、中止法ト爲ルコトノ有ルノハ、動詞ト同じ  
デス。例ヘバ左ノ通りデス。

アレハ、家柄モ善イカラ、人物モ善イカラ、人望  
ガ有リマス。

第四【副詞法(第二變化)】

副詞法ハ、形容詞ガ動詞・形容詞ノ上ニ來テ、副詞

時以同於文語第三變化之形、爲中止法者。例  
如左。

這個小説、構想也有趣、行文也巧妙、所以  
我聽說賣的非常興旺。

像我們、引援者也沒有、交際也拙劣、所以  
終究沒有陞任的指望。

【備攷一】 形容詞亦有添テシガバ等助詞  
以爲中止法者。與動詞相同。例如左。

他是門地也好、人格也好、所以有衆望。

副詞法者、形容詞在動詞形容詞之上、爲副詞

ノ效用ヲ爲ル者デス。

子供ガ、八釜シク(ウ)騒ギ立テル。

今朝ハ、イツモヨリ、汽車ガ遅ク(ウ)著イタ。

人材ヲ廣ク世間ニ求メル。

恭シク(ウ)神ノ前ニ禮拜ヲ爲ル。

第五【前提法】

形容詞ノ前提法モ、動詞ト同じク、順態假定前提法  
逆態假定前提法、順態確定前提法、逆態確定前提法  
ノ、四ツニ分レテ居マス。諸君ハ左ノ諸例ノ前提法  
ヲ區別シテ御覽ナサイ。

此ノ帽子ハ、番號バ丁度宜シイケレドモ 品ガ餘リ

思ハシクアリマセン。

アノ男ハ、學問ハ深イケレドモ 惜シイコトニハ、

之效用者也。

小孩子們、大聲吵々嚷々。

今天早晨、火車比平常到的晚。

廣求人材於世間。

恭々敬々在神前行禮。

形容詞之前提法、亦分爲四樣、同於動詞。順  
態假定前提法・逆態假定前提法・順態確定前  
提法・逆態確定前提法・即是。諸子試分別左  
列諸例之前提法。

這個帽子、數號正好、可是品質不很中意。

他是學問淵博 可惜沒有通權應變的材幹。



融通ガ利キマセン。

アノ店ハ直段ハ少シ高イガレドモ 懸値ガ無イカラ、

素人ノ買フノニ宜シイデス。

鎌倉ハ、風景ガイイノデ 始終遊ビニ行ク人ガ多ウ

ゴザイマス。

此ノ熱イノニ、能ク遠方カラ、御尋ネ下サイマシ

タ。

雨ガ降ツテ、御道ガ悪イノニ、能クマア御出懸ケ

ナサイマシタ。

ロシンバ頭ガドンナニ好クテモ、體ガ弱イトバ 何

ニモ出来マセン。

何ガ無クテモ、米ト鹽丈ハ無ケレバナリマセン。

富ヤ位ハナクテモ、體サヘ健康デアレバ、人ハ何

那個舖子、價錢貴一點、可是沒有謊價。所以  
便於外行人去買。

鎌倉景致好、所以平常去遊的人很多。

天氣這樣熱、您從遠處特意找我來、實在感

激之至。

下了雨、道兒不好走。這樣您還來了哪。

縱令腦袋怎麼好、若是身子不康健、甚麼都

不能做。

縱令甚麼沒有、但不可無米鹽。

人雖然沒有財產和爵位、只要身體康健、是

ヨリ幸福デス。

アレハ身分ハ賤シクテモ、精神ハ王侯貴人ヨリモ

高尚デス。

【備攷一】 好クバ宜シクバ無クバナドヲ、假定

前提法ニ用ヒル者ガアリマスガ、普通デアリマセン。

文語ノ遺形デス。

【備攷二】 ク活用シク活用ハ、其ノ活用ノ或變化

全部ヲ以テ、名詞法ト爲ルコトハ有リマセンガ、語

根ヤ第二變化又ハ第三變化ハ名詞ニ用ヒラレルコト

ガ、尠クハアリマセン。殊ニ他ノ語ト結合シテ、熟

語名詞ヲ作ル者ガ、澤山有リマス。左ノ通りデス。

赤ノ帽子。

黒ノズボン。

比甚麼都幸福。

他身分雖賤、精神却比王侯貴人尤高。

【備攷一】 雖有用好クバ宜シクバ無クバ

等於假定前提法者、非普通。文語之遺形也。

【備攷二】 ク活用シク活用者、不以其活用

中某變化之全部爲名詞法、但以其語根及第二

變化或第三變化、爲名詞者不尠。又與他語相

合作爲熟語名詞者尤多。例如左。

紅帽子。

黑色的洋式褲子。



夏服ハ白ガイイ。  
多クノ人。

今日ハヨク晴レタカラ、遠クガ見エル。

親戚ガ近クニ居ルカラ、心強イ。

高机(高棹子) 太筆(粗筆) 濃茶(醒茶)

赤(同上) 嬉シ涙(感涙) 根無シ事(沒有根據的事情)

又ミ、サ等ノ接尾語ト結合シテ、名詞ヲ作ル者モアリマス。

アレハ大臣トシテハ、マダ重ミガ足ラナイ。

此ノ井戸ハ、深サガ分ラナイ。

饑エタ時ノ、苦シサト言ツタラ、到底御話シニ成リマセン。

共ノ他長サ厚サ嬉シサ悲シサ等數多有リマス。

夏衣是白的好。

多數的人。

今天天氣晴朗，所以遠處也看得見。

有親戚住在近處，我很放心。

苦瓜(苦瓜) 黒(用於犬猫等名) 白(同上)

親無シ(孤兒)

又有與ミ、サ等接尾語相合，以構成名詞者。

他爲大臣、重望還不覺。

此井不知幾許深。

肚子餓時的苦，到底不能名狀。

其他長サ厚サ嬉シサ悲シサ等有許多。

【形容動詞】

形容動詞ハ、形容詞的ノ語ト、動詞ト結合シテ出來タ者デス。之ニカリ活用・ナリ活用・ダ活用・デス活用ノ四種ガ、有リマス。

第一【カリ活用】

カリ活用ハ、ク活用シク活用ノ第二變化ト、文語動詞ノラ行變格有リト、結合シテ出來タ者デス。

早クアラ クアリ クアリ  
嬉シクアラ シクアリ シクアリ

右ハ文語ノカリ活用デスガ、口語デハ第一變化ト第二變化ノ促音便ニ成ツタ者ガ常ニ用ヒラレル外ニ、第六變化ガ稀ニ用ヒラレルバカリデ、第三第四第五

形容動詞者、形容詞性之言語與動詞結合而成者也。其中有四種、カリ活用ナリ活用ダ活用デス活用、即是。

第一【カリ活用】

クアル クアレ クアレ  
シクアル シクアレ シクアレ

右者爲文語カリ活用、在口語常用第一變化及第二變化之成爲促音便者之外、間或用第六變化而已。第三第四第五變化等、一切不用。



變化ハ一切用ヒラレマセン。

カ リ 活 用	活 用	變 化	第一變化	第二變化	第三變化	第四變化	第五變化	第六變化
	語 根		早 <sup>ハ</sup>	カ <sup>ラ</sup>	カ <sup>ツ</sup>	○	○	○
婚 <sup>ニ</sup>	シカ <sup>ラ</sup>	シカ <sup>ツ</sup>	○	○	○	○	シカ <sup>レ</sup>	

此ノ様子デハ、今年ノ夏モ、餘程熱サガ酷カラウ。

アノ店ハ、元ハ大變評判ガ善カツタケレドモ、近

頃ハ餘リハヤリマセン。

此ノ頃、途中デ、料ラズ、元ノ先生ニ逢ツタ時ハ

實ニ嬉シカツタ。

某サシノ境遇ハ、餘程苦シカラウ。

父母ノ命長カレト祈ル。

看這様子、我怕今年夏天的熱很烈害罷。

那個舖子、原先名聲很好、可是近來不很興

旺。

前幾天在路上、不料遇着了以前的先生、我

寔在很喜歡。

我想某君的境遇太苦。

我切禱父母長壽。

善カレ惡シカレ、アノ男ナラ、屹度シマヒマデ、  
造リ通スニ相違ナイ。

第二「ナリ活用」

ナリ活用ハ、副詞法ノ靜カニ審カニ明瞭ニ立派ニ  
等ガ根源デ、之ト文語ヲ行變格ノ有リト、結合シテ  
出來タモノデス。

語文	靜カ	ナ	ナ
立派	ニアラ	ニアリ	ニアリ
語口	靜カ	ナリ	ナリ
立派	ナラ	ナリ	ナリ

右ノ様ニ、文語デハ、全體用ヒマスガ、口語デハ第

不管好歹、可是他必定辦到盡頭方罷休。

【備攷】 命令法、往々含有棄而不顧之意。

ナリ活用法、以副詞法之靜カニ審カニ明瞭ニ  
立派ニ等、爲根源。以此等語與文語之ヲ行變  
格有リ、結合而成者也。

語文	靜カ	ナ	ナ
立派	ニアラ	ニアリ	ニアリ
語口	靜カ	ナリ	ナリ
立派	ナラ	ナリ	ナリ

如右圖、在文語則用其全體。在口語則不用第



五・第六變化ハ、用ヒマセン。又第四變化ナルノルハ消滅シマス。其ノ用例ハ左ノ通りデス。

静カニ書ヲ讀ム。

立派ニ家ヲ建テル。

思想ノ緻密ナ人デナケレバ、複雑ナ仕事ハ出來ナイ。

イ。

強硬ナ態度デ、交渉ヲ開ク。

處置ガ公平ナラ、誰モ不服ハ唱ヘナイ。

交際ガ下手ナラ、兎テモ世渡リハ出來ナイ。

否ナラ否ト、ハツキリ答ヘテ下サイ。

アレハ、頭ハ粗漏ナリ、仕事ハ杜撰ナリ、到底規則立ツタ事業ニハ、關係サセラレナイ。

我々ハ、交際ハ下手ナリ、話ハ不器用ナリ、兎テ

第五第六變化。又第四變化ナル之ル、消滅不發音、其用例如左。

靜讀書。

蓋壯麗的房子。

若不是思想緻密的人，就不能當複雜的事業。

以強硬的態度、開交涉。

處置若公平、誰也不訴不平。

交際若拙劣、竟不能處世。

若是不喜歡、你就可以明々白白々答復。

他腦髓也粗漏、辦事也曠罕、所以究竟不能

使他關係規矩整然的事業。

我們交際也拙劣、說話也不巧妙、究竟不能

モ今時ノ社會ニハ容レラレナイ。

第三「ダ活用」

ダ活用ハ、副詞法ノ穩カデ、手際デ、公平デ、上手デ等ガ根源デ、之ト、ラ行四段活用ノアルト、結合シテ出來タ者デス。

見容於現在的社會。

ダ活用者、以副詞法之穩カデ、手際デ、上手デ等爲根源。以此等語、與ラ行四段活用之アル、結合而成者也。

語根	第一變化	第二變化	第三變化	第四變化	第五變化	第六變化
穩カ	デアラ	デアリ	デアル	デアル	デアレ	デアレ
手際	デアラ	デアリ	デアル	デアル	デアレ	デアレ
公平	デアラ	デアリ	デアル	デアル	デアレ	デアレ
上手	デアラ	デアリ	デアル	デアル	デアレ	デアレ
上	デアラ	デアリ	デアル	デアル	デアレ	デアレ

併シ實際ニハ、第五以下ノ變化ハ、使ヒマセン。

但當不用第五以下之變化。



穩カ  
手際  
公平  
上手

ダラ      デ  
            ダツ      ダ      ダ      ○      ○

今度ノ航海ハ、浪ガ穩カデ、大變愉快ダ。  
此ノ地圖ハ、彩色ガ鮮明デ、一目ニ見易イ。  
彼ノ人ハ、意見モ穩當デ、人柄モ良シイ。  
何新聞ノ論說ハ、主張モ公平デ、文章モ面白イ。  
不徳義ナ事ヲ爲レバ、社會カラ擯斥サレルノハ當  
前ダ。  
彼ノ男ハ舉動ガ變ダ。  
アレハ氣儘ダモノ、人ニ嫌ハレルノハ當然ダ。  
アノ人ハ考ヘガ緻密ダカラ、何ヲシテモ失敗ガ少

這回航海、因爲波浪平靜、很痛快。  
這地圖、彩色鮮明、所以一目瞭然。  
他是意見穩妥、性格也好。  
某報的論說、主張也公平而且文章也有意思。  
若做不道德的事、就被社會擯斥、那是應該  
的。  
那個人舉動可怪。  
他因爲很隨便、被人嫌惡、那是自然的。  
那個人因爲思想緻密、幹甚麼都少失敗。

ナイ。

アノ男ハ、口前ハ立派ダケレドモドウモ實行ガ伴ハ  
ナイ。

アノ方ハ一寸ヅキハ無愛相デモ、ヨク附合ツテ見  
ルト中々親切ナ人デス。

僕ノ様子ハ、人ガ見タラ、餘程變挺ダラウ。  
何大臣ノ書生時代ハ、隨分元氣ダツタ。

アレハ生レハ利口ダシ、高等教育ハ受ケテ居ルシ  
是カラ先ハ、出世スルノヲ待ツバカリダ。

第四「デス活用」

デス活用ハ、デゴザイマスノ段々轉訛縮約シテ、出  
來タ語デ、ダ活用ノ敬語デス。

那個人說話好聽、但是實行不相符。

他是乍相處、彷彿不和氣似的、可和他交長  
起來看、倒是很懇切的。

我的神氣、別人看了、很是奇怪罷。  
某大臣還是學生的時候、元氣旺盛來着。

他生來是聰明、而且受著高等教育、這以後  
唯待榮達而已。

デス活用户、デゴザイマス漸次轉訛縮約而成  
者也。表白ダ活用之敬語。



語根	穩カ	手際	公平	上手
第一變化	デゴザイマセ		デセ	
第二變化	デゴザイマシ		デシ	
第三變化	デゴザイマス		デス	
第四變化	デゴザイマス		デス	
第五變化	デゴザイマスレ		デスレ	

彼ノ人ノ意見ハ、穩カデス。

此ノ本ハ、校正ガ餘リ粗漏デスカラ、教科書ニハ

用ヒラレマセン。

昨夜ノ學術講演會ハ、聽衆ガ非常ニ多クツテ、大

變ナ混雜デシタ。

此ノ畫ハ、一寸見タ所ハ、手際デスケレドモドウモ

氣韻ガ乏シイ様デス。

他的意見穩妥。

這本書、因為是校正粗漏、不能用於教科

書。

昨天晚上、學術講演會聽衆很多、所以很亂

雜的。

這個畫、乍一看雖然巧妙、其實似乎乏於氣

韻。

コチラカラ出マスノガ、當然デスノニ、態々御出

デ下スツテ、ドウモ恐入りマス。

三越百貨店ノ陳列品ハ、何モ彼モ綺麗デシテ、日

ガ醒メル様デス。

今年ノ帝國美術展覽會ハ、傑作ガ多イト云フ評判

ダカラ、入場者ガ例年ヨリ一層繁昌デセウ。

今年ノ靖國神社大祭ハ、丁度天氣都合ガ好カッタ

カラ、非常ニ賑カデシタ。

【備攷】デスヲ更ニ鄭重ニ言フニハ、原ノ形ノデ

ゴザイマスヲ用ヒマス。又講義體ニハデアアルヲ用ヒ

マス。

以上ノナリ活用・ダ活用・デス活用ニ活用スル語ニ

ハ、固有ノ日本語ニ屬スル者ト、漢字音ニ屬スル者

我上您那邊去是應當的、却蒙您屈尊特意駕

臨、實在恐悚之至。

三越百貨店的陳列品、各種都好看、實在可

驚目。

聽說本年帝國美術展覽會傑作甚多、所以參

觀人比常年更多罷。

本年靖國神社大祭、因為天氣恰好晴朗、所

以非常的熱鬧。

【備攷】欲比デス更深鄭重之意、則宜用

デゴザイマス。又在講義體之言語、則用デア

ル。

以上活用于ナリ活用ダ活用デス活用之言語、

有屬於固有之日本語者、與屬於漢字音者。例











似ナイ助動詞ノ法ハ、其ノ意義ニ由ツテ、容易ニ區別スルコトガ、出來マス。

【使役助動詞】

【使役助動詞】ハ、甲ガ乙ヲシテ、或動作ヲ爲サセル意味ヲ、表ハス詞デス。

女中ガ、汽車ノ切符ヲ買フ。(女僕買火車票)

地方官ガ、貧民救濟事業ヲ興ス。(地方官興救濟貧民之事業)

子供ガ、朝早く起キル。(小孩子早晨早々起)

學生ガ、制服ヲ著ル。(學生穿制服)

義、不難區別。

【使役助動詞】者、表白甲某使乙某爲某動作之詞也。

奥サンガ、女中ニ、切符ヲ買ハセル。

(主母使女僕買票)

政府ガ、地方官ニ、貧民救濟事業ヲ興サセル。(政府使地方官興救濟貧民之事業)

母親ガ、子供ニ朝早く起キサセル。(母親叫小孩子、早晨早々起來)

官立學校ガ、學生ニ制服ヲ著サセル。(官立學校叫學生穿制服)

臣民ガ、納税及ビ兵役ノ義務ヲ負フ。(臣民負納稅和兵役的義務)

右ノ例ノ、上欄ノ買フ興ス起キル著ル負フハ、女中地方官子供學生臣民自身ノ動作ヲ表ハス詞デス。

又下欄ノ、買ハセル興サセル起キサセル著サセル負ハシメルハ、奥サン政府母親官立學校及ビ國家ガ、女中地方官子供學生臣民ヲ使役シテ、是等ノ動作ヲ爲サシメルコトヲ、表ハスモノデス。之ヲ使役相ト謂ヒマス。使役相ヲ表ハスニハ、セルサセルシメルノ三ツヲ用ヒマス。漢字ノ使令俾叫等ノ意デス。

【動詞ト、使役助動詞トノ接續方法】

務)

國家ガ、臣民ニ、納税及ビ兵役ノ義務ヲ負ハシメル。(國家使臣民負納稅和兵役的義務)

右例上欄之買フ興ス起キル著ル負フ、表白女中地方官子供學生臣民自己動作之詞也。

又下欄之買ハセル興サセル起キサセル著サセル負ハシメル、主母政府母親官立學校及國家使女僕地方官小孩學生臣民爲此等動作者也。是謂使役相。表白使役相之法、用セルサセルシメル之三辭。漢字使令俾叫等之意。

【動詞與使役助動詞之接續方法】



使役助動詞ハ、動詞ノ第一變化ニ、接續スル者デス  
但シセルハ、四段活用ニ、サセルハ其ノ他ノ動詞ニ  
シメルハ一般ノ動詞ニ接續スル者デス。  
但シ、シメルハ、講義或ハ演説等ノ外、普通會話ノ  
場合ニハ、之ヲ用ヒルコトガ少ウゴザイマス。

- (四段) 習ハ セ、セ、セル、セル、セシ、セロ、
- (上一) 見
- (下一) 教ヘ
- (カ變) 來
- (サ變) 注意セ

【備攷】 サ行變格ト使役ト、接續スル場合ニハ、  
第一變化ノセト、助動詞サセルノ頭部ト、縮約シテ  
約音ヲ生ジマス。近來ハ一般ニ此ノ約音ヲ用ヒル者

使役助動詞、接續于動詞之第一變化者也。但  
セル接續于四段、サセル者於其他動詞、シメ  
ル則於一般動詞。  
但シメル、除講義及演説之外、在普通會話之  
際、用之甚稀。

- (七ヨ)
- シメ
- シメ
- シメル
- シメル
- シメレ
- シメヨ

【備攷】 サ行變格與使役接續之際、動詞之  
第一變化之セ與助動詞サセル之頭部、縮約而  
生約音。近來一般多用此約音。但雖サ行變格、

ガ、多ウゴザイマス。但シサ行變格デモ、音便ニ因  
リ、語尾ノ濁音ニ成ツタ者ハ、約音ニナリマセン。  
下ノ被役可能敬語ノレルラレルモ、同様デス。  
父ガ子供ニ、善イ事ヲセサセル。  
教師ガ學生ニ、日課ヲ復習セサセル。  
左ノ文章中ニ、含ム使役助動詞ノ變化及ビ法ヲ問  
フ。

議長ガ、書記官長ニ、議案ヲ朗讀サセル。  
思想ノマダ固マラナイ者ニ、駄小説ヲ讀マセルノ  
ハ、害ガ有ル。  
青年ニ、英雄豪傑ノ傳記ヲ、讀マセレバ、奮發心  
ヲ、起サセル效ガ多イ。  
思想ノ幼稚ナ者ニ、高尚ナ理論ヲ説イテ聽カセテ

由音便、而語尾變濁音者、不成約音。以下被  
役可能敬語之レルラレル亦同。乃有議サセル  
之例、而無論サレル之例。  
父親叫兒子做善事。  
教師叫學生溫習日課。  
問左列文章所含使役助動詞之變化及其法何  
如。

議長使書記官長朗讀議案。  
使思想未堅固者、讀滔々俗惡之小說、有害  
而無益。  
使青年讀英雄豪傑傳記、則多興起其奮發心  
之效益。  
思想幼稚者、縱使聽高尚之理論、毫無益



モ、一向益ガ無イ。

カハユイ子ニハ、旅ヲサセロ。(諺)

子供ニハ、餘リ極端ナ事ヲ、聽カセナイガイイ。

【被役助動詞】

【被役助動詞】ハ、甲ガ、乙ノ動作ヲ、受ケル意味ヲ表ハス詞デス。

警官ガ、酒醉ヲ諭ス。(警官訓誡醉人)

慈善家ガ、貧民ヲ救フ。(慈善家救濟貧民)

教師ガ、學生ヲ褒メル。(教習贊揚學生)

保險會社員ガ、人々ニ生命保險ヲ、契約スルコトヲ勸メル。(保險會社員對衆人勸誘契約生命保

處。

愛其子者、須使旅行。

對少年、不使聽過激之說話、是爲佳。

【被役助動詞】者、表白甲某受乙某之動作

之詞也。

酒醉ガ、警官ニ諭サレル。(醉人被警官訓戒)

貧民ガ、慈善家ニ救ハレル。(貧民被慈善家

救濟)

學生ガ、教師ニ褒メラレル。(學生被教師贊

揚)

人々ガ、保險會社員ニ、生命保險ヲ契約スルコトヲ勸メラレル。(衆人被保險會社員

險)

世間ハ、眞面目ナ人ヲ、歡迎スル。(世間歡迎認真

當事的人)

右ノ例ノ、上欄ノ諭ス救フ褒メル勸メルハ、皆主格自身ノ動作デス。

又下欄ノ諭サレル救ハレル褒メラレル勸メラレル

ハ、主格ガ、資格ノ動作ヲ、受ケル者デス。之ヲ被役相ト謂ヒマス。被役相ヲ表ハスニハ、レルラレル

ノ二語ヲ用ヒマス。漢字ノ被、見、爲、所、等ノ意

デス。被役相ノ文章ニハ、被動者ト起動者トヲ具ヘ

ナケレバナリマセン。又起動者ニハ、必ず助詞ノニ

勸誘契約生命保險)

眞面目ナ人ガ、世間カラ歡迎セラレル(認真

眞辦事的人、被世間歡迎)

右例上欄之諭ス救フ褒メル勸メル、皆主格自己之動作也。

又下欄之諭サレル救ハレル褒メラレル勸メラ

レル、即主格受資格之動作也。是謂被役相

表白被役相之法、即用レルラレル之二辭。漢

字被見爲……所等之意。被役相之文章、須具有起動者與被動者。又在起動者、則添助詞之ニ或カラ。被役助動詞之活用及接續方法、即如左圖。



日本語デハ自動詞モ被役相ニ成ル、此ノ場合レルラ  
レルハ漢字遭、遇ノ意ニ當リマス。

昨日ハ、途中デ雨ニ降ラレタ。  
修業中ニ親ニ死ナレルト、實際困難スル。

在日本語、自動詞亦成被役相。此時、レルラ  
レル該當於漢字遭遇等之意。

昨天在半道兒上、遇見下雨了。  
肄業之間、若是遇見父母的死了、實在爲難

四段打タ	レ	レ	レル	レル	レル	レロ (レロ)
上一見	ラレ	ラレ	ラレル	ラレル	ラレル	ラレロ (ラレロ)
下一棄テ	ラレ	ラレ	ラレル	ラレル	ラレル	ラレロ (ラレロ)
カ變來	ラレ	ラレ	ラレル	ラレル	ラレル	ラレロ (ラレロ)
サ變爲	ラレ	ラレ	ラレル	ラレル	ラレル	ラレロ (ラレロ)

右ノ圖ノ如ク、レルハ、四段ノ第一變化ニ接續シ、  
ラレルハ、其ノ他ノ動詞ノ、第一變化ニ接續シマス

如右圖、レル、接續于四段之第一變化、ラレ  
ル、接續于其他之動詞第一變化。

又サ行變格ガ、ラレルニ接續スル時ハ、約音ヲ生ジ  
マス。例ヘバ左ノ通りデス。

良民ガ、無賴漢ニ、脅迫セラレル。

田舎者ガ、都會ノ者ニ、馬鹿ニセラレル。

太郎ガ、次郎ニ毆打セラレル。

又サ行變格、接續于ラレル之時、生約音、例  
如左。

良民被無賴漢脅迫。

鄉下人被都會人嘲弄。

太郎被次郎毆打。

【使役助動詞、與被役助動詞之接續】

使役助動詞ニ、被役助動詞ヲ接續サセレバ、使役相  
ヲ受ケル詞トナリマス。

醫者ガ、病人ニ、藥ヲ飲マセレル。(醫生叫病人服  
藥)

老人ガ、青年ニ、長談議ヲ聽カセレル。(老人使青年  
人聽冗長的訓誡)

政府ガ、國民ニ、國稅ヤ地方稅ヲ、負擔サセレル、

以被役助動詞、接續于使役助動詞、則成爲受  
使役相之詞。

病人ガ、醫者ニ藥ヲ飲マセラレル。(病人被  
醫生使他吃藥)

青年ガ、老人ニ、長談議ヲ聽カセラレル。  
(青年人被老人使他聽冗長的訓誡)

國民ガ、政府ニ國稅ヤ地方稅ヲ負擔サセラ



(政府叫國民負擔國稅和地方稅)

判事ガ、原告ト、被告ニ、虚偽ノ申立ヲ、シナイト言フ誓ヲ、立テサセル(判事使原被兩造、立不申告虚偽的約)

右ノ例ノ、上欄ノ飲マセル聽カセルナドハ、普通ノ使役相デ、下欄ノ飲マセラレル聽カセラレルナドハ使役相ヲ受ケル意味ヲ表ハス者デス。

【練習問題】

左ノ文章中ニ含ム所ノ被役助動詞ノ變化及ビ法ヲ問フ。

紳士ノ體面ニ、關スル様ナ事ヲ爲ルト、新聞ニ書キ立テラレル。

惡イ事ハ、世間カラ攻撃サレナイ先ニ、改メナサ

レル(國民被政府使他負擔國稅和地方稅)

原告ト被告ガ、判事ニ、虚偽ノ申立ヲシナイト言フ誓約ヲ立テサセラレル。(原被兩造、被判事使他立不申告虚偽的約)

右例上欄之飲マセル聽カセル等、屬於普通之使役相。下欄之飲マセラレル聽カセラレル等即表白使役相之意義者也。

問左列文章中所含被役助動詞之變化及其法何如。

若行喪失紳士體面之不好事、就被報館筆誅。

不好的行爲、務須在未爲世上攻撃之前、懺

イ。

餘リ婉曲ニ諷刺サレルト、眞綿デ頭ヲ締メラレル

様ナ者デ、却ツテ苦シイ。

アノ男ニ、一目睨マレレバ、今ノ處デハ、到底實

業界ニ立ツコトハ出来ナイ。

今度ハ、ミンナニ煽テラレテ、到頭議員選舉競争

場裏ニ、立タセラレタ。

人ニ褒メラレナクツテモ構ハナイガ、笑ハレタク

ハナイ。

昨日ノ宴會ニハ、ヒドク酒ヲ飲マセラレテ、大分

閉口シタ。

【可能助動詞】

【可能助動詞】ハ、我が能力ノ或事ニ勝ヘル意味

悔改悛。

被諷諫得太婉曲了、恰似被用蠶綿縛頭、其苦反深。

現在的情形、若被他嫉視一眼、便萬不能立在實業界了。

這回被衆人煽動、遂立到了選舉議員的競争場裡。

不被衆人賞揚、那不要緊。可是被人嘲笑、我不喜歡。

昨天宴會。被人勸酒太多。醉苦了。

【可能助動詞】者、表白我能力能勝某事之



ヲ表ハス詞デス。漢字ノ可、能、得、等ノ意デス。可能助動詞ノ活用及ビ接続方法ハ、大體被役助動詞ト同ジデスガ、第六變化ハ有リマセン。

詞也。漢字可、能、得等之意。可能助動詞之活用及接続方法、大概同於被役助動詞。唯無第六變化耳。

四段書カ	レ	第一變化
上一起キ		第二變化
下一教ヘ		第三變化
カ變來		第四變化
サ變爲		第五變化
		第六變化

レルハ、四段ノ第一變化ニ、ラレルハ其ノ他ノ動詞ノ第一變化ニ、接続スル者デス。其ノ用例ハ、即チ左ノ通りデス。

レル、接続于四段第一變化、ラレル、接続于其他之動詞第一變化。其用例如左。

鷹ハ、肉眼デ、十里先ガ見ラレル。  
 ソンナ不人情ナ事ハ、僕ニハ言ハレナイ。  
 死ス思ヒラスレバ、ドンナ苦勞ニモ怵ヘラレル。  
 此ノ頃ハ、役所ノ仕事ガ、非常ニ忙シイカラ、君ノ處ヘモ當分來ラレナイカモ知レナイ。

【備攷一】 四段ハ、可能助動詞ノレルト接続スル時、約音ニ成ルノガ普通デス。

カ	カレ	ケ
サ	サレ	セ
タ	タレ	テ
ナ	ナレ	ネ
ハ	ハレ	ヘ
マ	マレ	メ

【備攷二】 四段與可能助動詞之レル接続之時、通常成爲約音。

カ	カレ	ケ
サ	サレ	セ
タ	タレ	テ
ナ	ナレ	ネ
ハ	ハレ	ヘ
マ	マレ	メ



（ラ）行 取レ レ レル レル レル

其ノ用例ハ、左ノ通りデス。

此ノ酒ハ、口當リガイイカラ、イクラデモ飲メル。  
奴ハ中々食ヘン男ダ。

此ノ頃ハ、氣候ガ日増ニ涼シク成ツテ、胃ノ消化  
力ガ、非常ニ盛ニ成ツテ來タカラ、飯ガイクラ

デモ食ヘル。

アレハ、随分話セル男ダ。

各國ノ新聞ガ、自由ニ讀メルト、眞ニ重寶ダ。

君ニソレガ讀メタラ、首デモ上ゲマセウ。

【備攷二】「サ變ト可能ノ接續」

サ行變格ト、可能ノラレルト、接續スル時モ、通常  
約音ニ成リマス。

其用例即如左。

這個酒上口好、所以無論多少都能喝。

他是居心不可測的人。

近來天氣、一天比一天涼快、胃腑的消化力

很强壯了、所以無量的能吃飯。

他很是足與交談的人。（足與談者）

各國新聞、能隨便念、就很方便。

您若能讀此、我願輸頭顱。

【備攷二】「サ變與可能之接續」

サ行變格與可能ラレル接續之時、又常成爲約  
音。

女子供デモ、此ノ節ハ教育ガアルカラ、中々馬鹿  
ニセラレナイ。

腹ノ減ツタノハ、少シ位休ヘラレルガ、睡イノハ

何分ニモ我慢セラレナイ。

ソシナ身勝手ナ事ハ、ズツズウシク要求セラレナ  
イ。

【備攷三】可能ニハ、一種特別ノ用法ガ、有リマ  
ス、ソレハ或動作ガ自然ニ起ツテ抑ヘテモ抑ヘキレ

ナイ場合ニ用ヒル者デス。或ハ之ヲ自然動トモ云ヒ  
マス。例ヘバ左ノ様ナ類デス。

僕ハ、感ジガ強イカラ、人ノ氣ノ毒ナ事ヲ聽クト

直ニ泣ケテ困ル。

此ノ頃ハ、氣候ガ不順ダカラ、頭ガ病メテ困ル。

雖是婦人和小孩、現在有教育、所以不能容  
易輕侮。

易輕侮。

肚子餓了、稍微可以忍耐、若是睡魔來了、

怎麼也忍不住。

那麼樣利己的事情、我不能厚臉、向他要求。

【備攷三】可能有一種特別用法。某動作自  
然感發、欲抑制而不能抑制之際、用者即是。

或謂自然動。其例如左。

我易動感情、一聽見人家的可憐事情、就不  
禁的掉眼淚。

近來氣候不順、所以腦袋就疼得苦。



久シク便リガナイカラ、國ノ事ガ案ジラレル。  
自分ト、同ジ年輩ノ者ガ、續々死スト、氣ガ引ケ  
ル。

某サンガ、落第シタト言フガ、ドウモ本當ダト思  
ヘナイ。

【敬語助動詞、附敬語補助動詞】

敬語助動詞及ヒ敬語補助動詞ニモ、敬語助動詞ト同ジ  
ク、三種ノ區別ガ有リマス。第一他人ノ動作ヲ敬フ  
爲ニ用ヒル者（即尊他敬語）第二自分ノ動作ヲ卑下  
スル爲ニ用ヒル者（即自卑敬語）第三對話ヲ上品ニ  
スル爲ニ、言葉遣ヒヲ鄭重ニスル者（即對話敬語）  
ノ三ツデス。

敬語助動詞ハ、元カラ敬語ヲ表ハス爲ニ、生レテ來

許久沒有音信、所以不由的想起故鄉來了。  
年紀與我相同的人、陸續死去、就免不了氣  
餒。

敬語助動詞及敬語補助動詞、亦有三種區別、  
同于敬語助動詞。第一爲敬述他人之動作而用者  
（即尊他敬語）、第二爲卑下自己之動作而用者  
（即自卑敬語）、第三爲期對話之優雅、而鄭重  
其言語者（即對話敬語）、即是。

敬語助動詞、自造語之初、爲表示敬語而生來

タ者デス。

敬語補助動詞ハ、原來動詞デスガ、他ノ語ノ下ニ添  
フ時ハ、敬語ノ意ヲ附ケ加ヘル詞ト成ル者デ、其ノ  
效用ハ、殆ド敬語助動詞ト同ジデス。

【第一、尊他敬語助動詞、尊他敬語補助動詞】

【レル、ラレル】（助動詞）

四段	言ハ	第一變化	第二變化	第三變化	第四變化	第五變化	第六變化
上	見	レ	レ	レル	レル	レレ	レヨ
下	教	ラレ	ラレ	ラレル	ラレル	ラレレ	ラレヨ
カ	來						
サ	爲						

也。

敬語補助動詞、原爲動詞、但添于他語下之時  
成爲附加敬語意之語耳。其效用殆同於敬語助  
動詞。

【第一、尊他敬語助動詞、與尊他敬語補助動詞】

【レル、ラレル】（助動詞）



右ノレルラレルハ、尊他敬語助動詞デス。サウシテ其ノ語尾變化及ビ接續方法ハ、被役及ビ可能ノレルラレルト、殆ド同ジデス。又其ノサ變ニ接續スル場合ニ約音ト成ルコトモ、被役及ビ可能ト同ジデス。其ノ用例ハ、左ノ通りデス。

大臣モ、サウハ言ハレナイ。  
閣下モ、左様ニ仰セラレマシタ。  
御主人ガ歸ラレタラ、一寸電話デ、御知ラセ下サイ。  
君ハ何ヲ言ハレル。  
彼ノ人達ノセラレル事ハ、萬ニ一ツモ、間違ヒガ有リマセン。  
私ハ見ラレル通りノ田舎者デスガ、ドウゾ將來御心易ク、御交際ヲ願ヒマス。

右レルラレル、爲尊他敬語助動詞。其語尾變化及接續方法、殆同於被役及可能之レルラレル。又其接續于サ變之時、成爲約音、亦同於被役及可能。其用例如左。

大臣也不那麼說。  
閣下也那麼說來。  
您的主人回來請打個電話告訴我。  
你說甚麼。  
他們諸位辦的事、是萬無一失的。  
有如您看見的、我原來是個鄉下人、可是要請您望後和我親々密々の訂交。

今日明日位ニ、何サンガ、ドウカ來ラレバ、イイガナア。  
【ナサル 遊バス 成ル】(補助動詞)

這一兩天某兒來、纔好哪。

御考ヘ	第一變化	成サラ	第二變化	成サイ 成サツ 成スツ	第三變化	成サル	第四變化	成サル	第五變化	成サレ	第六變化	成サイ(東京) 成サレ
御出デ	遊バス	遊バシ	遊バス	遊バス	遊バス	遊バセ	遊バセ	遊バセ	遊バセ	遊バセ	遊バセ	遊バセ
御覽	成ラ	成リ(成ツ)	成ル	成ル	成ル	成レ	成レ	成レ	成レ	成レ	成レ	○
御勉強ニ												
御注意												

右ノ成サル、遊バス、成ルハ、原ト動詞デスガ、他ノ動詞ノ下ニ添フ時ハ、尊他敬語補助動詞ニ成リマ

右成サル、遊バス、成ル、原爲動詞。但添于他之動詞下時、成爲尊他敬語補助動詞。此内



ス。此ノ内成サル成ルハ、一般ニ廣ク用ヒル敬語  
 デ、遊バスハ上流社會ニ用ヒル敬語デス。  
 ヨク御考ヘナサラナクテハイケマセン。  
 何ヲソソナニ御考ヘナサイマスカ。  
 ヨク御考ヘナサラテ下サイ。  
 ヨク御考ヘナサル方ハ、何デモ間違ガ少ナイ。  
 ソシナ事ハ、御考ヘナサレバ分リマセウ。  
 十分御考ヘナサレ。(東京語)  
 態々御出デ遊バサナクテモ、宜シウゴザイマス。  
 何時御出デ遊バシマシタ。  
 ドチラヘ御出デ遊バス。  
 此ノ次ニ御出デ遊バス時ニハ、奥様モ御一緒ニ御  
 出デ遊バセ。

成サル與成ル、廣用於一般之敬語也。遊バス、  
 用於上流社會之敬語也。  
 您不可不深慮遠察。  
 爲甚麼、那樣想著呢。  
 請您好好的想一想。  
 深謀遠慮的人、無論甚麼都少辦錯了。  
 如此的事情、一想就可以明白。  
 請十分熟慮。  
 不用特意駕臨。  
 幾時來了呢。  
 上何處去呢。  
 下次您來的時候、請帶著令夫人駕臨。

御嬢様モ御出デ遊バセバ、宜シウゴザイマスノ  
 ニ、ナゼ御連レ遊バサナイノデスカ。  
 早ク御歸リニ成ラナイト、御内デ御心配ナサイマ  
 ス。  
 何時御歸リニ成リマシタ。  
 御主人ガ御歸リニ成ツタラ、一寸電話デ御知ラセ  
 下サイ。  
 御主人ハ、毎日何時頃御歸リニ成ル。  
 御歸リニ成ル時間ハ、極ツテ居リマセン。  
 アナタガ卒業シテ、御歸リニ成レバ、御両親ガ、  
 必ズ御喜ビニ成リマス。  
 【備攷】 漢語動詞ト、成サル遊バスナドト、結ビ  
 付ク時ハ、形式上語根カラ、直ニ接續シタ様ニ見エ

帶著令嬢就很好了、爲甚麼不帶著他來呀。  
 若不早回家、府上的人、很懸念罷。  
 幾時回來了。  
 若是令主人回家了、請打電話告訴我。  
 令主人、每天大約幾點鐘回家呢。  
 回家的時候、不定規。  
 您畢業回國、令雙親必定喜歡。  
 【備攷】 漢語動詞、連結於成サル遊バス等  
 之時、由形式上看之、則似由語根直接連續于



マスガ、是ハ原ト御覽ジナサル、注意シナサル、御勉強シ遊バス、御油斷シ遊バスナ、ナドノ様ニ、第二變化カラ續クベキ者ガ、語尾ノ自然ニ落チタ者デス。下ニモ此ノ例ガ澤山有リマスカラ、注意ヲ要シマス。

【下サル 下下サル】

此等詞、其實屬於語尾之脱落。原當如御覽ジ成サル、注意シナサル、御勉強シ遊バス御油斷シ遊バス等、接續于第二變化者也。以下所舉之例、亦多此類。學者須留意於茲。

御尋ネ	第一變化	下サラ	第二變化	第三變化	第四變化	第五變化	第六變化
御注意		下サリ	下サリ	下サル	下サル	下サレ	下サレ
尋ネテ		下サリ	下サリ	下サル	下サル	下サレ	下サレ
注意シテ		下サリ	下サリ	下サル	下サル	下サレ	下サレ

アナタガ御尋ネ下サラウト思ツテ、今日ハ御待チ申シテ居リマシタ。

我想您今日光臨、等了一天了。

コレハコレハ、遠方ノ處ヲ、ヨク御尋ネ下サイマシタ。

從遠處蒙您駕臨、實在感謝之至。

御親切ニ御尋ネ下サツテ 誠ニ有リガタウゴザイマス。

您懇々切々來訪敝寓、實在多謝之至。

此ノ次ハ、何時御尋ネ下サル。

下次幾時、光臨呢。

今度御尋ネ下サル時ハ、ドウカ先ニ一寸御知ラセ下サイ。

下回您找我來的時候、請豫先告訴我一聲。

此處ハ交番デ御尋ネ下サレバ、直ニ分リマス。

此處在巡捕格子一間、就很明白。

【備攷】 下サルハ、原ト目上ノ者カラ、目下ノ者ニ、物品ヲ賜フ意デスガ、敬語補助動詞ニナツタ時ハ、勞力ヲ賜ハル意ニナリマス。又動詞ノ御等ノ接頭語ヲ帶ビナイ者ニ添フ時ハ、助詞ノテヲ添ヘマス。例ヘバ左ノ通りデス。

【備攷】 下サル者、原來尊長者賚賜物品於卑幼者之意也。但成爲敬語補助動詞之時、有賚賜勞力之意。又添于不帶御等接頭語之動詞時、在其上頭、添テ字。例如左。



君一寸コレヲ見テ下サイ。  
 アナタドウゾ私ニ手紙ノ書キ方ヲ教ヘテ下サイ。  
 此ノ事ハ、是非承知シテ下サイ。  
 少シ許リノ骨折ヲ、ソナニ喜ンデ下サルト私  
 モ實ニ満足デス。  
 此ノ事ハ、御互ノ義務デスカラ、君モ少シハ骨折  
 ツテ下スツテモ好イデセウ。

【第二、自卑敬語補助動詞】

【申ス】

御借リ	第一變化	御上ゲ	申サ	第二變化	申シ	第三變化	申ス	第四變化	申ス	第五變化	申セ	第六變化	申セ
-----	------	-----	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----

請您把這個看一看。  
 請您教給我寫信的法子。  
 這個事情切禱惠諾。  
 對於少盡一點綿力、您那麼表白歡喜之情、  
 我也實在滿意。  
 這個事情是我們彼此共同的義務、所以您也  
 盡點力、那不可以麼。

【第二、自卑敬語補助動詞】

【申ス】

申スハ、原ト言フノ敬語デスガ、他ノ動詞ノ下ニ添  
 フ時ハ、自卑敬語補助動詞ト成ツテ、爲ルノ敬語ヲ  
 表ハシマス。

コレヲアナタニ御上ゲ申サウト思ツテ、態々遠方  
 カラ、持ツテ参リマシタ。  
 コノ寫眞ヲ、一枚先生ニ御上ゲ申シマス。  
 コレハ、亡父ノ遺物デスカラ、ドナタニモ御上ゲ  
 申ス事ハ出来マセン。  
 ソンナニアナタガ御望ミナラ、御上ゲ申セバ宜シ  
 ウゴザイマシタノニ。  
 ボツチャンガ御望ミナラ、御上ゲ申セ。

【上ゲル】(補助動詞)

申ス者、原爲言フ之敬語。添于他之動詞下之  
 時、成爲自卑敬語補助動詞、表白爲ル之敬語。

我要把這個奉上、我特意從遠地方拿來的。  
 把這一張像片、奉上老師。  
 這是先父的遺物、所以無論那一位都不能奉  
 上。  
 早知您那麼要這個、奉上您倒好了。(可是  
 從前我不知道您的意思、實在可惜了。)  
 若是少爺要那個、你就給他罷。



聽イテ 教ヘテ	第一變化	上ゲ	第二變化	上ゲ	第三變化	上ゲル	第四變化	上ゲル	第五變化	上ゲレ	第六變化	上ゲロ (上ゲヨ)
------------	------	----	------	----	------	-----	------	-----	------	-----	------	--------------

上ゲルハ原ト敬語動詞デ、目下ノ者カラ、目上ノ者ニ、物品ヲ奉上スル意デスガ、敬語補助動詞デハ、親切勞力ヲ奉上スル意義ヲ表ハスモノデス。又申シ存ジ等ノ敬語動詞ノ下ニ添ヘテ、一層敬意ヲ深クスルニモ用ヒマス。

電話ヲ聽イテ上ゲマセウ。  
オデイサン、革靴ヲ持ツテ上ゲマセウ。  
私ガ、アナタニ教ヘテ上ゲヨウ。  
私ガ、アナタニ英語ヲ教ヘテ上ゲテ、アナタガ私

上ゲル者、原屬敬語動詞、由卑幼者、奉上物品於尊長者之意也。在敬語補助動詞、則表白奉上親切勞力之義。  
又添于申存ジ等之敬語動詞下、而用於一層深敬意。  
用電話給您打聽罷。  
老者把皮靴給您拿去罷。  
我可以教給您哪。  
我教給您英國話、您也教給我中國話。那彼

此都很方便。  
我知道的事情、無論甚麼都可以教給您。所以您不用客氣、請問一問。  
您的意思實在體諒。  
實在恭喜可賀。

書キテ 返シテ 指圖シテ	第一變化	戴カ	第二變化	戴キ	第三變化	戴ク	第四變化	戴ク	第五變化	戴ケ	第六變化	戴ケ (セヨ)
頂戴シ	頂戴シ	頂戴スル	頂戴スル	頂戴スル	頂戴スル	頂戴スレ	頂戴シロ					

ニ支那語ヲ教ヘテ下サルト、御互ニ都合デス。私ノ知ツテ居ルコトハ、何デモ教ヘテ上ゲルカラ遠慮無ク御聽キ下サイ。  
アナタノ御氣持ハ、實際御察申シ上ゲマス。  
誠ニ御目出タク存ジ上ゲマス。

【戴ク 頂戴スル (補助動詞)】

戴ク、頂戴スルハ、原ト敬語動詞デ、目下ノ者ガ、目上ノ者カラ、物品ヲ拜領スル意デスガ、テヲ帶ビ

戴ク、頂戴スル者、原屬敬語動詞、卑幼者、拜領物品於長上之義也。但帶テ字、用於敬語



テ敬語補助動詞ニ用ヒル時ハ、親切努力ヲ拜領スル意味ヲ表ハス者デ、テ下ナルト、主客轉倒デス。

何モ存ジマセンカラ、指圖シテ戴カ(頂戴シ)ナケレバ分リマセン。

萬事指圖シテ戴キタク存ジマス。

暫クノ間、指圖シテ戴ケバ(頂戴スレバ)直ニ要領ガ分ルダラウト思ヒマス。

君ハ新參ダカラ、某サンニ、萬事指圖シテ戴ケ(頂戴シロ)

【第三、對話敬語補助動詞ト、對話敬語補助動詞】

【マス】(助動詞)

行	第一變化	第二變化	第三變化	第四變化	第五變化	第六變化
キ	マセ	マシ	マス	マス	マスレ	マシ(東京語)

補助動詞之時、表白拜領親切努力之義。與テ下ナル、主客相轉倒。

甚麼都不曉得、所以非蒙您指教、就不能明白。

萬事請求您指教。

我想蒙您指教幾時、就可以曉得要領了。

您是新來的、萬事請某君指教纔好。

【第三、對話敬語補助動詞與對話敬語補助動詞】

マスハ、造語ノ初メカラ敬語ヲ表ハス爲ニ生レテ來タ助動詞デス。對話ガ動詞テ終ル場合ニハ、必ズマスヲ添ヘナケレバナナリマセン。サウデナケレバ、對手ニ對シテ失禮デス。マスハ動詞助動詞ノ第二變化ニ接續シマス。

アナタ、明日御一緒ニ、散歩ニ參リマセウ。

私ハ、此ノ頃、一向、散歩ニ參リマセン。

私ハ、昨日始メテ、此方ヘ參リマシタ。

私モ箱根ヘハ、折々參リマス。

私ノ參リマス學校ハ、設備ガ非常ニ整ツテ居リマス。

アチラヘ參リマスレバ、直住所ヲ、御知ラセ申シマス。

マス、自造語之初、爲表敬語生來之助動詞也。對話以動詞終結者、必須添加マス、不然則對于交談者、爲失禮。マス、接續于動詞助動詞之第二變化。

您明天同我散步去罷。

我近來永未(總沒)散步去。

我昨天初次到了這邊。

我也是時常上箱根去。

我去的學校、設備非常的完整。

我若是到了彼地、就給您通告住所。



早く御歸リナサイマシ。

【備攷一】 命令ヲ最モ叮嚀ニ言フ時ハ、ナサイ、下サイ等ノ下ニ、マシヲ添ヘマス。

アレ御覽ナサイマシ。  
暫ク御待チナスツテ下サイマシ。

【備攷二】 マスヲ帶ビタ動詞ノ上ニ、御御ノ接頭語ガアル時ハ、動詞トマストノ中間ニ、ナサイ、下サイ、遊バシ、申シ、致シ、仕リ等ノ、敬語ヲ挿マナケレバナリマセン。然ルニ往々左ノ様ナ言葉遣ヒヲ爲ル者ノ有ルノハ、方言デス。  
某サンハ、御宅ニ御出デ（ナサイ）マスカ。  
アナタハ、御酒ヲ御上リ（遊バシ）マスカ。  
アナタハ、唯今何ヲ御讀ミ（ニ成リ）マスカ。

請快々の回家。

【備攷一】 表白命令、最要鄭重之時、於ナサイ下サイ之下、添加マシ。

唵、您請看。  
請您暫且待一會子。

【備攷二】 帶マス之動詞上、冠以御御等接頭語時、在動詞與マス之中間、不可不挿ナサイ、下サイ、遊バシ、申シ、致シ、仕リ等之敬語、然而往々有用如左之言者、固不免爲田舎語。  
某君在家了麼。  
您喝酒麼。  
您現在讀甚麼呢。

コレヲ、アナタニ御進上（申シ）マス。

右ノ例ノ様ニ、括弧ノ中ニ在ル詞ヲ、省略シテハ、イケマセン。若シ之ヲ省略スレバ、甚ダ聽キ苦シイ言葉遣ヒニナリマス。

【致ス 仕ル（補助動詞）】

勉 強	致ス	第一變化
支 度	致シ	第二變化
承 知	致ス	第三變化
拜 見	致ス	第四變化
	致セ	第五變化
	致セ	第六變化

把這個奉上罷。  
不可如右例省略括弧內言語、若省略之、則甚不雅之言語也。

致ス仕ルハ、原ト動詞デ、爲ルノ敬語デスガ、補助動詞トナル時ハ、鄭重語又ハ自卑ノ意ヲ表ハシマス、

致ス仕ル者、原屬動詞、表白爲ル之敬語也。但成爲敬語補助動詞之時、表白鄭重語或自卑



但仕ルハ、近來使フ場合ガ少クアリマス。

之ヲアナタニ進上致シマス。

御話ノ趣ハ、承知致シ(仕リ)マシタ。

精々勉強致シ(仕リ)マシテ、御安ク差上ゲマス。

唯今彼ハ歸國ノ支度致シテ居リマス。

【御座ル(補助動詞)】

之意。但仕ル近來用之甚稀。

把這個奉上。

所說的事情、敬承了。

務須公々道々給您減價。

現在他豫備回國的行李哪。

形容詞	善ウ	第一變化	ゴザラ	第三變化	ゴザル	第五變化	ゴザレ	第六變化	○
形容動詞	靜カデ	第二變化	ゴザリ	第四變化	ゴザル	第五變化	ゴザレ	第六變化	○
指 定	私デ	(ゴザイマセ)	(ゴザイマシ)	(ゴザイマス)	(ゴザイマス)	(ゴザイマ)	(スレイマ)		○
助動詞	人デ								

御座ルハ、原ト動詞デ、有ルノ敬語デスガ、補助動

御座ル者、原屬動詞、爲有ル之敬語。成爲補

詞ト爲ル時ハ、單ニ對者ヲ敬フ爲ニ、添ヘル詞デス  
サウシテ今ノ會話語デハ、單獨ニ御座ルノ各變化ヲ  
使フコトハ、甚ダ稀デ、多クハ、マスト一緒ニシテ  
使ヒマス。右ノ表ニ、括弧シテ舉ゲタ通りデス。

今日ハ、仕合セト、善イ天氣デゴザル。(古老語)

如何様左様デ御座ル。(同前)

アナタモ、定メテ御喜ビデ御座イマセウ。

私モ誠ニ嬉シウゴザイマス。

コレハ、アナタノ御荷物デハゴザイマセンカ。

イイエ、私ノデハゴザイマセン。

御尋ネノ一條ハ、全ク御話シノ通りデ御座イマス。

左様デゴザイマスレバ、誠ニ好都合デ御座イマス。

ソチラハ、特別上製デ御座イマシテ、コチラハ並

助動詞之時、唯爲敬對者添之而已。又於現在  
之會話語、專用御座ル之各變化甚稀、大概與  
マス結合而用之。即如右表括弧內舉示。

今天幸而天氣好。

實在不錯。

您也一定喜歡罷。

我也實在喜歡。

這不是您的行李麼。

不是我的。

您問我的一件事、全是和您所說的一個樣。

若是那麼樣、實在很方便。

那個是做法特別頂好的、這個是普通的。



製デゴザイマス。

【指定助動詞】

指定助動詞ハ、事物ヲ指定シ、又ハ解説スル詞デ、  
名詞代名詞又ハ、動詞形容詞等ノ第四變化ニ添ヒマ  
ス。指定助動詞ニハ平常語ト敬語トニ通り有リマス。

【指定助動詞】

指定助動詞、爲指定事物或解説之詞。添于名  
詞代名詞或動詞形容詞等之第四變化。指定助  
動詞有平常語與敬語之二種。

【第一、平常語之指定助動詞】

【ナリ。ダ】

助動詞	形詞	動詞	代名詞	名詞	
レル	無イ	有ル	私	人	
	ダラ			ナラ(前提)	第一變化
	ダデ	ダツ		ナリ	第二變化
	ダ			ナリ(中止)	第三變化
	ダ			ナ	第四變化
	○			ナレ	第五變化
	○			○	第六變化

指定助動詞ノナリハ、文語ニ非ズ、ニアリセバ、

ニ候フ等ノニト、文語ヲ行變格ノアリト結合シテ、  
約音ニ成ツタ者デス。又ダハ文語ノニテカラ轉訛シ  
タダガ根源デ、デトラ行四段ノアルト結合シテ、約  
音ニ成ツタ者デス。其ノ圖ハ、即左ノ通りデス。

ナ	ナ	ナ	ナ
ニアラ	ニアリ	ニアリ	ニアル
ナラ	ナリ	ナリ	ナル
デアラ	デアリ	デアル	デアル
ダラ	ダツ	ダ	ダ

ナリノ第一變化ノナラハ、順態假定前提法ヲ作りマ  
ス。漢字若……則ノ意デス。

アナタノ御子サンナラ(バ)、定メテ體格ガ御宜シ

指定助動詞ナリ者、乃文語ニ非ズ、ニアリセ

バ、ニ候フ等之ニ、與文語ヲ行變格アリ、結  
合而成約音者也。又ダ者、本由文語ニテ轉訛  
爲デ、再由デ與ラ行四段アル、結合而成約音  
者也。其圖如左。

ナ	ナ
ニアレ	ニアレ
ナレ	ナレ
デアレ	デアレ

ナリ之第一變化ナラ、作成順態假定前提法。  
漢字若……則之意。

若是您的令郎、體格必定好罷。



イデセウ。

私ガ若シアナタナラ(バ)、ソシテ不道理ナ要求ハ

決シテ承諾シマセン。

アナタ若シ御持合セガアルナラ、一寸私ニ貸シ

テ下サイ。

私デ宜シイナラ、何時デモ御手傳ヒ申シマセウ。

今晚若シ來ラレルナラ、來テ下サイ。

第四變化ノナハ、極メテ稀ニ用ヒル場合ガ有リマス

今日ハ、御祭リナノデ、市中ガ大變賑ハツテ居ル。

アレハ、母ガ亞米利加人ナノデ、非常ニ英語ガ旨

イ。

ナリノ第三變化ナリハ、二ツノ事物ヲ並列シテ、任

意ニ其ノ一ツヲ擇ブ意ヲ表ハス場合ニ用ヒマス。漢

我若與君易地、則決不答應如此沒道理之要

求。

您若是帶著現錢、暫且借給我罷。

若是我就行的活、無論幾時都願效勞。

今天晚上、若能來就來。

第四變化之ナ、用時甚少。

今天因為是祭典、街上很熱鬧。

因為他母親是美國人的緣故、他說英國話很

巧妙。

ナリ之第三變化ナリ、用於並列二個事物、任

意選擇其一之意。漢字也可以之意。又強其意

字也可以ノ意、又其ノ意味ヲ強ク言フ時ハ、ナリノ  
下ニ、トヲ添ヘマスガ、是ハ文語ノトト同意デ、縱  
令ノ意味デス。

御カミサンナリ、番頭サンナリ、ドチラデモイイ

カラ、一寸會ハセテ下サイ。

アナタナリ、御合息ナリ、ドナタデモ宜シウゴザ

イマスカラ、一寸宅マデ御出デ下サイ。

ビールナリ、葡萄酒ナリ、何デモ好イカラ、早ク

飲ム物ヲ持ツテ來テ呉レイ。

誰ナリト、彼ナリト、無禮ナ事ヲ爲レバ、容赦ハ

シナイ。

出來ルナリ、出來ナイナリ、シツカリシタ返事ヲ

シテ下サイ。

味之時、於ナリ之下、添加ト字。ト字與文語  
之ト相同、漢字縱令之意。

內掌櫃的也可以、掌櫃的也可以、無論那一  
位都可以、使我見一見。

您也可以、令郎也可以。無論那一位都不要  
緊。請到敝寓去。

無論是啤酒或是葡萄酒、甚麼都可以、快々  
的拿點喝的來。

無論是誰、對我加非禮、則不寬恕。

成也罷、不成也罷。給我確實的回答。



デハ中止法ニ用ヒル者ト、副詞法ニ用ヒル者ト有リマス。

一、中止法ニ用ヒル者。漢字ノ且或ハ又ノ意。

動物ヤ植物ハ、有機物デ、礦物ハ無機物ダ。

酸素ヤ水素ハ、瓦斯體デ、酒ヤ水ハ流動體ダ。

父ハ軍人デ、僕ハ商人ダ。

二、副詞法ニ用ヒル者ニハ、三ツノ區別ガ有リマス。

A、原因ノ副詞ニ、用ヒル者デ、漢字ノ因爲等ノ意

デス。

病氣デ學校ヲ休ム。

地震デ家ガ倒レタ。

アレノ父ハ、酒飲ミデ、財産ヲ潰シテ仕舞ツタ。

B、方法ノ副詞ニ、用ヒル者デス。用具材料ヲモ含

デ、有用於中止法者與用於副詞法者。

一、用於中止法者。漢字且或又之意。

動物及植物是有機物、礦物は無機物。

酸素及水素是瓦斯體、酒及水是流動體。

父親是軍人、我是商人。

二、用於副詞法者、有三種之區別。

A、用於原因副詞者、漢字因爲等意。

因爲得病、不上學校。

因爲地動、房子倒塌了。

他的父親因爲酗酒的緣故、破壞了財產。

B、用於方法副詞者、其中含有用具材料、漢

ミマス。漢字ノ以用ノ意デス。

鉛筆デ畫ヲ書ク。

藥デ病ヲ直ス。

瓦デ屋根ヲ葺ク。

C、場所ノ副詞ニ用ヒル者デ、漢字ノ於在ノ意デス

税關デ、乗客ノ荷物ヲ改メル。

外務省デ、旅行免狀ヲ渡ス。

此ノ洋服ハ、上海デ仕立テタ。

ダハ漢字ノ也、爲、是ノ意デス。

コレハ僕ノ寫真ダ。

僕ノ眞ノ知己ハ、君一人ダ。

アレノ母ハ、亞米利加人ダ相ダ。

アレハ、父ガ華族ナンダカラ、ドコカ上品ナ處ガ

字以用等之意也。

用鉛筆寫畫。

用藥治病。

用瓦蓋房頂。

C、用於地位副詞者。漢字於在等之意也。

在稅關、檢查乘客的行李。

在外務部、交付旅行的執照。

這件洋服在上海做的。

ダ、漢字也、爲、是等之意。

這是我的像片。

實在我的知己、就是你一個人。

聽說他的母親是美國人。

他因爲父親是華族、所以不知何處、有些都



アル。  
アレハ、アア見エテモ、原ハ歴々ノ士族ナシダカラ、矢張氣位ガ高イ。

ダラハ、ウヲ添ヘテ、想像ヲ表ハシ、ダツハタヲ添ヘテ、過去或ハ完了ヲ表ハシマス。

此ノ陽氣デハ、今年ハ豊年ダラウ。

昨年ハ、近年ニ稀ナ豊年ダツタ。

今夜ハ、雨ダラウ。

去年ノ大嵐ハ、今夜ダツタ。

今ノ號外ハ、何ダツタラウ。

【備考】ダノ動詞形容詞ニ添フ時ハ、其ノ第四變化ト、ダトノ中間ニ、代名詞的ノ又ハ其ノ音便ノシテ、挿ムノガ、普通デス。又第一變化ノダラニ、

雅的地方。

他雖然是一看那麼寒苦、可是因為原來是世系歷然的士族、還是持氣不下人。

ダラ者、添フ字表白想像。ダツ者、添フ字、表白過去或完了。

我想氣候這麼順正、本年應當是有年罷。

去年是近來稀有的豐年。

今天晚上、怕是下雨。

去年大暴風雨、正是今夜。

現在賣的號外、是甚麼來。

ダ添于動詞形容詞之時、在其第四變化與ダ字之中間。以插代名詞性之ノ或其音便シ、爲普通。又添ウ於第一變化ダラ、用之於想像之時、

ウヲ添ヘテ、想像ニ用ヒル場合ニハ、ノヲ挿ムト、挿マナイトデ、意味ガ少シ違ヒマス。即ダラウハ漫然タル想像デ、ノダラウハ、前ニ舉グタ事實ヲ、根據トシテ、想像スル詞デス。

今日ハ學校ヘ行クノダ。

ソレデ好インダ。

アノ家ニハ、餘程財產ガ有ルダラウ。

アノ男ハ、始終アンナ立派ナ身ナリヲ、シテ居ルカラ、餘程金ガ有ルノダラウ。

アレハ、實力ガ無イダラウ。

アレハ、度々落第バカリシテ居ルカラ、多分實力ガ無イノダラウ。

今日ハ授業ガ有ルダラウカ、無イダラウカ。

時、因挿ノ字與不挿、稍異其意味。即ダラウ者、止于漫然想像、ノダラウ者、以前舉之事實爲根據、下想像之詞也。

今天上學校去的。

那就行了的。

那家財產很多罷。

那個人、時常穿著好衣裳、想是很有錢罷。

他沒有實在的力量罷。

他屢次致不中、怕是沒有實在的力量罷。

今天有功課麼、還是沒功課哪。



今迄、何トモ揭示ガ出ナイノヲ見ルト、無論有ル  
ノ(ン)ダラウ。

【第二、敬語ノ指定助動詞及ヒ補助動詞】

【デス】

現在還沒出甚麼榜示、這麼看起來、自然當  
有功課。

【第二、敬語指定助動詞及補助動詞】

名詞	人	第一變化
代名詞	私	第二變化
動詞	參ル	第三變化
形容詞	宜シイ	第四變化
助動詞	打タレル	第五變化
		第六變化

デスハ、デゴザイマスノ、漸次縮約轉訛シテ、出來  
タ者デス。

デス者、デゴザイマス漸次縮約轉訛而成者  
也。

アレハ、英吉利人デセウカ。  
 イイエ、アレハ多分獨逸人デセウ。  
 今度ノ御上京ハ、大分御用ガ御有リノ様ニ、伺ッ  
 テ居マシタガ、能ク御早ク御歸リデシタ。  
 ハイ、格別ノ用事モ有リマセンデシタカラ、今朝  
 戻ツテ參リマシタ。  
 アナタハ、(汽車ニ)御乗リニ成ルノデスカ、御下  
 リニ成ルノデスカ。  
 イイエ、僕ハ見送リニ來タンデス。  
 昨日御出デノ節ハ、生憎留守デシテ、御氣ノ毒ヲ  
 致シマシタ。  
 是ハイイノデスカ、惡イノデスカ。  
 ソレハ至極宜シインデス。

他怕是英國人麼。  
 不是，他大概是德國人罷。  
 聽說這回您上京，事情很多，可是您回的這  
 麼快呀。  
 是，沒有格外的要緊事情，所以今天早起回  
 來的。  
 您是上車呀，或是下車呀。  
 不是，我是送行來的。  
 昨天您來的時候，偏巧我沒在家。很對不起。  
 這是好呀，是不好呀。  
 這是極好的。



【備攷一】指定助動詞ト形容動詞トノ區別。

一、指定助動詞ノナリダデスハ、名詞代名詞ニ添ツタモノデ、上ノ名詞代名詞ト、ナリダデストハ、二語デス。形容動詞ノナリダデスハ、形容詞性ノ語ヲ以テ、語根トシ、ナリダデスヲ以テ、語尾トシタモノデ、一語デス、例ヘバ左ノ通りデス。

アレハ西洋人デス  
名詞 指定助動詞

アレガ西洋人ナラ、モツト目ガ窪カラウ。  
名詞 指定助動詞

色彩ガ鮮明デス  
語根 語尾

色彩ガ鮮明ナラ、見易カラウ。  
語根 語尾

【備攷一】指定助動詞、與形容動詞之區別。

一、指定助動詞之ナリダデス、乃添于名詞・代名詞者。此時在上位之名詞・代名詞、與ナリダデス、原爲二語。形容動詞之ナリダデス、則以形容詞性之語、爲語根、以ナリダデス、爲語尾者、原爲一語。例如

他是西洋人。

他若是西洋人、眼窩還要窪一點罷。

彩色鮮明。

若是彩色鮮明、容易看見罷。

二、指定助動詞第四變化ノナハ、特別ナ語ノモノ等ノ外、連體法ニ成リマセンガ、形容動詞第四變化ノナハ、スベテ連體法ニ成リマス。

今日ガ日曜ナモノデスカ。ソレハ嘘ナノデス。  
名詞 指定助動詞連體法

今日ハ靜カナ天氣ダ。アレハ正直ナ人ダ。  
形容動詞連體法

三、形容動詞第二變化ノニハ、スベテ副詞法ニ用ヒマスガ、指定助動詞第二變化ノニハ、副詞法ニ用ヒマセン（尤モ時ニ常ニ今ニナドノ如ク、名詞ノ下ニ、ニヲ添ヘテ。副詞ニ用ヒル者ガアリマシガ、此ノニハ助詞ト見ル方ガ、妥當デセウ。）

空ガ朗カニ晴レタ。靜カニ時ノ動キヲ觀ル。  
形容動詞副詞法

【備攷二】マストデストノ區別。

二、指定助動詞第四變化之ナ、除特別語ノモノ等之外、不成連體法。反之形容動詞第四變化之ナ、都是成連體法。例如。

今天安得爲禮拜日乎。那是虛言的。

今天清靜的天氣。他是正直的人。

三、形容動詞第二變化之ニ、都是用於副詞法。反之指定助動詞第二變化之ニ、無用於副詞法（但有如時ニ常ニ今ニ等、添ニ於名詞下、以用於副詞者。按此ニ看做助詞、似乎妥當。）

【備攷二】マス與デス之區別。



マストデスハ、共ニ對話敬語デスガ、其ノ意味用法ニハ、固ヨリ區別ガ有リマス。

第一、マスハ動詞附屬ノ助動詞デ、其ノ第二變化ニ接續シマス。デスハ名詞代名詞、及ビ名詞ト同ジ資格ノ語ニ、添フ詞デス。故ニ動詞形容詞等ニ添フ時ハ、第四變化ノ連體法又ハ第二變化ノ名詞法ノ下ニ添ヒマス。例ヘバ左ノ通りデス。

私ハ、毎日學校ヘ、行キマス。

三時ニハ、宅ヘ歸リマス。

アナタハ、行キデスカ、歸リデスカ。

アナタハ、御兄弟ガ有リマスカ。

アナタハ、御兄弟ガ御有リデスカ。

アナタハ、兄弟ガ有ルデスカ、無イデスカ。

マス與デス、共爲對話敬語、而其意味用法、固有區別。

第一、マス者、附屬於動詞、接續于其第二變化。デス者、附屬於名詞代名詞及與名詞同資格之詞也。故添于動詞形容詞等之時、添于第四變化連體法、或第二變化名詞法之下。例如左。

我每天上學堂去。

三點鐘回家。

您是去呀、或是回來的呀。

您有弟兄麼。

您是有弟兄的麼。

您弟兄有沒有。

第二、マスハ、單ニ對話者ヲ敬フバカリデ、別ニ意味ガ有リマセンカラ、文章ノ中カラ省イテモ、意味上ニ變化ヲ及ボシマセンガ、デスハ原來指定ノ意味ガ含マレテ居マスカラ、文章ノ中カラ省クトガ出来マセン、又マスニハ、意味ガ無イカラ、漢字ガ有リマセンガ、デスニハ意味ガ有リマスカラ、漢字ガ有リマス。也、爲、是等ノ意デス。例ヘバ左ノ通りデス。

東京ハ、日本ノ首府デスカラ、非常ニ賑ヤカデス。私ハ學生デス。

【否定助動詞】

否定助動詞ハ、事物ヲ否定スル詞デ、ナイトントノ二通りアリマスガ、共ニ漢字ノ不沒非等ノ意デス。

第二、マス者、唯敬對話者而已、別無有意味故雖由文章中省去、而不害文意。デス者、原來含有指定意、故不能由文中除去又マス者、因無意味故、固無相當之漢字。デス、則以有意味故、有該當之漢字。也、爲、是字之意。例如左。

我是學生。

東京是日本首府、所以非常的繁盛。

【否定助動詞】

否定助動詞、否定事物之詞也。否定助動詞有二種。ナイ與ン即是。兩者共是漢字不沒非等之意也。



第一、「ナイ」

名詞	人	○	第一變化
動詞	言ハ	○	第二變化
形容詞	善ク	○	第三變化
形容動詞	愉快デ	○	第四變化
		○	第五變化
		○	第六變化

ナイハ、動詞ノ第一變化ト、形容詞並ニ形容動詞ノ第二變化及ビ名詞ノデヲ帶ビル者ニ、接續シマス。サウシテナカラナカツハ、ナクト動詞ノアリト結合シテ、出來タ者デス。

行カ<sup>ナクテ</sup>善ケレバ、僕ハ行カナイ。  
勉強シ<sup>ナイデ</sup>學問ガ出來ルナラ、學者ノ値打ハ、何ニモ無イ。

ナイ者、接續于動詞第一變化形容詞並形容動詞第二變化及名詞之帶有デ者。ナカラナカツ者、ナク與動詞アリ、結合而成者也。

若是不須去、我就不去。  
若是不用功、而學業自成、碩學就沒有甚麼價值。

禮儀禮讓ト言フ事ヲ知ラナケレバ眞ノ人デナイ。  
鯨ハ海ニ棲ンデ居テモ、魚類デナイ。  
家族ニ病人ガアツテハ、酒ヲ飲ンデモ、愉快デナイ。

人若不知禮儀禮讓、就不能叫實在的人。  
鯨雖住在海中、而不是魚類。  
家裡裡頭若有得病的、雖喝酒而不痛快。

アノ人ノ説ハ、奇抜ダガ、穩當デナイ。  
世態人情ニ通ジナイノヲ、非常識ト謂ヒマス。  
今ノ世デハ、何職業ニ拘ラズ、世界ノ大勢ニ通ジナケレバ、大成功ハ、出來マセン。  
アレハ、ソシナ不徳義ナ事ハ、シナカラウ。  
アノ人ガ、アンナニ出世シヨウトハ、誰モ想ハナカツタ。

那個人所說的意見、雖警拔而不穩妥。  
不通曉世態人情的、就叫缺乏常識。  
現在的時勢、無論甚麼職業、若不通曉世界的大勢、到底不能成大功。  
他不至於辦那麼樣不德義的事罷。  
誰也沒想到他那麼樣榮達。

此ノ料理ハ、旨クナイ。  
西洋式ノ建築ハ、冬ハ暖カデイイガ、夏ハ涼シク

這個菜不好吃。  
西洋式的建築、冬天暖和得好、可是夏天不



ナイカライケナイ。

【備攷】形容詞形容動詞及名詞、代名詞ノ否定

ヲ作ルニハ、ナイヲ用ヒナケレバナリマセン。

【備攷】此ノ場合ノナイハ動詞ノ第一變化ニ添フ

者ト違ツテ、否定ノ助動詞デナク、形容詞ノ無イダ

ト、言フ説モ有リマスガ、其ノ否定ヲ表ハス點ニ於

テ、兩方共同ジデスカラ、便宜上暫ク茲ニ入レテ

置キマス。

第二、【ン】

動詞	言ハ	第一變化	○
助動詞	言ハレ	第二變化	ンズズ デニ
		第三變化	スン
		第四變化	スン
		第五變化	ネ
		第六變化	○

涼快、所以不好。

【備攷】爲作形容詞形容動詞及名詞代名詞

之否定、必須用ナイ。

【備攷】說者曰、此種ナイ、與添子動詞第

一變化者、不相同、故非否定之助動詞。爲形

容詞之無イ。雖然其表白否定、二者全相同、

故從便宜、一併列此。

ンハ、動詞助動詞ノ第一變化ニ添ヒマス。

見ズ識ラズノ他人ニ、金錢ヲ借リル事ハ、出來ナ

イ。

何モ言ハズム、黙ツテ彼ノ要求ヲ容レテ違ツタ。

僕ハ、一向ンナ事ハ、知ラン。

實際ニ見ヌ事ハ、信用ガ出來ン。

實際ニ當ツテ見ネバ、確實ナ事ハ分ラン。

人ハ何事デモ、注意セネバナラン。

私ハ一向其ノ様ナ事ニハ、關係致シマセン。

【備攷一】東京語デハ、平常語ノ否定ニハ、ナイ

ヲ用ヒテ、ンハ用ヒマセン。

【備攷二】敬語ノ否定ニハ、マセノ下ニ、ンヲ添

ヘマス。決シテナイヲ添ヘルコトハアリマセン。

ン、添子動詞助動詞之第一變化。

向不相識の人、不能借錢。

甚麼話不說、就默認了他的要求

我簡直不曉得那樣的事情。

實地沒看的事情、不能信用。

若不臨實地調查、就不能明白確實的事情。

人無論甚麼事、總不可不留神。

我簡直不管那些事。

【備攷一】在東京語、表白平常語之否定、

則用ナイ、不用ン。

【備攷二】表白敬語之否定、則在マセ之下

添ン字、決不添ナイ。



「推量助動詞」

「ウ。ヨウ」

助動詞	形容動詞	動詞				
		有 <sup>ア</sup> リマセ	見 <sup>ミ</sup> タラ	善 <sup>ヨ</sup> カラ	行 <sup>イ</sup> カ	
讀 <sup>ク</sup> マセ						第一變化
爲 <sup>ス</sup>						第二變化
來 <sup>ク</sup>						第三變化
見 <sup>ミ</sup>						第四變化
教 <sup>シ</sup> ヘ						第五變化
						第六變化

右ノウハ、四段・形容動詞・指定・過去・敬語助動詞

(マス)ノ第一變化ニ接續シ、ヨウハ上一段下一段カ行變格トサ行變格使役被役ノ第一變化ニ接續シマス。ウ及ビヨウニハ、三ツノ意味ガアリマス。

一、「想像ノ意識」ヲ表ハス者、漢字想<sup>ソウ</sup>怕<sup>パ</sup>等ノ意。

今日ノ討論會ハ、雄辯家ノ揃ヒダカラ、大分議論

ニ花ガ咲カウ。

ソナナ不道理ナ事ガ、世ノ中ニ有ラウ筈ガナイ。

何銀行ノ様ニ、度々缺損ヲシテハ、世間ノ信用ガ

墜チヨウ。

今度ノ紛議モ、大概一兩日ノ中ニハ、落着シヨウ。

第二、「我方決心」ヲ表ハスニ用ヒマス。漢字欲<sup>ヨク</sup>要<sup>ヤウ</sup>

ウ接續于四段・形容動詞・指定・過去・敬語助動詞(マス)之第一變化、ヨウ接續于上一段下一段カ行變格與サ行變格使役被役兩助動詞之第一變化。ウ及ヨウ者、有三樣之意義。

一、表白想像意義者、漢字想、怕等之意。

今天的討論會、因爲都是雄辯士、很高談闊

論罷。

世界中、豈有如此之不道理の事乎。

像某銀行の屢次虧空、恐怕要喪失世間の信

用。

這回紛議、我想大概這一兩天之内、可以了

結罷。

第二、用於表白我決心者、漢字欲要打算等







アノ人ニハ、餘程シツカリシタ後楯ガ、アルラシ  
 イ。  
 昨日、此ノ邊ハ、餘程雨ガ降ツタラシイ。  
 アノ剛情ナ男ガ、アンナニ情氣テ居ル所ヲ見ルト  
 何デモ、餘程弱ツテ居ルラシク、想ハレル。

那個人似乎有有力的後援。  
 這邊光景是昨天下了大雨了。  
 他是個很剛復的人，然而現在那麽樣的意氣  
 銷沈了。這麼看起來，我想他很困憊了  
 罷。

【否定推量助動詞】

【マイ】

四段 變 化	上 一	下 一	カ 變 化	ナ 變 化	第一變化	第二變化	第三變化	第四變化	第五變化	第六變化
有 ル	見 テ	捨 テ	來 コ	爲 ス			マイ	マイ		

マイハ、ウ、ロウノ反對デ、事物ヲ推測シテ否定スル  
 ニ用ヒル詞デス。又否定ノ決心、及ビ否定ノ商量、同  
 意又ハ誘導等ノ意ヲ表ハス詞デス。サウシテ四段ト  
 助動詞ノマスニハ第三變化ニ、上一、下一、及ビカ  
 變ナ變被役使役ノ助動詞ニハ、其ノ第一變化ニ接續  
 シマス。

マイ者、ウ、ロウ之反對也、用於推測事物而  
 否定、又表白否定之決心及否定之商量同意誘  
 導等之義。在四段及助動詞之マス下、則接續  
 於第三變化、在上一下一カ變ナ變、被役使役  
 兩助動詞下、則接續于第一變化。

【第一】 否定ノ推量ヲ表ハス者、漢字怕不ノ意。  
 アノ人ノ怒ル癖ハ、到底直ルマイ。

【第一】 表白否定之推量者、漢字怕不之意。  
 他那好怒的脾氣，怕到底不會改罷。

ソナナ不利益ナ條件デハ、先方ガ乾度承知シマ  
 イ。(承知シナカラウ、承知シナイダラウ)

那麽樣的不利益的條件，他們怕是一定不答  
 應罷。

【第二】 否定ノ決心ヲ表ハス者、漢字要不……  
 罷等ノ意。  
 モウ、アンナ馬鹿ゲタ事ハ、二度トシマイ。(シナ

【第二】 表白否定之決心者。漢字要不、不  
 ……罷等之意。  
 那麽樣糊塗的事情，再不要做罷。



イ様ニシヨウ)

人ノ蔭口ハ、決シテ利クマイ。

修業ノ内ハ、酒モ煙草モ飲ムマイ。

奴ノ口車ニハ、決シテ乗ルマイ。

【第三】 否定ノ商量同意又ハ誘導等ノ意ヲ表ハス

者、漢字可別ノ意。

御互ニ是カラ輕躁ナコトハシマスマイ。(シナイ

ヤウニシマセウ)

アシナ高イ料理屋ヘハ、御互ニ二度ト行キマス

イ。(行カナイヤウニシマセウ)

アシナ店デハ、我々ハ二度ト買ヒマスマイ。

【希望助動詞】

【タイ】

決不背地裡說人能。

肄業之間、我要不吃煙酒。

決不被他的甜言欺瞞罷。

【第三】 表白否定之商量同意或誘導等之意

者、漢字可別之意。

往後僂們彼此可別做輕躁的事情。

那麼貴的飯店、僂們可別再去了。

在那麼樣的舖子、僂們可別再去買了。

【希望助動詞】

【タイ】

動詞	習ヒ	第一變化	第二變化	第三變化	第四變化	第五變化	第六變化
助動詞	習ハセ	○	タク(音便)	タシ(中止法)	タイ	タクレ	○

タイハ、動詞助動詞ノ第二變化ニ接續シテ、希望ヲ表ハス助動詞デス。漢字欲、要ノ意。

私ハ、各國ヲ漫遊シタイ。

ビールガ飲ミタイ。(一種之語法)

支那料理ガ食ベタイ。(同前)

病氣災難ニハ、ドウカ罹リタクナイ。

今年ハ、是非海水浴ヘ參リタクゴザイマス。

ソシテ見ツトモナイ(見タクモナイノ轉訛)姿デ、

外ヲ歩クモノデハナイ。

タイ者、接續于動詞助動詞之第二變化、以表白希望之助動詞也。漢字欲、要之意。

我要漫遊各國。

我要喝啤酒。(啤酒是我要喝的)

我要吃中國菜。(中國菜是我要吃的)

我很願意沒有病氣災難。

本年總想去洗海水浴。

那麼樣不好看的打扮、不可以往外頭出去。



タシハ文語ノ遺物デ、中止法ニ用ヒルダケデス。  
文ハヤリタシ、書ク手ハ持タヌ。

【時】

時ニハ四ツ有リマス。過去現在未來及ビ不定時デス。

【不定時】ハ、時ニ關係無ク常ニ一樣ノ動作狀態ヲ現ハス者デス。事物ノ眞理・法則・格言・常習等ヲ表示スル者ハ、多ク之ニ屬シマス

日ハ東カラ出テ西ヘ入ル。魚ハ水ニ棲ム。

生有ル者ハ必ズ死ガ有ル。能有ル鷹ハ爪ヲ隠ス。

【現在】現在ノ動作ハ、他ノ詞ノ助ケヲ待タナイデ、動詞自體デ、之ヲ表ハシマス。但シ現在ノ時ノ副詞ト、上下相呼應スレバ、現在ノ意ガ、彌明白ニ成リマス。

タシ者、屬于文語遺物、唯用於中止法耳。  
要寄信、可是不會寫。

時有四種。過去現在未來及不定時即是。

【不定時】與時不相關、常現出一樣之動作狀態者也。表示事物之眞理・法則・格言・常習等者、多屬之。

日從東出而沒于西。魚棲水。

有生者必有死。能耐的鷹藏爪。

【現在】現在之動作者、不待他語之幫助、用動詞自體、得以表白也。但與現在之時之副詞、上下相呼應、則現在之意、彌加明白。

近頃ハ空氣ガ乾燥スルカラ、咽喉病ガ流行スル。

今日ハ、強イ風ガ吹ク。

諸君ハ、今教場ニ居ル。

僕ハ、今諸君ニ、文法ヲ教授スル。

【過去】過去ノ動作ヲ表ハスニハ、動詞ノ第二變化ニ、過去助動詞ノタヲ添ヘマス。サウシテ過去ノ時ノ副詞ト、上下相呼應スレバ過去ノ意ハ彌明白デス。又過去助動詞ハ、第二變化ノテガ根原デ、テト動詞ノアリト結合シテ出來タ者デス。

這一陣子、天氣乾燥、所以流行咽喉病症。  
今天颯大風。

諸君現在在講堂裡。

我現在教授文法於諸君。

【動詞之過去】表白過去動作之法、在動詞第二變化之下、添加過去助動詞之タ。又與過去時之副詞、上下相呼應、則過去之意彌加明白。又過去助動詞者、以第二變化テ爲根原、テ與動詞有リ結合而成者也。

動詞	見	第一變化	タラ	第二變化	タリ	第三變化	タリ(並列)	第四變化	タ	第五變化	タレ(バ)	第六變化	○
助動詞	打タレ												



アノ先生ハ、元ト僕ガ教ハツタ先生デス。  
 私ノ父ハ、外交官デシタカラ、私モ子供ノ時ニ、  
 父ト一緒ニ、歐羅巴ノ有名ナ都ヘハ、大概行キ  
 マシタ。

昨夜ノ火事デハ、随分家數ガ焼ケタラウ。  
 先達同郷會へ行ツタラ、料ラズ、郷里ノ舊友ニ  
 大勢逢フコトガ出来タ。  
 先達、某大學ノ創立五十年祝賀會ノ提燈行列ハ  
 随分觀物ダツタラウ。  
 私ノ父ハ、早ク死ンダカラ、私ハ父ノ顔ヲ覺エテ  
 居マセン。  
 御歸リニ成ツタラ、御兩親様ニ、宜シク御傳ヘ下  
 サイ。

那個先生原先是我受業的先生。  
 家父原先是外交官，所以我年少的時候，和  
 家父一同往歐羅巴有名的都會，大概都去  
 過。

我想昨天晚上的火災，燒的人家很多了罷。  
 前幾天同鄉會去，沒想到遇見了故鄉的舊  
 日的好些個朋友。  
 前幾天某大學創立五十年之祝賀會，提燈行  
 列，很可觀罷。  
 我父親早死了，所以我沒記著父親的臉。  
 您若是回了家，請替我好々的致意令尊令  
 堂。

幼イ時ニ、教ハツタリ、習ツタリシタコトハ、印  
 象ガ深イカラ、生涯忘レナイモノダ。

語學ヲ覺エルニハ、本ヲ讀ンダリ、會話ヲシタリ  
 文章ヲ書イタリ、書取ヲシタリ、スルノガ最モ  
 必要ダ。

【備攷一】タリハ並列スル語毎ニ添ヘテ、スルト  
 言フ語ニ、應ジマス。漢字或ノ意ニ成リマス。

【備攷二】タラニハ二ツアリマス。一ツハ第一變  
 化デ、一ツハ第五變化ノタレト、助詞ノバトガ、約  
 音ニ成ツタ者デス。故ニ假定ト、確定ノ區別ガ有リ  
 マス。其ノ例ハ左ノ通りデス。

大學デ、自由傍聽ヲ許シタラ、聽講者ガ澤山有リ  
 マセウ。

年幼的時候、或是受教的、或是肄業的、都  
 是印象很深，所以學生不能忘記。

要學語學、湏是讀書，或是交談，或是作文  
 或是默書，那最要緊的。

【備攷一】タリ者、凡並列言語、悉皆添之  
 以應於動詞スル。漢字或之意。

【備攷二】タラ有二、一則爲第一變化。一  
 則第五變化之タレ、與助詞之バ、結合而成約  
 音者也。故有假定與確定之區別。例如

若是在大學允許自由傍聽，願求聽講的人，  
 應當很多。



私モ此ノ學校ヲ卒業シタラ、官途ニ就キマセウ。

昨日郊外ヘ散歩ニ行ツタラ、(タレバ)モウ菜ノ花

ガ咲イテ居マシタ。

此ノ間或雜誌ヲ見タラ、(タレバ)中ニ珍ラシイ事

ガ書イテアリマシタ。

【完了態】口語デハ、動作ノ完了ヲ表ハスノニ、

過去ト同ジ形ノタヲ用ヒマス。

私ハ、今日何學校ヲ卒業シマシタ。

今授業ノ始マル鐘ガ、鳴リマシタ。

今シ方打ツタ電報ハ、モウ届イタラウ。

今日私ノ留守ヘ、此ノ人が尋ネテ來タラ、此ノ手

紙ヲ渡シテ下サイ。

【備攷】「ナラトタラトノ區別」

我若是在這個學堂畢了業、打算做官。

昨天上郊外逛去、菜花已經開了。

前幾天看一本雜誌、其中載了個希奇的事

情。

【完了態】在口語、爲表白動作之完了、用

與過去同形之タ。

我今天在某學堂卒業了。

剛纔上課的鐘打了。

剛纔打了的電報、大概已經到了罷。

今天我出門之後、若是這個人找我來了、請

把這封信、交給他罷。

【備攷】「ナラ與タラ之區別」

ナラハ、其ノ事ニ直面シタ假定デ、漢字若……則ノ意デス。

タラハ、未來完了ノ假定デ漢字若……了則ノ意デス。

サウシテ其ニ順態假定前提法ニ成リマス。

【未來】動詞ノ未來ニハ、確定的ノ未來ト推測的

ノ未來トノ二通りガ有リマス。

【確定的未來】ハ、或動作ガ、未來ノ或時ニ於テ

必然行ハレルコトヲ、表ハス者デス、例ヘバ左ノ通

リデス。

明日、僕ハ、八時半ノ急行列車デ、京阪地方ヘ出

立スル。

アノ學生ハ、將來乾度立派ナ學者ニ成ル。

明日ハ大祭日デ、諸學校ノ役所ハ、一般ニ休業ス

ナラ者、直面於其事之假定也。漢字若……則之意。

タラ者、未來完了之假定也。漢字若……了則之意。

兩者共有順態假定前提法之意義。

【動詞之未來】動詞之未來、有二種。確定的

の未來、及推測的未來、即是。

【確定的未來】表白某動作必行於未來之某

時者也。例如

明天我坐八時半鐘開的快車起身、上京阪地

方去。

那個學生、將來一定成有名的碩學。

明天是因爲大祭日、各學堂和各衙門都放



ル。

【推測的ノ未來】ハ、未來ノ或時ニ於テ、或動作ノ行ハルベキコトヲ、推測的ニ言ヒ表ハス者ヲ言ヒマス。推測的未來ニハ、動詞ノ第一變化ニ、ウ及ビヨウヲ添ヘマス。

【未來助動詞 ウ、ヨウ】

ナ	カ	下	上	四段		
變	變	一	一	行カ		
爲	來	受	見		第一變化	○
		ケ			第二變化	○
					第三變化	ウ
					第四變化	ウ
					第五變化	○
					第六變化	○

假。

【推測的未來】者、用推測之語氣、以表白某動作應行于未來之某時者也。表白推測的未來之法、添加推量助動詞之ウ及ヨウ於動詞之第一變化。

【繼續態ト存在態】

【居ル、居ル、在ル】

動詞						
行キテ	見テ	建テ	居キ	居	居	
			居ラ	居リ	居ル	
						第一變化
						第二變化
						第三變化
						第四變化
						第五變化
						第六變化

アノ男ハ、將來必ズ立身シヨウ。  
 來月ニ成ツタラ、氣候ガ餘程寒ク成ラウ。  
 婦人參政權案ガ、衆議院ノ議事ニ付セラレタラ、傍聽人ガ、澤山出ヨウ。  
 交通機關ガ、完備スルト共ニ、コレカラ後ハ、世界ノ商工業ガ、一層長足ノ進歩ヲシマセウ。

他將來必當榮達。  
 趕到下月、氣候就要很冷了罷。  
 若是婦人參政權案、付衆議院的會議了、怕是聽人很多罷。  
 隨著交通機關完備、往後世界的商工業、可以見更一層很快的進步。



繼續態トハ、或動作ノ繼續シテ、進行中ニ在ルコトヲ表ハス者ヲ謂ヒマス。存在態トハ其ノ動作ハ完了シテモ、結果ノマダ存在シテ居ルコトヲ表ハス者ヲ謂ヒマス。

繼續態及ビ存在態ハ動詞ノ第二變化ニテ居ル、テ居ル或ハテ在ルヲ添ヘテ、之ヲ表ハシマス。此ノ居ル、居ル、在ルハ皆補助動詞デ、テハ過去助動詞ノ第二變化デス。其ノ用法ハ、左ノ通りデス。

(一) テ居ル、テ居ルノ例。

- 1 軍隊ガ 練兵ヲシテ居ル。
- 1 農夫ガ田ヲ耕シテ居ル。
- 鳩ガ豆ヲ拾ツテ居ル。
- 牛ガ寝テ居ル。

繼續態、乃表白某動作之在繼續進行中者也。存在態是表白其動作雖既完了、而其結果尙存在者也。

繼續態及存在態之法、在動詞之第二變化、添加テ居ルテ居ル或テ在ル以表白之。此等居ル居ル在ル者皆補助動詞也。又テ者屬于過去助動詞之第二變化。其用法乃如左。

軍隊在操練。(テ居ル)(同意)

- 1 農夫耕種著田地。
- 1 鴿子拾著豆子。
- 牛睡著覺。

2 酒醉ヒガ樹ノ下ニ倒レテ居ル。  
人ガ椅子ニ腰ヲ懸ケテ居ル。  
以上ノ例ハ、テ居ル、テ居ルガ有情物ノ有意ノ動作ニ添ツタ者デ、(1)ハ、動作ノ繼續進行ヲ表ハシ、(2)ハ結果ノ存在ヲ表ハス者デス。

- 1 雨ガ降ツテ居ル。
- 1 水ガ流レテ居ル。
- 1 火ガ燃エテ居ル。
- 2 家ガ毀レテ居ル。
- 2 草ガ枯レテ居ル。
- 2 木ガ生エテ居ル。

以上ノ例ハ、テ居ルテ居ルガ非情物ノ無意ノ作用ヲ附イテ居ル者デス。原來居ル居ルハ有情物ノ存在ヲ

2 喝醉的人在樹底下躺著哪。  
人坐著椅子哪。  
以上之例、乃テ居ルテ居ル、添于有情物之有意動作者也。(1)者表白動作之繼續進行。(2)者表白結果之存在。

- 1 下雨哪。
- 1 水流哪。
- 1 火著著哪。
- 2 房子壞著哪。
- 2 草乾著哪。
- 2 樹長著哪。

以上之例、乃テ居ル及テ居ル、添于非情物之無意作用者也。原來居ル居ル者、表白有情物



表ハス詞デスガ、此ノ場合ニハ、非情物ヲ以テ、有情物ノ様ニ、見做シタ者デス。サウシテ(1)ハ動作ノ繼續進行(繼續態)ヲ表ハシ、(2)ハ結果ノ存在(存在態)ヲ表ハス者デス。

(二)テ在ルノ例。

家が建テテ在ル。

「人ガ建テテ家ガ在ル」ノ意。又「人ガ家ヲ建

テテ在ル」「家ガ建テラレテ在ル」ノ意。

(歐文直譯也)

机ガ並ベテ在ル。

「人ガ並ベテ机ガ在ル」ノ意。又「人ガ机ヲ並

ベテ在ル」「机ガ並ベラレテ在ル」ノ意。(以

下同シ)

橋ガ架ケテ在ル。

之存在者也。但在此處以非情物視做有情物也。(1)者表白動作之繼續進行(繼續態)(2)者表白結果之存在(存在態)。

蓋着有房子。

「人建家而家在此」之意。又「家被人建

而在焉」等之意。

擺着有棹子。

「人擺列棹子而棹子在此」又「棹子被人

擺列而在焉」之意。

架着有橋。

電燈ガ吊シテ在ル。  
字ガ書イテ在ル。  
湯ガ沸シテ在ル。  
右ノ例ノ如ク、テ在ルヲ用ヒル場合ハ、下ノ補助動詞ノ在ルハ、主格ノ存在ヲ表ハシテ居ルガ、上ノ獨立動詞ノ架ケル吊ス等ハ、主格ノ動作ヲ表ハスノデハナクツテ、人ノ動作ヲ表ハシテ居ル者デ、悉ク他動詞デス。  
尙過去ノ繼續態及ビ存在態ヲ表ハスニハ、テ在ル及ビテ居ルテ居ルニ、過去助動詞ノタヲ結ビ附ケ、又其ノ未來ヲ表ハスニハ、テ在ルテ居ルテ居ルニ、未來ノウ或ハヨウヲ結ビ附ケマス。例ヘバ左ノ通りデス。

吊着有電燈。  
寫着有字。  
煮着有開水。  
譬如右例、用テ在ル之時、下位之補助動詞在ル、雖表白主格之存在、而上位之本動詞架ケル吊ス等、非表白主格之動作、乃表白人之動作者也。悉皆爲他動詞。  
至欲表白過去之繼續態或存在態、則於テ在ル及テ居ルテ居ル之下、連結過去助動詞之タ。  
又欲表白其未來、則於テ在ル及テ居ルテ居ル之下、須連結未來之ウ或ヨウ。例如



【過去ノ繼續態及ヒ存在態】ノ例。

先週ノ日曜日迄ハ、日比谷公園ノ菊ガ、マダ綺麗

ニ咲イテ居タ。(テ居ッタ)

僕ノ父モ、四五年前迄ハ、官途ニ就イテ居タ。(テ

居ッタ)

昨夜僕ノ部屋ヘ、泥棒ガ這入ツテ、筆筒デモ、本

箱デモ、皆取り散シテ在ツタ。

【未來ノ繼續態及ヒ存在態】ノ例。

マダ十年位ハ、僕ノ父モ、家事ヲ主宰シテ居ヨウ。

(テ居ラウ)

四五年振リデ、歸ルノダカラ、郷里ノ様子モ、餘

程變ツテ居ヨウ。(テ居ラウ)

此ノ間何書店ヘ注文シテ置イタ何々ノ本ガ、明日

直到上禮拜日、日比谷公園の菊花開的還很

好着哪。

我的父親、前四五年、還做官來著。

昨天夜裡、賊進了我的屋子、把衣裳櫃和書

箱甚麼的、都弄的亂七八糟的來著。

再有十年上下、我父親還可以主宰家事。

隔著四五年回家、故鄉的光景改變了罷。

前幾天在某書局子、定買的书、大約要是明

アタリ行ツタラ、多分ミンナ取り揃ヘテアラウ。

【備致】テ居ルテ居ルノ代リニ、テ入ラツシヤ

ル、テ御出デルヲ用ヒルコトガ有リマスガ、平常語

ト敬語トノ區別ダケデ、其ノ意味ハ、固ヨリ同ジデ

ス。

第六章 助詞又、且仁表波

助詞ヲ分ケテ、第一類第二類第三類第四類ノ四種ニ

シマス。

第一類ノ助詞ハ、名詞代名詞、或ハ其レト同ジ資格

ノ語(即名詞性ノ語)ニ、附屬スル者デス。

ガ	ノ(一)	ノ(二)	ガ(一)
ト	ヤ	ノ(三)	カ
		附タノ	

天去時、都可以齊備了罷。

【備致】有代テ居ル、テ居ル而用テ入ラツ

シヤル、テ御出デル之時。是唯有平常語與敬

語之區別而已。其意固相同。

助詞分爲第一類第二類第三類及第四類之四

種。

第一類助詞、附屬於名詞代名詞、或與其同資

格之語(即名詞性之語)。

ニ	ヘ	ヨリ	カラ	マデ
一、ガ	ノ			



ガハ、動作状態ノ主體即主格ヲ舉ゲル詞デス。漢字ニハ之ニ該當スル文字ガ、アリマセン。

雪ガ降ル。

嵐ガ吹ク。

智慧ガ深い。

頓智ガ善イ。

アノ人ハ、物ヲ言フノガ早イ。

知ラナイ事ハ、遠慮ナク、知ツタ人ニ、問フガ宜シイ。

主體ノ動作状態ヲ表ハス動詞形容詞等ガ、終止セズシテ、更ニ下ノ名詞代名詞ニ接續スル時ハ、ガノ代リニ、多クノヲ用ヒマス。

雪ノ降ル日ハ、寒イ。

ガ者、表示動作状態之主體即主格之詞也。漢字之中、無該當者。

下雪。

颶大風。

智慧深。

奇智縱橫。

他說話很快。

自己不知道的事情、請教先知道的人、纔好。

所表自主體即主格之動作状态動詞形容詞、未終止、而更接續于下位名詞代名詞之時、大概多以ノ代ガ。

下雪的時候、天冷。

嵐ノ吹ク時節ハ、大概秋ダ。

智慧ノ深イ人ハ、淺慮ナ事ハシナイ。

頓智ノ善イ人ノ話ハ、面白イ。

二、ノ(二)

ノハ上下ノ名詞代名詞ヲ結び附ケテ、領有又ハ定限或ハ形容ノ意ヲ表ハス詞デス。總ベテ之ヲ定限格ノ助詞ト云ヒマス。漢字ノ之或ハ的ノ意デス。

是レハ、私ノ机デス。

二、アレハ、藤田サンノ自動車デス。

康熙字典ハ、書齋ノ机ノ左側ノ本箱ノ中ニ在リマ

ス。

夢ノ浮世。露ノ命。

ノノ下ニ有ルベキ名詞ヲ、省略スルコトガ有リマス

颶大風の時節、大概是秋天。

智慧深的人、不做浅慮的事。

富於奇智的人所说的話、很有趣。

二、ノ

ノ者、連結上下之名詞、表自領有定限或形容等意義之詞也。總謂之定限格之助詞。漢字之或的之意也。

这是我的棹子。

那是藤田君的自動車。

康熙字典、在書齋裡頭的棹子左邊書櫃裡

頭。

夢幻之浮世。朝露之人生。

有時省略ノ字之下當有之名詞。恰似在中國語



是レハ丁度支那語ノ的ノ字ノ下ノ名詞ヲ、省略スル  
ト同ジデス。

此ノ包ミハ、私ノ(包ミ)デス。

アノ明家ハ、何處ノ(明家)デス。

三、ヲ

ヲハ、他動詞ノ目的語ヲ表ハス詞デ、事物ヲ處置ス  
ル意ガ有リマス處置格ノ助詞ト謂ヒマス。漢字ニハ  
該當スル文字ガ有リマセン。但シ稀ニ將ノ字ヤ把ノ  
字ニ當ル場合ガ有リマス。

巡查ガ、時々戶籍ヲ調べマス。

檢事ガ、犯罪者ヲ告發シマス。

新聞ガ、頻リニ現政府ノ政策ヲ、攻撃シマス。

此ノ小包郵便ヲ、郵便局へ、出シテ下サイ。

省略的ノ字下之名詞。

這個包是我的(包)。

那個空房子、是那一家(空房子)。

三、ヲ

ヲ者、表自他動詞目的語之詞也。含有處置事  
物之意。謂之處置格助詞。漢字之中、無該當  
者。但偶有適當於將字或把字者。

巡查時常調查戶籍。

檢事告發犯罪者。

報紙頻々攻擊現政府的政策。

請把這個小包、送郵政局去。

某サンガ來タラ、此ノ筆記帳ヲ、渡シテ下サイ。  
右ノ例ノ中デ、後ノ二例ノヲハ、把ノ字ノ意ニ相當  
シマス。

【備攷】ヲノ中ニハ、稀ニ自動詞ニ添フ者ガ有リ  
マス。例ヘバ左ノ通りデス。

國ヲ出ル時ニ、父ガ色々々教訓シテ呉レタ事ヲ、想  
ヒ出ス。

父母ノ膝下ヲ離レテ、遠方ニ遊學スル。

汽車ガ、今鐵橋ノ上ヲ走ツテ居ル。

沙漠ヲ旅行スル者ハ、時々方角ヲ取違ヘルコトガ  
アル。

右ノ中デ、前ノ二例ノヲハ、大概カラト同意デス。  
後ノ二例ノヲハ、動作ノ行ハレル地位ヲ示ス者デ、

若是某君來了。就把這個抄本、交給他罷。  
右例之中、後列二例之ヲ字、該當把字意。

【備攷】ヲ字之中、間有添于自動詞者、例  
如左。

我想起、離故鄉的時候、父親懇々切々教訓  
我的話。

離父母的跟前、遊學遠方。

火車現在鐵橋上頭走著。

旅行沙漠的人、時常的走錯了方位。

右例之中、前二例之ヲ者、大概同於カラ之意  
後二例之ヲ、表自動作所行地位、與二殆同其



ニト略同意デスガ、ニハ静止的ノ意味ヲ含ミ、ラハ運動的ノ意味ヲ含ム點ガ違ツテ居マス。

四、ニ

ニニハ、種々ノ用法ガ有リマス。第一ハ、地位ヲ示ス者デス。漢字ノ於在等ノ意ニ當リマス。

獸ハ、多ク山ニ棲ミマス。

淡水ニ棲ム魚ト、海水ニ棲ム魚ト有リマス。

東京ノ大會社ハ、近頃多ク丸ノ内ニ在リマス。

第二ハ、動作狀態ノ標的ヲ示ス者デス。漢文ノ於ノ

字ニ當リマス。

父ガ、財産ヲ子ニ譲リマス。

私ハ祖父ニ、法帖ヲ買ツテ上ゲマス。

某サンヲ、某博士ニ、紹介シマシタ。

意。但二者含有静止的意、ヲ含有運動的意、是二者之區別。

四、ニ

ニ有諸種之用法。第一示地位者。該當漢字於、在等意。

走獸住在山裡頭的多。

魚裡頭有住在淡水的、與住在海水的。

東京的大公司、近來大半在丸之内。

第二、表白動作狀態之標的者。該當漢字於字

意。

父傳財產於其子。

我買法帖、奉上祖父。

介紹某君於某博士了。

主人ガ、留守ノ家デハ、時々詐欺ニ罹ル者ガ、有リマス。

德義心ノ無イ者ハ、鳥獸ニ劣リマス。

某博士ハ、天文學ニ精シクアリマス。

第三ハ、此ノ事物ガ、彼ノ事物ニ、轉化スル意味ヲ表ハス者デス。適當ナ漢字ハ有リマセンガ、漢文ニ

譯スル時ハ、文中ニ、多ク爲ノ字ヲ含ミマス。

水蒸氣ガ、雲ニ成リマス。

木ノ屑ガ、紙ニナリマス。

子供ヲ、軍人ニシマス。

娘ヲ、教育家ニ致シマス。

阿房宮ノ瓦ヲ、硯ニ使ヒマス。

第四ハ、並列又ハ配合ノ意ヲ表ハス者デ、漢字ノ及

主人出門の人家、往々遭騙子の狡猾手段。

沒有德義心的人、劣於鳥獸。

某博士精通天文學。

第三、表白此事物轉化彼事物者。無該當之漢字。但譯爲漢文之時、多含爲字於文中。

水蒸氣成爲雲彩。

木屑爲紙張。

我使兒子爲軍人。

我使女孩子爲教育家。

用阿房宮的瓦爲硯臺。

第四、表白並列或配合意者。漢字及、和、添



和、添等ノ意デス。

ナポレオンニ、ビスマータハ、稀世ノ豪傑デス。

茶ニ、珈琲ハ、食後ニ必要ナ飲物デス。

麵包ニ、バターハ、附キ物デス。

テーブルニ、椅子ハ、離レルコトノ、出来ナイ者

デス。

第五ハ、原因ヲ表ハス者デ、漢字ノ爲ノ意デス。

演説ヲ、聴キニ行ク。

芝居ヲ、觀ニ行ク。

晝飯ニ歸ル。

第六ハ、被役及ビ使役ノ目的ニ添フ者デス。

乞食ガ、犬ニ吠エラレル。

酒酔ヒガ、巡查ニ叱ラレル。

等意。

拿破崙和俾士麥、是稀世の豪傑。

茶和珈琲是吃饭之後、要緊的飲料。

麵包和黃油、是彼此附隨的。

桌子和椅子、是彼此不可以離的東西。

第五、表白原因者。漢字爲之意。

爲聽演說去。

爲看戲去。

爲吃午飯回走。

第六、添于被役及使役之目的語者。

乞食的被狗吠。

醉鬼被巡捕申叱。

教師ガ學生ニ復習サセル。

第七ハ、事物ヤ時或ハ場所ノ、一定ノ範圍ヲ表ハス

者デス。漢字ノ内裡毎等ノ意デス。此ノニヲ帶ビ

レバ名詞ガ副詞ニ轉成シマス。

年ニ二度、運動會ヲスル。

月ニ一向、同郷會ヲ開ク。

一丁ニ二本電信柱ヲ建テル。

百人ニ一人ハ、目明キモ有ル者デス。

第八ハ、尊敬ノ意ヲ附ケ加ヘル者デス。

皇太子殿下ニハ、御見學ノ爲、陸軍ノ大演習ニ行

啓遊バサレマシタ。

内務大臣ニハ、地方行政視察ノ爲ニ、東北地方へ、

出張セラレマシタ。

教習使學生温習。

第七、表白事物時間空間之一定範圍者。漢字

内裡毎等意。名詞帶有此ニ則轉成副詞。

一年裡頭開兩回運動會。

每一個月開一回同郷會。

每一丁立兩根電信柱子。

一百個人裡頭應該有一個人的具眼者。

第八、附加尊敬之意者。

皇太子殿下、爲見學陸軍大演習到那地方。

内務大臣爲視察地方行政、差到東北地方。



第九ハ、同ジ動詞或ハ形容詞ヲ、二ツ累ネタ中間ニ挿シテ、副詞的ニ用ヒル者デス。

有ルニハ有ルガ、澤山ハナイ。

行クニハ行クガ、早クハ行カレナイ。

善イニハ善イガ、餘リ善クナイ。

今更止メルニモ止メラレナイ破目ニナツタ。

泣クニ泣カレヌ場合デス。

言フニ言ハレヌ事情ガアリマス。

見ルニ見兼ネテ、助ケテ遣リマシタ。

第十ハ、如ク・様ニナドノ意ヲ含有シ、名詞ニ添ツテ副詞ヲ作ル者デス。

口ヲ一文字ニ結ブ。

四ツ角ヲ鈎ノ手ニ曲ル。

第九、挿入於累疊一樣之動詞或二個形容詞之中間、用於副詞樣之意義者。

有是有、可是不多。

去是去、可是不早去。

好是好、可是不很好。

到如今、情形是欲中廢而不可以中廢。

要哭而不能哭的地步。

有要說而不能說的事由。

欲坐視、而不勝坐視、敢然與以臂助。

第十、含有如ク・様ニ等意、添于名詞、作成副詞者。

一字似的閉唇。

鈎兒似的拐灣十字路。

五へ

へハ、方向ヲ示ス詞デ、漢字ノ往、上、向等ノ意ニ、當リマス。

小隊前へ進メ。

其ノ横町ヲ左へ曲ツテ、行キナサイ。

へハ、又動作ノ、歸向スル地點ヲ示ス者ガ、有リマスガ、ニノ靜的ナノニ反シテ、動的ナ趣ガ有リマス。

私ハ、明日小石川へ引越シマス。

生絲ヲ、海外へ輸出シマス。

此ノ本ヲ、其ノ本箱へ入レテ下サイ。

荷物ヲ、汽車へ積ミ込ミマス。

六ト

五へ

へ者、表示方向之詞也。當於漢字往、上、向等意。

小隊往前進

從那條胡同、往左邊拐走。

へ、又有表自動作所歸向之地點者。與ニ之含有靜止的意義者、相反對、含有移動的意義者也。

我明天搬到小石川那邊。

輸出生絲於海外。

請把這本書、捆在那個書櫃裡頭。

把行李搭載火車。

六ト



トニハ、色々ナ用法ガ有リマス。第一ハ、指定ノ意ヲ表ハス者デ、下ハ動詞ノ言フ思フ見ル聽ク等ニ應ジマス。

是レハ、何ト云フ物デスカ。

私ハ、金剛石ト思ヒマス。

僕ハ、賈物ト觀マス。

私ハ、本物ト聽キマシタ。

私ハ、長男ノ名ヲ、一太郎ト附ケマシタ。

此ノトハ、文ヤ句ヲモ承ケマス。此ノ場合ニハ、文(二三頁)ヤ句(四四頁)ハ一ツノ名詞ト、同ジ資格ニナルノデス。

「習フヨリ慣レヨ」ト云フ諺ガ有リマス。

ト、有諸種用法。第一、表白指定意者、其下以動詞之言フ思フ見ル聽ク等、承接之。

這個是叫甚麼的。

我想這個是金剛石。

我看這個是假的。

我聽說這個是真的。

我名長男叫一太郎。

此ト又承接於文或句。此時文或句、成爲與一個名詞一樣之資格也。

有句俗話說、「學習不如慣習」

私ハ、世ノ中ノ事ハ、總ベテ最善ノ理想ニ向ツテ進歩スル者ダト思ヒマス。

備攷。指定ノトノ下ハ、往々語ヲ省略スルコトガアリマス。又常ニツテニ轉訛シマス。

代名詞ト(云フ者)ハ、名詞ノ代リニ用ヒラレル

詞ヲ謂フノデス。

アンナ奴トハ二度ト(言ツテハ)交際シマセン。

アソコノ下女ハ、一週間ト(シテ)居マセン。

君何ガ不思議ダト(云フノデスカ)

第二ハ、並列ヲ表ハス者デ、漢字ノ與ノ意デス。

親ト兄弟ハ、切ツテモ切ラレヌ者デス。

牛ト馬ハ、有用ナ家畜類デス。

我想「世上的事情、都是向最善之理想上進步。」

【備攷】指定ト辭之下、往々有省略言語者。

又常轉訛成爲ツテ。

代名詞者、所以代用於名詞之語也。

與如此之奴輩、不再交際。

彼家下婢交替頻繁、概不出一星期而告假。

你說甚麼是奇怪的。

第二、表白並列意者、漢字與之意。

父母與弟兄、究竟斷也斷不開的關係的。

牛與馬是有用的家畜類。



アナタハ、支那料理ト、西洋料理トハ、ドチラガ  
旨イト思ヒマスカ。

黄河ト楊子江トハ、ドチラガ大キイノデスカ。

右ノ例ノ中デ、後ノ二例ノ様ニ並列シテ、比較スル  
時ハ、並列スル語毎ニ、トヲ添ヘルノガ普通デス。

第三ハ、動作状態ノ對手ヲ示ス者デ、漢字ノ與ノ意  
デス。

父ト相談シテ、御返事致シマス。

私立大學ハ、官立大學ト競争シマス。

義理人情ヲ辨ヘナイ者ハ、禽獸ト同ジデス。

第四ハ、轉化ノ意ヲ表ハス者デ、ニノ第三用法ト、

同ジ意味デスガ、語氣ガ少シ強クアリマス。

素寒貧書生ガ、一足飛ビニ、内閣大臣ト成ツタ。

您想中國菜與西洋菜、那一種好吃呢。

黄河與楊子江、那一個是大的。

右例之中、例如後之二例、並列且比較之時、  
每並列語、添加ト字、是爲普通。

第三、舉示動作状态之對手者、漢字與之意。

我與父親一商量之後、便回答您哪。

私立大學與官立大學競争。

不理會道義人情的人、是與禽獸一樣。

第四、表白轉化意者、與ニ之第三用法、意義  
相同。而語氣稍強。

很寒苦的書生、一躍陞任內閣大臣了。

某サンヲ、私ノ代人トシマシタカラ、左様ニ承知  
シテ下サイ。

備攷、第三類ニモト(二五八頁)ガアリマスカラ、注  
意シナケレバナリマセン。

七ヨリ

ヨリ、ハ比較ノ標準ヲ表ハス詞デ、漢字ノ比較於  
等ノ意デス。

星ノ中ニハ、地球ヨリ大キイ者ガ、イクラモ有ル  
相デス。

其レハ、此レヨリ好イ。

花ヨリ園子(諺)

論ヨリ證據(諺)

眞ニ僕ヲ知ツテ居ル者ハ、君ヨリ外ニ無イ。

以某君爲我的代表人、請您知道。

備攷、第三類亦有ト、須要注意。

七ヨリ

ヨリ、表白比較之標準、漢字比較於等意。

聽說是星辰之中、比地球還大的、有許多。

那個比這個更好。

園子比花尤好(拾華取實之意)  
實利主義的俗話

空論不敵實在的證據。  
實在理解我的人、除了你一個人以外、全都



斯ウナツテハ、止メルヨリ外ニ、仕方ガ無イ。

右ノ例ノ中デ、後ノ二例ハ、比較ノ意カラ一轉シテ其ノ事物ヲ除ク外ノ意ヲ爲ス。又ノニ通用シマス。

八 カラ

カラハ、動作ノ起點ヲ示ス者デ、漢字ノ自從由起等ノ意デス。又經由ノ意ヲ表ハス者モ有リマス。

郷里カラ、爲替ガ來タ。

鹽ハ海カラモ採レルガ、山カラモ採レル。

午前八時カラ、授業ガ始マル。

歐羅巴ヘ行クニハ、印度洋ノ方カラモ行カレルガ

西比利亞ノ方カラ行ク方ガ早イ。

君カラ見ルト、僕ノ方ガ年上ダ。

沒有。

事既至茲、中廢之外、總沒有法子。

右例之中、後列二例、由比較之意、一轉爲除其事物以外之意者也。又通用於ノ字之義。

八 カラ

カラ、表自動作之起點、漢字自從由起等意。又有表白經由意者。

從故郷寄到滙票了。

鹽也可以採自海水、也可以採自山裡。

上午八點鐘起、開功課。

到歐羅巴、可以由印度洋那邊去。可是由西

比利亞那邊去的到得快一點。

和你比較起來、我是年紀大一點的。

其レカラ考ヘルト、ドウシテモ、コレハ理窟ニ合

ハナイ。

右ノ例ノ中デ、後ノ二例ハ、起點ノ意カラ轉ジテ比較ノ意ヲ含ンデ居マス。

九 マデ

マデハ、動作ノ終點又ハ限界ヲ表ハス詞デ、漢字ノ迄、至、到、止等ノ意デス。

此ノ汽車ハ、下關マデ行キマス。

今年ハ、四月マデ寒イ。

隅カラ隅マデ、能ク掃除スル。

何カラ何マデ、行キ届イテ居ル。

花時ニハ、年寄マデ浮カレ出ス。

ヤツテ見テ、出來ナケレバ、止メルマデノ事ダ。

由是考之、這個事情總是不合道理。

右例之中、後列二者、由起點一轉而含有比較之意。

九 マデ

マデ者、表自動作終點之詞也。漢字迄、至、到、止等意。

這火車、直到下關。

本年到四月還冷。

從這一隅、到那一隅、全部好々的打掃。

從這個到那個、全都是用意周到哪。

櫻花開的時候、老人也都遊興勃勃起來了。

先試一試、就不能、不過是中廢。



ソシナ分リ切ツタ事ハ、論ズルマデノ、必要ガナ  
イ。

君ガ、其レマデニ主張スルナラ、君ノ意見ニ任セ

ヨウ。

右ノ例ノ中デ、後ノ二例ノマデハ、程度ノ意ヲ含ミ  
マス。程ト大概同意デス。(以上ニトヘヨリカラマデ  
ヲ補格ノ助詞ト云フ)

一〇 ヤ

ヤハ、事物ヲ並列スル詞デスガ、トト違ツテ、其ノ  
外ニモ、マダ含ム者ノ有ルコトヲ表ハス詞デス。漢  
字ノ及……等或ハ乃至等ノ意ニ近イノデス。

牛乳ノ成分ニハ、食物トシテ必要ナ蛋白質ヤ、澱

粉ヤ脂肪ヲ、含ンデ居マス。

水道ヤ、瓦斯ヤ、電燈ヤ、電車ハ、都會ニ必ズ缺

那麼様の明擺著的事情、用不着討論（固然  
是不待言）。

你既然如此熱心的主張、我就可以遵著你的  
主意。

右例之中、後列兩例、含有程度意、大概與程  
同意。(以上ニトヘヨリカラマデ謂之補格助詞)

一〇 ヤ

ヤ者、並列事物之詞也。與ト相異者、表白所  
並列事物以外尙有含有物之意。近於漢字及……  
等或乃至等意。

牛奶的成分裡頭、都含有爲食物最要緊的蛋

白質澱粉及脂肪等。

自來水瓦斯電燈及電車等、都是在都會、必

クコトノ出來ナイ者デス。

アレハ、何ヤ彼ヤト、八釜シク屁理窟ヲ捏ネル男

デス。

一一、ノ、附 ダノ

ノモ、並列ヲ表ハス詞デスガ、ヤヨリモ、語氣ガ強  
クアリマス。即念頭ニ、種々雜多ト云フ感ジヲ抱  
イテ、許多ノ事物ヲ列舉スル詞デス。

ダノハ、指定ノダニ、並列ノノガ添ツタモノデス。

アレハ、善イノ惡イノト言ツテ居テ、一向談ノ埒

ガ明キマセン。

驚イタノ、驚カナイノト言ツタ段デハナイ。全ク

驚イテシマツタ。

熱帶地方ニハ、鰐ダノ、毒蛇ダノ、象ダノ、駝鳥

不可以缺的。

他是遇事就這樣那樣好辯論的人。

一一、ノ、ダノ

ノ亦表白並留意之詞也。比前項ヤ、語氣稍強  
腦裡既自感得難然甚多、而列舉許多事物之詞  
也。

ダノ者、以並列之ノ、添子指定之ダ也。

他一會說好、一會又說不好、交涉總不能進  
行。

不用說驚不驚、實在吃驚了。

熱帶地方有許多特別的動物。例如鰐魚、毒



ダノト云フ様ナ、特別ナ動物ガ居リマス。  
酢ダノ、蕪弱ダノト、屁理窟ヲ並ベル人ハ、兎角  
人ニ好カレマセン。

一二 カ (以上ニトヤノカハ、一樣ノ格ヲ並列スル助詞デス)

カハ、二ツ以上ノ事物ヲ並列シテ、隨意ニ其ノ一ツヲ擇ブ意デス、漢字ノ「或」  
私ハ、軍人カ、醫者ニナリマス。

紅茶カ、珈琲カ、ドチラカ、持ツテ來テ下サイ。

善イカ、悪イカ、試シテ下サイ。

汽車ニ乗ルカ、電車ニ乗ルカ、シテ行キマセウ。

第二類ノ助詞ハ、種々ノ詞、即名詞代名詞動詞形容詞副詞助詞助詞等ニ附屬スル詞デス。

ハ、コソ、モ、デモ、サヘ

蛇及蛇鳥等。  
或者說醋、或者說磨芋、嘔說無理話の人、總之不被人喜歡。

一二 カ (以上ニトヤノカ即是一樣ノ格ヲ並列スル助詞也)

カ者、並列二個以上ノ事物、隨意選擇其一之意。漢字「或」  
我後來要當軍人、或是當醫生。

請拿紅茶、不然則拿珈琲、你隨便々々。

好不好、請您一試。

我們可以坐火車、或是坐電車去罷。

第二類之助詞、附屬於諸種品詞即名詞代名詞動詞形容詞副詞助詞助詞等。

ハ、コソ、モ、デモ、サヘ

カ ヤラ

一三八

ハハ、事物ヲ特提スル詞デス。常ニ題目語トシテ用ヒマス。又此ノ事物ト、彼ノ事物ヲ、區別スルニモ用ヒマス。漢字ノ者、則等ノ意ニ當リマス。

人ノ體温ハ、熱帶ニ住ム人デモ、寒帶ニ住ム人デモ同ジデス。

風ハ、空氣ノ動搖デス。

國體トハ、一國家ノ他國家ト異ナル特色ヲ云フ。

政體トハ、主權行使ノ形式ヲ云フ。

兄ハ、官吏デ、弟ハ商賣人デス。

一時ノ朋友ヲ得ルハ易イガ、生涯ノ益友ヲ得ルハムツカシイ。

ムツカシイ。

一三八

ハ者、特提事物之詞也。常用於題目語。又用於區別此事物、與彼事物。該當于漢字者則等意。

人的體温、無論住在熱帶與寒帶、都是一樣。

颶風原是大氣的動搖。

國體者、一國家所以異他國家之特色之謂也。

政體所以行使主權之形式之謂也。

兄是官吏、弟是商人。

得一時的朋友是容易、得終身的益友是很難。

難。



春ハ花ヲ觀テ、秋ハ紅葉ヲ娛シミマス。  
私ハ、嘘ヲ言ヒハシマセン。  
ソシテ不正ナ處ヘ、足踏ミハ致シマセン。

ハニハ、同ジ詞ヲ二ツ累ネタ中間ニ挿シテ、副詞的ニ用ヒル者ガ有リマス。此ノ場合ニハ、下ニ必ず否定或ハ否定同様ノ詞ガ有ツテ、不十分ノ意ヲ陳ベル者デス。

讀メルニハ讀メルガ、善ク讀メナイ。  
習フニハ習ツタガ、皆忘レテ仕舞ツタ。  
善イコトハ善イガ、餘リ善クナイ。  
商賣ハ商賣ダガ、イヤナ商賣ダ。

備攷。ハトガノ區別。此ノ區別ハ、中々微妙デスガ

春則觀花、秋則愛楓。  
我是不撒謊哪。(我吐虛言則不爲之)  
足未曾踏如此之不正地也。(足踏如此之不正地則不爲之。)

ハ有時挿入於累疊兩個一樣之詞之中間、用於副詞之意義。如此之時、下文必有否定或同於否定之詞、而陳述不盡善美之意者也。

能讀是能讀、可是不能十分讀。  
學過是學過了、可是都忘記了。(都沒記住了)  
好是好、可是不很好。  
營業是營業、可是沒有意思的營業。

備攷。ハ與力之區別。此區別頗微妙難悟。須

大體左ノ諸例デ、曉得スルガ宜シイノデス。

- 一、汽車ハ、陸上缺クコトノ出來ナイ交通機關デス。
- 二、飛行機ハ、空中ニ於テ、軍事上又ハ通信上ニ必要ナ機關デス。
- 三、雨ハ、地上ノ萬物ヲ濕ス者デス。
- 四、汽車ハ、陸上ノ交通機關デスガ、飛行機ハ空中ノ通信機關デス。
- 五、自分ノ氣ニ向イタ事ハ爲ルガ、氣ニ向カナイ事ハシナイ。

ハハ右ノ第一第二第三ノ様ニ、事物ヲ題目語トシテ提舉シ、之ヲ解説スル場合ニ用ヒマス。ハハ一般ノ眞理常態等ヲ汎説スル詞デス。又第四第五ノ様ニ、

玩味左列諸例、悟得其梗概。

- 一、火車者、在陸上、不可缺之交通機關也。
- 二、飛行機者、在空中、是軍事上或通信上必要之機關。
- 三、兩者、潤濕地上萬物者也。
- 四、火車者爲陸上之交通機關、飛行機者爲空中之通信機關。
- 五、于心所欲則爲之、其所不欲則不爲之。

ハ者、例如右之第一第二第三、提舉事物爲題目語、解説之時、用之。ハ者用於汎説一般眞理常態之詞。又例如第四第五、區別彼與此之



彼ト此トヲ區別スル場合ニ用ヒマス。漢字ノ者又ハ則ニ該當シマス。

六、汽車ガ、通ル。(汽車過グ) 文語以下同

七、飛行機ガ、落ちタ。(飛行機落ちタリ)

八、雨ガ、降ル。(雨降ル)

九、風ガ、吹ク。(風吹ク)

ガハ右ノ第六第七第八第九ノ様ニ、意味ガ甚ダ輕クツテ、單ニ口調ヲ調ヘル爲ニ、主格ニ添ヘル詞デスソレ故、文語デハ斯ウ云フ場合ニ、大概ガヲ添ヘマセン。サウシテ該當スル漢字ガアリマセン。ガハ直ニ面シタ或事物ヲ特説スル場合ニ用ヒマス。

- 一、アナタハ、ドナタデス。
- 私ハ、山田ト申ス者デス。

時用之。該當於漢字者、則等之意。

六、火車過去。

七、飛行機落了。

八、下雨。

九、颶風。

ガ者、例如右之第六第七第八第九、意味甚輕唯爲調口調而添於主格者也、故在文語、如此之時、大概不添ガ辭、又無該當之漢字。ガ者特説當下直面之或事物之際用之。

- 一、您是誰呀。
- 我是叫山田的。

二、此處ハ、何處デスカ。

此處ハ、上野デス。

三、アナタガ、山田サンデスカ。

ハイ。私ガ山田デス。

四、此處ガ、上野デスカ。

サウデス。此處ガ上野デス。

右ノ第一第二ハ、問フ者ガ、眞ニ知ラナイデ問フノダカラ、答ヘル者モ、丁度或題目語ニ就イテ解説ヲ與ヘルト同ジ様ナ心持テ答ヘルノデス。カウ云フ時ハ、ハラ用ヒマス。

第三第四ハ、問フ者モ、既ニ大概知ツテ居ルガ、試ミニ問フノデス。故ニ答ヘル者モ、問者ノ試問スル所ノ者ハ、卽是デスト答ヘルノデス。斯ウ云フ場合

二、這兒是那兒。

這兒是上野。

三、您卽是山田君麼。

是、我卽是山田的。

四、此處卽是上野麼。

是、此處卽是上野。

右例第一第二、問者實在未嘗知而問之也。故答者恰如關于或題目附解説、而答應也。如此之時、用ハ辭。

右例第三第四、問者已經大略知悉其事、唯試問之耳。故答者亦答以問者所試問者卽是也。如此之時、所用之ガ辭、大略似漢字(卽就)之



ノガハ、略漢字ノ即(就)ノ意ニ似テ居マス。

一、(一般ノ)本ハ、何處ニ在リマス。

(一般ノ)本ハ、本屋ニ在リマス。

二、(一般ノ)猿ハ、何處ニ居マス。

(一般ノ)猿ハ、山ニ居マス。

右ノ一二ノ例ハ、一般ノ本或ハ猿ニ就イテ汎説スル者デス。此ウ云フ場合ニハ、ハヲ用ヒマス、漢字者ノ意デス。

三、(或)本ガ、何處ニ在リマス。

(或)本ガ、テーブルノ上ニ在リマス。

四、(或)猿ガ、何處ニ居マス。

(或)猿ガ、檻ノ中ニ居マス。

右ノ例ハ、特別ノ或本又ハ或猿ニ就イテ、特説スル

意。

一、(一般の)書在那兒。

(一般的)書、在書舖。

二、(一般的)猴兒住在何處。

(一般的)猴兒住在山裡。

右之第一第二、關于一一般的書或是一般的猴兒而汎説者、如此之時、用ハ辭、漢字者之意也。

三、(有本)書在那兒呢。

(有本)書即在桌子上。

四、(有個)猴兒、在那兒呢。

(有個)猴兒、即在檻裡。

右例、關于特別之一本書及一個猴兒而特説者

モノデス。華語ノ有本書、有個猴兒ノ意デス。此ウ云フ場合ニハ、ガヲ用ヒマス。

一四、コソ

コソハ、ハヨリモ、語氣ガ更ニ強ク、多クノ中カラ一ツノ事物ヲ抽キ出シテ、特ニ指示スル詞デス。又コソハ、一ツノ事物ヲ、餘リ強ク指示スル所カラ、其ノ他ノ事物ト、反對ニ成ル事ガ屢デス。

アナタコソ、立派ニ及第シマセウ。

今度コソ、優等點ヲ取ツテヤラウ。

君ノ爲ヲ思ヘバコソ、憎マレロヲ言フガ、サモナ

ケレバ、決シテコンナ事ハ言ハナイ。

一五、モ

モハ、此ノ事物ト、彼ノ事物ト、一致スル意ヲ表ハ

華語有本書有個猴兒之義也、如此之時、用ガ辭。

一四、コソ

コソ者、比ハ語氣更強、在衆多之中、抽出一個事物而特別指示之詞也。又コソ者、以抽出一個事物且指示之意甚強故、與其他之不被抽出事物、相反對者常多。

您纔必定毫無礙滯的攷得中了。

這回纔定要得個優等的分數。

我實在因爲想著您的利益、纔呈此苦言、不

然則決不說如此的話。

一五、モ

モ者、表白此事物與彼事物相同之詞也。漢字



ス詞デ、漢字ノ亦也都等ノ意デス。

親爺モ船乗ダガ、伴モ船乗ダ。

胡椒モ辛イガ、唐辛モ辛イ。

子供ハ褒メモシ、叱リモシナケレバ、教育ハ出来

ナイ。

モハ、又語氣ヲ緩カニスル者ガアリマス。數字ニ添

フ時ハ、大約ノ意味ヲ爲シ、否定ニ應ズル時ハ不必

或ハ不足ノ意ニナリマス。

アノ學生ハ、贅澤デ、月ニ百圓モ使ヒマス。

三年モ習ヘバ、日本語ハ可成リ熟達シマセウ。

寒クモナイノニ、外套ヲ著テ歩クノハ、見苦シイ。

先輩ノ言フコトデモ、必ズシモ善イ事バカリハナ

亦也都等之意。

他們、父親也是船員、兒子也是船員。

胡椒也辣、辣椒也辣。

小孩子們、也得贊也得罵、不然、就不能教

育。

モ、又有緩其語氣者。添于數詞、則爲大約之

意義、與否定相呼應、則成不必或不足等之

意。

那個學生是愛奢華、一個月花錢、要一百來

元錢。

日本語、學個三年、也就可以很通曉了。

天氣又不甚冷、穿上外套走著、不好看。

便是先進所說的話、也未必盡是好的。

イ。

一六、デモ

デモハ、一例ヲ舉ゲテ、其ノ他ヲ類推スル詞デス。

漢字ノ 雖 或ハ尙且ノ意デス。

三ツ子デモ、善イ惡イノ辨ヘハ有ル。

其ノ位ナ發明ハ、誰デモ出來ル。

ソナナ易イ事ハ、目ヲ閉ツテデモ出來ル。

デモニハ、一例ヲ舉ゲテ、其レニ似寄ツタ他ノ事物

ヲ、言外ニ含マセル者ガアリマス。漢字ノ等ノ字、

又ハ其類之事物ノ意ニ、當リマス。

菓子デモ、買ツテ來テ下サイ。

御茶デモ、召上レ。

内ニ居テモ、退屈ダカラ、芝居デモ、觀ニ行カ

一六、デモ

デモ者、舉一例而類推其他。漢字 雖或尙且之

意。

便是三歲小孩子、也有分別是非的能力。

那麼樣的發明、誰都會罷。

那麼樣容易的事情、閉著眼睛也能做的。

デモ者、有時舉一例而包含其近似者於言外。

漢字等之意。又其類之事物之意。

請買個點心來。(或是那一類的東西拿來)

請您個喝茶罷。

在家裡悶得慌、去看個戲罷。(或是做其類的



ウ。

一七、サヘ

サヘハ、極端ナ事物ヲ擧ゲテ、其ノ他ヲ類推スル詞  
デス、漢字ノ尙且還ノ意デス。

犬サヘ、食ハナイ物ヲ、人ガ食ハレルモノカ。

聖人デサヘ、過ハ有ルカラ、凡人ハ、勿論ノコト

ダ。

サヘハ、又唯一ツノ事物ニ重キヲ置イテ、他ハ棄テ  
テ顧ミナイ意ヲ、表ハス者ガ有リマス。漢字只要ノ  
意デス。

命サヘ助カレバ、片輪ニナル位ハ、厭ヒマセン。

牛乳サヘ飲ンデ居レバ、三週間ヤ、四週間ハ、活

キテ居ラレマス。

事情罷)

一七、サヘ

サヘ者、舉極端之事物、而類推其他事物之詞  
也。漢字尙且、還之意。

狗尙不之食、人豈能食之哉。

聖人還是有過、況於凡人乎。

サヘ、又表白唯重視一事物、棄其他而不顧之  
意。漢字只要之意。

只要救命、雖成廢人、亦所不辭。

只要喝牛奶、三四個禮拜上下、(雖然不吃甚

麼)總可以活著。

及第サヘスレバ、席順ハドウデモ構ヒマセン。

一八、バカリ

バカリハ、事物ノ一有ツテ二無キ意ヲ表ハス詞デス  
漢字ノ唯又ハ而已、耳等ノ意デス。

アノ人ハ、法螺バカリ吹イテ、實行ノ伴ハナイ人

ダ。

アノ店ハ、外觀バカリ好クツテ、品物ハ一向ニ無

イ。

アノ男ノ取り得ハ、眞面目ナバカリダ。

一九、カ

第一、カハ、疑問ノ意ヲ表ハス者デ、漢字ノ乎耶歟  
麼等ノ意デス。

此處ハ、何町デスカ。

只要致中、座位の好不好、都不要緊哪。

一八、バカリ

バカリ者、表白事物有一而無二之詞也。漢字  
唯或而已耳等之意。

那個人、唯是大言壯語而已、躬行不伴言語  
的人。

那個鋪子、外面看著甚好而已。貨物極少

那個人的好處、唯是老實而已。

一九、カ

一、カ者、表白疑問之詞也。漢字乎耶歟麼  
等之意。  
此處是甚麼町呢。



アナタノ御目的ハ何デスカ。

落第カト思ツテ居タガ、ヤツト及第シタ。

今日モ雨カト思ツタガ、好イ鹽梅ニ晴レマシタ。

第二、疑問詞何誰幾何處孰等ノ下ニ添ツテ、不定

ノ意ヲ表ハス者デス。

立關ニ誰カ來マシタ。

何カ面白イ本ヲ見タイ。

兄弟ハ、似テ居ナイ様デモ、何處カ似タ處ガ有リ

マス。

【注意】疑問詞ノ下ニ、ガヲ添ヘタ者ト、カヲ添ヘタ者トハ、清濁ニ因ツテ、意味ガ非常ニ違ヒマスカラ、注意シナケレバナリマセン。左ノ例ヲ見テ、其ノ區別ヲ曉ルガ宜シイデス。

您的目的是甚麼呢。

我想著大概是不能中的、可是僥倖而中了。

我想著今天還要下雨的、可是幸而天晴了。

二、添于疑問詞之何誰幾何處孰等下、而表

白不定意之詞也。

大門口有個人來了。(但是未知那一位)

我要看本有趣的書。

弟兄雖然乍一看、像是不相似的、可是不知

那兒、總有個相似的地方。

【注意】在疑問詞之下、添ガ者與添カ者、因清濁、意義甚相異、須要留神。宜看左例、悟得其區別。

應接所ニ、誰ガ居マスカ。

應接所ニ、誰カ居マス。

應接所ニ、誰カ居マスカ。

机ノ上ニ、何ガ有リマス。

空氣中ニモ、何カ有リマス。

此ノ箱ノ中ニ、何カ有リマスカ。

第三、反語ニ用ヒル者デ、漢字ノ豈……哉、何有等ノ意デス。

ソシテ不道理ナ事ガ、世ノ中ニ有ル者カ。

僕ニソシテ嘘ガ、言ヘルモノカ。

ドウシテソシテ殘酷ナコトガ出來ヨウカ。

二〇、ヤラ

一、ヤラハ疑問ノ意ヲ表ハス者デ、カト似テ居マス

客廳裡、有那一位呢。

客廳裡有個人(但是未知是誰)

客廳裡有人、沒有。

棹子上有什麼。

大氣裡頭、也有東西。(不定甚麼)

這箱子裡頭、有甚麼沒有。

四、用于反語者、漢字豈……哉、何有等之意、

世上豈有如此沒道理之事哉。

我豈能說如此之虛言哉。

豈忍爲如此之刻薄事哉、

二〇、ヤラ

一、ヤラ者、表白疑問、與カ字相似。但稍含



ガ少シ感歎ノ意ヲ含ンデ居マス。

アナタノ意志ハ、何ヤラ私ニハ了解サレマセン。

ドウシタ譯ヤラ、此ノ化學ノ試験ハ、反應ガ現ハ

レマセン。

二、少シ感歎ノ意ヲ含ンデ、事物ヲ列舉スル詞トデス  
漢字ノ或ノ意デス。

昨夜ノ火事デハ、人ガ周章テルヤラ、遁ゲ出スヤ

ラ、泣クヤラ、叫ブヤラ、戸惑ヒスルヤラデ、

大騒ギデシタ。

博物館ニハ、自然物ヤラ、工藝品ヤラ、古器物ヤ  
ラ、美術品ヤラ、參考ニナル者ガ、澤山陳列シ  
テ有リマス。

第三類ノ助詞ハ、動詞形容詞或ハ助動詞ニ添フ者デ

有感歎意矣。

您的主意在何處、我不能理會。

未知甚麼緣故、這化學的試驗、是反應不起  
來。

二、稍含感歎意、列舉事物之詞也。漢字或之  
意。

昨夜裡的火災、人々或是忙亂、或是逃命  
或是哭、或是叫、或是迷失門戶、實在十  
分擾攘來着。

博物館裡頭、陳列足資參攷的東西很多、比  
方是如自然物、或是工藝品、或是古器物、  
或是美術品等的。

第三類之助詞、添于動詞形容詞或助動詞。

ス。

ト(ウト ヨウト マイト) トモ テ

テハ(デハ) テモ(デモ) ッテ ッテモ タツテ

カラ(ノデ) (ンデ) ガ(ウガ ヨウガ マイガ)

ケレドモ ニ ノ ニ モノヲ モノノ ツツ シ

ナ

二一、バ

一、バハ動詞形容詞助動詞ノ第五變化ニ添フ者デス  
サウシテ、假定ト確定ト兩様ニ用ヒマス。假定ノ場  
合ハ、漢字ノ若……則ノ意デ、確定ノ時ハ、則ノ意  
デス。前ニ動詞ノ前提法ニ説イタ通りデス。  
出世シタケレバ、勉強スルガ善イ。

二一、バ

一、バ、添于動詞形容詞助動詞之第五變化、  
而有假定與確定之區別。屬于假定之時、該當  
漢字若……則之意、屬于確定之時、該當則字之  
意。如既說於動詞之前提法條下。  
若是盼望榮達、就應當用功。



心ニ疚シクナケレバ、人ノ毀譽褒貶ハ、顧ミル必  
要ガ無イ。

成程此處カラ見レバ、市中ガ一目ニ見エル。

二、バハ中止法ニ用ヒテ、漢字ノ又、且等ノ意ニナ  
ル者ガアリマス。

金モ無ケレバ、智慧モ無イ。

勉強モスレバ、遊ビモスル。

僕ハ、苦シミモ有レバ、樂シミモ有ル。

二四、ト(ウト ヨウト)

トハ第三變化ノ下ニ添ツテ、バト同ジク用法ニヨツ  
テ、假定ト確定ノ區別ヲ生ジマスガ、バヨリ語氣ガ  
稍強クツテ、必然ノ結果ヲ伴フ意味ガ有リマス。假

若是内省而不疚、則如他人之毀譽褒貶、置  
之不問、可也。

誠然、由此處遠望、則全市之光景盡入一眸  
之中。

二、バ者有時用於中止法、該當漢字又且等意。

又沒有錢、又沒有智慧。

也用功、也遊玩。

我也有勞苦、也有快樂。

二二、ト(ウト ヨウト)

ト者、添于第三變化之下、因用法生假定與確  
定之區別。略同於前項之バ。唯比之於バ、則  
語氣稍強。含有必然之結果相隨伴之意。用於

定ノ時ハ漢字ノ一有……就 若……則ノ意デ、確定  
ノ時ハ則ノ意デス。

此處ハ森ガ近イカラ、夏ニナルト、蚊ガ出ヨウ。

時間ガ來ルト、學生サンガ下リテ來ヨウ。

此處デ今、實際ノ話ヲ能ク聽クト、今迄ハ誤解シ

テ居タ點ガ、澤山有ル。

二、トハ、助動詞ノウヨウマイト結合シテ、反對ニ  
下文ニ逆應スル者ガアリマス。文語ノトトモト同意  
デ、漢文ノ縱令雖等ノ意デス。

人ハ歸ラウト、僕ハ歸ラナイ。

新聞ガ何ヲ書キ立テヨウト、責任ヲ以テ遣ツタ事  
ハ、止サレナイ。

假定時、則該當于漢字一有……就、若……則  
等之意。用於確定時、則該當於則字。

這兒因為接近樹林子、一到夏天、蚊子就出  
來罷。

一到時刻、學生們下來罷。

今在此處、審聽實際之談、則知從來頗多誤  
解之處。

二、ト、有結合於助動詞之ウヨウマイ、以  
逆應下文者。同於文語之トトモ。漢字縱令雖  
等之意。

雖然別人回去、我不回去。

雖然報上登載何等議論、既以責任開辦的事  
業、半途不能中止。



結果ガ善カラウト、惡カラウト、經驗ダカラ構ハ  
ナイ。

人ガ褒メヨウト、褒メナカラウト、僕ニハ一向關  
係ガ無イ。

物ハ試シダカラ、出來ヨウト、出來マイト、遣ツ  
テ見ルガ善イ。

二三、トモ

トモハ、第三變化ニ添ツテ、其ノ事ノ、必ズサウ有  
ルベキ事ヲ、保證スル詞デ、勿論ノ意ヲ含ミマス。  
漢字ノ自然固然等ノ意デス。

善ウ御座イマストモ、キツト御引受ケ申シマス。  
間違ヒ無イトモ、大丈夫デス。

嘘トモ（勿論嘘デス）。

爲的是得個經驗、結果好不好、都不在乎。

無論大家贊賞與不贊賞、我總沒有甚麼關  
係。

事物都是試驗的、所以不顧成不成、試一試  
的好。

二三、トモ

トモ者、添于第三變化、准保其事必當然之詞  
也。含有勿論之意。漢字自然固然之意。

自然是好、我一定准保。

萬沒有錯兒、我必定准保。

自然必定是虛假。

有ルトモ（勿論有ル）。

二四、テ

テハ、第二變化ニ添フ者デ、左ノ用法ガ有リマス。

一、一ツノ動作ガ終ツテ、他ノ動作ニ移ル意ヲ表ハ  
ス者デス。漢字ノ而ノ意デス。

春ガ過ギテ、夏ガ來ル。

日ガ這入ツテ、月ガ出ル。

二、上下ノ二句ヲ接續シテ、原因結果ノ關係ヲ表ハ  
ス者デ副詞ヲ作リマス。漢字ノ而因爲等ノ意デス。

文官試驗ニ及第シテ、官吏ニ任用サレタ。

一大發明ヲシテ、各國ノ專賣特許ヲ得タ。

物價ガ騰貴シテ、生活難ヲ訴ヘル聲ガ、八釜敷イ。

自然有。

二四、テ

テ者、添于第二變化之詞也。用法如左。

一、表白一個動作完了、而移于別個動作之詞  
也。漢字而之意。

春過而夏來。

日沒而月出。

二、接續上下二句、而表白原因結果之關係而  
作成副詞者也。漢字而、因爲等之意。

中了文官考試、被任用爲官吏了。

發明了一個很有益的機器、得了各國的專賣  
特權。

因爲物價騰貴、說生活困難的聲浪、很高。



試験ガ濟シテ、心配ガ無クナツタ。

三、上下ノ二句ヲ、無意義ニ並列スル者デス。此ノテハ中止法ニ添ヘマス。

兄ハ會社ヘ通ツテ、弟ハ學校ヘ通フ。

晝間ハ外デ働イテ、夜ハ内デ寝ム。

〔備攷〕テニハ、過去助動詞ノ第二變化(二一頁)ニ屬スル者ガ有リマスカラ、區別ヲ要シマス。

二五、テハ(デハ) (デモ) (デモ)

テハ、テモハ前節ノテト、ハ・モト結ビ附イタ者デス。

テハハ條件ヲ表ハス詞デ、假定ニモ、確定ニモ、兩様ニ用ヒマス。漢字ノ則或ハ若……則ノ意デス。

不養生ヲシテハ、體ガ丈夫ニナリマセン。

新聞ニ反對サレテハ、ドンナ政府デモ倒レマス。

因爲攷試完了、沒有可慮的了。

三、無何等之意義、唯並列上下二句者也。此テ添于中止法。

哥々上公司去、兄弟上學校去。

白天在外頭勤勞、黑天在家裡睡覺。

〔備攷〕テ、有屬於過去助動詞第二變化者、須要分別。

二五、テハ(デハ) (デモ) (デモ)

テハ、テモ者、即前節之テ與ハ・モ結合而成者也。テハ者表白條件之詞也。用於假定與確定之兩様、漢字則或若……則之意。

若不留神養生、身子就不能康健。

若被報館反對、則無論如何様之政府、未能

免於顛覆。

你那麼樣的沮喪英氣、事業總不能成功的。

如我之屢次不上校、則不能得好成績。

不老實如彼、則不能得信用。

右例之中、後列之休ンデハ者、爲休ミテハ之音便。不正直デハ者、爲形容動詞第二變化之デ與ハ結合者。因其意同于テハ故、便宜附說於此處、次項デモ亦同之。

テモ者、接續上下相反二句之詞也。用於假定與確定之兩様。該當於漢字雖縱令之意。

君ノ様ニ、悲觀シテハ、事業ハ、到底出來ル者デハアリマセン。

僕ノ様ニ度々學校ヲ休ンデハ、好イ成績ハ得ラレマセン。

アレノ様ニ不正直デハ、信用サレマセン。

右ノ例ノ内デ、後ノ休ンデハハ、休ミテハノ、音便デ、不正直デハハ、形容動詞ノ第二變化ノデニ、ハノ合サツタ者デスガ、其ノ意味ハ、テハト同ジデスカラ、便宜ノ爲、此處ニ附說シマス。次ノデモモ、之ニ同ジデス。

テモハ、上下ノ二句ヲ、反對ニ接續スル詞デ、假定ニモ確定ニモ用ヒマス。漢字ノ雖、縱令ノ意ニ當リ



マス。

頭ガ悪クテハ、勉強シテモ、ソノ割合ニ、學問ガ

進歩シマセン。

折角藥ヲ飲ンデモ、一方デ酒ヲ飲ンデハ、病氣ハ

直リマセン。

アノ家ノ様ニ主人ガ節儉デモ、家内ガアナンニ贅

澤デハ、家政ハ豊カニナリマセン。

二六、ツテモ、ツテ(タツテ)

ツテモ、ツテハ、指定ノトト、テ、テモノ合サツタ

者デ、ト云ヒテ、ト云ヒテモノ轉約デス、第三變化

ニ添ツテ、上下ノ二句ヲ、反對ニ接續スル詞デス。

漢字ノ縱令、雖ノ意デス。

タツテハ、過去或ハ完了ノタトト云ツテノ合サツタ

若是腦髓不好、雖然用功、也比較的不能有  
進步。

雖然特意的吃藥、若是一面吃着酒、病是不  
會好的。

主人好儉省雖如彼、而妻子愛奢華如此、則  
不能富裕家政。

二六、ツテモ、ツテ(タツテ)

ツテモ、ツテ者、指定之ト與テ・テモ結合而  
成者也。原爲ト云ヒテ、ト云ヒテモノ之轉約。

添于第三變化、接續于上下相反之二句。漢字  
縱令、雖之意也。

タツテ者、過去或完了之タ、與ト云ヒテ結合

者デ、ク活用、シク活用及ビ其レト同ジ活用ノ助動  
詞ノ、第二變化及ビ第三變化ニ接續シマス。其ノ意  
義漢譯ハ、ツテニ同ジデス。

財産ガ有ルツテモ、百萬ハ有ルマイ。

何程苦シイツテモ、暫クノ事ダカラ、辛抱ナサイ。

巫山戯ルツテ、程ガ有ル。

イクラ金ガ懸ルツテ、學生ノ身分デ、月ニ百圓ハ

使ヒ過ギル。

見タツテ、注意シテ見ナケレバ、後マデ覺エテ居

ラレル者デナイ。

本ハ讀ンダツテ、考ヘナケレバ、理窟ハ分ラナイ。

而成者也。接續於ク活用シク活用及與其同活  
用之助動詞第二變化及第三變化、其意義漢譯  
同於ツテ。

縱有財產、怕沒有一百萬罷。

那怕怎麼辛苦、不過一會子的事、且忍耐些  
罷。

雖然是戲謔、也該有個分寸。

雖說有許多用途、可是在學生的身分每月  
費一百元錢、那過于浪費了。

儘管看了、若是不留神、就不能長久記住。

書儘管讀、若不熟思默考、就不能通曉實在  
的意思。



直段ガ安クタツテ、品ガ悪クテハ、駄目ダ。  
 家ガ新シクタツテ、造作ガ粗末デハ、見榮エグシ  
 ナイ。  
 物覺エガ善イッタツテ、練習シナケレバ、忘レテ  
 仕舞ヒマス。

二七、カラ ノデ(ンデ) モノ

カラ、ノデ、モノハ、第四變化ニ添ツテ、原因ヲ言  
 ヒ表ハス詞デス。漢字ノ故所以因因爲等ノ意デス。  
 アノ人ハ、手蔓ガ善イカラ、出世ガ早イ。

アレハ氣ガ短カクテモ、根ガ正直ダカラ、人ニカ  
 ハユガラレル。

アノ店ハ、見懸ケガ善イノデ、中々繁昌スル。

價錢雖不貴、東西不好、還是無益。

房子雖是新蓋的、若是裝修不好、還是不能  
 起眼。

那怕記性好、若不練習、也忘記了。

二七、カラ ノデ(ンデ) モノ

カラ、ノデ、モノ者、添于第四變化、表白原  
 因之詞也。漢字故所以因因爲等之意。

那個人、因爲是有好攀援(好人情)、所以榮  
 達得很快。

他雖然有痺氣、可是底子是老實人、所以被  
 人憐愛。

那個舖子外相很好、所以很興旺。

日本ハ、氣候ハ善イガ、時々雨ガ降ルノデ閉口ス  
 ル。

アナタハ、ナゼボンヤリシテ居マスカ。

心配事ガアリマスモノ。

船ハ、今日モ出帆シマセンカ。

此ノ嵐デスモノ。

モノハカラニ、通用シマスガ、問ヒ懸ケニハ用ヒマ  
 セン。説明ニバカリ用ヒマス。

二八、ガ(ウガ ヨウガ マイガ)ケレドモ

一、ガ、ケレドモハ、第四變化ニ添ツテ、反對ニ下  
 ノ句ニ應ズル詞デス。漢字ノ雖但可是等ノ意デス。  
 春ハ來タケレドモ、マダ暖カデナイ。

空ハ曇ツテ居ルケレドモ、雨ハ降ラナイ。

日本氣候雖好、可是時常的下雨、所以爲  
 難。

您爲甚麼惘然自失呀。

因爲有傷心的事情。

今天還是不開船麼。

因爲這樣的大風(沒法子哪)。

モノ者、雖通用於カラ、而不用於發問。唯用  
 於解說耳。

二八、ガ(ウガ ヨウガ マイガ)ケレドモ

一、ガ、ケレドモ者、添于第四變化、以適應  
 下句之辭也。漢字雖、但、可是等之意。

雖然到了春天、可是還沒暖和。

雖然天陰了、可是沒下雨。



此ノガハ、ウヨウマイト合サツテ、二ツノ事柄ヲ並列シテ、假設ニ用ヒル者ガ有リマス。

雨ガ降ラウガ、槍ガ降ラウガ、明日ハ出懸ケネバナラン。

慾ノ深い男ハ、踏マレヨウガ蹴ラレヨウガ、金ニ成レバ、ドンナ事デモスル。

成功シヨウガ、シナカラウガ(シマイガ)、遣リ懸ケタ事業ハ、止メル譯ニハ行カナイ。

二、ガハ、單ニ詞ヲ續ケル爲ニ、無意義ニ句ノ間ニ置ク者ガアリマス。此ノ場合ニハ、何ノ意味モ無イカラ、當箱ル漢字ハ有リマセン。

私ハ、某ト申ス者デスガ、御主人ハ御在宅デスカ。此ノ方ハ、私ノ舊師デスガ、先生ニ御紹介致シマ

此ガ、有時與ウヨウマイ結合、並列二個事項、而用於假設者。

那怕是下雨、或是下刀槍、明天總得起身。

貪婪而不知鑒的人、那怕是被人踏或是被人蹴、若能發賺錢、無論甚麼事情、都辦哪。

無論成功與不成功、既是開辦的事業、就不能中止。

二、ガ、有但爲連續言語、並無何等意義、而攪入上下兩句間者。如此之時、因無何等之意義故、固無可該當之漢字。

賤姓是叫某的、府上主人在家了麼。這位是我的舊師、和先生介紹々々。

ス。

三、ガハ、並列ニ用ヒテ、漢字ノ且又等ノ意ニ當ル者ガ有リマス。乃チ中止法ニ添ヘルモノデス。

アノ人ハ、學問モ有ルガ、材幹モ有ル。

此ノ家ハ、材料モ佳イ物ヲ精選シテアルガ、建方モ意匠ヲ凝ラシテアル。

二九、ニノニモノヲ

右ノ三語モ、第四變化ニ添ツテ、上下反對ノ二句ヲ接續スル詞デス。漢字ノ然而反之等ノ意デス。

止セバ善イニナゼンナ事ヲ、仕出來シタ者ダ。

紅葉ガアルノニ、雪ガ降ル。

コンナ酷イ雨ガ降ルノニ、能ク御出下サイマシタ。

三、ガ、有用於並列者、該當於漢字且又等之意、添于中止法。

那個人也有學識、也有材能。

這個房子、材料也精選得好東西、構造也極盡意匠作的。

二九、ニノニモノヲ

右三語、亦添于第四變化、接續上下相反之二句者也。漢字然而反之等之意。

當初別做就好了、怎麼做出了這樣的事情來。還有紅葉呢、都下雪了。(然而早已下雪了)

這樣的下大雨、還蒙您駕臨。(那實在感激之至)



アレ程忠告シタモノヲ、ドウシテモ聽キ納レナイ  
カラ、失敗シテ仕舞ツタ。

コレ程熱心ニ言フモノヲ、君モ少シハ耳ヲ傾ケ給  
へ。

三〇、モノノ

モノノハ、ガ、ケレドモト同ジ様ニ、反對ノ上下ノ  
二句ヲ、接續スル詞デ、漢字ノ雖、但等ノ意デス。  
第四變化ニ接續シマス。

サウハ言フモノノ、矢張同情ニ堪ヘナイ。

人ノ癖ハ、目ニ著クモノノ、誰ニモ可笑シイ癖ノ  
有ル者ダ。

三一、ツツ

ツツモ、一時ニ二ツノ動作ヲ行フ意デ、漢字ノ且或

我那麼勸諫來、奈他總不聽、所以果然失敗  
了。  
我這樣的熱心在說呢、你也用一點心聽々。

三〇、モノノ

モノノ者、同子ガ、ケレドモ、接續上下相反  
之二句者也。漢字雖但等之意。接續於第四變  
化。

雖然這麼說、還是不勝憐憫。

別人的毛病、很容易看見、可是無論誰、都  
有可笑的毛病。

三一、ツツ

ツツ亦一時兼行兩個動作之意也。漢字且或一

ハ一面ノ意デス。ナガラニ通用シマス。

周圍ノ事物ニ注意シツツ、道ヲ歩カナケレバ、色  
々ノ物ニ衝當リマス。

小説ヤ芝居ハ、嘘ト知リツツ、悲シイ事ヲ觀レバ  
涙ガ溢レマス。

ツツニハ、進行ノ狀態ヲ表ハスモノガアル。  
兩者ノ關係ハ、近頃益接近シツツアル。

三二、シ

シハ、第四變化ニ添ツテ、並列中止ヲ表ハス詞デ、  
バ、ガト同ジク、漢字ノ且或ハ又ノ意デス。

アノ男ハ腦髓モ明晰ダシ、勉強モスルカラ、イツ  
モ首席ヲ占メテ居マス。

僕ナゾハ、頭モ惡イシ、根氣モ惡イカラ、トテモ

面之意。通用於ナガラ。

若不留神周圍的事物、而走路、就衝撞種々  
的東西、

小説和演戲、明知道是虛構的、而一看到可  
悲的事、就不由的落淚了。

ツツ有表示進行狀態者、例如  
兩者關係、近來方在益欲接近之狀態。

三二、シ

シ者、添于第四變化、表示並列中止之詞也。  
略同於バガ、漢字且或又等之意。

那個人、腦髓也明晰、而且很用功、所以常  
占首座。  
我們腦袋也不好、忍耐力也軟弱、所以究竟



上座ニハ居ラレマセン。  
アノ女ハ、性質モ柔和ダシ、品格モ高尚ダシ、申分ノナイ女デス。

三三、ナ

ナハ、動詞助動詞ノ第三變化ニ接續シテ、否定命令ヲ表ハス詞デス、漢字勿・莫・不可・別等ノ意。

ソノ様ナ聞苦シイ事ヲ、御言ヒナサルナ。

見苦シイ事ヲシテ、人ニ爪弾キヲセラレルナ。

ソノ様ナ聞苦シイ事ヲ、御言ヒナサルナ。

ソノ様ナ聞苦シイ事ヲ、御言ヒナサルナ。

第四類ノ助詞ハ、感歎ヲ表ハス者デス。其ノ重ナ者ハ、大體左ノ通りデス。

不能占上座。

那個女人、性質也柔和、品格也高尚、實在無問然的。

三三、ナ

ナ者、接續于動詞助動詞之第三變化、表白否定命令之詞也。漢字勿・莫・不可・別等之意。

不可以做那樣卑劣的舉動。

不可做不體面的事情、受大家的指彈。

不可以說那樣不好聽的話。

那樣隨便的話、雖是噓噓之間、也不可以

說。

第四類之助詞、表白感歎者也。其主要者、大略如左。

ナ(一) ム ハ ワイ コ ナ(二) ネ

感歎助詞ニハ、廣ク數感情ニ用ヒル者モ有リ、專ラ一感情ニ用ヒル者モ有リ、又相手無シニ使フ者ト、相手ニ對シテ使フ者ト、有リマス。右ノ内デ、ナハワイ等ハ、相手無シニモ用ヒ、ネノヨサゾゼエ等ハ大概相手ヲ前ニ置イテ、用ヒル者デス。

三四、ナア モ ハ ワイ ヨ

實ニ面白イナア

能クモソソナ事ガ言ハレタモノダ。

私ハ好カナイハ。(婦人語)

此ノ酒ハ、結構ダワイ。

ソレデ、イイヨ。

右ノナ、モ、ハ、ワイ、ヨハ、感歎ノ餘情ヲ添ヘテ、

ノ サ ズ ゼ エ

感歎助詞、有廣用於數個感情者、有專用於一個感情者。又有不待對手而用者、有必待對手而後用者。右例之中、ナハワイ等、有時不待對手而用者。ネノヨサゾゼエ等、大概待對手而用之。

三四、ナア モ ハ ワイ ヨ

實在有趣呀。

虧他厚顏說得出那樣的話啊。

我可不喜歡。

這個酒味兒很好呢。

那就行了啊。

右例之ナ、モ、ハ、ワイ、ヨ者、添加感歎之



其ノ意味ヲ強メル詞デス。

三五、ナネノ

君ハ誰ダハ

アナタハ、ドナタデスネ。

今日ハ寒イナア

サウデスナア。

今日ハ、オ寒ウゴザイマスネイ。

サヨウデゴザイマスネイ。

右ノナネノハ、商量又ハ贊同ノ意ヲ表ハス詞デ、ナ

ノハ平常語、ネハ敬語デス。

三六、サ

君モ行クサ。

私モ勿論參リマスサ。

餘情、強其意者也。

三五、ナネノ

你是誰呀。

您是那一位呢。

今天冷啊。

是啦。

今天冷得很哪。

是的是的。

右例之ナネノ者、表白商量或贊同之意者也。

ナノ爲平常語、ネ爲敬語。

三六、サ

你也去波。

我是自然去的啊。

サウサ。君ノ言フ通りサ。

ソレダカラ、僕モ忠告スルコトサ。

右ノサハ、語氣ヲ強メテ、他ノ感情ヲ誘發スル氣味

ヲ、含ム詞デス。

三七、ゾゼ

ウツカリ歩クト、躓クゾ。

氣ヲ付ケナイト、アブナイゼ。

ソナ事ハ、善クナイゾ。

右ノゾ、ゼハ、指示警告ノ意ヲ表ハス詞デス。

三八、エ

君モ知ツテ居ルカエ。

何ヲ考ヘテ居ルンダエ。

サウカエ。

是的、您所說的實在不錯啊。

所以我勸勸的啊。

右例之サ、強語氣、且含有誘發他人感情之意

者也。

三七、ゾゼ

若是不留神走著道、就顛蹶呢。

若是不用心、就危險哪。

那麼樣的事情、不行啊。

右例之ゾ、ゼ、表白指示警告之意者也。

三八、エ

你也是知道呀。

你想著甚麼呢。

然哉。



右ノエハ、疑問ノ語句ニ添ッテ、感歎ノ意ヲ附ケ加ヘル詞デス。

三九、ヤ

太郎ヤコツチへ御出デ。

爺ヤ 婆ヤ

右ノヤハ呼懸ニ用ヒル詞デス。

第七章 副詞

副詞ハ語ノ成立ノ上カラ分類スレバ、本然副詞ト轉成副詞トニツニ成リマス。

本然副詞トハ、本カラ副詞トシテ生レタ者ヲ云ヒマス。

- モウ(已經) マダ(還、未) ナホ(尙、仍)
- タダ(唯) ワヅカ(僅) モツト(再)

右例之エ、添于疑問之語句、而附加感歎之意者也。

三九、ヤ

太郎呀這兒來。

老頭啊。 老婆啊。

右例之ヤ、用於喚呼之詞也。

副詞由言語之構成上分類、則爲本然副詞與轉成副詞之二種。

本然副詞者、生來即爲副詞之謂也。

- 矢張(還、亦) ミナ(皆) ホボ(略)

轉成副詞トハ、名詞代名詞動詞形容詞又ハ其ノ他ノ語カラ、轉ジテ副詞ト成ツタ者ヲ云ヒマス。轉成副詞ニハ、一ツノ品詞ガ、原形ノ儘轉成スル者モ有レバ、品詞ニ他ノ語ヲ添ヘタ者カラ、轉成スル者モ有リマス。例ヘバ左ノ通デス。

- 一、今ツイレン(Siren)ガ鳴ツタ。
- 二、誠ニ御氣ノ毒デス。
- 三、何レ結果ガ分リマス。
- 四、其レゾレ目的ガ違ヒマス。
- 五、餘リ取扱ヒ方ガ酷イ。
- 六、詰リ同ジコトデス。
- 七、妄リニ人ヲ誹謗スルノハ宜シクナイ。
- 八、取りドリ噂ガアリマス。

轉成副詞、由名詞代名詞動詞形容詞及其他之語言、轉成副詞者即是。轉成副詞之中、有一個品詞不變原形而轉成者。又有添加他語於品詞而轉成者、例如左。

- 一、現在時報機響了。
- 二、實在可憐的很哪。
- 三、早晚結果明白。
- 四、各自目的不一樣。
- 五、待遇太酷薄。
- 六、究竟是一樣的。
- 七、妄誹謗他人、那不行。
- 八、紛紛有謠傳。



九、委シク事情ヲ調ベナサイ。  
 十、能ク能ク御考ヘナサイ。  
 十一、田舎ハ閑靜デ宜シイ。  
 十二、徐カニ梯子段ヲ下リル。  
 副詞ハ又意味上カラ分類スルト、大抵左ノ様ニ成リマス。

第一、時ヲ表ハス副詞。

- 1、今 現ニ(現在) 唯今
- 2、モウ(已經) 前ニ(以前) 先程(方纔)
- 3、マダ(還) 後デ(回頭) 後程(回頭) 今ニ(快) 程無ク(無幾時)
- 4、何時ゾヤ(以前某日) 何時シカ(早晚) 何時モ(時常的) 始終(時常的) 不斷(同上)
- 5、初メニ(當初) 中頃(中間) 仕舞ヒニ(終局) 時々 折々(屢次) 稀ニ(有時)
- 偶(偶然) 折節(時々) 直(立刻) 直ニ(就快)

第一、表白時之副詞。

九、請詳細調査情形。  
 十、請好々の一想。  
 十一、郷下閑靜得好。  
 十二、慢々の下梯子。  
 副詞由意味上分類、則大略如左。

動トモスレバ(動輒) 一旦 幾度 何遍(幾回) 再三 愈(果然、遂) 段々(漸々)  
 以上ノ12345ニ舉ゲタ時ノ副詞ハ、ドウ云フ時ヲ表ハシマスカ。區別シテ御覽ナサイ。  
 請試區別可也。

第二、場所ヲ表ハス副詞。

- 近ク 遠ク 遙々 道々(途中) 處々
- 諸所方々(各處) 其處此處ニ(所在) アチコチ(所在)

右ノ副詞ニ、相當ナ動詞ヲ、當テ箱メテ御覽ナサイ。請試充當相當之動詞於右例之副詞。

第三、程度分量及多數ヲ表ハス副詞。

- 1、少シ(稍微的) 暫ク(一會子) 一寸(一、二點兒) 聊カ(一點)
- 2、餘程(頗) 中々(同上) 可成リ(同上) 中位(中間) 非常ニ
- 3、甚ダ 極(很) 大變(很) 大層(很)
- 4、全ク 丸デ(全) スツカリ(全部) 殘ラズ(悉皆)
- 5、凡ソ 殆ド 大方(大概) アラマシ(同上)

第三、表白程度分量及數之副詞。



- 6、<sup>テ</sup>恰<sup>モ</sup> 丁<sup>テ</sup>度<sup>カ</sup>(正、恰)
- 7、<sup>ヒト</sup>一<sup>ツ</sup> 二<sup>ツ</sup> 十<sup>ツ</sup>軒<sup>シ</sup>(十戶) 一<sup>イ</sup>號<sup>ゴ</sup> 三<sup>サン</sup>番<sup>バン</sup> 十<sup>シ</sup>人<sup>ジン</sup>目<sup>メ</sup> 第<sup>ダイ</sup>三<sup>サン</sup>

以上ノ例ヲ、區別シテ御覽ナサイ。

試區別以上之諸例。

第四、狀態ヲ表ハス副詞。

第四、表白狀態之副詞。

此ノ中ニハ、音<sup>ネ</sup>光<sup>カウ</sup>色<sup>シキ</sup>形<sup>カガタ</sup>ナドノ狀態ヲ表ハス者

此内總包括表白音聲光明色澤形體等之狀態者。

- ザアザア(水聲) ソヨソヨ(風聲) ザワザワ(同上) 颯々
- ゴロゴロ(雷聲) シヨボシヨボ(細雨) ボチボチ(滴聲) 點々
- ガラガラ(車聲) 略々々々
- ピカピカ(煌々) キラキラ(赫々) テラテラ(煜々)
- ポツポツ(焰々) ビカリ(一閃) ボンヤリ(模糊)
- コツテリ(濃厚) アツナリ(淡泊) アラアヲ(青々)
- シラシラ(白々) クロクロ(黒々)

- ユツタリ(綽々) ユツクリ(慢々) ニソロソロ(徐々)
  - ノロノロ(蝦蟇) ゴロゴロ(陸續)
  - チャント(端然) キチント(緊密的) ズシント(震動的)
  - キツバリ(斷然) グンニヤリ(靡然) ベツタリ(軟滑)
  - 妄<sup>マヤ</sup>リ<sup>ニ</sup>(妄) 無<sup>ム</sup>茶<sup>チャ</sup>ニ(同上) 無<sup>ム</sup>茶<sup>チャ</sup>苦<sup>ク</sup>茶<sup>チャ</sup>ニ(同上) 亂<sup>ラン</sup>暴<sup>ボウ</sup>ニ(同上) 無<sup>ム</sup>鐵<sup>テツ</sup>砲<sup>ポウ</sup>ニ(沒有規矩的) 滅<sup>メツ</sup>法<sup>フツ</sup>界<sup>カイ</sup>ニ(無度的) 易<sup>ヤス</sup>々<sup>ニ</sup>(容易) 樂<sup>ラク</sup>々<sup>ニ</sup>(同上)
  - 辛<sup>カ</sup>ウ<sup>シ</sup>テ(千辛萬苦之後) ヤット(好容易) ヤットコサデ(同上) 下<sup>シ</sup>カ<sup>カ</sup>カ<sup>カ</sup>ウ<sup>カ</sup>(同上)
  - 仕<sup>シ</sup>合<sup>ア</sup>セ<sup>セ</sup>ニ(幸而) 仕<sup>シ</sup>合<sup>ア</sup>セ<sup>ト</sup>(幸而)
- 第五、其ノ他種々ノ意義ヲ表ハス副詞。
- 第五、其他表白諸種意義之副詞。
- ドウゾ御願ヒ申シマス。
  - トウカ御頼ミ申シマス。
  - 何分宜シク御盡力ヲ願ヒマス。
  - 是非御助ケ下サイ。
- 懇求您。
- 託您。
- 請您左右好々の盡力々々。
- 切禱您救我。



大臣ニ成レナイナラ、責メテ縣知事ニ成リタイ。

以上ノ例ハ、希望ヲ表ハス者デス。

恐ラク無駄デセウ。

多分宜シイデセウ。

定メシ好成績デセウ。

嗚御歎ビデセウ。

以上ノ例ハ、推量ヲ表ハス者デス。

イクラ落チブレテモ、流石ニ貴族ハ上品ナ處ガ有

ル。

ドンナ危急ノ場合ニ出會ツテモ、サスガニ軍人ハ

ウロタヘナイ。

此ノ畫ハ、名人ノ作ダケアツテ、サスガニ群ヲ拔

如不能陞任大臣、至少尙冀當縣知事(責メテ讓)

步之副詞、不得已而捨大取小之意

以上之例、表白希望者也。

恐怕是勞而無效能。

大半是可以罷。

必定是成績大好罷。

想必喜歡罷。(嗚、有表白好意、諒察他人境遇之意)

以上之例、表白推量者也。

就是怎麼樣落魄了罷、貴族到底有此優雅的

地方。

到底是軍人、臨到怎麼危急的境遇、總不會

皇失舉。

這個畫是名人作的、無怪乎超群拔類了。

イテ居ル。

右ノ例ノ流石ニ(追)ハ、名實相副ノ意、或ハ其ノ本

分ニ反カナイ意ヲ表ハス詞デス。漢字ノ無怪乎、怪

不得、到底、宜乎等ノ意デス。但シ第一例ノ流石ニ

ハ、原義ノ併シ・トハ云ヘ(雖然之義)ナドノ意ヲ含

ンデ居マス。

案外ヤサシカツタ。

料ラス昔ナジミニ出會ツタ。

ツイ忘レタ。

【備攷】ツイニハ時間ヤ距離ノ最モ近イ意ヲ表ハ

ス者ガアル。ツイ昨日來タ。ツイ其處ニ在ルナドノ

類デス。

思ヒ懸ケナク御世話ニ成リマシタ。

右例流石ニ(追)者、表白名實相副之意、或不

反其本分之詞也。漢字無怪乎怪不得難怪宜

乎等之意。但第一例之流石、含有原義之併シ

トハ云ヘ(雖然之義)等之意。

意外的很容易。

不料遇見了舊知的人。

不意忘了。

【備攷】ツイ之中、有表白時間距離之最近

者。例如最近昨日來的。最近在那兒等。

想不到蒙您照應了。



思ハズ手ヲ拍ツタ。

突然ニ出マシテ、大キニ御邪魔デゴザイマス。

出シ抜ケニ來マシタカラ、驚イタデセウ。

藪カラ棒ニソシナ話ヲサレテモ、挨拶ニ困リマス。

以上ハ、意外又ハ突然ノ意ヲ表ハス者デス。

已ムヲ得ズ缺席スル。

據無ク國ヘ歸ル。

仕方無シニ先方ノ要求ヲ容レル。

詮方無ク(致シ方無ク)御辭退申上ゲマス。(爲ム方)

以上ハ、勢ノ已ムヲ得ナイ意ヲ表ハス者デス。

成ル可ク骨ヲ折リマセウ。

成ル丈御希望ニ副フ様ニ致シマセウ。

出來ル丈盡力シテ下サイ。

不覺的拍手了。

突然到府上、很騷擾您哪。

突然來了、驚動你了罷。

你突然說出這麼樣的話、我實在不能答應。

以上表白意外或突然之意者也。

不得已而不到。

不得已而回國。

萬沒法子、容認對手的要求。

萬沒法子、辭退您哪。

以上之例、表白勢出于不得已者也。

儘著量兒盡心竭力罷。

務須副于您的希望。

儘著量兒請您盡力。

一所懸命勉強ナサイ。

以上ハ、力ノ及ブ限リヲ盡シテ、事ニ從フ意ヲ表ハ

ス者デス。漢字ノ務須、儘著量兒ナドノ意デス。

折角御養生ヲナサイ。

態々御苦勞デシタ。

態ト人ノ仕事ヲ妨害スル。

以上ハ、特別又ハ故意ノ意ヲ表ハス者デス。

私ハカウ考ヘマス。

僕ハサウ思ヒマセン。

アア見エテモ、某サンハ中々豪イ人デス。

コレハドウスレバ、イイノデスカ。

專心一意請用功。

以上之例、表白盡全力從事之意者也。漢字務

須、儘著量兒等之意也。

您特意保養々々。

您特意來、是勞駕的很哪。

故意妨碍別人的事業。

以上之例、表白特別或故意之意者也。

我想這麼著。

我不想那麼著。

某君是乍一看、沒甚麼特別的相貌、可是其

實是超群的人。(別瞧他那樣、某君可是了

不得人物呢)

這怎麼辦、纔好呢。



アナタハ如何遊バズ思召デスカ。

右ハ指示ノ意ヲ表ハス副詞デス。

成程サヨウデス。

如何ニモソレニ違ヒアリマセン。

如何様サヨウデセウ。

右ハ首肯ノ意ヲ表ハス者デス。

若シサウナラ大變デス。

萬一有ツタラドウシマス。

ヒヨツトシタラサウカモ知レマセン。

縱令頭ガ飛ンデモ、承知スル譯ニハ參リマセン。

ヨシンバ免職サレヨウト。自分ノ主張ハ枉ゲラレ

マセン。

以上ハ假定ノ意ヲ表ハス者デス。

您打算怎麼辦哪。

右例副詞、表白指示意者也。

實在是不錯。

您所說的是實在不錯啊。

是不錯。

右例表白然諾者也。

若是這麼著、就為難。

萬一有如此的事情、您怎麼辦呢。

或者是如此未可知也。

縱令遭斬頭之刑、也不能承諾。

縱令遭革職、也不能屈自己的主義。

以上之副詞、表白假定意者也。

儘ニ受合ヒマシタ。

屹ト參リマス。

正シクソレニ違ヒハ有リマセン。

以上ハ確實ノ意ヲ表ハス者デス。

少シモ分ラナイ。

一向知ラナイ。

一寸モ存ジマセン。

決シテサウデナイ。

碌ニ技モ出來マセン。

マンサニ(滿更)馬鹿デモナイ。

ヨモヤ間違ヒハアルマイ。

如何ニ落チブレテモ、マサカ乞食ニモ成レナイ。

確乎保證了。

必定去。

正是不錯。

以上之例、表白確實意者也。

一點也不明白。

全然不知道。

一點也不曉得。

決不然。

技能也不大好。

未必是全然糊塗的人。

萬無一失罷。

怎麼淪落、難道去做乞丐不成。(安能至於做乞丐乎)



生憎留守デス。(居リマセン)

所詮駄目デス。(仕様ガアリマセン)

到底イケマセン。

兎テモ(連モ)見込ガアリマセン。(兎テモ上手ダレナドハ近頃ノ用法デス)

不幸偏巧是沒在家。  
究竟是沒法子。  
到底是不好。  
到底沒有指望。(兎テモ上手ダレ(很巧妙)等是近來之用法也非古意)

以上ノ副詞ハ、必ズ否定ニ應ズル者デス。

以上之副詞、必應于否定者也。

餘リ寒イカラ、外套ヲ着ナサイ。

因爲是很冷、可以穿上外套。

餘リ寒クモナイカラ、家ノ中デハ外套ヲ脱ギナサ

因爲是不很冷、在屋子裡、可以脫外套。

イ。

石ハ幾ラモ有ル。

石頭、有的是很多。

名玉ハ幾ラモ無イ。

有名的寶玉是不很多。

アレハ中々豪イ人ダ。

他是個很超群的人。

豪イ人ニハ中々成レナイ。

不能容易成超群的人。

必ズサウダ。

必然。

必ズシモサウデナイ。

不必然。

以上ノ例ハ、肯定ニ應ズルト、否定ニ應ズルノトデ意味ニ輕重又ハ差異ヲ生ズル者デス。

以上之例、由應于肯定詞與應于否定詞之區別其意義有輕重或差異。

ドノ道ヤル事ハ、ヤラネバナリマセン。

左右是應該辦的。

ドウセヤルナラ、大キイ事ヲ造リナサイ。

總得辦的事情、莫如辦大事倒好。

何シロ實地ニ見ナイ事ハ、信用ガ出來マセン。

實在沒看過的事情、總是不能信憑。

何レニシテモ私ハ參リマス。

左右我總去。

ドウデモ、カウデモ斷行スルヨリ外ニ、仕方ハア

無論怎麼總是斷行以外、沒有法子罷。

リマセン。

否デモ、應デモ君ニハ承知シテ貰ヒマス。

無論喜歡與不喜歡、總得求您惠諾。

何デモ彼デモ僕ハ構ヒマセン。

無論怎麼樣我總是不要緊。

以上ハ事ノ多端ニ涉ル時、一途ニ歸向スル意ヲ表ハ

以上之副詞、表白事物涉于多端之時、歸向一



ス副詞デス。漢字左右、總要、總得、無論甚麼、總是等ノ意デス。

兎角ノ批評ハ有ルガ、某ナンハ兎二角(兎毛角)當世第一流ノ政治家デス。

出來ルカ、出來ナイカ、分ラナイガ、兎毛角(兎

二角)ヤツテ見マセウ。

外ノ人ハ兎モアレ、君ハ必ズ賛成シテ下サイ。

アレノ人格ハ兎毛角、材幹ハ實ニ非凡デス。

自分ニ關係ノナイ事ハ、兎ヤ角(彼此)言フニ及

バナイ。

ソシナニ兎ヤ角(彼此)考ヘルナラ、一層止メタ方

ガヨカラウ。

途之意者也、漢字左右總要總得無論甚麼總是等之意也。

某君是雖然有種々の批評、總之還是現在第一流的政治家。

成不成暫置不問、且辦一辦試々罷。

別人的意見且不問、請您總得贊成。

那個人的性格、姑置不問、材幹實在是非凡的。

自己沒關係的事情、不要說長說短。

您若是那麼樣胡思亂想、莫如不辦倒好。

右ノ例ハ、事ノ兩端ニ涉ル意ヲ表ハス副詞デス。兎ニ角兎毛角、兎モアレハ、同じ意味デ、兎ニモ有レ角ニモアレノ略語デス。漢字ノ總之左右又ハ諸事暫置不問、無論怎樣等ノ意デス。又兎ヤ角ハ這個那個或ハ種々ノ意デス。

此ノ頃ハ、兎角時候ガ不順デス。

商人ノ談ハ、兎角駆引ガ多ウゴザイマス。

老人ハ、兎角物事ヲ忘レ易イ。

身體ノ虛弱ナ者ハ、兎角神經過敏ニ成リ易イ。

右ノ兎角ハ、動輒、何時デモ等ノ意デス。

【備攷】兎角ノハ名詞ノ修飾語デ、形容詞的ノ效用ヲ爲マス。漢字ノ這個那個、種々等ノ意デス。兎角ノ噂ハ有ルガ、體カナ事實ハ、マダ分リマセ

右例表白事之涉兩端之副詞也。兎ニ角兎毛角兎モアレ三語相同。漢字總之或諸事暫置不問無論怎樣等之意。又兎ヤ角者、這個那個、或種々等之意。

這幾天時令動不動不正。

買賣人的說話、常多商略。

老頭兒、動不動忘了事物。

身子虛弱的人、動輒感動神經。

右例兎角者、動輒、時常的等之意也。

【備攷】兎角ノ者、名詞之修飾語也。爲形容詞樣之效用。漢字這個那個、種々等之意。雖然有各樣的風聲。可是不曉得確實的事



ン。

ナゼ君ハ近頃一向ニ見エマセンカ。

何デ私ガ嘘ヲ吐ク者デスカ。

ドウシテソソナ理窟ガアル者デスカ。

以上ハ、原因ヲ表ハス副詞デス。漢字豈、安、惡等ノ意デス。

第八章 接續詞

接續詞ノ種類ニハ、並列、添加、選擇、順接、逆接ノ五通ガ有リマス。

動詞形容詞及ビ助動詞ニハ、語尾變化ガ有ル。

歌ヲ詠ンダリ又詩ヲ作ツタリスル。

以上ノ接續詞ハ、並列ヲ表ハス者デス。並ニ、且等モ之ニ屬シマス。

情。

何故您近來總也不來呀。

我豈說謊話嗎。

豈有如此之理乎。

以上表示原因之副詞也。漢字豈安惡等之義。

接續詞之種類、有並列、添加、選擇、順接、逆接之五種。

動詞形容詞及助動詞、有語尾變化。

詠和歌又賦漢詩。

以上之接續詞。表白並列者也。並ニ、且等屬之。

晝間十時間モ働イテ、其ノ上夜業マデスル。

アノ人ハ原來生レ付ガ穎敏デ、ソレニ中々精力家

デスカラ、學問ガメキメキ進歩スル。

以上ノ接續詞ハ、添加ノ意ヲ表ハス者デス。ソレカ

ラ、サウシテ、尙、加之等モ、之ニ屬シマス。

羅馬字ハ鉛筆又ハペンデ書キマス。

アナタハ官吏ニ成リマスカ或ハ實業家ニ成リマス

御酒ハ西洋酒ヲ差上グマセウカ、ソレトモ日本酒

ガヨウゴザイマスカ。

以上ノ接續詞ハ、二ツノ事物ヲ並列シテ、其ノ一ツヲ選擇スル意デス。サモナケレバ、サウデナケレバ

白天勤務十點鐘上下的工夫、而且再勤務夜裡的業務。

他原是天分穎敏、而且精力也旺盛、所以學力顯然見進步。

以上之接續詞、表白添加意者也。ソレカラ、サ

ウシテ、尙、加之等屬之。

羅馬字用鉛筆或鋼筆寫。

您要做官麼、或是當實業家麼。

酒是給您拿西洋酒麼、或是拿日本酒呢。

以上之接續詞、並列兩個事物、選擇其一之意也。サモナケレバ、サウデナケレバ等屬之。



等モ、之ニ屬シマス。アノ方ハ非常ニ勉強シマス、其レダカラ並勝レテ能ク出來マス。

アノ方ハ北京デスカ、其レデハ官話ガ旨イデセウ。以上ノ接續詞ハ、上文ト下文ガ、順當ニ接續スル者デス。其レユエ(所以)ソレデ(是以)其レナラ(然則)ソシナラ(同上)サウスルト(同上)其處デ(於是乎)隨ツテ(依之)因ツテ(由是)等モ、之ニ屬シマス。アノ人ハ常識家デス、併シナガラ博學デハアリマセン。

今ハ夏ノサ中デス、ソレダノニ一向著クアリマセン。毎日授業ハ三時マデアリマス。尤土曜日丈ハ十二

那位很用功、所以學力是超群的。

您是北京人麼、然則說官話很巧妙罷。

以上之接續詞、上文與下文、爲順當之接續者也。其レ故(所以)ソレデ(是以)其レナラ(然則)ソシナラ(同上)サウスルト(同上)其處デ(於是乎)隨ツテ(由是)因ツテ(因此)等屬之。

他是常識家、可不是博學者。

現在是夏天的正中、然而總不熱。

每天功課、到下午三點鐘止、但是禮拜六這

時マデデス。

以上ノ接續詞ハ、上文ト下文ガ反對ニ接續シマス。サリナガラ(雖然)併シ(同上)ケレドモ(同上)サウダガ(同上)サウダケレドモ(同上)ソレデモ(尙且)ソレダノニ(然反之)但シ處ガ處デ(然)等モ之ニ屬シマス。

【備攷】時ニ(可見)併(然而)等ハ、談話ガ一段落ヲ告ゲテ、更ニ本題ニ移ラウトスル場合ニ、用ヒル接續詞デス。

第九章 感歎詞

感歎詞ニハ三色有リマス。對手ヲ待タナイデモ自然ニ發スル者ト、對手ガ有ツテ發スル者ト、應答ニ用ヒル者ノ三色デス。

一天、到十二點鐘止。

以上之接續詞、上文與下文、爲反對之接續者也。サリナガラ(雖然)併シ(同上)ケレドモ(同上)サウダガ(同上)サウダケレドモ(同上)ソレデモ(尙)ソレダノニ(然反之)但シ處ガ處デ(然)等屬之。

【備攷】時ニ(可是)併(然而)等之接續詞、談話告一段落、將移本題之時、用之者。

感歎詞有三樣、其一不必待對手、自然所發者。其二待對手而後發者。其三用於應答者。是也。



一、喜ビヲ表ハス者。  
 嗚呼嬉シイ。  
 マア好カッタ。  
 ヤレ安心シタ。  
 二、哀ミヲ表ハス者。  
 噫悔シイ。  
 サテ残念ダ。  
 ハテ忌々シイ。  
 ヤレヤレカハイ相ダ。  
 イヤハヤ御氣ノ毒千萬ダ。  
 三、驚キヲ表ハス者。  
 アア、ビツクリシタ。  
 オヤ、何ヲナサルンデス。

一、表白歡喜者。  
 嗚呼可喜。  
 真好。  
 可放心了。  
 二、表白悲哀者。  
 噫痛恨。  
 遺憾的很哪。  
 嗚痛恨之至。  
 真是可憐的。  
 吓、可憐之至哪。  
 三、表白驚駭者。  
 唉呀、吃了一驚。  
 唉、做甚麼呢。

オツト、シマッタ。  
 ヤア、火事ダ。  
 エイ何デスツテ、何處ニ土左衛門ガアツタンデスツテ。  
 アレ飛行機ガ落チテ來タ。  
 アラ驚イタ。  
 オウビツクリシタ。  
 サア遣リ損ネタ。  
 マアオツ魂消タ。  
 四、怖レヲ表ハス者。  
 オオ怕イ。  
 アア怖シイ。  
 五、疑ヒヲ表ハス者。

嘖、壞了。  
 呀、失火了。  
 唉、甚麼哪、那兒有跳河的。  
 嗚、飛行機落下來了。  
 唉、吃驚了。  
 唉、吃驚了。  
 唉、壞事了。  
 嗚、魂消不附體了。  
 四、表白恐怖者。  
 嘖。害怕。  
 啊、叫人害怕。  
 五、表白疑問者。



ハテ何ドラウ。

ハテナ不思議ナ事ガアツタ者ダナア。

サテ分ラナイナア。

以上ノ一カラ五マデノ感歎詞ハ、對手ヲ待タナイデ

モ、自然ニ發スル者デス。

六、發語ノ感歎詞。物ヲ言ヒ出ス時ニ發スル聲音デス。

エイ一寸皆様ニ申上ゲマス。

アノ何デゴザイマス、カウナノデゴザイマス。

七、商量ノ感歎詞。

ネイアナタ、サウシテ下サイ。

ナア君、ソレデイイドラウ。

ナント御承知ナスツテ下サイマスマイカ。

唉、是甚麼呢。

可怪呀、很是奇怪的。

那麼、不能理會的很哪。

以上自一至五之感歎詞、不必待對手、獨自所發者也。

六、發語之感歎詞、將發言語之時、所發聲音也。

唉、我說給您們一點兒話哪。

那個々々、甚麼啦、即是如此的。

七、商量之感歎詞。

可以罷、請您如此的給我辦々。

好罷、就那麼樣波。

那麼請您答應々々、不行罷。

八、呼懸ケノ感歎詞。

モシモシ一寸御尋ネ申シマス。

ヤア君デシタカ、暫クデシタネイ。

ヤイ貴様何處ヘ行ク。

オイ車屋。

オーイ人殺シダ。

九、警告ヲ表ハス者。

ソレ自轉車ガ突當ルゾ。

ソラ危ナイ、川ヘ落チルゾ。

ホラ鳶ガ魚ヲ攫フゾ。

オツト危ナイ。

一〇、制止ヲ表ハス者。

コレ何ヲ爲ル。

八、喚呼之感歎詞。

借光々々、請問您哪一點事情。

嘖、您哪、老沒見々々々。

呀、你那兒去。

嘿、車夫。

嗚喲。殺人哪。

九、表白警告者。

嘖、自行車撞你哪。

嘖、危險、你要落到溝裏去了。

嗑、鳶鳥攫魚啊。

嗑、危險的。

一〇、表白制止者。

喊、做甚麼。



コラドカナイカ。

シイヤカマシイ。

マア御止シナサイ。

一一、誘導ヲ表ハス者。

サア參リマセウ。

マア入ラツシヤイ。

ドレ御見セナサイ。

以上ノ六カラ十一マデハ、對手ヲ待ツテ發スル感歎詞デス。

一二、感歎ノ感歎詞。應答ニハ肯定ト否定ガ有リマス。

1、肯諾ニ用ヒル者。

ハイ、サヨウデゴザイマス。

噫、操開々々。

咄、嘆々の了不得。

噫、請罷論罷。

一一、表白誘導者。

噯、請去罷。

請進。

請看々。

以上自六至十一、待對手而後所發感歎詞也。

一二、應酬之感歎詞。應酬有肯定與否定。

1、用於肯諾者。

是、不錯。

ヘイ、有リ難ウゴザイマス。

エイ、サウデス。

ウン、分ツタ。

右ノ内ハイ、ヘイハ鄭重ナ返事デ、エイハ輕ク首肯スル諾辭デス。ウンハ傲慢不遜ナ諾辭デスカラ、妄ニ使ツテハ、相手ノ感情ヲ害シマス。

2、否定ニ用ヒル者。

イイエ、サヨウデハゴザイマセン。

イエ、違ヒマス。

イヤ、私デハアリマセン。

イイヤ、ソシナコトハアリマセン。

右ノ内、イイエ、イエガ鄭重ナ諾辭デス、イヤ、イイヤハ平常語デスカラ、餘リ使ハナイ方ガ宜シイノ

是、多謝々々。

噫、不錯。

噫(呔)明白了。

右例之中、ハイヘイ爲感歎之諾辭、エイ唯是輕々點頭而已之諾辭。ウン以傲慢不遜之諾辭故妄用之則害對話者之感情。

2、用於否定者。

不是那麼著。

不是。錯啦。

不是我。

不、沒有那樣的事。

右例之中、イイエ、イエ爲懇懇語、イヤ、イイヤ以平常語故、日常不使用是爲可。



デス。

第十章 接頭語

一、語氣ヲ強メル者。

タ

ソシナタ易イ事ハ、誰ニモ出來ル。  
雲ガタ麻ク。

カ

カ弱イ女。  
カ細イ手足。

サ

迷ヒ兒ガ、人込ミニナ迷ツテ居ル。

ケ(氣)

品性ノケ高イ人。

一、強語氣者。

タ

那樣樣很容易事、無論誰都會。  
雲彩雲霧。

カ

纖弱的婦女。  
纖細的手脚。

サ

失路的孩子、徘徊於熱鬧的地方。

ケ(氣)

品性崇高的人。

コ(小)

アノ人ノ威光ニ、ケ壓サレル。

小薩張リシタ着物。

小氣味ノ佳イ男。

小憎ラシイ言葉遣ヒ。

オシ(押、推) オツ

以上ノ諸説ヲ、押ツ括メテ言ヘバ斯ウデス。

本年モ押シ詰リマシテ、オ忙シウゴザイマス。

サシ(差)

郵便ヲ差出ス。

事務ニ差支ヘル。

トリ(取)

コ(小)

爲那個人威容所壓倒。

清楚の衣裳。

一見令人痛快の人。

使聽者可厭的說法。

オシ(押、推) オツ

把以上所舉的諸説、總而言之就是這麼著。

本年亦歲暮迫近、事情很忙罷。

サシ(差)

打發信件。

事務上有碍。

トリ(取)



取落シノ無イ様ニ、注意スル。  
客ノ取扱ガ、丁寧ダ。

夕子(立)

アノ人一人ガ、大分立優ツテ居ル。  
内情ニ立入ツテ吟味スル。

ウチ(打) フチ

打解ケテ相談スル。  
談判ハ、是レデ打切リニスル。  
折角成功シ懸ケタ仕事ヲ、ブチ壊ス。

フリ(振)

後ヲ振向ク。  
刀ヲ振上ゲル。

ヒキ(引) ヒツ

留著神、期無遺漏。  
接待客人、很慇懃。

夕子(立)

他一個人、很卓越等輩。  
深々の探究内部的實情。

ウチ(打) フチ

虚心平氣彼此商量。  
交渉、於是乎了結。  
打壞了拮據將成功之事業。

フリ(振)

一顧後邊。  
舉起刀來。

ヒキ(引) ヒツ

サウ安ク賣ツテハ、引合ハナイ。

引ツ括メテ説明スル。

外套ヲ引ツ掛ケテ歩ク。

モテ(持)

此ノ辭書ハ、學生間ニ持テ囃サレテ居ル。  
アノ事件デハ、當路者モ持テ餘シテ居ル。

アヒ(相)

三越百貨店ハ、相變ラズ繁昌シテ居ル。  
貴様ノ様ナ不埒ナ奴ハ、二度ト邸へ出入リスル  
事ハ、相成ラン。

リマス。

世ハ相持チダ。  
リマス。

那麼賤賣就不合算(不費本錢)。

一括解說。

把外套掛著肩上走道。(披了外套走)

モテ(持)

這個辭典、在學生們裡頭、很被贊稱。  
關於那個事件、當路也很棘手。

アヒ(相)

三越百貨店、照常的很興旺哪。  
像你那麼樣沒天良的東西、往後不准進我  
們家門。

リマス。

世是相依相助者也。  
リマス。



相對テ實際スル。

テ(手)

手嚴シク談判スル。

催促ノ仕方ガ、手緩イ。

又手ニハ、幾分原意ヲ存スル者、或ハ手段勞力

等ノ意ヲ含ム者モ有リマス。

仕官スルニハ、手蔓ガ入ル。

雇人ガ、泥坊ノ手引ヲシタ。

此ノ器械ハ、手際ガ好イ。

子供ガ親爺ノ手助ケヲスル。

療治ガ手後レニナツタ。

僕モアノ始末ニハ、手甲擦ツタ。

一寸シタ手違ヒデ、失敗シテ仕舞ツタ。

以對等の資格、彼此實際。

テ(手)

開嚴厲的談判。

督促の法子、是緩慢。

手者、又有存幾分之原意者。或有含手段勞

力等之意者。

求仕官者、要引援者。

用人做賊の内線。

這機器構造很巧妙。

小孩子幫助父親。

治病已經候時了。

我也是對於那個處置、很棘手了。

因爲一點的齟齬、壞了事。

二、崇敬及ビ稱美ノ意ヲ、附ケ加ヘル者。

ニ(御)

御代ヲ壽グ。

御位ニ御即キ遊バヌ。

オ(御)

御名前ハ、何トオツシヤイマスカ。

御宅ハ、何方デスカ。

御茶モ、御菓子モ有リマス。

御花ガ、綺麗ニ咲キマシタ。

オ花サン。

オ蝶サン。

オミ(大御)

オミ足ガ汚レマス。

二、添加崇敬或稱美之意者。

ニ(御)

壽祝聖代無疆。

繼紹皇位。

オ(御)

大名叫甚麼。

府上在那兒。

茶和點心都有。

花兒開的很好看。

阿花姐々。

阿蝶姐々。

オミ(大御)

您脚要髒哪。



神様ニ大御酒ヲ供ヘル。

ゴ(御)

御姓名ハ、ドナタ様デ入ラツシヤイマスカ。

大キニ御苦勞デシタ。

三、駭黜ノ意ヲ表ハス者。

ヒガ(僻)

多分僕ノ僻目ダラウ。

ソレハ君ノ僻讀ダ。

エセ(似非)

似非學者ニ、欺カレタ。

アレハ、似非歌ヲ讀ム。

クセ(曲)

曲者見附ケタ。

供酒與神仙。

ゴ(御)

貴姓大名是那一位呢(怎麼稱呼)。

很勞您駕了。

三、表白駭黜之意者。

ヒガ(僻)

大半是我看錯了罷。

那是你念錯的。

エセ(似非)

被曲學阿世之徒瞞過。

他作拙歌。

クセ(曲)

我找到壞蛋了。

ダ(駄)

歌法螺ヲ吹イテハイケナイ。

歌菓子ハマヅイ。

クサレ(腐)

腐レ學者ガ、世ヲ誤ル。

ソナ腐レ根性デハ、人ニ見棄テラレル。

ナマ(生)

生兵法ハ、大疵ノ本ダ。(諺)

生覺エデハ、應用ガ利カナイ。

イケ(活)

アレハイケ好カナイ男ダ。

イケブンザイナ口ヲ利クナ。

ウス(薄)

ダ(駄)

不可以說無益的大話(不可拉寬皮)。

粗惡的點心、不好吃。

クサレ(腐)

腐儒誤世。

你那麼樣的喪失天良、就被人家唾棄。

ナマ(生)

一知半解的兵法、是大敗之本。

一知半解的智識、不能應用。

イケ(活)

他是個可厭的人。

不可以說粗野的話。

ウス(薄)



化物ノ話ハ、薄氣味ガ悪イ。

薄汚イ身装ヲシテ歩クト、犬ニ吠エラレル。

アレハ薄野呂ダ。

クソ(糞)

アレハ糞威張リニ威張ル男ダ。

奴ニ負ケテ糞忌々シイ。

バカ(馬鹿)

馬鹿酒ヲ飲ムト、胃ヲ悪クスル。

馬鹿聲ヲ出シテ、人ヲ笑ハセル。

フ(不)フ

不行跡ナ番頭。

不手際ナ細工。

不恰好ナ袴。

妖怪の話、一聽覺著悽愴。

穿著不乾淨的衣服走著道、就被狗吠。

他是稍微魯鈍。

クソ(糞)

他沒有意思、很張威福。

輸他一籌、憤懣之至。

バカ(馬鹿)

無度的喝酒、就壞了胃腑。

發奇怪的聲音、使人笑。

フ(不)フ

品行不好的掌櫃的。

不巧妙的做法。

不合式的裙子。

不蕪ナ挨拶。

フニハ、否定又ハ無イ意ヲ表ハス者モ有リマス。

不勉強ナ職人。

不慣レナ仕事。

不徳義ナ奴。

不意氣ナ洋服。

不器用ナ大工。

ム(無)フ

無分別者ニハ困ル。

田舎者ハ、無作法デイケナイ。

無遠慮ニモ、程ガ有ル。

四、純粹又ハ正眞ノ意ヲ表ハス者。

マ(眞)マン マツ

不期禮的應酬。

フ、有表白否定、或沒有之意者。

不勤謹の工匠們。

不慣的事業。

沒有德義的人。

不雅の洋衣裳。

工藝拙劣の木匠。

ム(無)フ

輕舉誤事的、實在沒法子。

鄉下人、就是不體禮法不好。

便不客氣、也有個程度。

四、表白純粹或正眞等意者。

マ(眞)マン マツ



人ハ、眞心ガ第一ダ。

宮城ハ、東京ノ眞中ニ在リマス。

眞白ナ紙。

キ(生)

藥用ニハ、生葡萄酒ガ佳イ。

傘ヲ貼ル紙ハ、生紙ダ。

生絲ハ、日本ノ主要産物ダ。

ス(素) スツ

素足デ歩ク。

素手デ開フ。

素ツ裸ニナツテ、冷水ヲ浴ビル。

サ(狭、小)

夏ノサ中ニ秋風ガ吹ク。

人以有誠心爲第一要義。

皇城在東京的正中間。

純白の紙張。

キ(生)

對于滋養(當藥吃)、純葡萄酒好。

糊傘の紙張、是用純粹的原料做的。

絲是日本主要的產物。

ス(素) スツ

徒跣走道。

空拳格闘。

赤裸了身體浴涼水。

サ(狭、小)

夏天的正中、即颺秋風。

藥ヲ飲ムカラ、小湯ヲ下サイ。

モ(最)

陰曆ノ八月十五夜ハ、秋ノ最中ダ。

五、其ノ他種々ノ意味ヲ添ヘル者。

モノ(物) 物ハ事物ヲ迫切ニ指定シナイデ、大略ニ言フ詞デス。

アレハ、物言ヒガ優シイ。

四方山ノ物語リニ、夜ヲ更カス。

何處デモ、墓場ハ物凄イ。

アレハ、物真似ガ上手ダ。

クリ(繰) 反復轉換ノ意。

兵隊ガ、練兵場ヘ繰リ出ス。

歴史ハ、同ジ様な事ヲ、繰リ返ス者ダ。

我吃藥、請拿開水。

モ(最)

舊曆八月望夜、是秋天的正中。

五、其他添加諸種意味者。

モノ(物) 物者不直截的指定事物、大略說述之詞也。

他說法柔和。

彼此說著普天下的雜話(談海天)到深夜。

無論何處、有墳墓的地方、是淒涼。

他摹擬各種的樣子是巧妙。

クリ(繰) 反復轉換之意。

兵隊陸續到操場。

歷史是古今反復着一個樣的事情的。



授業ノ時間ヲ繰リ換ヘル。

ユキ(行) イキ。行(へ)動作ノ到達或ハ進行ヲ表

ハス詞デス。

注意ガ、行キ届ク。

政府ノ訓令ガ、一般ニ行キ渡ル。

談判ガ、行キ惱ム。

辯解ガ、行キ詰ル。

行キ掛リ上、後ヘ引カレナイ。

一寸シタ行キ違ヒデ、非常ニ感情ヲ害シタ。

マル(丸) 丸ハ全部ノ意ヲ添ヘル詞デス。

昨日ノ野球ハ、僕等ノ丸勝チダ。

商人モ、相場ノ變動デ、丸儲ケヲスル時ト、丸

損ヲスル時ガアル。

轉換功課の鏡點。

ユキ(行) イキ。行者表白動作之到達或進

行者也。

用心周到。

政府的訓令、普行於都部一般。

交渉一頓挫。

窮於辯解。

既成騎虎之勢、不能退轉。

因爲一點的齟齬、很傷了感情。

マル(丸) 丸者、全部之意也。

昨天的棒球(野球)、是我們的全勝。

買賣人、也因市價的變動、有全部得利的時候、也有全部蝕本的時候。

カタ(片) 片ハ事物ノ一方面又ハ偏倚ノ意ヲ表ハ

ス詞デス。

片足デ立ツ。

片手落チノ處置。

片田舎ニ住ム。

電車ハ片道七錢デス。

以上ノ外、本當諸諸幾空空等ノ接頭語ガ、澤山有ルケレドモ、大抵漢字ノ通りノ意味デスカラ、其ノ例ヲ省略シマス。

第十一章 接尾語

一、〔名詞代名詞ヲ作ル者〕

a、人稱又ハ官職等ノ名詞ニ添ツテ、尊稱又ハ卑稱ノ意ヲ附ケ加ヘル者。

カタ(片) 片者、表白事物之一方面、或偏

倚之意者也。

隻脚支身。

偏頗的處置。

住在偏阪。

電車一去的價錢是七分。

以上之外、本當諸諸幾空空等接頭語、尙有許多。而大抵與漢字本來之意義相同、故舉例從略。

接尾語

一、〔作成名詞代名詞者〕

a、添于人稱或官職等之名詞、附加尊稱或卑稱之意者。



サマ(様) 鄭重ナ尊稱デス。

天子様 神様 御父様

御カア様 社長様

御主人様 近衛様

徳川様 アナタ様 ドナタ様

サン。様ノ音便デ、最モ普通ナ尊稱デス。

御トウサン 御カアサン 山田サン 田中サン

市長サン。

ドノ(殿) ドン。殿ハ多ク公職ノ有ル者ニ用ヒ、

又ドンハ下輩ニ用ヒマス。

聯隊長殿。大尉殿

太郎ドン。オ嬢ドン。

閣下。勅任以上ニ用ヒル尊稱デス。

サマ(様) 鄭重之尊稱也。

天皇陛下。神仙。嚴君。

慈堂。社長台下。

主人閣下。近衛閣下。

徳川閣下。閣下。那一位。

サン。様之音便也。爲一般普通之尊稱。

父親。母親。山田君。田中君。

市長君。

ドノ(殿) ドン 殿者、大概用於有公職者

又ドン、用於賤者。

聯隊長。大尉。

太郎。炊婦。

閣下、用於勅任以上者之尊稱也。

大臣閣下。男爵閣下。少將閣下。

君。君ハ親友ニ用ヒル敬稱デス。

藤田君 次郎君。

ゴ(御) 御ハ親愛ノ意味ヲ含ム敬稱デス。

妹御様 弟御様。

メ(奴) ヤツ(奴) イツ

メ、ヤツ、イツハ、蔑視ノ意ヲ含ム卑稱デス。

車夫奴 傭奴 乞食奴 彼奴 此奴 何奴。

b、複數ヲ作ル者。

ナド(等) ナンド。

君ナド 貴様ナンド。

ナゾ(杯) ナンゾ。

私ナゾ アナタナゾ。

大臣閣下。男爵閣下。少將閣下。

君、用於親友之敬稱也。

藤田君。次郎君。

ゴ(御) 含有親愛意之敬稱也。

令妹。令弟。

メ(奴) ヤツ(奴) イツ

含有蔑視意之卑稱也。

b、作成複數者。

ナド(等) ナンド。

你們。你們甚麼的。

ナゾ(杯) ナンゾ。

我們甚麼的。您們甚麼的。



酒ナンゾ、飲ム者カ。

ラ(等)

僕等ノ知ツタ事デナイ。

何等ノ沙汰モ無イ。

タチ(達)

君達ハ、何ヲ言フ。

友達ガ、來タ。

シユウ(衆)

女中衆 子供衆

レン(連)

書生連 小僧連

ドウシ(同志)漢字同行ノ意。

女同士デ、花見ニ行ク。

我豈敢吃酒。

ラ(等)

不是我們所關知。

沒甚麼消息。

タチ(達)

你們說甚麼。

朋友們來了。

シユウ(衆)

婢女們。 小孩子們。

レン(連)

學生班。 夥計班。

ドウシ(同志)漢字同行之意。

婦女們、相携去看花。

友達同志デ、討論スル。

以上ハ、皆平常語ノ複數ヲ作ル者デス。

ガタ(方)

皇族方 華族方

アナタ方。

ガタハ敬語ノ複數ヲ作ル者デス。

ドモ(共)

私共ハ中華民國ノ留學生デゴザイマス。

手前共ノ店デハ、懸値ハ申シ上ダマセン。

小僧共何ヲスル。

職工共ガ、同盟罷工ヲ企テタ。

共ハ自分ヤ自分ノ關係者ニ用ヒレバ謙遜デ、他人ニ

用ヒレバ蔑視ノ意デス。

朋友們、相互討論。

以上之例、皆作成平常語之複數者也。

ガタ(方)

皇族諸位。 華族諸位。

您們諸位。

ガタ者、作成敬語複數者也。

ドモ(共)

我們是中華民國留學生。

我們舖子、不說貳價。

夥計們做甚麼呢。

工匠們謀同盟罷工。

共者、用於自己及自己之關係者、則為謙遜之

意。用於他人、則為蔑視之意。



c、程度分量狀態氣味性質氣分等ノ意ヲ表ハス者。

サ

山ノ高サ。 海ノ深サ。 痛サヲ怵ヘテ働ク。

苦シサニ堪ヘラレナイ。

子供ノ顔ガ見タサニ、外國マデ出懸ケル。

酒ガ飲ミタサニ、一日働ク。

ミ(味)

板ノ厚ミ。 敵ノ強味。

相手ノ弱味ニ附ケ込ム。

深ミニハマル。

燐ノ光ニハ凄味ヲ帯ビテ居ル。

夜ノ世界ハ、寂シ味ヲ感ジサセル。

ゲ(氣)

c、表白程度分量狀態氣味性質心象等意者。

サ

山ノ高度。 海ノ深度。 忍痛苦而勞作。

不能堪苦惱。

不勝欲見兒女面之情、遠到外國。

不勝欲飲酒之情、終日勞作。

ミ(味)

木板之厚度。 敵之強點。

乘對手之弱點。

陷于深處。

燐光帶有悽愴之氣味。

闇夜世界使人懷淒寂之感。

ゲ(氣)

木綿着物ハ惜シ氣ガ無イカラ、活動スルノニハ  
イイ。

大人氣ノ無イ態度。

ツキ(付)

變ナ顔付キヲスル。

妙ナ目付キデ、人ヲ睨メル。

歩キ付キガ、女ノ様ダ。

フリ(振)

言葉振リガ、九州人ノ様ダ。

着物ノ着振リガ、上手ダ。

人ニ思ハセ振リヲスル。

アヒ(合)

アレトハ、性合ヒガ合ハナイ。

木綿衣服(價錢便宜、穿之者)、因無愛惜  
之意故宜於活動。

無大人寬容之態度。

ツキ(付)

他作奇怪的相貌。

他放異樣之眼光、睨睨人。

他走的樣子、像是女人似的。

フリ(振)

他的語調、像是九州人似的。

他穿著衣裳的法子、很巧妙。

持而不發、使人焦思。

アヒ(合)

我與他性格不合。



空合ヒガ、降り相ダ。  
是レハ、色合ヒガ佳イ。

ガラ(柄)

アソコハ、家柄ガ好イ。  
人柄ガ上品ダ。

d、代名詞的ノ意義ヲ爲ス者

モノ(者) コト(事) ノ(ン)

トコロ(所、處) 附、ドコロ(處)

モノコトノハ、第四變化連體法ノ下(コトハノノ下ニモ添フ)ニ添ツテ、一ツノ名詞ヲ作ル接尾語デ、代名詞的ノ效用ヲシマス。但シ代名詞ノ様ニ、獨立ニハ用ヒラレマセン。漢字ノ者等ノ意デス。元來日本語デハ、連體法ノ下ニハ、名詞ヲ添ヘル規則デ

天氣の様子、要下雨似的。  
這個東西、色彩好。

ガラ(柄)

那家門地好。  
人格上品。

d、爲代名詞樣之意義者。

モノ(者) コト(事) ノ(ン)

トコロ(處、所) 附、ドコロ(處)

モノ(者)コト(事)ノ(ン)者、添于第四變化連體法之下(コト者、又添于ノ之下)作成一個名詞之接尾語、而爲代名詞樣之效用者也。但不能如代名詞自己獨立爲用。漢字之者等之意。原來在日本語、連體法之下、必當添名詞

スガ、意味ノ輕イ時ニハ、モノコトノヲ添ヘマス。但シ其ノ何ト云フ詞ノ代用ヲシテ居ルカト云フコトハ、文章前後ノ關係ニ因ツテ明白ニ分ルノデス。

モノ(者)

a、種々ノ詞ノ代用ヲスル者。

思ヲ知ラナイモノハ、人デハナイ。

電車ハ便利ナモノデス。

名詞ハ事物ノ名ヲ表ハスモノデス。

戰爭ハ罪ナモノデス。

譬ヘテ言ヘバ、マアソソナモノデス。

今日ガ、日曜ナモノデスカ。

右ノ例デハ、モノガ人、物、詞、事、道理、狀態、等々ノ詞ニ、代用セラレテ居マス。此ノ外際限無ク

爲規則。然其意味甚輕之時、添加モノコトノ。但欲知其代用於何名詞、須看文章前後之關係、明白分別。

モノ(者)

a、爲諸種詞之代用者。

不知恩者、非人也。

電車是便利的東西。

名詞、表白事物名稱者也。

戰爭、毒毒人世者也。

譬而言之、大略不過如此。

今天豈得爲禮拜日乎。

在右例、則モノ者、代用於人物詞事道理狀態等之詞。此外無際限、代用於諸種之詞。



種々ノ詞ノ代用ヲシマスガ、ソレハ文章前後ノ關係ニ因ツテ、曉ラレマス。

b、モノハ右ノ例ノ様ニ、何時モ指定ノダデスヲ添ヘテ、事物ヲ説明スル詞デス。ソレ故又事物自然ノ常態道理等ヲ説明スルニモ用ヒ、更ニ一轉シテ命令語ノ様ニ用ヒル者モ有リマス。

習慣ハ、怖ロシイモノデス。

世ノ中ハ、不思議ナモノデス。

怕イ者ハ、見タイモノデス。

人ニハ、誰モ心配ノ有ルモノデス。

右ハ事物自然ノ眞理常態等ヲ説明スル者デ、漢字ノ應該、當然等ノ意デス。

家ノ中デハ、帽子ヲ取ルモノダ。

但須由文章前後之關係、始可曉得。

b、モノ者、如右例、常添加指定助動詞之ダデス以説明事物之詞也、故又用於説明事物自然之常態道理等。再轉有用如命令語者。

習慣是可怕者。

世間是不可思議者。

可怕者、却欲見之。(人之常情也)

人、無論誰、都有所慮。

右例、説明事物自然之眞理常態等者也。漢字應該當然等意。

在家裡、應該摘帽子的。

老人ノ言フ事ハ、注意シテ聞クモノデス。  
人ノ親切ヲ、無ニスルモノデハナイ。  
人ノ祕密ヲ、許クモノデハアリマセン。  
右ノモノダハ、肯定命令、モノデハナイハ否定命令デ、漢字ノ不可須、不須等ノ意ニ當リマス。

コト(事)

a、種々ノ詞ノ代用ヲスル者。

アナタノ言フコトハ、一一御尤デス。

星ノ世界ニモ、動物ガ棲ンデ居ルト云フコトデス。

今朝ノ火事ハ、附火ダト云フコトデス。

以上ノコトハ、話・説・浮説等ノ意デ、漢字ノ聽説

老者所說的話、應該留神聽々の。  
人家的盛情、不可以使之歸于無效。  
人家的祕密、不可以摘發。  
右例之モノダ、表白肯定之命令、モノデハナイ、表白否定之命令、該當于漢字不可須不須等之意。

コト(事)

a、爲諸種詞之代用者。

您所說的話、都很有道理。

聽說是星々の世界、也住着有動物。

聽說今天早晨的火災、是放的火。

以上所舉之コト、有話・説・浮説等之意。該



ノ意ニ當リマス。

アナタハ、哲學ヲ研究シタコトガ有リマスカ。

アレハ、見ダコトモ聞イタコトモ無イ人デス。

以上ノコトハ、經驗記憶等ノ意デ、漢字ノ過ノ意ニ當リマス。

アノ人ハ、僕ノコトヲ、山田ト云ヒマシタ。

アノ人ハ、僕ノコトヲ、次郎ト云ヒマシタ。

アノ人ハ、僕ノコトヲ、女ノ様ダト云ヒマシタ。

アノ人ハ、僕ノコトヲ、商人見タ様ダト云ヒマシタ。

タ。

アノ人ハ、僕ノコトヲ、心配シテ呉レマス。

昔ハ、東京ノコトヲ、江戸ト云ヒマシタ。

當於漢字說之意。

您學過哲學麼。

那個人是我沒見過、又沒聽說過的。

以上所舉之コト、表白經驗記憶等之意、該當於過字之意。

那個人叫我(的姓)、爲山田。

那個人叫我(的名字)、爲次郎。

那個人說、我(的性質狀貌)、像婦女似的。

那個人說我(的風姿)、像商人似的。

那個人爲我(的境遇、給我)費心。

從前稱東京(的地名)、爲江戸。

昔江戸ト云ツタノハ、今ノ東京ノコトデス。

漢字デハ、ナサケノコトヲ、仁ト云ヒマス。

アノ人ハ、日ニ因ツテ、機嫌ノ好イコトモ有リ、

悪イコトモ有リマス。

僕ハ學校ヘ行クノニ、電車ニ乗ルコトモ有リ、歩

クコトモ有リマス。

右ノコトハ、連體法及比定限格ノ下ニ添ツタ者

デ、種々ノ詞ニ代用シテ居マスガ、ソレハ文章前後

ノ關係ニ因ツテ、區別スベキ者デス。

b、形式的ニ添ヘル者。

金ガ無イカラ、何ニモ買フコトガ出來ナイ、

正シイ道ヲ行ツテ居レバ、怕イコトハ無イ。

勉強ニ夢中ニナツテ、飯ヲ食フコトヲ忘レタ。

從前江戸的(地方)、即是現在的東京。

在漢文、以我所謂ナサケ(之意義)爲仁。

那個人、因時不同、也有氣色好的時候、也

有氣色不好的時候。

我上學堂去(的時候)、也有坐電車的時候、

也有走去的時候。

右例之コト者、添于連體法及比定限格之ノ字、

代用於諸種之詞。須由文章前後之關係、悟其

代用於何等意義。

b、無特別之意義、唯爲整備形式而添加者。

因爲是沒有錢、所以不能買甚麼。

遵行正道、就沒有可怕的。

一意專有功、把吃飯忘了。



ソレダカラ、僕ハ言ハナイコトハナイ。  
右ハ連體法ノ下ニ、形式的ニ置ク者デ、僅ニ事ト云フ詞ノ原意ヲ存スル者モ有リ、或ハ殆ド無意義ノ者モ有リマス。此ノ例ノコトニハ、該當スル漢字ガ有リマセン。

行クコトハ行クガ、早ク行キマセン。

有ルコトハ有ルガ、澤山有リマセン。

好イコトハ好イガ、餘リ好クナイ。

以上ノ様ニ、同ジ詞ヲ重ネテ作ル所ノ副詞句ノ中間ニ置ク者ハ、否定ニ應ジテ、不充分ノ意ヲ表ハス者デ、漢字ノ不甚不大等ノ意ニ當リマス。

a、種々ノ詞ニ代用スル者。

所以我懇々切々勸慰的。

右例、爲整備形式、將事字置于連體法之下者也。其中有僅存事字之原意者。又有殆無意義者。此例之コト、無有相當之漢字。

去是去、可是不早去。

有是有、可是不甚多。

好是好、但是不大好。

如以上、置于疊用同語所作副詞句之中間者、應于下文之否定、表白不十分之意、該當於漢字不甚不大等之意。

a、代用於諸種之詞者。

今笑ツタノハ、君デセウ。

昨日買ツタノヲ、モウ一ツ下サイ。

今朝買ツタノヲ、モウ一冊下サイ。

今朝私ノ來タノハ、八時前デシタ。

毎日僕ノ行クノハ、神田ノ或學校デス。

八釜シイカラ、本ヲ讀ムノヲ、一寸止メテ下サイ。

此ノ新聞ハ、モウ見タノデス。

此ノ蝙蝠傘ハ、極安イノデス。

ノハ、右ノ様ニ、時、處、人、物、事ノ全體ニ通ジテ、廣ク名詞ノ代リニ用ヒル詞デ、漢字ノの意デス。

b、連體法或ハ名詞代名詞ノ下ニ、直接ニダデスヲ添ヘタ者ト、中間ニノヲ挿ンダ者トハ、區別ガ有

剛纔笑的、怕是你罷。

昨天我買的(東西)、再給我一個。

今天買的(書)、再給我一本。

今天早晨我來的時刻、還沒到八點鐘。

每天我上課的(學校)是神田區的某學校。

嚷々の很哪、所以停一停念(書)。

這個報是已經看過的。

這個洋傘是價錢很便宜的。

ノ者、如右例、通于時處人物事之全體、廣代用於名詞者也。漢字の之意。

b、於連體法或名詞代名詞之下、直接添加ダデス者、與其中間挿ノ字者、本來有區別。



リマス。後者ハノヲ以テ代表スル原ノ語ヲ指定スルノデス。

甲、アレハ金持ダラウ。

乙、アレハ何時モ立派ナ身装ヲシテ居ルカラ、金持ナシダラウ。(金持ダカラ立派ナ身装ヲシテ居ルダラウノ意)

甲、今日ハ學校ニ何カ有ルデセウ。

乙、今日ハ自動車が大變學校へ來ルカラ、何カ有ルハデセウ。(何カ有ル故自動車ガ大變來ルダラウノ意)

右ノダラウデセウハ漫然タル想像デ、ノダラウノデセウハ或ル事實證據ヲ捕ヘテ、的確ニ想像スル詞デス。此ノ場合ノノンハ故ノ意ヲ含ンデ居マス。

甲、ソレデ善イデスカ。  
コレデ善イデス。

後者則指定以ノ字所代表之原語也。

甲、我想他是有錢的。

乙、他因爲是時常的穿著好看的衣裳、所以應當是有錢的罷。(因爲有錢穿著頂好衣裳之意)

甲、今天學校裡頭、怕是有甚麼事罷。

乙、今天因著汽車到學校很多、所以或者是有甚麼事罷。(因爲有甚麼事情汽車到來的很多罷之意)

右例之ダラウ、デセウ者、屬于漫然想像、ノダラウ、ノデセウ者、捕捉某事實或證據、而下的確之想像者也。此時ノン者含有故字之意。

甲、那樣行麼。  
這様行。

乙、ソシナ事ヲシテ、善イノデスカ。  
大丈夫善イノデス。

丙、アノ人ハ病氣デスカ。  
エイ病氣デス。

丁、アノ人ハ蒼イ顔ヲシテ居ルガ、病氣ナノデスカ。  
エイ病氣ナノデス。

右ノ例ノ甲丙ハ、單純ニ指定デ、乙丁ハ或事實原因ヲ捕ヘテ、的確ニ指定スル詞デス。

物ハ大キイカラツテ貴イノデハナイ、實質ガヨイカラ貴イノダ。

アナタハ大變心配相ナ様子ヲシテ居ルガ、如何シタノデスカ。

乙、做著那麽樣的事情、行麼。  
必定行。

丙、他是有病麼。  
是、有病。

丁、那個人面色蒼白、是得了病麼。  
不錯、是得了病。

右例之甲丙者、爲單純之指定、乙丁者捕捉某事實原因而的確指定之詞也。

物非因大而貴、以實質佳故爲貴。

看您很有疼心的事情似的、是甚麼緣故呢。



アナタハ今度御國へ御歸リダ相デスガ、御郷里ノ方へ歸ラレルノデスカ、ソレトモ北京ノ方へ行カレルノデスカ。

アナタハ大分御年ガ多イト思ツテ居タガ、其ノ實マダ御若インデスネ。

右ノ例ノノモ皆事實原因等ヲ捕ヘテ、的確ニ指定スル者デス。漢字ノ緣故理由實況等ノ意デス。

トコロ(處)

a、程度又ハ價格品類等ノ意。

御シヤツハ、ドンナ處ヲ御目ニ懸ケマスカ。

此ノ邊ノ處ガ、一番ヨク賣レマス。

失禮デスガ、御成績ハドンナ處デスカ。

マア中處デス。

聽說您這回回國。但是回到本省麼、還是去到北京那邊哪。

我想着您年紀太大、其實還年輕哪。

右例之ノ、亦皆捕捉事實原因等、的確指定者也。該當于漢字緣故理由實況等之意。

トコロ(處)

a、程度或價格品類等之意。

衛生衣、把如何樣的品類、給您看呢。

這一類的程度賣的興旺。

請問他攷試的成績、如何樣的程度呢。

大概是中位。

b、時或ハ時ノ狀態ヲ表ハス者デス。

汽車ハタツタ今出タ處デス。

授業ハ今始マル處デス。

私ハ今行カウトスル處デス。

櫻ハ今ガ見處デス。

此處ガ思案ノ仕處デス。

アノ男ハ、一寸見タ處ハ、粗放ナ様ダガ、其ノ實中々綿密ナ男デス。

今ノ處デハ、内閣ノ更迭モ、當分有リマスマイ。

アレノ怒ツタ處ハ、實ニ見ラレタ面相デハアリマ

セン。

c、反對ノ意ヲ表ハス者デ、漢字ノ雖ノ意デス。

b、表白時或時之狀態之詞也。

火車是剛剛開的。

功課現在正要開的時候。

我現在正要去的時候。

櫻花現在正是好看的時候。

這正是十分要熟慮之時也。

那個人是乍一看、像是以粗放為性的樣子、

可是其實頗細心緻密的人。

按著現在的情形看起來、怕是暫且沒有內閣

更迭。

他生氣的相貌、實在看不得。

c、表白反對之意者、漢字雖之意。



アレハ剛情ダカラ、僕ナドガ忠告シタ處デ、到底  
聽キ入レルモノデハナイ。

コンナムヅカシイ本ハ、讀ンダ處デ、兎テモ分ル  
モノデナイカラ、畢竟無駄ダ。

ドコロ(處、所) 處ハ否定ニ應ジテ、比較ノ標準ト  
差ノ最モ甚シイ意ヲ表ハス者デ、積極ト消極ノ  
二ツノ場合ガアリマス。漢字不用說ノ意デス。

(問) アノ人ハ學士デスカ。

(積極) 學士處カ有名ナ博士デス。

(消極) 學士處カ中學モ卒業シテ居マセン。

(問) アナタノ御國ハ、此處カラ百里モ離レテ居リ  
マスカ。

(積極) 百里處カ、一萬里モ離レテ居リマス。

他是剛復爲性、所以雖然我們忠告、到底不  
聽。

這麼樣很難解的書、讀了也到底不可理會、  
所以畢竟勞而無功。

ドコロ(處) 者、對應下文之否定、表白與比  
較之標準相距甚遠者也。有積極消極之二方面。  
漢字不用說之意。

(問) 那個人是學士麼。

(積極) 不用說學士、他是有名的博士。

(消極) 不用說學士、他是中學校也未會畢業。

(問) 您的故鄉是離這兒一百多里的遠地方  
麼。

(積極) 豈唯一百里哉、離這兒一萬多里的遠

(消極) 百里處カ、十里モ有リマセン。

【備放】 處ガ處デヲ獨立ニ用ヒレバ、接續詞ニ成  
リマス。然而、於是乎等ノ意デス。

二、動詞ヲ作ル者。

此ノ種類ヲ分ケテ、凡ソ左ノ諸類トシマス。

a、【狀態ヲ表ハス者】

メク(カ四、自) 自然ニ其ノ氣分ノ現ハレル意  
デス。

春メク。

光ガ微メク。

メカス(サ四、他) 故意ニ其ノ氣分ヲ現ハス意。  
店ノ飾付ヲ、當世メカス。

地方的。

(消極) 不用說一百里、就是十里也沒有。

【備放】 處ガ處デ者獨立用之則爲接續詞。  
然而於是乎等之意。

二、作成動詞者。

此種類大約分爲左之諸類。

a、【表白狀態者】

メク。其氣分自然發現之意。

春色微動。

光明微輝。

メカス。故意表現其氣分之意。  
隨著時興的樣子、裝飾鋪子。



此方ノ意向ヲ、仄メカス。

ビル(ハ上一、自) 自然ニ其ノ氣分ヲ含有スル意。

古ビタ帽子。

田舎ビタ老人。

アル(ラ四、自) 振ル。故意ニ其ノ態度ヲ裝フ意。

アレハ豪傑ブルガ好キダ。

學者ブルト笑ハレル。

バム(マ四、自) 自然ニ其ノ色彩氣分ヲ含有スル意。

霜ガ下リテ、木ノ葉ガ黄バンデ來タ。

政界ガ氣色バンデ來タ。

ジミル(マ上一、自) 染ミル。自然ニ、其ノ氣分ニ

對他微露我們的意向。

ビル。自然含有其氣分之意。

帶著古色的帽子。

帶著田舍人樣子的老頭兒。

アル。故意裝其態度之意。

他喜裝作豪傑的樣子。

若是假裝碩學的樣子，就被人笑。

バム。自然含有其色彩氣分之意。

下霜了，樹葉子就帶著黃色起來了。

政界帶著活氣起來了。

ジミル。自然類似於其氣分之意。

類スル意。

老人ジミタ考。

氣狂ヒジミタ舉動。

ガル(ラ四、自、他)

ガルハ其ノ感情ヲ激シク動作ニ現ハス意デス。

御嬢サンガ客ヲ見テ恥カシガル。

子供ガ寝メラレテ嬉シガル。

婦人ハ派手ナ著物ヲ着タガル。

バル(ラ四、自) 張ル。皇張又劇甚ノ意。

役人ガ威張ル。糊ガ硬バル。

老人ガ四角バツタ挨拶ヲスル。

ケル(カ下一、自) 其ノ狀勢ヲ馴致スル意。

壁ガ煤ケル。洋服ガ赤茶ケル。

座ガ白ケル。士氣ガダラケル。

類于老人的意思。類于狂人的舉動。

ガル

ガル者、激發其感情於動作之意。

姑娘見客人含羞。

小孩子被稱讚，喜色滿面。

婦女們也不得穿華美的衣裳。

バル。張皇又劇甚之意。

官吏作威。漿子硬化了。

老者應酬的話，很有規矩。

ケル。馴致其狀勢之意。

牆壁燻黑了。洋服成爲赤茶色了。

在座的大家都敗興。志氣頹廢。



ゲル(カ下一、自) 其ノ氣勢ニ類スル意。  
餘リ馬鹿<sup>バカ</sup>グテ居ル。 阿呆<sup>アホ</sup>グタ事ヲ爲ルナ。

アレハ目的ガハズレテ、シヨグテ居ル。

マル(ラ四、自) 自然ニ其ノ状態ニ成ル意。

評判ガ高マル。(高ク成ル)

奥<sup>おく</sup>マツタ屋敷。 土地ガ窪<sup>くぼ</sup>マル。(窪ク成ル)

メル(マ下一、他) 故意ニ其ノ状態ニ爲ル意。

土ヲ丸<sup>まる</sup>メル。(土ヲ丸クスル)

時間ヲ早<sup>はや</sup>メル。

ズボンヲ細<sup>こま</sup>メニ仕立テル。

カネル(ナ下一、自、他) 兼<sup>か</sup>ネル。難<sup>か</sup>イ意。

氣<sup>き</sup>ノ毒<sup>どく</sup>デ、斷<sup>つ</sup>リヲ言<sup>い</sup>ヒ兼<sup>か</sup>ネル。

ムヅカシクツテ文章ガ讀<sup>よ</sup>ミ兼<sup>か</sup>ネル。

ゲル 類于其氣勢之意。  
很糊塗似的。 別做糊塗似的事情。

他因爲目的不中、意氣銷沈了。

マル。自然成爲其狀態之意。

名聲漸々高了。

在深奥處的第宅。 土地窪了。

メル。故意使爲其狀態之意。

煉土爲丸。

提前鐘點。

把洋褲子往瘦裏做。

カネル 難字之意。

惻然憐憫、難遣辭退。

文意艱澁、殆難了解。

寒クテ、朝早ク起キ兼<sup>か</sup>ネル。

b、〔上ノ詞ノ語氣ヲ強メル者〕

此ノ種類ノ接尾語ハ甚<sup>し</sup>頻<sup>ひん</sup>盛<sup>せい</sup>等ノ文字ヲ以テ譯<sup>やく</sup>ス可<sup>べ</sup>キ者ガ多<sup>おほ</sup>ウゴザイマス。

タテル(タ下一、自、他)立テル

物價<sup>ぶつが</sup>ガ騰<sup>とん</sup>貴<sup>き</sup>シテ、世間<sup>よこ</sup>ガ騒<sup>さわ</sup>ギ立<sup>た</sup>テル。

赤<sup>あか</sup>ン坊<sup>ぼく</sup>ガ泣<sup>な</sup>キ立<sup>た</sup>テル。

タツ(タ四、自)立ツ

湯<sup>ゆ</sup>ガ煮<sup>に</sup>エ立<sup>た</sup>ツ。

火<sup>ひ</sup>ガ燃<sup>も</sup>エ立<sup>た</sup>ツ。

カヘル(ラ四、自)反ル

巡<sup>めぐ</sup>査<sup>しや</sup>ガ威<sup>い</sup>張<sup>ちやう</sup>リ反<sup>かへ</sup>ル。

湯<sup>ゆ</sup>ガ煮<sup>に</sup>エ繰<sup>く</sup>リ反<sup>かへ</sup>ツテ居<sup>ゐ</sup>ル。

冷得利害、早晨不能早起來。

b、〔強上位品詞之語氣者〕

此種類之接尾語、可以甚頻盛等字譯出者頗多。

タテル

因著物價騰貴、世間嚷々的很哪。

赤子很哭著。

タツ

開水開起來。

火燃起來。

カヘル

巡捕很作威。

開水很沸騰。



マハル(ラ四、自、他)廻ル

妻君が亭主ノ手柄ヲ觸レ廻ル。  
子供ガ一日飛ビ廻ツテ遊ブ。

チラス(サ四、他)散ス。

短氣ナ親爺ガ子供ニ怒リ散ス。  
外テ受ケタ鬱憤ヲ、家内ニ當リ散ス。

ツケル(カ、下、自他)着ケル。

先生ガ生徒ヲ叱リ付ケル。  
主人ガ番頭ニ怒リ付ケル。

犬ガ兎ヲ見ツケタ。

赤ン坊ガ母親ノ聲ヲ聽キ付ケル。

ツケルニハ、常ニ或動作ニ慣レル意ヲ表ハス者モ有リマス。

マハル

細君向各處宣傳自家良人の功名。  
小孩子們一天跳躍嬉戲。

チラス

有脾氣の父親、漫罵小孩子。  
在外受不得的憤懣、回家移怒於眷族。

ツケル

教習叱呵學生。  
財東怒罵掌櫃的。

狗看見了野猫。

赤子聽見母親的聲音。

ツケル之中、有表示常慣于某動作之意者。

讀ミツケタ文章ハ、分リ易イ、

老人ハ食ベ付ケナイ物ヲ食ベルト、胃ヲ惡クスル。  
(ナレ)

聞キツケナイ西洋人ノ話ハ、聞取リ憎イ。

ツク(カ、四、自)付ク。

犬ガ乞食ニ吠エ付ク。  
債務者ガ債權者ニ泣付イテ、返済期限ヲ猶豫シテ貰フ。

田舎ニ居付ク。

ツク(カ、四、自)付ク

心意ノ、其ノ事ニ及ブ意。  
自分ノ手落ちニ、心付ク。  
自分ノ、時勢ニ後レタノニ氣附ク。

念慣的文章、很容易明白。

老頭若是一吃沒吃過的東西、就壞胃腑。

沒聽慣西洋人的說話、很難聽懂。

ツク(カ、四、自)

狗頻吠花子。  
債務者哀訴債權者、請緩還銀子的期限。

定住田舎。

ツク

心意及於其事之意。  
想到自己的失策。  
自己醒悟不及時勢。



犯罪者ガ、刑事巡查ノ、尾行シテ居ルノニ、感付カナイ。

キル(ラ、四、自、他)切ル

花婿ガ澄シ切ツテ居ル。

井戸ノ水ガ澄ミ切ル。

此ノキルハ盡ス意ニモ用ヒマス。

座敷ヲ貸シ切ル。

新聞ヲ賣リ切ル。

キレル(ラ、下、自)切レル。

雑誌ガ賣リ切レタ。

イル(ラ、四、自、他)入ル。

アノ人ノ義理堅イニハ恐レ入ル。

甚ダ不成績デ恥ヂ入ル。

犯罪者、還沒感得刑事巡查尾行。

キル

新郎做出矜持(真面目)の様子。

井水清澈。

此キル、又用於盡ス之意。

把屋子、全都借給了。

把報紙、全部賣盡了。

キレル

雜誌全都賣盡了。

イル

對於那人的情誼敦厚、很佩服。

成績甚不好、實在羞恥。

道理ヲ分ケテ頼ミ入ル。

コム(マ、四、自、他)込ムハ入ルヨリモ、語氣ガ一段強イ。

深ク考ヘ込ム。

彈丸ヲ填メ込ム。

地面ガ落チ込ム。

〔動作ヲ始メル意ヲ表ハス者ト、終ル意ヲ表ハス者〕

カカル(ラ、四、自)懸ル

日ガ出カカル。

ランプガ消エカカル。

カケル(カ、下、自、他)懸ケル

電車ガ動キカケル。

詳說道理、懇切托他。

コム(マ、四、自、他)比入ル語氣更強。

潛思默考。

填裝彈丸。

地面陷沒。

〔表白開始動作之意者、與表白終止動作之意者〕

カカル

太陽將出。

洋燈將滅。

カケル

電車走起來。



花ガ咲キカケル。

手紙ヲ書キカケル。

ダス(サ四、自、他)出ス

雨ガ降り出ス。

夏物ヲ賣リ出ス。

右ノ三語ハ、皆動作ノ始マル意デス。

アゲル(カ下一、他)上ゲル。

原稿ヲ書キ上ゲル。

仕事ヲ仕上ゲル。

アガル(ラ四、自)上ル

新シイ家ガ出来上ル。

物價ガ高クテ、臆ガ干上ツテ仕舞フ。

右ノ二語ハ、動作ノ終ル意ヲ表ハス者デス。

花開起來。

寫起信件。

ダス

雨下起來。

賣起夏天用的衣件來。

右三語、皆表白開始動作者也。

アゲル

寫完原稿。

做完事務。

アガル

新房子落成。

因爲是物價騰貴。不能吃飯了。

右二語、表白完了動作者也。

d、【其他種々ノ意ヲ添ヘル者】

アフ(ハ四、自、他)(合フ)相互ノ意。

品物ヲ換ヘ合フ。

意見ヲ談ジ合フ。

乗合ヒ舟。 乗合ヒ自動車。

アハセル(サ下一、他)(合セル)相借ニスル意、又

ハ偶然ノ意。

様子ヲ問ヒ合セル。

友達ヲ待チ合セル。

來合セタ人。

居合セタ友人。

ソコナフ(ハ四、自、他)(損フ)誤ル意。

汽車ニ乘リ損フ。

d、【其他添加種々之意者】

アフ。相互之意。

交換東西。

相互交談意見。

衆人同坐的船。 共汽車。

アハセル。相借之意。又偶然之意。

打聽情形。

彼此等著朋友。

偶然同到的人。

偶然同在的人。

ソコナフ。錯誤之意。

就誤火車的時候。



文章ヲ書キ損フ。

リコネル(ナ下一、自、他)誤ル意。

本ヲ讀ミ損ネタ。

舟ニ乘リ損ネテ、海ニ落チル。

三、形容詞ヲ作ル者。

ヨイ(又イイ)(ク活)好イ、易イノ兩義。

新型ノ帽子ハ、見ヨイ。

此ノ帽子ハ、被リ好イ。

此ノ筆ハ、書キ好イ。

慣レタ事ハ、仕ヨイ。

ニクイ(ク活)憎、惡(難)イ意。

字ガ細クテ、見憎イ。

箸ガ長クテ、食ベ憎イ。

寫錯文章。

リコネル。錯誤之意。

念錯了書。

欲乘舟、誤失脚、落海中。

三、作成形容詞者。

ヨイ。好、易兩義。

時興様子の帽子好看。

這個帽子戴著合式。

這管筆好寫。

做慣的事情、容易做。

ニクイ。難字之義。

字細得、不容易看。

筷子長得、不容易吃。

此ノ椅子ハ、懸ケ憎イ。

ツライ(ク活)(辛イ)。惡イ難イノ兩義。

腫物ガ出來テ、坐リヅライ。

主人ガ喧シクテ、店員ガ居ヅライ。

自分ノ手柄話ハ、聞キヅライ。

グルシイ(シク活)(苦シイ)。惡イ難イノ兩義。

見苦シイ服裝。

アレノ話ハ、訥辯デ聞キ苦シイ。

ガマシイ(シク活)(ケ間敷イ)。ソレニ類スル意。

辯解ガマシイ事ハ、言ハナイ。

鳥游ガマシイ振舞ヲスル。

議論ガマシイ事ヲ言フ。

ホイ(ク活)其ノ性質氣分ヲ含ム意。又容易ノ意デ

這個椅子坐著不合式。

ツライ

生了疔疽、不好坐。

財東規矩很嚴厲、店員難住。

自己的功名談、聽著不好過。

グルシイ。惡難兩義。

不好看的裝扮。

那個人的說話、因為訥辯、很難聽。

ガマシイ。類似之意。

不敢疏辯。

舉動像是含糊似的。

說話是類于議論的。

ホイ。含有其性質氣分之意。又容易之意。



ス。

アレハ、怒リツボイ人ダ。

年寄ハ、忘レツボイ。

白ツボイズボン。

水ツボイ料理。

パイ(ク活)。ボイノ轉訛。

梅ハ酸ツパイ。

クサイ(ク活)(臭イ)。其ノ臭味氣分ヲ帶ビル意。

ソナ馬鹿臭イ事ヲ、言ヒナサルナ。

アノ男ハ、年寄臭イ様子ヲシテ居ル。

繁華ナ町ハ、段々バタ臭クナツテ來タ。

面倒臭イ仕事ハイヤダ。

ラシイ(シク活)様子ノ其レニ似ル意。漢字ノ彷彿

他是動不動就生氣的人。

老頭是時常的忘記。

含有點兒白色的洋褲子。

含有水氣的菜。

パイ者ボイ之轉訛。

梅子含有酸味。

クサイ。帶有其臭味氣分之意。

不可以說那麼模糊塗似的話。

那個人的樣子，像是老頭似的。

繁華的市街，漸々帶著西洋式的臭味來了。

很麻煩的事情，我不喜歡。

ラシイ。様子類似其事物之意。漢字彷彿像

像似様子等ノ意デス。(助動詞ラシイハ第三變化ニ)

一體男ハ男ラシク、女ハ女ラシイノガ好イ。

ソナ阿呆ラシイコトヲ、言ヒ給フナ。

四、名詞又ハ形容動詞ヲ作者。(此ノ内ニハ、未ダ

完全ナ接尾語ニ成リ切ラナイ者モ若干有ルガ、同

種類ノ語ト比較研究ノ便宜上、茲ニ附説シマス)

ヤウ(様)

a、比況ノ意ニ用ヒル者デ、名詞代名詞ヲ以テ比ス

ル者ト、動詞形容詞等ヲ以テ比スル者ト有リマス。

何將軍ノ聲ハ、雷ノ様デス。

アノオ嬢サンノ裝束ハ、花ノ様ニ美シイ。

宗教家ノ心懸ケハ、神様ノ様デナケレバナリマセ

似様子等之意。(助動詞ラシイ、接續子第三)

原來丈夫帶著丈夫的氣象。婦人帶著婦人

的氣象、那纔好。

不可以說那麼模糊塗似的話。

四、作成名詞或形容動詞者。(但此内未成完全

之接尾語者、尙有若干。但爲便與同種類語

比較研究計、附説於茲)

ヤウ

a、用於比況之意者也。其中有以名詞代名詞

比者。有以動詞形容詞等比者。

某將軍的聲音、像是劈雷似的。

那個姑娘的扮裝很美、像是花似的。

宗教家的心術、總得如神。



此ノ様ナ帽子ヲ、一ツ見セテ下サイ。

アノ様ナ善イ人ハ、何處ニモ有リマセン。

アナタノ御命令ナラ、如何様ナ事デモ致シマス。

【備攷】コンナソソナアンナドンナハ、此ノ様ナ其ノ様ナアノ様ナドノ様ナノ音便デス。

ソソナ虎ノ哮エル様ナ聲デ、話ヲスルト、子供ガ泣キ出シマス。

地球ノ形ハ、橙ノ大キイ様ナモノデス。

青年ハ、天ヘモ登ル様ナ心持デ、居テ欲シイモノデス。

b、外部カラ見タ想像ヲ表ハス語デ様子ノ意ヲ示ス

把這麼樣的帽子，給我看一看。

那麼樣的善人，是那兒也沒有的。

是您的吩咐，我無論甚麼都可以辦。

【備攷】コンナ、ソソナ、アンナ、ドンナ者、爲此ノ様ナ、其ノ様ナ、彼ノ様ナ、ドノ様ナ之音便。

用那麼樣老虎咆哮似的大聲一說，小孩子就哭起來。

地球的形狀，恰似橙子大。

我們盼望青年常持意氣冲天之氣象。

b、從外部觀而下想像者。様子之意也。該當

者デス。漢字ノ光景彷彿像……似等ノ意ニ當リマ

ス。ラシイニ通用シマス。

此ノ井戸ハ、大分深イ様デス。

其ノ本ハ、中々ムヅカシイ様デス。

アノ人ハ、非常ニ抱負ガ有ル様デス。

某サンモ大分君ノ事ヲ心配シテ居ル様デス。

c、狀態ノ意ヲ表ハス者デス。時トシテハ漢字ノ使

ノ文字ヲ以テ、譯シテ宜シイ者ガ有リマス。

人ニ褒メラレル様ニ、善イ事ヲナサイ。

是カラ怠ケナイ様ニ、勉強ナサイ。

暑イカラ風ノ入ル様ニ、窓ヲ開ケテ下サイ。

一寸給仕ニ來ル様ニ、言ツテ下サイ。

體ノ丈夫ニナル様ニ、御注意ナサイ。

于漢字光景彷彿像似等之意。通用于ラシイ。

這個井，光景頗深。

那本書，像是很難似的。

那個人像是很有大抱負似的。

某君也像是關於您的事情，很掛心似的。

c、表白狀態之意者也。有時可以漢字使而譯出者。

動作善行，可以受人之贊賞。

以後勉勵勿怠。

天熱，請開窗使風入室。

請一呼書童來。

務須注意使身體強健。



サウ(相)

a、外部カラ看タ様子ヲ表ハス者デ、動詞形容詞ノ名詞ノ形ニナツタ者ト結合シテ、形容動詞ヲ作リマス。漢字ノ光景、彷彿、像……似等ノ意デ、様ト略同意デス。

アノ人ハ、智慧ガ有リ相デス。(有ル様デス)

アレハ餘程學問ガ深相デス。(深イ様デス)

此ノ果物ハ旨相デ、旨クアリマセン。

アノ會社ハ、先達ノ打撃以來、餘程經營ガ苦シ相デス。

アノ男ハ、何時モ愉快相ナ顔付ヲシテ居マス。

アレハ、性質ガ如何ニモ善相ナ男デス。

アノ家モ、見懸ケ程、財産ハ無サ相デス。

サウ。

a、表白從外部所見之光景者也。與動詞形容詞之轉成名詞、結合而作成形容動詞。該當於漢字光景彷彿像似等之意。與樣略相同。

他的光景是有智慧的。

他是學識淵博的樣子。

這個鮮菓子、一見如甘而不甘。

那個公司、前幾天一頓挫之後、光景似乎經營棘手。

那個人的相貌、常有喜歡的樣子。

他似乎性質甚好。

那家好像無可比外觀盛大之鉅資。

b、傳聞ノ意ヲ表ハス者デ、動詞形容詞等ノ第四變化ニ接續シテ、形容動詞ヲ作リマス。漢字ノ聽說ノ意デス。ト云フ話デス。ト云フニ同ジデス。

近頃頻ニ廣告ノアル何藥ハ、非常ニ好ク利ク相デス。(好ク利クト云フ話デス)

アノ藥ハ、各國ノ專賣特許ヲ得テ居ル相デス。

アノ人ハ、格別ナ經歷モ無イ相ダガ、近頃ノ評判ト言ツタラ、大シタモノデス。

帽子ハコンナ型ガ、近頃ノ流行ダ相デス。

秋田サント春山サントハ、大變似テ居ルト思ツタラ、從兄弟同士ダ相デスモノ、其ノ管デス。

トホリ(通) ドホリ

a、ソレト同ジ意ヲ表ハス者デ、動詞助動詞ノ第四

トホリ(通) ドホリ

トホリ(通) ドホリ

トホリ(通) ドホリ

b、表白傳聞之意者也。接續于動詞。形容詞之第四變化、作成形容動詞、該當於漢字聽說之意。通用于一ト云フ話デス。

聽說近來頻々告白の某藥、是效驗很顯著

的。

聽說那個藥、得有各國之專賣特許權。

聽說那個人、沒有格外的閱歷、但是近來他的名聲實在很顯著。

聽說帽子是這麼樣的樣式、近來時興。

我想著秋田君與春山君相貌甚相似。他們兩個原來是表兄弟、自然了。

トホリ(通) ドホリ

a、表白與共事物相同之意者也。添于動詞助

トホリ(通) ドホリ

トホリ(通) ドホリ

トホリ(通) ドホリ



變化及ビ名詞代名詞ノ下(ノヲ隔テテ續ク者モ、有リマス)ニ添ツテ、形容動詞ヲ作リマス。漢字ノ如クノ意デス。

僕ノ境遇ハ、君ノ知ラレル通り、實際哀レナモノデス。

事情ハ全ク右ノ通りデスカラ、然ル可ク御承知ナスツテ下サイ。

アナタノ御意見通りニ、御處分ナスツテ下サイ。

b、大約ノ程度分量ヲ表ハス副詞ヲ作ル者デ、方ト略同意デス。漢字ノ大約光景等ノ意デス。

何處ノ町デモ、其ノ日稼ギノ貧乏人ガ、八九分通リアリマス。

花ハ何デモ七八分通り咲イタ時ガ、一番見頃デ

動詞之第四變化及名詞代名詞之下(又有隔ノ字而接續者)作成形容動詞、該當于漢字如之

意。

我的境遇、如君所知、實在可憐之至。

情形完全如右、請您諒察。

隨著您的意見、便宜辦理。

b、作成副詞、以表白大約之程度分量。與方之意、略相同。該當於漢字大約光景等之意。

無論何處市街、由日日勤勞始得衣食之貧民居八九分光景。

花那一種都是、開到七八分模樣之時、最悅

ス。

ガチ(勝) 其ノ事ノ屢有ル意味ヲ表ハス者デ、名詞或ハ動詞形容詞等ノ名詞法ニ添ツテ、形容動詞ヲ作リマス。漢字ノ屢ノ意デス。

昨今ハ兎角雨天勝デ困リマス。

近頃ハ病氣ノ爲ニ、學校モ自然休ミ勝デス。

粗勿ハ、誰ニモ有リ勝デス。

ダラケ 名詞ニ添ツテ蕪穢雜多ノ意ヲ表ハス者デス。漢字滿之意。

昨日ノ嵐デ、部屋中埃ダラケデス。

夏季休業ノ爲ニ、體操場ガ草ダラケニナリマシ

タ。

新聞ノ三面記事ヲ見ルト、イヤナ事ダラケデス。

目。

ガチ(勝) 表白屢有其事之意者也。添于名詞或動詞形容詞等之名詞法、作成形容動詞。該當于漢字屢次之意。

這幾天、動不動就下雨、很爲難。

近來因爲得病、自然就屢次告假缺課。

輕忽失舉、無論誰都時常免不了。

ダラケ者、添于名詞、表白蕪穢雜多之意。漢字滿之意。

因爲昨天颳了大風、屋子裡頭都是埃塵滿了。

因著放假、操場裡頭滿地都生了草哪。

一看新報第三頁裡頭的記事、滿面都是可厭



ツモリ(積) 附 ミコミ(見込)

積リハ名詞代名詞ノヲ帶ビタ者、又ハ動詞形容詞ノ第四變化ニ添ツテ、名詞或ハ形容動詞ヲ作リマス。見込ト言フ詞ト、通用スル者モ有リマス。漢字ノ打算意思豫期等ノ意デス。

アノ先生ハ、何時マデモ、僕ヲ子供ノ積リデ、アヒシラツテ居リマス。

アレナドハ、マダ本ノ青書生ノ積リデ居タラ、何時カ、大臣ニ成ツテシマツタ。

今度ノ試験ハ、大概及第ノ積リ(見込)デス。

時局ガ治マリ次第、物價ハ下ル積リ(見込)デス。

ハズ(答) 附 ワケ(譯) 答ハ譯ト言フ詞ト同ジ様ニ

的事情。

ツモリ 附 ミコミ。

積リ者、添子名詞代名詞之帶有ノ字者、及動詞形容詞之第四變化、作成名詞、有通用於與見込一樣之義者。該當於漢字打算意思豫期等之意。

那位先生、看我今猶小兒。

我看他們今猶青衿、安知早已陞了大臣了。

這回的考試、我算計大概是中了。

我以為隨著時局平靜、物價就落了。

ハズ 附 ワケ。

理由ノ意ニ用ヒマスガ、少シ用法ガ違ヒマス。答ハ原因ヲ知ツテ、結果ヲ説明スル時ニバカリ用ヒマス。ソレダカラ解答ニハ用ヒマスガ、疑問ニハ用ヒマセシ。譯ハ疑問ニモ解答ニモ、兩方ニ用ヒマス。譯ハ單ニ理由ノ意デ、答ハ當然ノ理由ノ意デス。

アノ人ハ、近頃何ダカ薩張リ元氣ガ有リマセンガドウシタ譯デセウカ。

其ノ答(譯) デス、重ネ重ネノ不幸ニ遭ヒマシタカラ。

此ノ時計ハ、非常ニ値段ガ高イガ、ドウ言フ譯デスカ。

ソレハ才高イ答(譯)デス、ダイヤガ欲メテ有リマスカラ。

答者與譯相同、用於理由之意。但稍異其用法。答者知原因而說明結果之時、獨用之。故專用於解答、無用於疑問者。譯則疑問解答共用之。譯唯有理由之意。答則當然之理由也。

那個人、近來不知何故。簡直英氣沮喪了、

是甚麼緣故呢。

那是當然的、因為他類々遭遇不幸的。

這個錶價錢太貴、甚麼緣故呢。

那個價錢貴、有當然的理由、因為金剛石箱在錶裡頭。



答ハ、豫定又ハ約束等ノ意ニモ用ヒマス。

今日ノ會ニハ、某博士モ出席スル答デス。

今日ハ、父ガ參ル答デスガ、急ニ差支ガ起リマシ

タカラ、私ガ名代デ伺ヒマシタ。

春季ノ運動會ハ、毎年四月下旬ニ開ク答デス。

譯ハ實況又ハ狀態等ノ意ニモ用ヒマス。此ノ場合ニ

ハ、次第ト言フ詞ニ、通用シマス。漢字ノ情形ノ意

デス。

冬ニナツテモ、單物ヲ着テ居ル様ナ譯(次第)デス

カラ、無論外套ナドハ有リマセン。

三度ノ食事モ碌々食ベラレナイ様ナ譯(次第)デス

カラ贅澤ナ眞似ナドハ、思ヒモ寄ラナイ事デス。

アノ男ハ、西洋ニ十年モ留學シナガラ、英語一ツ

答者、又用於豫定或約束等之意。

今天所開的某會、是約會著某博士到會。

今天豫定是家父到此。可是因為有急事、所

以我代他伺候了。

春季的運動會、豫定是每年四月下旬開的。

譯者、用於實況或狀態等之意者也。如此之時、

通用於與次第一樣之意義。漢字情形之意也。

我現在的情形、雖然到了冬天、還是穿著夏

衫、所以自然沒有外套等的衣件。

現在的情形、一天三回的飯、也不能好好吃

所以類于奢華的事情、想也不想。

那個人的實在情形、留過西洋十年多、尚且

話セナイ様ナ譯(次第)デスモノ、ドウシテ専門

學ナゾ、出來ル者デスカ。

五、副詞ヲ作ル者。

ナガラ(乍) 附 ツツ

a、一時ニ兩事ヲ兼ネ行フ意デ、漢字ノ且ノ意デス。

又助詞ノツツニ通ズル者モ有リマス。

學科ノ講義ハ、要點ヲ黑板ニ書キ乍ラ(ツツ)順序

正シク親切ニ説明ヲシテ吳レルト、能ク分リマ

ス。

今ノ世ハ、社會ノ趨勢ヲ察シ乍ラ(ツツ)、事ヲ爲

ナイト、直ニ世間カラ棄テラレマス。

花見乍ラ、上野マデ散步ニ行ク。

床場ヘ行キ乍ラ、風呂ニ行ク。

不能說一句英國話、所以豈能曉得專門的

科學呢。

五、作成副詞者。

ナガラ 附 ツツ

a、表白一時兼行兩事之意者也。漢字且之意。

又通用於助詞之ツツ。

學科的講義、且摘要點寫於黑板、且按序次

懇切解說、就很明白。

現在的時勢、若是非一面察社會的趨勢、一

面辦各自的事業、則見棄於世。

爲觀花且散步、去到上野。

順著到理髮舖子的便、且到澡塘。



b、反對シタニツノ事ヲ兼ネル意デ、漢字ノ雖又ハ  
不<sub>レ</sub>管<sub>レ</sub>ノ意ニ當リマス。

無駄ナ物ハ、買フマイト思ヒ乍ラ、町へ出ルト、  
ツイ詰ラナイ物ヲ買ツタイケマセン。

アレハ善クナイ男ト知リ乍ラ、交際シテ居ナケレ  
バナラナイ關係デス。

記憶ノ惡イ事ハ、自分乍ラ呆レマス。

c、一樣ニ又ハ依然等ノ意ヲ表ハス者デス。

アノ人ノ兄弟ハ、五人乍ラ皆立派ナ人物デス。

何時モ乍ラ、アノ人ノ親切ニハ感心シマス。

外套ヲ着テ居乍ラ、御挨拶ヲ爲テハ、失禮デスガ、

b、兼行反對之兩事之意。該當於漢字雖或不  
管之意。

雖然想著要不買無益的東西、可是一到街上  
不知不覺的就買些沒意思的東西、很不  
好。

雖然知道他是個不好的人、可是我們彼此的  
關係、到底不可以不交際。

我記憶不好、自己尙且不禁呆然自失。

c、表白一樣或依然等之意者。

那個人的弟兄、五個人都是一個樣的能耐的  
人。

無論何時、同是佩服了那個人的感情。

穿著外套應對、那是失禮的、可是因為我傷

風ヲ引イテ居マスカラ、御宥シ下サイ。

ガテラ カタカタ(旁) 附 カタハラ(傍)

此ノ三語ハ、共ニ二ツノ目的ヲ兼ネル意デ、似寄ツ  
タ語デスガ、ガテラハ下ノ句ガ主目的デ、上ノ句ガ  
副目的デス。略々乍ラト同意デス。旁ト傍ハ、之ト  
正反對デ、上ノ句ガ主目的デス。ガテラハ漢字ノ兼  
ノ意デ、旁ハ順便ノ意、傍ハ餘力ノ意デス。

散歩ガテラ、本ヲ買ヒニ行ク。

九段ノ櫻ハ、此ノ二三日ガ、最モ見頃デスカラ、

花見ガテラ、私ノ處へオ出デ下サイ。宅ノ二階

カラ見ルト、丸デ一目デス。

友人ノ國へ歸ルノヲ見送リ旁横濱迄遊ビニ行ク。

先日ハ色々御盡力ニ預リマシテ、有リガタウ御座

風了、請您恕我々々。

ガテラ カタカタ 附 カタハラ

此三語共有兼兩個目的之意。相近似之詞也。  
但ガテラ者、以下句爲主目的。以上句爲副目  
的。略同於乍之意。旁與傍、則全與之相反、  
上句爲主目的。ガテラ、該當於漢字兼之意、  
旁者順便之意、傍者餘力之意也。

一面兼散步之目的而去買書。

九段那邊的櫻花、正是最可看的時候、所以

請您一面兼看花的目的、到我這邊罷。從

敝宅樓上一看、全在一眸之中。

順著送朋友回國的便、到橫濱逛去。

前幾天種々蒙您費心、實在感謝之至。今天



イマシタ。今日ハ御禮旁、一寸御伺ヒ申シ上ゲマシタ。

風流モ本職ノ傍造ルナラ、害ハ有リマセン。大學ノ學生ハ、修業ノ傍、翻譯ヤ著述ナドヲシテ、學資ノ補ヒニスル者ガ、澤山有リマス。

ゴトニ(毎) ツキ(付) ツツ(宛)

此ノ三語モ、似寄ツタ語デ、均當配分等ノ意ヲ含ム者デス。毎ニト付ハ、漢字毎ノ意、宛ハ各ノ意デス。

家毎ニ、國旗ヲ掲ゲル。

國毎ニ、必ズ特異ナ點ガ有ル。

一丁毎ニ、電信柱ヲ立テル。

白米ハ一升ニ付、參拾錢デス。

一者是道謝、二者是請安來了。

風流韻事、以本業之餘力玩之、則亦無害。大學的學生、以肄業的餘力、從事於翻譯或著述、得酬金、以補足學費者甚多。

ゴトニ ツキ ツツ

此三語亦相近似之語也。含有均等配分等之意。每ニ與付者、該當於漢字每之意。宛者各之意也。

每家掛上國旗。

每國必有特異之處。

每一丁立一電信桿子。

白米每一升的價錢是三毛錢。

此ノ印刷物ハ、今月中ニ是非刷リ上ゲテ下サイ。

マス。

道路ノ普請中ハ、車馬ノ通行ヲ、禁ズル事ガ有リ

アノ事件ハ、目下熟考中デス。

授業中ハ、妄ニ席ヲ離レルコトハ、出来マセン。

授業中ハ、妄ニ席ヲ離レルコトハ、出来マセン。

ノ意デス。チュウハ事物ノ全體又ハ其ノ裡ヲ表ハス

語デ、漢字ノ全或ハ裡ノ意デス。

チュウ(中) チュウ(中)

先日ノ送別會費ハ、一人ニ付五圓デス。

口頭試驗ハ、一人宛、順次ニ行ヒマス。

答稿用紙ハ、一人ニ五枚宛、配ツテ下サイ。

私ハ毎月、學資ヲ七拾圓宛、送ツテ貰ヒマス。

前幾天的送別會費、每一個人是五元錢。

口頭試驗、是一個人々々順次舉行。

答稿用紙、請均配每一人五張。

我從家裡、每月寄送七十元錢。

チュウ(中) チュウ(中)

中者表白一種之進行法者也。漢字正在之意。

中者表白事物之全體或其裡之詞也。漢字全或裡之意。

正是在功課之時、則不能妄自離座位。

那個事件、目下正在熟慮之間。

正在修築道路之間、有時禁止車馬通行。

這件刷印的東西、本月裡頭必定給我刷完



アノ學生ハ、學校中デ、評判ノ模範生デス。

此ノ本ハ、今絶版ニナツテ居ルカラ、東京中ノ本屋ヲ、探シテモ有リマセン。

ママ(儘)ナリ。儘ハ事物自然ノ勢ニ隨フ意、又ハ依然トシテ舊態ヲ改メナイ意ヲ表ハス語デス。ナリハ成行成形等ノ成ト同意語デ、其ノ形勢ヲ持續スル意デス。儘ノ意ニ通フ者モ有リマス。

世ノ中ノ事ハ、中々自分ノ思フ儘ニ、ナラナイ者デス。

アノ人ハ、随分我が儘ナ人デス。  
ソナナ氣儘ナ事ヲ言ヒ給フナ。

哪。

那個學生、在全學校裡頭、是名聲最好的模範生。

這本書是現在絕版了、所以雖然找全東京裡頭的書舖、也決沒有。

ママ ナリ 儘者隨事物自然勢之意、又依然不改舊態之意也。ナリ者與成行成形等之成行語源之語也。持續其形勢之意、又有通用於儘之意者。

世上之事、常多不如我意者。

那個人是很隨便的人。

不可以說那麼樣隨便的話。

彼處ハ昔、城ノ有ツタ跡デ、礎ナドガ、今モ昔ノ儘ニ残ツテ居マス。

靴ノ方ハ、其ノ儘オ上リ下サイ。

某サンハ、今朝出タナリ(儘)マダ戻リマセン。

アノ談判モ、一寸行詰リデ、マダアレナリ(アノ儘)解決ガ付キマセン。

シタイ。(次第)次第ハ、原ト名詞デ、順序ノ意デスガ、轉ジテ種々ノ意ニ用ヒラレマス。

a、ニヲ添ヘテ副詞トシタ者ハ、段々ト同意デ、漢字ノ漸次ノ意ニ當リマス。

昨今ハ次第ニ暖ニナリマシタ。  
東西兩洋ノ文明モ、次第ニ接近シテ參リマス。

那邊是昔時古城之遺跡、礎石等今仍存舊態。

穿著靴子的諸位、就此(不必脫靴子)、請上屋裡罷。某君今天早起出門了以後、依然在外頭、還沒回家。

那個交涉、一頓挫以後、還是仍然無著落。

次第者、雖原屬名詞、表白順序之意、而一轉用於種々之意。

a、添ニ爲副詞者、與段々相同、當于漢字漸次之意。

這一兩天漸々暖和了。  
東西兩洋之文化、漸々至於接近之域。



b、緣由ヲ表ハス語デ、譯ト言フ語ト、通ジテ用ヒ  
ラレマス。漢字緣故ノ意デス。

今朝ハ斯ウ言フ次第デ、遅刻致シマシタ。

然ウ言フ次第ナラ、能ク了解シマシタ。私ノ方デ

モ、意ニ介シマセンカラ、御安心下サイ。

眞ニ手抜カリヲ致シマシテ、何トモ彼トモ、面目

次第モ御座イマセン。

君ハ如何言フ次第デ、ソレナ馬鹿氣タ事ヲ、仕出

來シタノカ。

【備攷】此ノ語ハ接尾語的デナク、獨立ニモ用ヒ  
ル者ガ有リマス。例ヘバ左ノ通りデス。

アナタハ今度南洋へ行カレル相デスガ、私モ次第

ニ因ツタラ、オ供ヲ致シタイト存ジマス。

b、表白緣由之語也。通用於與譯一樣之義。  
漢字緣故之意。

今天早起、因著如此的緣故、到晚丁。

您的意思、若是這麼樣的緣故、我很明白了。

決不介意、請您放心々々。

我的辦法實在是疏忽了、無論如何無臉見

人。

您因著怎麼緣故、把這麼樣糊塗似的事情、

辦出來呢。

【備攷】此語有不用於接尾語樣之義、而為  
獨立之用法者。例如左。

我聽說您這回上南洋那邊去、我也隨著光

景、想要奉陪呢。

此ノ交渉ハ、私ノ力デハ、成功シナイカモ知レマ

センカラ、次第ニ因ツテハ、アナタノ御盡力ヲ

願ヒマス。

c、ソレト同時ニノ意デ、一ツノ動作ノ行ハレルノ  
ヲ待ツテ、直チニ或ル動作ヲ爲サウトスル場合ニ、

用ヒル者デス。漢字ノ等著……就ノ意デス。

私ハ國ノ父ガ病氣デ居マスカラ 卒業次第歸省シ

マス。

爲替ガ着キ次第、キツトオ返シ中シマスカラ、拾

圓マカリ、一寸貸シテ下サイマセンカ。

d、一ツノ事物ノ程度如何ニ依ツテ、他ノ事物ノ自  
然ニ決定スル意ヲ表ハス者デス、漢字ノ因著ノ意デ

ス。

這個交涉、以我的力量、不能成功、也未可

知、所以隨著光景、還請您竭力幫助。

c、與其同時之意也。即待一個動作之完了、

直欲爲某動作之時用之。漢字等著……就之

意。

我因爲在國裡的家父得病了、所以等著畢業

就打算回國。

等著滙票到手、一定就可以還您、所以暫且

借給我十元錢上下罷。

d、表白因一個事物之程度如何、其他事物自  
然決定之意者也。漢字因著之意。



ドンナニ鈍イ人デモ、勉強次第デ、立派ナ學者ニ成レマス。

其ノ人ノ技術次第デ、ドンナ大事業モ出來マス。

地獄ノ沙汰モ金次第(註)

クセ(癖) 矛盾ヲ指摘スル語デ、漢字ノ然而或ハ不  
管ノ意デス。

アレハ碌々技術モ無イ癖ニ、氣位バカリ高イカラ如何シテモ使ヒ手ガ有リマセン。

自分ノ品行モ善クナイ癖ニ、人ノ世話ヲ言ツテモ一向效力ガ有リマセン。

青二才ノ癖ニ、豪イ事バカリ言ツテ居テモ、人ハ取リ合ヒマセン。

怎麼個魯鈍の人、因著用功的多寡、可以爲頂好的領學鴻儒。

因著其人的技術、怎麼樣的大事業、也可成功。

陰間打官司、也因著錢(就可以勝)。

クセ者指摘矛盾之語也。漢字然而或不管之意。

他並沒什麼本領、偏是趾高氣揚的、所以再也沒人去用他。

自己品行都不怎麼好、還說人家、簡直沒有效。

一個黃口小兒、儘說大話、人家可不理你。

セウ(所爲) 原因ヲ表ハス語デ、漢字ノ緣故ノ意デス。

此ノ頃ハ、氣候ノセキデ、兎角病人ガ多ウ御座イマス。

商工業者ノ中ニハ、時局ノセキデ、大打撃ヲ受ケタ者モ有リマスガ、ソレト同時ニ非常ニ儲ケタ者モ有リマス。

僕ハ久シク胃病デ苦ンデ居タガ、此ノ頃某博士ノ藥ガ利イタセキカ、メツキリ氣分ガ好クナリマシタ。

四、名詞又ハ形容動詞・副詞等ヲ作ル者。

ホト(程)

a、程度又ハ比例ノ意ヲ表ハス者。

所爲者、表白原因之語也。漢字緣故之意。

這幾天因著時令不正的緣故、動不動得病的人很多。

商工業者裡頭、因著時局的緣故、受了打擊的人很多、可是一面也有非常的賺錢的人。

我因得了病、煩惱了許久、可是這幾天某博士的處方、效驗很大的緣故罷、精神顯著爽快了。

四、作成名詞、或形容動詞・副詞等者。

ホト(程)

a、表白程度或比例之意者。



アナタハ一個月ニ、如何程學資ガ入りマスカ。  
子程ニ親ヲ思ヘ。  
宅ノ犬ハ、虎程大キイ。  
今度ノ芝居モ、評判程ニ面白クナイ。

此ノホテルモ、外部カラ見タ程ニ、内部ハ綺麗デ  
ナイ。

b、大約又ハ殆ノ意ヲ爲ス者。  
此ノ家ハ、十年前前ニ建テマシタ。  
是レハ、丁度百圓程ノ代價ノ物デス。  
昨日ノ宴會デハ、覺エノ無イ程、酔ヒマシタ。  
アノ店ハ、眼玉ノ飛ビ出ス程高イ。  
c、否定ニ應ジテ、他ニ比類ノ無イ意ヲ表ハス者。

您一個月要多少學費呢。  
汝宜慕父母猶愛汝兒女。  
敝宅的狗很大、與老虎一樣。  
這回的唱戲、實在是有趣兒的程度、還不如  
名聲那樣的高。  
這個客店、從外面看著很好、可是其實內部  
不那麼好看。

b、爲大約或殆之意者。  
這個房子是大約前十年建的。  
這個東西的代價、大約剛一百元錢。  
昨天的宴會、我大醉了、差不多失了記憶。  
那個舖子賣價貴得驚人。  
c、照應下文之否定詞、表白其他無可比者之

詞也。

世間最貴的是無如生命。  
世上可悲的是莫如寒苦。

d、表白彌字之意者。  
大凡在此世、最幸福者、想未有如君者。

這個畫的描法、是越看越好。  
真理是越研究越深奧的。

クラキ

a、表白程度或大約之意者。  
英國話是大約學過多少年、就可以大概明白  
哪。

b、照應下文之否定詞、表白其他無可比者之  
某君也是大概和我一樣的年紀。

命程貴イ者ハ、外ニ無イ。

貧程辛イ者ハ、無イ。

アナタ程、仕合セナ者ハ、有リマスマイ。

d、彌ノ意ヲ表ハス者。

此ノ畫ハ、見レバ見ル程、好ク畫イテアル。

真理ハ、研究スレバスル程、奥深イ者ダ。

クラキ(位)

a、程度又ハ大約ノ意。

英語ハ、何年位勉強スレバ、大抵分リマスカ。

某サンモ、大概私位ノ年輩デス。

b、否定ニ應ジテ、他ニ比類ノ無イ意ヲ表ハス者。



(程ノ第三用法ト同ジデス)

世ノ中ニ、戰爭位殘酷ナ者ハ、有リマセン。  
外交官位、辭令ノ旨イ者ハ、有リマセン。

c、蔑視ノ意ヲ含ム者デ、漢字僅ノ意デス。又二ツノ事物ノ大小輕重ヲ比較シテ、其ノ一ツヲ藐視スル者デ、下ハ否定ニ應ジマス。

英語ノ一ツ位ハ、三ツ子デモ知ツテ居ル。

其ノ位ナ事ハ、誰ニデモ出來ル。

風ヲ引イタ位ノ事ナラ、休ムニ當ラナイ。

死ス思ヒヲスレバ、貧乏デ苦ム位ハ、何デモアリマセン。

國家ノ爲ナラ、命ヲ捨テル位ハ惜ムニ足リマセン。

詞也。(同于程之c用法。)

在世上最殘酷的無如打仗。

巧於辭令者、怕無如外交官。

c、含有蔑視意、漢字僅之意。又有比較兩者之大小輕重、藐視其一者。如此之時、照應下文之否定。

僅々一兩句的英國話、三歲的小孩子、也知

道。

這麼點兒事、甚麼人都會。

傷點兒風(微恙)、用不着歇工。

想到死的苦、則苦於貧困、固不足言。

苟有益於國家、如擲生命、固不足惜。

バカリ(計、計)

a、大體ノ程度分量ヲ表ハス者デ、漢字ノ大約前後上下ノ意デス。

御持合セガ有ルナラ、一寸百圓計リ、貸シテ下サ

イ。僕モ歐羅巴ニ、五年計リ居マシタ。

b、藐視ノ意ヲ含ム者デ、漢字ノ僅ノ意デス。

物價ガ騰貴シタカラ、百圓計リノ收入デハ、碌

ナ暮シハ出來マセン。

少許リノ金ナラ、私ガ寄附シマセウ。

c、動作ノ行ハレル時ヲ、離レルコトノ、甚ダ短カ

バカリ  
a、表白大概之程度分量者、該當于漢字大約前後上下等之意。  
您若是有帶著的現錢、請暫且借給我一百塊上下。  
我也留過歐羅巴五年上下。  
b、含有藐視之意者、該當于漢字僅之意。  
物價騰貴了、所以以僅々一百塊錢上下的收入、到底不能度像樣一點的日子。  
若是不多點兒的錢、我可以捐納。  
如此之勞苦何足論。  
又有表白隔其動作之時甚短者。過去未來共用之。漢字纔剛剛纔、今將等之意。



用ヒマス。漢文ノ纔剛剛纔今將等ノ意デス。

私ハ今朝來タバカリデス。

此ノ洋書ハ、昨日獨逸カラ取寄セタバカリデス。

今朝ハ、遅レテ行ツタカラ、授業ガ始マルバカリ

ノ處ヘ、駈ケ付ケマシタ。

屋根瓦ガ、落チルバカリニ、簷ヘ出テ居ル。

ダケ(丈)

a、程度ノ極限ヲ表ハス詞デ、漢字ノ限或ハ極度等ノ意デス。

私ガ此レ丈、熱心ニ忠告スルノダカラ、君モ少シ

ハ耳ヲ傾ケ給ヘ。

見ル丈見レバ、後ハ見ナクテモ宜シイ。

力ノ及ブ丈、盡力シマセウ。

我今天早起剛來的。

這個洋書、是昨天從德國剛送來的。

今天早上校上得晚一點、所以走到學校的

時候、正是功課就要開始。

房頂上的瓦子、懸在簷端。光景就要掉下來

的樣子。(差點兒掉下來了)

ダケ

a、表白程度之極限者。該當于漢字極限或極度之意。

我這麼極力熱心的勸你了、所以您也留一

點神聽々我說話的話。

該看的都看了、回頭就不看也行。

儘著量兒、我十分盡力罷。

出來ル丈、骨ヲ折ツテ下サイ。

b、名實相當ノ意ヲ表ハス者デ、漢字ノ相當ノ意デス。

伴食デモ、大臣ニ成ル位ノ人ハ、大臣丈ノ器量ヲ

備ヘテ居マス。

馬鹿ナ様デモ、大人ハ大人丈ノ勘辨ガアリマス。

何ト言ツテモ、本場物ハ、本場物丈ノ長所ガ有リ

マス。

c、他ノ事ハ措イテ問ハズ、單ニ一點ヲ取ツテ、事物ノ是非善惡等ヲ論斷スル者デ、漢字ノ唯是就是等ノ意デス。

ソナナ詰ラナイ事ヲ爲ル丈、君モマダ幼稚ダ。

您儘著量兒、給我盡力。

b、表白名實相當之意者、該當于漢字相當之意。

雖然伴食宰相、陸任大臣的人、是具有大臣

相當的器量的。

一看雖然像是糊塗、可是老成人還是有老人

相當的思慮。

怎麼說也是本產地送來的東西、還是有本產

地相當的好處。

c、他事暫置不問、唯取一點、論斷事物之是非善惡等者也。漢字唯是就是等之意。

您做那麼沒意思的事情、就是免不了還有



怒ラナクテモ好イ事ヲ、怒ル丈、アレモ小膽ダ。

d、數量ヲ局限スル意ニ用ヒル者デ、漢字ノ唯限就是是等ノ意ニ當リマス。

今日一日ダケ、猶豫シテ下サイ。

砂糖ヲ拾錢ダケ、賣ツテ下サイ。

六、其他種々ノ意義ヲ添ヘル者。

メ(目)目ハ元ト事物ノ界ヲ言フ語デ、漢字ノ分界又ハ境遇ノ意デス。又數字ノ下ニ添フ時ハ、順序數詞ヲ作ツテ、第ノ字ノ意ニ當リマス。

アノ人ハ、何時モ折目ノ正シイ着物バカリ着テ居リマス。

孩氣。

對於不要生氣の點事、他生氣了、就是免不了心小的。

d、局限數量之意。該當于漢字唯限就是是等之意。

就是這一天請展限。

請賣給我僅一角錢的白糖。

六、其他添加諸種之意義者。

メ(目)者、原來表白事物限界之詞也。該當于漢字分界或境遇等之意。又添于數字下之時、作成順序數詞。該當于第字之意。

那個人時常就是穿著折痕端正的衣裳。

人ハ苦シイ目ヲ見ナケレバ、嬉シイ目ニモ遭ヘマ

セン。

藥ノ利キ目ガ、メキメキ見エテ來マシタ。

アノ人ハ、控ヘ目ナダ。

私ノ宅カラ三軒目ガ、某サンノ宅デス。

【備攷】長目細目等ハ、長メル、細メル等ノ第二變化名詞法デス。

テ(手) 人ノ意味ニ用ヒマス。

話シ手ガ手下デモ、聴キ手ガ上手ナラ、意味ガ能

ク通ジマス。

使ヒ手ガ好ケレバ、何ンナナマクラデモ、能ク切レマス。

カタ(方) ヨウ(様) 方ハ方法ノ意、様ハ様式ノ意

人若是不經過苦境、就不能遇見樂境。

吃藥的效驗、很顯著。

那個人算是謙遜的。

從數寓數第三家就是某宅。

【備攷】長目細目等、爲長メル細メル等之第二變化名詞法。

テ(手)者、用於人之義。

就是說話的人不會說、若得聽的人會聽、意

思就很能通。

若是用的人會用、怎麼樣的鈍刀、也能快斷。

カタ與ヨウ。方者方法之意、様者樣式之意、



ヲ表ハス語デ、略同ジ意デス。

小學校デハ、國語ヲ、讀ミ方、書キ方、綴リ方、

話シ方ナドニ分ケマス。

筆ノ持チ方(様)ガ惡イト、字ハ旨ク書ケマセン。

ソレデハ帽子ノ被リ方(様)ガ惡イ。

ガタ(方) 方ハ將ニ其ノ時ニナラウトスル意ヲ表ハ

シ、又大約ノ意ヲモ表ハシマス。

春分ト秋分ノ時節ハ、夜ノ明ケ方ト、日ノ暮レ方

ガ丁度六時デス。

人モ運ノ傾キ方ニナツテハ、花ノ散リ方ト同ジデ

真ニ哀レデス。

上野ノ櫻モ、モウ六七分方、咲キマシタ。

ホウ(方) 方向ノ意カラ一轉シテ、事物ヲ比較指示

語義大略相似。

在小學校、國語一門、分爲讀法寫法作文說

法等。

執筆的法子不好、就不能寫好字。

那樣是、帽子的戴法(樣式)不合式。

ガタ。(方)者、表白將及其時之意、又表白大約

之意。

春分與秋分的時節、天明與日沒、正是六點

鐘。

人也是運氣漸將衰之時、恰同於花將落之時

實在可憐的。

上野那邊的櫻花、已經開了大約六七分。

ホウ、方者、由方向之意、一轉用於比較事物

スルニ用ヒル語デス。又部分ノ意ニモ用ヒマス。漢

字方面又算ノ意。

春ヨリ秋ノ方ガ、好イト言フガ、ソレハ人々ノ好

キ好キデス。

アナタヨリ私ノ方ガ、年上デセウ。

君ノ方モ好シ、僕ノ方モ好ケレバ、雙方共ニ、申

シ分ハ有リマセン。

日本人ノ中デハ、君ナドハマア丈ノ高イ方デス。

某サンハ、級ノ中デモ、優等ノ方デス。

サマ(様) 様ハ傾向狀勢等ノ意味ヲ表ハス語デス。

人ガ逆様ニナツテ、落チテ來タ。

氷ニ滑ツテ、仰向ケ様ニ倒レル。

思ヒ様ノ仕事ヲ遣ル。

或指示之意。又用於部分之意。漢字方面又算

之意。

人動不動說、秋天比春天尤好、可是那也隨

著各人的好惡的。

我的年紀比你、我是大一點罷。

若是你那邊也好、我這邊也好、就兩面都沒

有物議。

日本人裡頭、像你算是身量高的。

某君在這一班裡頭、算是優等的。

樣者、表白傾向狀勢等之意者也。

人腦袋朝地落來了。

氷上滑了、仰天跌倒。

極力辦意中之事。



小人ハ利害ガ衝突スルト、直グ様喧嘩ヲスル。  
勞働者社會ハ、氣早ダカラ、此ノ間拔ト言ヒ様、  
人ヲ打ツ。

コチラノ意思ガ疏通スル様ニ、明ラ様ニ話スガ宜  
シイ。

第五篇 文章詳説

【文ノ分類】 文ノ分類ニハ、構成上ノ分類ト、叙  
述上ノ分類トノ二色ガ有リマス。

第一、構成上之分類。

文ヲ構成上カラ分類スレバ、單文・複文・聯文（又  
重文）ノ三色ニ成リマス。

一、【單文】 單文トハ文中ニ句（四四頁）ヲ含マナイ者  
ヲ謂ヒマス。縦ヒ多クノ修飾語ヲ帶ビテ、ドンナ

小人是利害一衝突、就打架。  
苦力們很著急、所以口裡罵這個魯鈍的東西  
手頭就打人。  
明々白々の叫他們理解我們的意思、那纔  
好。

【文之分類】 文之分類、有二種。構成上之  
分類、與叙述上之分類、即是也。

第一 構成上之分類

由構成上分類文章、則成單文・複文・聯文  
（又稱重文）之三種。

一、【單文】 所謂單文者、於文章中、不含有  
句者、是也。縱令帶有許多之修飾語、爲如何

長イ形ヲシテ居テモ、句ヲ含マナケレバ、單文デス。

犬ガ、來タ。

逞シイ犬ガ、駛ツテ來タ。（以下モ同ジデス）

力ハ、正義ダ。（西諺）

今ノ世ノ中デハ、力ハ、正義ダ。

弟ガ、兄サント、競走スル。

季ノ弟ガ、仲ノ兄サント、一目散ニ競走スル。

學生ガ、眞理ヲ、研究スル。

哲學科ノ學生ガ、無形ノ眞理ヲ、熱心ニ研究スル。

卒業生ガ、樹ヲ、庭ニ、植エタ。

農林學校ノ卒業生ガ、山カラ掘ツテ來タ大キナ松

ノ樹ヲ、記念ノ爲ニ、學校ノ庭ニ、三本植エタ。

又各成分ガ並列シテ、イクラ形ガ長ク成ツテモ、句

様之長文、不含有句、則單文也。

狗來了。

雄壯的狗、跑來了。（附者爲修飾語以下皆然）

強權即是公理。

在方今の時勢、強權就是公理。

弟與兄競走。

季弟與仲兄、驀然競走。

學生研究眞理。

哲學科學生、熱心研究無形的眞理。

畢業生、在院子裡、植樹了。

農林學校的畢業生、把從山上創來的大松樹、

在學校的院子裡、植了三株。做記念。

又各個成分並列、文形雖甚長、而不含有句者、



ヲ合マナケレバ、矢張り單文デス。

太郎ト花子ハ、父ト母カラ、鉛筆ヤ帳面ヲ、同ジ  
主 補 補 客 客 客 客  
 様ニ、澤山貰ヒマシタ。

私ハ、酒(ヲ)モ煙草(ヲ)モ、飲ミマセン。  
客 客

私ハ、煙草(ヲ)ハ飲ミマスガ、酒(ヲ)ハ飲ミマセ  
客 客 客 客  
 ン。

私ハ、御土産ヲ、伯父サンニモ、叔母サンニモ、  
補 補  
 上ゲマシタ。

希望ハ、青年ノ生命デアリ、力デアル。  
客 客

二、「複文」 複文トハ、文ノ一部ニ、句(四四頁)ヲ含  
修 說  
 ンデ居ル者ヲ謂ヒマス。

要領ノ好イ學生ハ、能ク勉メ、能ク遊ビ、能ク眠  
形容詞句

尙是單文也。

太郎與花子、由父與母、領得鉛筆、和帳簿  
 等、同樣的很多。

我不喝酒和煙。

我吃煙、可是不喝酒。

我把土物、給了伯父和叔母。

希望是青年的生命是活力。

二、「複文」 所謂複文者、在文之一部、含有  
 句者也。

能得要領的學生、克勤、克遊、克眠。

リマス。

陰徳有ル者ハ、陽報ガ有ル。  
形容詞句 總主 敘述句

小人ガデシヤバレバ、君子ガ引ツ込ム。  
副詞句 主文

智章ガ馬ニ乗ルハ、船ニ乗ル様ダ。  
名詞句(主語)

我々ガ、複雑ナ文章ヲ、正シク理解スルニハ、先  
副詞 詞 句  
 ツ文法ヲ學ブ必要ガ有ル。  
主文

動詞形容詞等ノ前提法ニシテ上ニ主語ヲ戴イテ居ル  
 者ハ副詞句ニ成リマスカラ、若シ其レガ文中ニ有ツ  
 タ場合ニハ、複文ニ成リマス。即チ左ノ通りデス。

勉強ガ足リナケレバ、進歩ガ遅イ。  
副詞句 主文

門閥ガ好クテモ、手腕ガ無クテハ、出世ハ出來ナ  
副詞句 副詞句 主文

有陰德者、有陽報。

小人跋扈、則君子避世。

智章乘馬似乘船。

我們欲正解複雜的文章、則有先學文法之要。

動詞・形容詞等之前提法、上戴主語者、爲副  
 詞句、故文中、有此即成複文。例如

若是用功不敷、進步就慢。

門閥雖好、若是沒有能耐就不能發跡。



イ。  
 アレハ、手蔓ガ好イノカラ、トントン拍子ニ出セシタ。  
主詞句 主 文 修

僕ガコレ程忠告スルノニ、君ハチツトモ反省シナイ。  
副詞句 主 文 主 文

女ノ一生(ヲ)ハ男ニ比ベテ單純ナ様ニ誰デモ考ヘテキルケレドモ、事實ハ却テ複雑デアル。  
主 文 主 文

三、「聯文又重文」 聯文トハ、對立シタ無關係ノ句(即聯立句)ガ、二句或ハ數句、中止法ニ依ツテ、聯結セラレタ者ヲ謂ヒマス。

手腕モ有リシ、德望モ有ル。  
 頭モ好イケレバ、體モ強イ。

他是引援者好，所以順々當々の榮達。  
 我這麼樣切懇忠告，然而你一點也不反省。  
 誰也想著女人的一生，和男人比較起來，像似單純，可是其實反倒複雜的。

三、「聯文或重文」 所謂聯文者，相互對立而無關係兩句或數句，依中止法，而被聯結者也。  
 有材能，而且有德望。  
 腦力好，而且身子也強。

兄ハ會社ニ勤メ、弟ハ役所ニ出テ居ル。  
 思想ハ豐富デ、辯舌ハ流暢デ、聲量ハ十分ダ。  
 義ハ泰山ヨリ重ク、死ハ鴻毛ヨリ輕イ。  
 水ハ方圓ノ器ニ隨ヒ、人ハ善惡ノ友ニ緣ル。  
 若シ右ノ例ノ中止法ヲ、終止法ニスレバ、對立シタ各句ハ、皆獨立シタ文ト成ル。即チ左ノ通りデアル。  
 手腕モ有ル(文) 德望モ有ル(文)  
 頭モ好イ(文) 體モ強イ(文) (以下從略)

【複文ト聯文ノ錯綜】 世間一般ニ、行ハレテ居ル文章ノ中ニハ、聯文ト複文ノ互ニ錯綜シテ居ル者ガ甚ダ多イ。即チ左ノ通りデアル。

彼ハ 手腕モ有リ 德望モ有ル カラ、會長ニ推薦セラレタ。  
聯文ガ副詞句ト成ル

哥々在公司服務，而舍弟在衙門當差。  
 思想豐富，而辯舌流暢，且聲量很大。  
 義重於泰山，死輕於鴻毛。  
 水隨方圓器，人緣善惡友。  
 若改右例之中止法，而為終止法，對立的各句，皆為獨立文。例如  
 也有材能。 也有德望。  
 腦力也好。 身子也強。(以下從略)

【複文與聯文之錯綜】 在世間一般善行之文章中，聯文與複文，彼此錯綜者甚多。例如  
 彼有材能，且有德望，故被推薦，當會長了。



頭モ好ク 人ハ、能率ガ舉ル。

體モ強イ

某侯爵ハ

聯文ガ形容詞ト成ル

品性モ高尚デ、

思想モ穩健ダ。

以上ハ、聯文ガ複文ノ中ニ含マレタ者デス。

花咲キ 春ハ樂シク、草枯レ 秋ハ寂シイ。

學問ガ出來ルト體ガ弱イシ、體ガ強イト遊ビガ好

キニ成ル。

良藥ハ口ニ苦ケレドモ病ニ益ガ有リ。

忠言ハ耳ニ逆ラヘドモ行ヒニ利ガ有ル。

昨夜ノ暴風雨ハ、名残無ク收ツタガ、

詞句

腦力好、而且身子勁的人、能舉成績。

某侯爵、品性高尚、且思想穩健。

以上之例、聯文之被包含於複文中者也。

花開鳥鳴の春天可樂、草枯蟲咽の秋天寂莫。

學問好者、身體脆弱、而身體強者、易耽遊

戲。

良藥苦於口、而有益於病。忠言忤於耳、而

有利於行。

夜來暴風雨、平息無遺痕了。而海面上、波

海面ハマダ波ノウネリガ靜マラス。

敘述句

右ノ例ハ、複文ガ聯文ノ中ニ含マレタ者デス。

第二 敘述上ノ分類

文ヲ、敘述ノ體裁上カラ分類スレバ、平叙文・疑問文・命令文・感歎文ノ四體ニ成リマス。

一、【平叙文】事實ヲ、有リノ儘、平易ニ叙述スル

文體デス。平叙文ハ、文ノ結尾ガ、終止法ニ成ツ

テ居ルノガ特徴デス。平叙文ハ、四體中、最モ普

通ニ用ヒラレル者デス。即チ左ノ通りデス。

山ハ高ク、海ハ深イ。

太陽ハ東カラ出テ、西ヘ入ル。

朱ニ交レバ、赤ク成ル(諺)

瓜ノ蔓ニハ、茄子ハナラナイ。(諺)

浪起伏、還沒平靜。

右例乃複文之被包含於聯文中者也。

第二 敘述上之分類

由敘述之體裁上、而分類文章、則爲平叙文・疑問文・命令文・感歎文之四體。

一、【平叙文】隨現有之事實、率直平易叙述

者、謂之平叙文。平叙文者、以終止法、爲文

章之結尾。是爲特徵。平叙文者、在四體中最

爲常用。例如

山高海深。

太陽東出而西沒。

近朱則赤。

瓜蔓上不結茄子。



禮義廉恥ハ、國ノ四維デアアル。  
兄ハ、私ヨリ、三ツ年上ダ。

二、「疑問文」 疑問及ビ反語ノ意ヲ含ム文體デス。

疑問文ハ結末ニ疑問助詞ノカ或ハノヲ置クカ、或ハ上ニ何・ドレ・何處・ドチラ・誰・何時・ナゼ・ドウシテ等ノ疑問詞ヲ、置クノガ特徴デス。即チ左ノ通りデス。

花ガ蝶々カ。 蝶々ガ花カ。

亞米利加ノ華盛頓カ。ワシントンノ亞米利加カ。  
ソシモ疑フ餘地ガ無イデハナイカ。  
ドウシテ、君ニソレガ出來ルモノカ。

ソシテ阿呆ラシイコトガ、世ノ中ニ有ルモノデスカ。

禮義廉恥、國之四維。  
家兄長我三歲。

二、「疑問文」 含有疑問及反語意之文體也。

疑問文者、於結尾、置疑問助詞カ(或ノ)、或於上頭、置何ドレ何處ドチラ誰何時ナゼドウシテ等之疑問詞。是為特徵。即如

花是胡蝶歟。 胡蝶是花歟。

美洲之華盛頓歟。 華盛頓之美洲歟。  
如此之事、非毫無可容疑之餘地乎。  
君安能之乎。  
如此之痴態、安得存於世乎。

モウ行カナイノ。(カ)

モウイイノ。(カ)

三、「命令文」 命令文ハ、命令又ハ禁止ノ意ヲ含ム

文體デス。命令文ハ、文ノ結尾ガ、命令法デ終ルカ、又ハ禁止ノ助詞ナデ終ルノガ、特徴デス。敬語體ノ命令文ハ、往々敬語動詞ノ第二變化デ終リマスガ、畢竟ソレハ省略法(四三頁參照)ヲ用ヒタノデス。又命令文ハ、多クノ場合、主語ガ省略サレマス。

早く學校ヘ行ケ  
御出デナサイ

御出デナサイ

嘘ヲ言フナ。(言ヒナサルナ)

ヨクオトウサンノ言フコトヲ聽ケ。(聽キナサイ)

你再去麼。

已經好了麼。

三、「命令文」 所謂命令文者、含有命令或禁止之意者也。命令文者、以命令法為結尾、或以禁止之助詞ナ為結尾。是為特徵。但敬語體之命令文、有時以敬語動詞之第二變化、為結尾。畢竟是用省略法者也。(四三頁)又命令文者、大多省略主語。

從速上學校去罷。

別撒謊。

留著神、聽々父親的吩咐。



御聽キ。

惡イト悟ツタラ、直ニ改メヨ。

善イト信ジタ事ハ、即時斷行シロ。

「怒リハ、敵」ト思ヘ。

人ノ振(ヲ)見テ、我ガ振(ヲ)直セ。

他人ヲ羨ムナ。自己ヲ反省シロ。

四、**【感歎文】** 文ノ餘情ヲ添ヘル爲ニ、感歎的ニ表

現スル文體デス。感歎文ハ文中ニ感歎詞(二九五頁

或ハ感歎助詞(二七二頁)ヲ含ムノガ、特徴デス。

又感歎文ハ、倒置法(四二頁參照)ヤ、省略法(四

三頁)ヲ用ヒルコトガ、多イノデス。

今日ハ、ヨク晴レマシタネイ。

今日ハ、ヨイ天氣デスナア。

一悟了不好、立刻改一改。

一旦確信其事之當行、則須即時斷行。

須思忿怒是滅身之敵。

見他人之態度、宜改我態度。(見賢思齊焉、見不賢而內自省也)

勿羨他人。須反省自己。

四、**【感歎文】** 爲添文章之餘情、用感歎的語

氣、表現情意者、是爲感歎文。感歎文者、以

在文章中、含有感歎詞・或感歎助詞、爲特徵。

又感歎文者、用倒叙法(四二頁)或省略法(四

三頁)爲多。

今天很晴了哪。

今天是好天氣啊。

ヤア、暫クデシタナア。

マア、御メヅラシイコト、ヨク入ラツシヤイマシ

タネイ。

アア、面白イナア。

アラ、大變ナ事ヲ爲テシマツタ。

オヤ驚イタネイ。

マアソソナ不人情ナ事ガ、ヨク言ハレタモノダナ

ア。

**【文體ノ變化】** 文氣ノ單調ヲ避ケル爲、同シ意味

ノ事柄デモ、文體ヲ更ヘテ書クコトガアル。例ヘバ

左ノ通りデス。

コノ問題ハ易イ。(平叙)

コレシキ問題ガ、何デスカ。(疑問)

呀久遠久遠。

哎呀希觀的人特意の來了感謝的很哪。

啊、很有趣呀。

噍、做壞了事了(噍、弄了亂子了)。

哎呀、吃驚了哪。

把那麼樣沒有人情的話、虧你視然能說。

**【文體之變化】** 有時爲避文章之單調、雖同

意味之事項、變化文體而記述。例如

這個問題容易。

這點兒的問題、算甚麼。(何事有之)



ドウカ、問題ガ易クアツテ呉レ。(命令)

アア、問題ガヤサシクツテ、ヨカッタナア。(感歎)

オトウサンガ、御歸リダサウデス。(平叙)

オトウサンガイツ御歸リデスト。(言フンデスカ) 省略

(疑問)

ドウカ、オトウサン早ク歸ツテ來テ下サイ。(命令)

マア、オトウサンノ御歸リガ、待チ久シイナア。

(感歎)

「病氣危篤」ト云フ電報ガ、來マシタ。(平叙)

誰ガ危篤デスツテ。(誰ガ危篤デスト言フノデス)

カ)(疑問)

ハハヤマヒキトクスグカヘレ。(命令)

母病危篤直歸マア仕樣ガナイナア。出シ抜ケニ、危篤ダナンテ、

切禱問題容易些。

啊、問題は意外的容易、好的很哪。

聽說是父親回來。

你說呀、父親幾時回來。

我很盼望哪、父親早々の回家。

哎、等父親回來、好不甘心。

病氣的電報來了。

誰危篤呀。

母親病篤、請即刻回家。

真沒法子、突然來個危篤的話。

(危篤ダナドト云ツテ)(感歎文)

オ花ハ朝カラ晩マデ本バカリ讀ンデ居ル。(平叙)

オ花、御前ハナゼンナニ本バカリ讀ンデキル

ノ。(疑問)

オ花、モット精出シテ本ヲ御讀ミナサイ。(命令)

アラ、オ花サンノ御勉強ツテナイコトヨ。朝カラ

晩マデ御休ミナシデスハ。(感歎)

【文體之錯綜】 四體ノ文ハ、互ニ錯綜シテ用ヒラ

ル場合ガ多イ。例ヘバ左ノ通りデス。

私が先カラ早ク來イト言ツテ居ルノニ、マアナゼ

ソシナニグズグズシテ居ルノダネイ。

疑問 感歎

阿花姑娘、從早晨到晚上、老念著書。

阿花、你爲甚麼、那麼老念著書呀。

阿花、再出力一點念書罷。

噯呀、阿花姑娘的用功、是沒有比類啊。從

早晨到晚上沒有一點休息哪。

【文體之錯綜】 以上四體之文章、常時錯綜

而用之、例如

我叫你快來、這半日子了呢、哎呀、你怎麼

那樣慢條斯理的。



マアナンテ筆不精ナ奴ダラウ。オトウサンガドレ  
 程心配シテ居ルカ分ラナイカラ、アレ程手紙ヲ  
 問 ヨコセト、言ツテ遣ツタノニ、イマダニ返事一  
 令 本ヨコサヌトハ。  
 卒區歸

### 第六篇 解剖

解剖ニハ、品詞の解剖ト、文章の解剖トノ二種ガア  
 ル。前者ハ、文章ヲ組織スル單語ヲ、個々ノ品詞ニ  
 分解スルモノデ、後者ハ、文章ヲ各成分ニ分解シ、  
 且ツ文章ノ構成上、或ニ文體上ノ類別ヲ、明カニス  
 ルモノデアアル。

真是、有多麼懶動筆的脚兒啊。我那麼告訴  
 他、不知父親會怎麼惦念、務必來信、那  
 知他至今還不曾來一個字。

解剖分爲品詞的解剖與文章的解剖之二種。前  
 者、分解所以組織文章之單語、爲一一品詞。  
 後者分解文章、爲一成分、且明瞭文章之構  
 成上或文體上之類別者也

(一) 叔父サン、昨日ハ 御土産ヲ 有リガタウ  
名 副 名 助 形容詞、活用、二變

ゴザイマシタ。  
敬、助動 過去、助動 二變 三變終止

叔父サン、省略 昨日ハ 御土産ヲ  
獨立部(呼格) アナタガ 修 句ノ客語 句ノ補語 句ノ說明語

(二) オウ、一郎君 好ク 來タネ  
感 名 副 名 助 力變、二變 完了、助動 感、助 三變

オウ、一郎君 (君ハ) 好ク 來タネ  
獨立部 同上(呼格) 主語 修 說明語

(三) ラヂサン、東京ノ 御話ヲ シテ 下  
名 名 助 名 助 名 助 二變 助 補助動 詞、ラ四、三變終止

ラヂサン、(アナタハ) 東京ノ 御話ヲ シテ 下  
獨立部(呼格) 主語 修 客語 說明語

(四) 少し 話シテ 聞カセヨウカナ。  
副 名 助 動 一變 一變 一變 助 助 助

叔父！ 昨天(您)給我土物(我)感謝々々。  
 哦、一郎君來了、好的。  
 叔父、請說給我東京的事情罷。  
 說一點給你聽一聽罷。

省略 省略 省略  
 私ニ 下サイマシテ (私ハ) 有リ難ウゴザイマシタ。(複文)  
句ノ補語 句ノ說明語 主語 說明語 (敘述文體)



少シ話シテ 聞カセヨウカナ [單文(感歎文體)] (感歎文體、住々省略成分)

(五) ラヂサン、東京デ一番 賑ヤカナノハ 何  
叔父、東京裡頭、最熱鬧的是叫甚麼地方呢。

ト云フ處デスカ。 [單文(疑問文體)]  
處デスカ [單文(疑問文體)]

ヲヂサン、東京デ一番 賑ヤカナノハ 何ト云フ  
獨立部、呼格 修 主語 說明語

(六) マア町デハ銀座カ、新宿ナドガ 賑ヤカ  
說起來、在市街方面、還算是銀座、或是新宿  
那邊熱鬧罷。

ダラウネ。 [單文(感歎文體)]  
一變 推止助 感助

マア、町デハ銀座カ、新宿ナドガ 賑ヤカダラウネ。 [單文(感歎文體)]  
主語 說明語

(七) アノ昨日戴イタ 繪葉書ニ在ル 楠  
昨天拜領的那個畫明信片裡的楠公銅像、在那

公ノ銅像ハ、何處ニ在ルノデスカ。  
兒呀。

アノ昨日戴イタ 繪葉書ニ在ル 楠公ノ銅像ハ 何處ニ在ルノデスカ。 [單文(疑問文體)]  
修 主語 補足語 說明語

(八) アレハ 皇城ノ二重橋前ノ廣場ニ在ル  
那是在皇城二重橋前頭的廣場裏。

アレハ 皇城ノ二重橋前ノ廣場ニ在ルノデス。 [單文(敘述文體)]  
主語 修 補足語 說明語

(九) 僕モ 東京ヘ 行キタク成ツタナア。  
我也想要上東京去了哪。

僕モ 東京ヘ 行キタク成ツタナア。 [單文(感歎文體)]  
主語 補足語 說明語

(十) 夏休ミニ、私ガ 連レテ行ツテ 上ゲ  
暑假我定帶著你去、所以要到那個時候等一等



ヨウカラ、ソレマデ待ッテイラッシャイ。  
動、四變 助詞 副 敬語、補助動詞  
二變、大變、命令語

私ガ 夏休ミニ連レテ行ッテ上ゲヨウカラ  
句ノ主語 句ノ說明部 副 詞 句

君ハ 省路  
主語 修 說明語  
〔複文(命令文體)〕  
(命令文體常有略主語)

洋火是瑣微的東西、價錢也便宜、一包十盒、  
只要一毛錢、就可以買得。

(十一) マツチハチヨットシ タ 物デ、  
名 助 副 二變、完了助動名、指定助動  
二變、二變、連體 名、副詞法  
價モ 安ク、一包十箱ガ 十錢位デ 買ハレ  
名助 名助 名助 名助 名助 名助 名助  
中止法 一變、四助動

マツチハ チヨットシタ物デ  
總主語 修(副詞小句)  
價モ 安ク  
主語 一說明語  
一包十箱ガ 十錢位デ 買ハレ  
主語 修 說明語

〔複文(敘述文體)〕

國家法規、其數雖甚多、皆憲法條規、天皇  
自發布之、或使各省大臣發布者也。

(十二) 國家ノ法規ハ、其ノ數ガ 極メテ 多イ  
名助 名助 代助名助 副 副  
ガ、何レモ 憲法ノ條規ニ基ヅイテ 天皇ガ  
助 副詞 名助 名助 助カ四、二變助 名助  
自ラ之ヲ發シ 又ハ 各省大臣ヲシテ 發セ  
副 代助 中止法 一變、接續詞 名 助  
シメラレル 者デアアル。  
使役助 敬語、助動 名 指定助動詞  
動一變、四變連體 三變、終止

國家ノ 法規ハ  
修 主語  
其ノ 數ガ 極メテ 多イガ  
修 句ノ主語 副 詞 句 句ノ說明部  
何レモ 憲法ノ 條規ニ 基ヅイテ  
副 詞 小句 副 詞 小句 副 詞 小句

天皇ガ自ラ之ヲ 發シ  
句ノ主語 修 句ノ客語 句ノ說明部  
又ハ 接續的(獨立節)  
ラレタ者デアアル  
說明語  
〔複文(敘述文體)〕  
發セシメ  
句ノ說明部  
(天皇ガ)各省大臣ヲシテ  
句ノ補足語 句ノ說明部

(十三) 名峯富士ソレハ我々ガ櫻花ト共ニ世界  
名 名 代名助 代助名助 副 副 名

名峯富士、那是我等所與櫻花並舉、而誇揚於











寶玉を鑲めたやうな かはしい 目

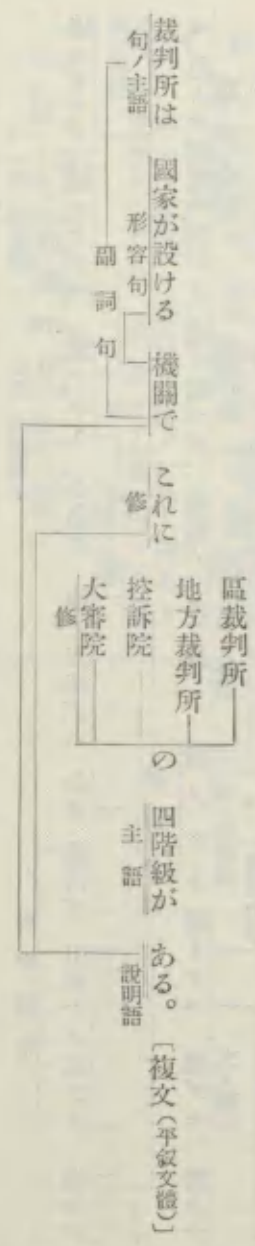
紅をさしたかと思はれる やさしい 嘴

美しい羽毛に包まれた 圓い 胸

見るからに 愛らしい ものである。

〔單文(叙述文體)〕

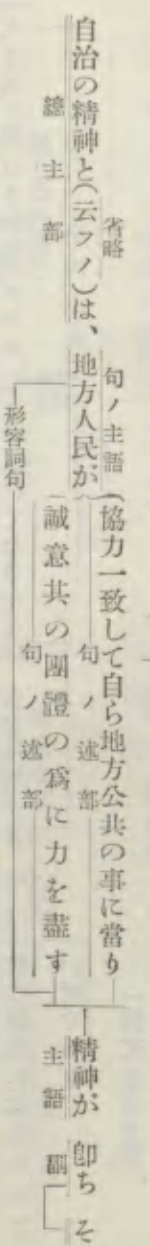
(十八) 裁判所は國家が設ける機關で、これに區裁判所、地方裁判所、控訴院、大審院の四階級がある。



裁判所屬于國家所建設之機關、其中有區裁判所・地方裁判所・控訴院・大審院之四階級。

〔複文(平叙文體)〕

(十九) 自治の精神とは、地方人民が協同一致して、自ら地方公共の事に當り、誠意其の團體の爲に力を盡す精神が、即ちそれである。



自治精神云者、地方人民、各自協力一致、以當地方公共之事、爲其團體、誠實盡力之精神、即是也。

精神が 即ちそれ

(二十) 「人は火を用ひる動物(デアル)」といはれてゐるやうに、火を使用するのは、被役時ノ補助動詞、指定動名詞、變連體、的ノ語、助詞、副詞法。

或曰「人は用火之動物」。誠如此言、用火者獨止於人類、在他動物、則爲不能見者。











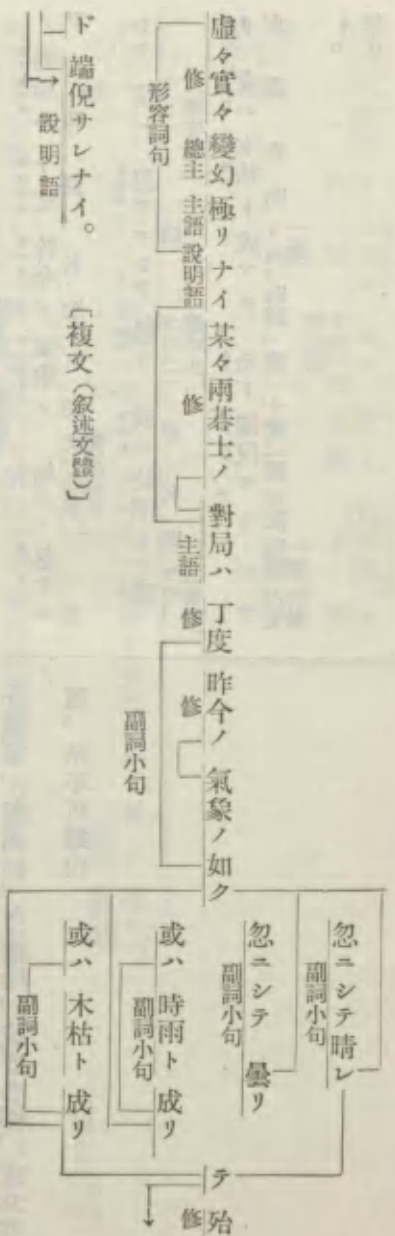




漢譯

# 日本口語文法教科書

終



跋

## 普及版發行ニ就キテ

著者識

從來外國人ノ日本語ヲ研究スル者ハ、官紳學生ノ一部ニ過ギナカッタガ、近頃日本ノ文化ガ長足ノ進歩ヲ見、優勝的地位ヲ世界列強ノ間ニ占ムルニ及ビ、日本及ビ日本語ヲ研究スル者ノ範圍ハ、職業ト階級トヲ超越シ、甚ダ旺盛ヲ極メル様ニ成ツタ。其處デ本書ノ著者モ各方面ノ勸メニ隨ヒ、大衆ノ希望ヲ充ス爲、普及版ヲ發行スルコトニ同意シタ、然シテ普及版ノ上製本ト異ル點ハ、唯裝釘ノ簡素ト、紙質ノ稍及バナイバカリデ、其ノ實質内容ハ二者全ク相同ジデアル。依ツテ華ヲ捨テ實ヲ取ラント欲スル者ノ爲ニ、一言ヲ卷末ニ附記シ、以テ其ノ安心シテ購讀サレシコトヲ請フ次第デアル。

跋

## 普及版發行宗旨

從前外國人之研究日本語者、不過官紳學生中一部分。近來日本文化見長足之進歩、占優勝之地位於世界列強間、研究日本及日語者之範圍、至於無分職業階級、旺盛極矣。於是本書著者亦隨大方勸說、充大衆希望、贊成於普及版之發行。蓋以普及版之所異于上製本者、唯在裝釘之簡素與紙質之稍劣耳。至其實質内容、則二者全然相同。由是爲捨華取實者計、附記一言於卷尾、以請其安心購讀云爾。































成分ノ倒置 (セイブツノトウチ)	四二	何レニシテモ (イツレニシテモ)	二八九	延音(エンオン)	一八	辛ウシテ (カラウシテ)	二八一
曲(マゼ)	三〇八	何時ゾヤ(イツゾヤ)	二七八	形容詞(ケイヨウシ)	一二六	杯(ナゾ)	三一七
有ル(アル)	一一三	似非(エセ)	三〇八	形容詞ノ法(ケイヨウシノホウ)	一三一	杯(ナンゾ)	三一七
特ニ(トトニ)	三六二	助詞(シヨシ)	二二八	形容詞句 (ケイヨウシク)	四四	折々(ナリナリ)	一七九
自卓敬語 (ジヒケイゴ)	一一一	助動詞(シヨドウシ)	二二六	形容詞小句(ケイヨウシコウ)	四七	折角(セツカク)	二八五
自動詞(ジドウシ)	二五	助動詞ノ法(シヨドウシノホウ)	一五一	形容動詞 (ケイヨウドウシ)	一三九	沙汰(サタ)	三一八
自動詞ノ被役(ジドウシノヒエキ)	一五八	君(クニ)	三一七	形容詞性修飾語(ケイヨウシセイシュウジコ)	九六	邪覽(ジャヤマ)	一四八
自稱(一人稱)(ジシヨウイチニンシヨウ)	五六	否(イヤ)	一四八	形容詞ノ轉成名詞(ケイヨウシノテンセイメイ)	一三七	並列(ヘイレツ)	二五八
自然動(シゼンドウ)	一六五	否デモ(イヤデモ)	二八九	否定推量助動詞(ヒテイスイリョウシヨドウシ)	二〇六	事(コト)	三二五
行(ユキ、イキ)	三一四	否定命令 (ヒテイメイ)	一〇四	否定助動詞(ヒテイシヨドウシ)	一九七	事々シイ (コトゴトシイ)	一三〇
七 畫		何フ(ウカガフ)	一一七	忌々シイ (イマイマシイ)	三一〇	併シナガラ (シカシナガラ)	二九四
位(クワキ)	三七二	何カ(ナニカ)	二五四	我儘(ガマン)	一六五	使役助動詞(シエキシヨドウシ)	一五二
何カ(ナニカ)	二五四	何處カ(ドコカ)	二五四	見ル(ミル)	一一五	兎角(トカク)	二九一
何處カ(ドコカ)	二五四	何デ(ナニデ)	二九二	見エル(ミエル)	一一五	兎角ノ(トカクノ)	二九一
何シロ(ナンシロ)	二八九	何分(ナニブン)	二八一	見込(ミコミ)	三五六	兎角(トニカク)	二九〇
何デモ(ナニデモ)	二八九	何シロ(ナンシロ)	二八九	見榮(ミバエ)	二六六	兎モ角(トモカク)	二九〇
何レ(イツレ)	二七七	何分(ナニブン)	二八一	見ツトモナイ (ミツトモナイ)	二〇九	兎モ角(トモカク)	二九〇
		希聖助動詞(キボウシヨドウシ)	二〇八	身勝手(ミガツテ)	一六五	兎モ角(トモカク)	二九〇
		完了(カンリョウ)	二一四	辛ライ(ヅライ)	三四七	兎テモ(トテモ)	二八八

八 畫

鬼モ有レ角ニモアレ (トニモアレカクニモアレ)	二九一	定限格ノ助詞(テイゲンカクノシヨシ)	二二五	苦シイ(カルシイ)	三四七	思ヒ懸ケナク (オモヒガケナク)	二八三
其ノ上(ソノウヘ)	二九三	宛(ツツ)	三六二	花ヤカ(ハナヤカ)	一四八	拜見スル (ハイケンスル)	一一九
其レデハ(ソレデハ)	二九四	居ル(ナル)	二一七	阿呆(アホウ)	三四九	拜信スル (ハイシンスル)	一一〇
其レダカラ	二九四	居ル(キル)	二一七	青二才(アチニサイ)	三六八	持テ(モテ)	三〇五
其レナラ(ソレナラ)	二九四	所爲(セキ)	三六九	面倒(マンドウ)	一四八	指示代名詞 (シジダイメイシ)	二四
其レソレ(ソレソレ)	二七七	始終(シジユウ)	二七八	長音(チヨウオン)	八	指定助動詞(シテイシヨドウシ)	一八四
其處デ(ソコデ)	二九四	所詮(シヨセン)	二八八	促音(ツクオン)	一一	指定助動詞ト形容動詞 (シテイシヨドウシトシヨウドウシト)	一九四
卑稱(ヒシヨウ)	五九	承ル(ウケタマハル)	一一七	便リ(タヨリ)	一六六	指圖(サシヅ)	一七八
取リ得(トキエ)	二五三	押(オシ)	三〇三	冠(カウ)	二二	是非(ゼヒ)	一七四
取リ得(トキエ)	二五三	押ツ(オツ)	三〇三	敘述句(シヨジュク)	四七	柄(ガラ)	二〇九
取リ得(トキエ)	二五三	揚音(ヨウオン)	七	敘述小句 (シヨジュク)	四七	相(アヒ)	三〇五
味(ミ)	三二〇	揚長音 (ヨウチヨウオン)	〇	品詞(ヒンシ)	二二	相(サウ)	三五二
命合文 (メイエイブン)	三八九	易イ(ヤスイ)	三四六	品詞の解剖(ヒンシテ)	三九四	活(イケ)	三〇九
命合文 (メイエイブン)	三八九	法(ホウ)	九一	客語(カクゴ)	三七	活用(カツヨウ)	六七
呼格(コカク)	六六	法螺(ホウ)	二五三	廻ル(マハル)	三四〇	洋語サ變 (ヨウゴサヘン)	九〇
呼懸(ヨゼカケ)	六六	物(モノ)	三二三	後積(ウシロダテ)	二〇六	派手(ハデ)	一四九
固有名詞 (コユウメイシ)	四八	状態副詞(シヨウダ イフクシ)	二八〇	思召ス(オボシメス)	一一五	約音(ヤクオン)	一五八
定限格(テイゲンカク)	六五	直カ(スカ)	二七八	思ハシイ (オモハシイ)	一三〇		一六三
		直ニ(ナキニ)	二七八				
		直音(チヨクオン)	三二三				















活用言全圖 附助詞

動		助			詞 動 容 形			詞 容 形		詞												動																			
定	指	敬	使	敬可被	デス活用	ダ活用	ナリ活用	カリ活用	シク活用	ク活用	格 變	段 一 下				段 一 上				段 四																					
語常平	語敬	語	役	語能役	明瞭	靜カ	明瞭	靜カ	涼	熱	爲	來	植	慣	越	集	教	尋	立	瘡	受	得	居	懲	悔	見	強	煮	落	封	起	吸	飲	喜	救	死	打	寫	嗅	書	
○	ナラ(バ)	マセ	サセ	ラレ	デセ(ウ)	ナラ(バ)	ナラ(バ)	カラ(ウ)	○	○	シセ	コ	エ	レ	エ	メ	ヘ	ネ	テ	セ	ケ	エ	キ	リ	イ	ミ	ヒ	ニ	チ	ジ	キ	ラ	マ	ハ	ナ	タ	サ	ガ	カ		
ズ	ダ(ナイ)	マシ(タ)	サセ	ラレ	デシ(タ)	ダ(ナイ)	カ	カツ(タ)	シウ(音便)	ク(音便)	シ	キ	エ	レ	エ	メ	ヘ	ネ	テ	セ	ケ	エ	キ	リ	イ	ミ	ヒ	ニ	チ	ジ	キ	リ	ミ	ビ	ヒ	ニ	チ	シ	ギ	キ	
ズ	ダ(ナイ)	マシ(タ)	サセ	ラレ	デシ(タ)	ダ(ナイ)	ナリ(並列)	カ	シシ(並列)	イシ(並列)	ス	ク	エ	レ	エ	メ	ヘ	ネ	テ	セ	ケ	エ	キ	リ	イ	ミ	ヒ	ニ	チ	ジ	キ	ル	ム	ブ	フ	ヌ	ツ	ス	グ	ク	
ズ	ダ(ナイ)	マシ(タ)	サセ	ラレ	デシ(タ)	ダ(ナイ)	ナ(連體)	カ	シイ	イ	ス	ク	エ	レ	エ	メ	ヘ	ネ	テ	セ	ケ	エ	キ	リ	イ	ミ	ヒ	ニ	チ	ジ	キ	ル	ム	ブ	フ	ヌ	ツ	ス	グ	ク	
ネ	○	マシ	サセ	ラレ	○	○	○	○	シケ	ケ	ス	ク	エ	レ	エ	メ	ヘ	ネ	テ	セ	ケ	エ	キ	リ	イ	ミ	ヒ	ニ	チ	ジ	キ	レ	メ	ベ	ヘ	ネ	テ	セ	グ	ケ	
○	○	マシ	サセ	ラレ	○	○	○	○	○	○	シ	コ	エ	レ	エ	メ	ヘ	ネ	テ	セ	ケ	エ	キ	リ	イ	ミ	ヒ	ニ	チ	ジ	キ	レ	メ	ベ	ヘ	ネ	テ	セ	グ	ケ	
	也、爲、是、	○	使、令、叫、	○	被、見、爲、所	○	○	之、在九州地方、第三變化及第四變化共用	○	○	セラレルセサ	セル者、通常											起	爲	得	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

第一變化  
第二變化  
第三變化  
第四變化  
第五變化  
第六變化  
備 攷

助動詞タ及助詞テ接續於四段第二變化之時、除サ行四段之外、爲音便、如括弧內所記。又タテ承接ガ行ナ行ハ行マ行第二變化之時、爲濁音。上一段以下之第六變化命令法者、於東京語則帶有ロ、於其他地方、則一般多帶有ヨ者。例如  
起キ  
爲得ヨヨ  
讀マセヨヨ等



詞助		詞動助補之時		詞動助補語敬				詞動助																
第一類	名詞附屬	存在態	繼續態	敬對		敬自		敬尊		未否定 來未	完過	希	推	否			定指		敬	使	敬可被			
				語	話	語卑	語他	高決想 量心像	商決想 量心像					了去	望	量	定	語常平				語敬	語	役
カ(或、不然則)	ガ、ノ(無譯字)	テ並	テ並	私ウ宜	勉強	グ御上	強勉御	御教	御歸	行ク	見行カ	見	行キ	有ル	善ク	讀マ	讀マ	讀ム	讀ム	讀ム	見	讀マ	見	讀マ
カ(或、不然則)	第一變化	在ラ	居ラ	御座ラ	致サ	申サ	遊バサ	下サラ	成サラ	○	○○	○	○	ラシカラ	ナカラ	○	○	ダラ	ナラ	マセ	マセ	サセ	セ	ラレ
ツツ(且)	第二變化	在リ	居リ	御座リ	致シ	申シ	遊バシ	下サリ	成サリ	○	○○	○テ	○	ラシウ	ナカウ	ナク	ズ	ダツ	ナシ	マシ	マシ	ザセ	セ	ラレ
トモ(自然、不用說)	第三變化	在ル	居ル	御座ル	致ス	申ス	遊バス	下サル	成サル	マイ	ヨウ	タ	タイ	ラシイ	ナカ	ナイ	ズ	ダ	ナリ	マス	マス	サセル	セル	ラレル
シ(且、又)	第四變化	在ル	居ル	御座ル	致ス	申ス	遊バス	下サル	成サル	マイ	ヨウ	タ	タイ	ラシイ	ナカ	ナイ	ズ	ダ	ナ	マス	マス	サセル	セル	ラレル
	第五變化	在レ	居レ	御座レ	致セ	申セ	遊バセ	下サレ	成サレ	○	○○	○	○	ラシケレ	ナケレ	ネ	○	○	○	マスレ	マスレ	サセレ	セレ	ラレレ
	第四類	在レ	居レ	御座レ	致セ	申セ	遊バセ	下サレ	成サレ	○	○○	○	○	ラシケレ	ナケレ	ネ	○	○	○	マスレ	マスレ	サセレ	セロ	ラレロ
固不俟言。	第二類及第四類之助詞添于動詞形容詞助動詞等之時、大概接續于第一類助詞及第四變化之轉成名詞、		著							可不...乎	想不、當不、	欲、要、應、當、	將、要、應、當、	矣、了、	像、似、光景	不、沒、非、		也、爲、是、	○		○	使、令、叫、	○	可、能、得、









北平大學文科學院院長胡適博士題辭  
大坂外國語學校井上翠教授題辭  
帝室博物館總長杉榮三郎博士題歌  
鶴峯松本龜次郎著

譯解 日語肯綮大全

第六版 菊判總頁數四六〇頁  
定價貳圓五拾錢

本書網羅關於日語學上之須知要訣、與緊切用語、雅俗並舉粗細無遺。分爲五篇。第一篇爲假名與音韻。音韻中、學者每苦於發音者、則多設課目以資練習。第二篇爲語法應用會話。乃爲此書本幹。寓必要之語法於日用會話中、以期理論與應用並行而無偏倚。第三篇爲口語文法大綱。全篇用問答式、直截簡明說述品詞之意義用法及文章概論。學者先熟讀此篇、然後精讀高深文典、尤爲易曉。第四篇爲文語用例一斑。所謂現代文者、大都屬於口語與文語之混合體。故學者若不學文語之一斑、則難免面牆與歎。本篇乃補其缺憾者。第五篇爲外來之新語與時事文。方今因東西文化接近、外國語流入於我邦者、日多於一日。苟念其研究、則不免爲時代之落伍者。本書特選錄最近流行者八十餘言與時事文、以喚起學者之注意耳。此外另添口語與文語之活用言及助詞全圖二表。其中關於助動詞及助詞、特附譯語以便初學者。著者研究日語及其教授法、於茲有年。此書乃爲其近著。學者倘熟讀之、自得窺日語之全豹矣、異日隨手繕他書、其如指諸掌而已乎。

發行所

東京市杉並區阿佐ヶ谷五ノ七六

有隣書屋



松本龜次郎著

言文對照 漢譯日本文典

第三十八版  
菊判總頁數四六〇頁  
定價貳圓五拾錢

此書為漢譯日本文典之嚆矢。言文對照、舉例示證。所附漢譯、極為明瞭。是以往歲出版之後、中華人士學日本語者、莫不人手一冊、視為津梁。不意遭癸亥震火、燬失紙型。故特將原稿、從新訂正、再出版。舉凡原稿中、舉例之不適切、解說之不中肯綮者、莫不徵之於教授之經驗、加以修正、俾學者容易理解。凡研究日本語者、倘能一閱此書、則必能詳悉日本文語文法之法則、兼曉日本口語文法之大綱也。

發行所

上海文路八十二號

日本堂

新刊特白

松本龜次郎著

漢譯 日本口語文法教科書

新刊 第十八版  
菊判 總頁數四六〇餘頁  
特製本 定價壹圓六拾錢  
普及本 定價壹圓參拾錢

本書自發行以來、久已膾炙人口、因採用為教科書或參攷書者甚夥、故已重版十數、是著者所

感激並引為無上之光榮者也。然依據多年教授之經驗、與夫客觀之迫切需求、認為仍有增訂之必要、是以乃不惜犧牲半載日子、晨夕研討而遂成此增訂之版焉。

茲將舊版與增訂版之異同、概述如左。

舊版分為音讀及文字概說、品詞概說、品詞詳說、三篇。總頁數為三百八十四頁。今增訂版、因加文章概說、文章詳說、及解剖、三篇。共為六篇。總頁數乃成四百六十餘頁之鉅冊矣。增訂版華譯、因經北京大學、清華大學教授錢稻孫先生懇切丁寧之修正、以與原文語句相符、毫無差謬。且措辭穩妥、行文流暢。讀者一閱、則日本語法、瞭如指掌。不但適于作教科書、尤合于自修之用。且增訂版、附有假名漢字兩索引、學習讀本、會話、作文之時、常置座右、以便隨時參攷、免有文法上之錯誤。斯誠為學習日本語者之無二好伴侶也。加之通全編、至于舉例割切、語彙豐富、分類妥當、編次順正、說明適確諸點、著者依據多年教授之經驗、特澆心血著成者。且對口語法特有之接頭語、接尾語、及特別副詞等之意義用法、他文法書之曾無說及者、詳加解說。本書實為濫觴、要之本書特為留學生創撰撰述者、與一般口語文法書之徒拘泥文法論、或僅翻案文語文典、未涉複雜多岐之口語法則者、迥乎不同焉。讀者一閱方知斯言之非謬也。

附言、增訂版因較舊版、增加七十二頁、且改善紙質、舊版普及本定價壹圓、茲改為壹圓參拾錢。舊版特製本定價已減為壹圓五拾錢者、改為壹圓六拾錢。誠出於不得已。尚祈愛讀諸君垂察焉。

發行所

東京市神田區西神田一丁目九

笹川書店



松本龜次郎著

### 漢譯 日本語會話教科書

附 對照文 漢譯書 簡文語用例

第五十版 袖珍本總頁數三五六頁 定價壹圓參拾錢

本書置重於應用。其宗旨，在俾初學者熟練日用會話。分爲五十課。乃自講堂客舍，四季朝夕，遊步訪問，紹介拜年，問道乘車，買書購貨，做衣修錶，剪髮照相，租房訴盜，以及各種應用之練習問題，無不完備。學者倘袖一本，隨時誦讀，則於會話一門，當覺其易而不知難矣。卷末附以書簡文語用例。書簡文原有特別用語。例如候、致、仕、度、可、問敷、間、處、付、條、儘、由、趣、程、段、拜啓、陳者、敬具、不宜等。又有特別儀禮。例如起首、時候、起居、本文、餘情、收結等之諸法則。本書一々舉例、言文對照、且附以漢譯。學者若熟讀此篇，不但可與日人應酬尺牘，且能交換智識、敦睦友誼也。

發行所 東京市神田區三崎町二丁目三〇

光榮館

松本龜次郎刪修

### 改訂 日本語教科書

改訂第十四版

菊判總頁數二四〇頁 定價壹圓四拾錢

此書係專爲純粹之學校用日語課本編述者。故唯有本文。不再附假名漢譯。蓋因學校內自有熟練日華兩國語之教師。對於假名華譯、隨時口授、奏效反較爲便捷也。卷首揭字母音韻、漸進於會話式、授以日常必須之用語與基礎的語法、以期培養日語之根柢、所謂基礎的日語課本也。

發行所 東京市杉並區阿佐ヶ谷五ノ七六

有隣書屋

汪榮寶先生題字 王 一 亭先生題畫并題簽  
杉榮三郎博士題歌 松本龜次郎著

### 中華 五十日遊記

附中華留學生教育小史 中華教育視察紀要

四六判總頁數五三〇頁 插入風景相片壹百 定價貳圓

昭和五年首夏、著者爲攷察民國教育起見、南游上海杭州蘇州南京九江廬山漢口武昌、後順流而下、由滬航海、經青嶋旅大、溯白河至天津、淹留北平、探萬壽山碧雲寺香山勝、登攀八達嶺、由京奉鐵路、經山海關、到奉天、視北陵撫順、更北進至哈爾濱、然後旋踵入朝鮮、渡鴨綠江、過平壤、望牡丹臺、經京城釜山、所謂南船北馬五十餘日、始歸抵故山。其間與日華人士、語舊談新、或跋涉名山大川、或縱覽平原曠野、或探尋勝跡名都、乘興記錄、不一而足、乃爲本篇游記、以供同好。其攷察學校者、則別編爲中華教育視察紀要。可以觀在黎明期民國教育界之指導精神與其實績矣。至于中華留學生教育小史、會應日華學會之需用、而登載於日華學報者。雖未及完全錄載、但關於四十年來留學生教育之沿革、則莫詳於此書。著者關於東亞之國際現狀、夙々獨憂者、本書亦寫其片鱗。憂世之士、幸賜一閱焉。

發行所

東京市神田區西神田二丁目二ノ六

東亞書房



以上各書中外發賣所並經售所

神田東京堂	上海文路八十二號日本堂
神田笹川書店	上海北四川路內山書店
神田三省堂	北平東單牌樓東亞公司
神田奎運堂	青嶋中山路博文堂書店
神田巖松堂	漢口日租界思明堂書藥房
神田光榮館	新旅春明書莊巖松堂東洋部
神田東亞書房	大連奉天順大阪屋號書店
日本橋大阪屋號書店	熱河承德東亞公司支店
日本橋大東館	哈爾濱地段街千葉書店
京橋北隆館	廣東沙面佛界河村洋行

東京

東京市杉並區阿佐ヶ谷五丁目七六  
振替口座東京三三七三九番

有隣書屋 敬啓



高橋神學西工北  
八八書局  
五〇二番南話處

日本語教  
育振興會  
藏書之印



日六話教  
育振興會  
藏書之印